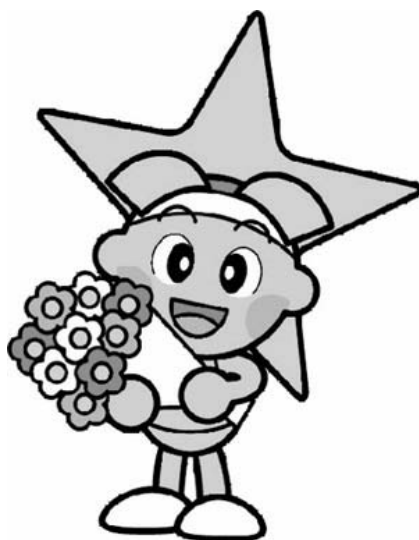


ハンセン病に関する県民意識調査 結果報告書



平成20年3月

岡山県保健福祉部健康対策課

目 次

I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1
3. 回収状況	1
4. 集計データの見方	4

II. 総 括

III. 調査結果の詳細

1. 「ハンセン病」病名認知状況	21
2. 「ハンセン病」を初めて知った時期	23
3. 「ハンセン病」という病名をだれ（何）から知ったか	25
4. 「ハンセン病」の具体的な認知状況	27
5. 「ハンセン病」が非常に感染力の弱い感染症であることの認知状況	29
6. 「ハンセン病」が後遺症もなく治癒する病気であることの認知状況	31
7. ハンセン病患者が強制隔離されていたことの認知状況	33
8. ハンセン病療養所が岡山県にあることの認知状況	35
9. 「らい予防法」に療養所からの退所規定がなかったことの認知状況	37
10. 療養所内の結婚に際し、断種が条件とされていたことの認知状況	39
11. 療養所内で軽症患者が半強制的に作業をさせられていたことの認知状況	41
12. 平成8年に「らい予防法」が廃止されたことの認知状況	43
13. ハンセン病国賠訴訟で原告が勝訴したことの認知状況	45
14. ハンセン病患者・家族への差別があったことの認知状況	47
15. 療養所入所者の多くが故郷へ帰ることができないことへの意識	49
16. 療養所入所者の社会復帰が困難であることの認知状況	51
17. 社会復帰支援員の認知状況	53
18. 療養所入所者との交流活動の認知状況	55
19. 昭和63年の邑久長島大橋架橋の認知状況	57
20. ハンセン病療養所への訪問状況	59
21. 療養所訪問時の療養所入所者との会話機会の状況	61
22. 実際に体験したことのあるハンセン病に関する岡山県の事業	63
23. 今後望まれる岡山県のハンセン病対策事業	65
24. ハンセン病についての知識・情報への意欲	68
25. ハンセン病について知りたいこと	70
26. ハンセン病に関する知識・情報の普及状況の意識	72
27. 療養所入所者の社会との交流についての意識	74

28. 偏見や差別の解消のための方策	76
29. 療養所入所者の社会復帰のための方策	78
30. ハンセン病問題解消のためにしたいこと・必要なこと	80

参考資料

今回および前回の集計結果	87
問3「病名をだれ（何）から知ったか」別にみた集計	109
問4「どのような病気であるかの認知状況」別にみた集計	112
問20「ハンセン病療養所へ行った経験の有無」別にみた集計	114
問21「療養所で入所者と話をする機会の有無」別にみた集計	116
問22「見たもの、行ったことがあるもの」別にみた集計	118
アンケート調査票	121

I. 調査の概要

1. 調査の目的

平成14年度に県民意識調査を実施してから5年が経過したことから、再度、県民意識調査を実施し、かつてハンセン病を病んだ方に対する偏見や差別の実態及び県民のハンセン病療養所入所者との交流状況について実態を把握するとともに、前回の調査と結果を対比することによって、本県でこれまで実施してきた施策の効果を検証し、また、今後のハンセン病対策を実施するための基礎資料とすることを目的として調査を実施した。

2. 調査の概要

- (1) 調査区域 岡山県全域
- (2) 調査対象 15才以上の県内在住者
- (3) 標本数 4,000人（発送数）
- (4) 抽出方法 ①該当年齢（15才以上）人口比率により、県下全市町村ごとの割当サンプル数を決定
②各市町村ごとに住民基本台帳からの無作為抽出
以上のような工程による二段階無作為抽出を行った。
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収による郵送調査法
督促状（葉書）1回発送
- (6) 調査期間 平成19年8月20日（月）～9月20日（木）

3. 回収状況

- (1) 発送数 4,000人（100%）
- (2) 有効回収数 2,035人（50.9%）

回収状況の前回との比較

	発送数	有効回収数	有効回答率
今回(平成19年8～9月調査)	4,000人	2,035人	50.9%
前回(平成15年1～2月調査)	4,000人	2,210人	55.3%

新聞報道でのハンセン病記事の件数

単位：件

	山陽新聞	日本経済新聞
平成19年3月～平成19年8月(調査前半年間)	49	9
平成18年9月～平成19年8月(調査前1年間)	104	18
平成14年8月～平成15年1月(調査前半年間)	94	8
平成14年2月～平成15年1月(調査前1年間)	228	32

男女別回収状況

単位：件

	総数	男性	女性	無回答
今回調査	2,035	851	1,173	11
	100.0%	41.8%	57.6%	0.5%
前回調査	2,210	916	1,255	39
	100.0%	41.4%	56.8%	1.8%

年齢別回収状況

単位：件

今回調査	総数	15-19才	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才以上	無回答
		2,035	86	197	276	274	405	405	385
	100.0%	4.2%	9.7%	13.6%	13.5%	19.9%	19.9%	18.9%	0.3%
前回調査	総数	15-19才	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才以上	無回答
	2,210	138	224	268	342	428	405	367	38
	100.0%	6.2%	10.1%	12.1%	15.5%	19.4%	18.3%	16.6%	1.7%

男女別年齢別回収状況

単位：件

	男性	女性	無回答	合計
10才代	41	45	0	86
20～24才	40	58	2	100
25～29才	45	52	0	97
30～34才	52	86	0	138
35～39才	52	86	0	138
40～44才	52	75	0	127
45～49才	57	90	0	147
50～54才	78	96	0	174
55～59才	93	136	2	231
60～64才	87	121	0	208
65～69才	89	108	0	197
70～74才	64	93	0	157
75才以上	100	126	2	228
無回答	1	1	5	7
合計	851	1,173	11	2,035

地域別回収状況

単位：件

	総数	岡山南東部	岡山南西部	岡山北部	無回答
今回調査	2,035	957	774	295	9
	100.0%	47.0%	38.0%	14.5%	0.4%
前回調査	2,210	1,003	873	334	0
	100.0%	45.4%	39.5%	15.1%	0%

地域・市町村別回収状況

単位：件、%

地域	市町村	発送数	有効回答数	有効回答率
岡山南東部	岡山市	1,420	718	50.6
	玉野市	139	64	46.0
	備前市	83	41	49.4
	瀬戸内市	80	46	57.5
	赤磐市	90	61	67.8
	和気町	34	27	79.4
岡山南西部	倉敷市	948	459	48.4
	笠岡市	118	53	44.9
	井原市	93	47	50.5
	総社市	136	70	51.5
	高梁市	82	46	56.1
	浅口市	78	33	42.3
	早島町	24	15	62.5
	里庄町	22	10	45.5
	矢掛町	33	22	66.7
	吉備中央町	30	19	63.3
岡山北部	津山市	224	111	49.6
	新見市	75	43	57.3
	真庭市	106	48	45.3
	美作市	67	26	38.8
	新庄村	2	2	100.0
	鏡野町	29	18	62.1
	勝央町	23	11	47.8
	奈義町	13	5	38.5
	西粟倉村	4	4	100.0
	久米南町	12	5	41.7
	美咲町	35	22	62.9
		無回答		9
	合計	4,000	2,035	50.9

4. 集計データの見方

- ①集計結果はすべて、小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%にならないことがある。
- ②複数回答を依頼した質問（Multiple Answer：「〇はいくつでも」）では、集計結果の合計は100%を超える。
- ③回答比率（%）は、その質問の回答者数を母数（N=Number of case）として算出した。
- ④男女、年齢、住所地が無回答のものがあるため、各男女別、各年齢別、各地域別のN（母数）の合計は全体のN（母数）と一致しない。
- ⑤年齢別集計に際しては、基本的には前回調査と同様に例えば「30才代」というように10才区分とした。同時に、前回調査時以降約5年間の変化をみるために、前回調査時に「30才代」であった人は、今回調査時には概ね「35～44才」となっているという年齢コーホート別の集計を実施し、その結果データを参考資料として掲載した。

（注：コーホートとは同年（または同期間）に出生した集団を意味する人口学上の概念である。）

- ⑥本調査は「標本調査」であるため、すべての集計結果に「標本誤差」が生じる。標本誤差は中央値（50.0%）に近いほど大きく、0%及び100%に近いほど小さい。また、母数が大きいほど標本誤差は小さくなる。標本誤差の計算式と一覧表は以下の通りとなる。

$$\text{標準誤差} = \pm 1.96 \times \left(\left(\frac{1}{n} - \frac{1}{N} \right) \times p \times (1 - p) \right)^{0.5}$$

ここで、 n：サンプル数

N：母集団の数

p：推定された比率 である。

今回の調査では、15歳以上の県民は1,676,078人（住民基本台帳人口・平成19年3月31日現在：母集団の数）、有効回答数は2,035人（サンプル数）であるから、各問への回答比率の標本誤差は、次のとおりである。

標本誤差（信頼水準95%の場合）

サンプル数 回答比率	200	500	1000	1500	2035
10%	±4.2%	±2.6%	±1.9%	±1.5%	±1.3%
20%	±5.5%	±3.5%	±2.5%	±2.0%	±1.7%
30%	±6.4%	±4.0%	±2.8%	±2.3%	±2.0%
40%	±6.9%	±4.3%	±3.1%	±2.5%	±2.1%
50%	±6.9%	±4.4%	±3.1%	±2.5%	±2.2%
60%	±6.9%	±4.3%	±3.1%	±2.5%	±2.1%
70%	±6.4%	±4.0%	±2.8%	±2.3%	±2.0%
80%	±5.5%	±3.5%	±2.5%	±2.0%	±1.7%
90%	±4.2%	±2.6%	±1.9%	±1.5%	±1.3%

「標本誤差」が生じることから、「Ⅱ. 総括」「Ⅲ. 調査結果の詳細」では、その誤差を考慮してもなお統計的に有意な場合だけ、例えば「多い」などの断定表現を用いている。「総じて多い」「若干低下」「やや大きい」などの記述は、統計的には必ずしも有意とは言えないものの、一般的にはそのように考えられる場合に用いている。

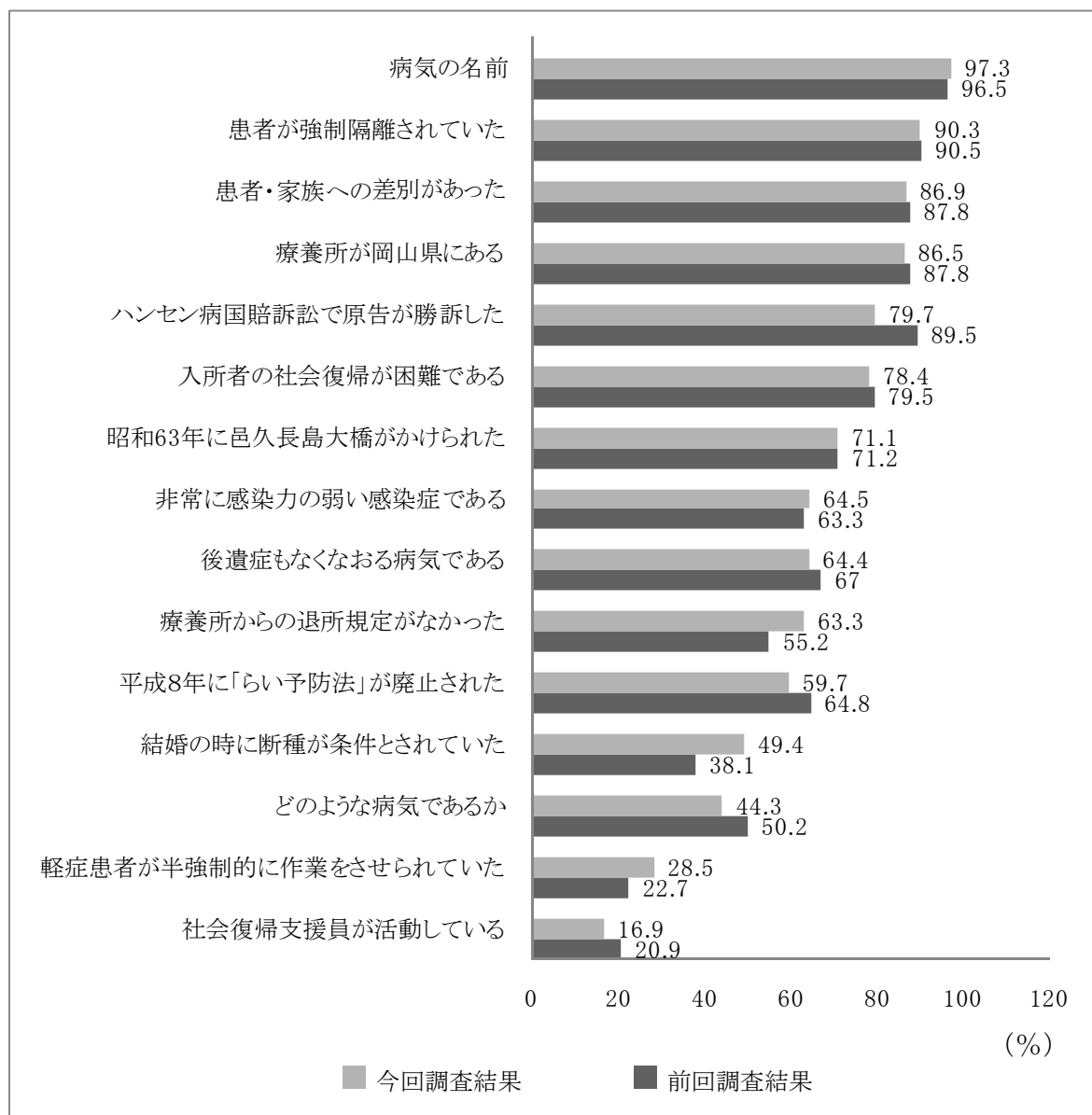
Ⅱ. 総 括

○認知状況は前回調査結果と概ね同程度

ハンセン病の認知状況をみると、病気の名前を聞いたことがある人は97.3%であり、県民のほとんどすべてが病名を知っている。しかし、ハンセン病についての詳細な事柄については、「強制隔離」は90.3%と大部分の人が知っているが、「社会復帰支援員」は16.9%、「半強制的な作業の実施」は28.5%しか知らないなど、項目別には認知状況に差がみられる。

今回の調査結果（平成19年8～9月実施）を、前回調査結果（平成15年1～2月実施）と比較すると、認知状況は概ね同程度である。前回調査と比べて大きな変化（概ね10%ポイント程度の増減）がみられたのは、「結婚の時に断種が条件とされていた」が38.1%から49.4%へ上昇、「ハンセン病国賠訴訟で原告が勝訴した」が89.5%から79.7%へ低下、などである。

ハンセン病の認知状況（知っている人の割合）



○高齢者と若者の認知割合が小さい

ハンセン病の認知状況を年齢別にみると、ほとんどの項目で50才代、60才代の認知割合が大きく、それに比べて70才以上の高齢者層と、30才代以下の若年者層の認知割合が小さくなっている。前回調査結果(平成15年1～2月実施)でも同様の傾向がみられ、高齢者層と若年者層の認知割合が小さくなっている。

15～19才の認知割合が20才代のそれを若干上回っている項目が多いのは、ハンセン病についての知識が学校教育を通じて普及推進されている結果と推察され、以前よりも学校教育で取り上げられる機会が増加しているものと思われる。

年齢別にみたハンセン病の認知状況（知っている人の割合）

単位：％

	15～19才	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才以上
どのような病気であるか	34.9	28.9	29.3	43.8	45.9	53.6	54.5
非常に感染力の弱い感染症である	70.8	62.6	63.2	71.3	70.4	66.6	51.2
後遺症もなくなおる病気である	61.5	49.0	49.8	64.3	70.4	71.8	68.0
患者が強制隔離されていた	80.2	79.2	88.4	94.2	95.3	93.6	88.1
療養所が岡山県にある	60.5	62.9	81.2	89.4	93.3	93.8	91.4
療養所からの退所規定がなかった	57.0	50.8	52.5	68.6	70.4	67.9	63.1
結婚の時に断種が条件とされていた	33.7	33.0	42.8	55.1	55.8	57.8	47.0
軽症患者が半強制的に作業をさせられていた	30.2	17.3	25.7	34.7	35.6	29.4	23.1
平成8年に「らい予防法」が廃止された	34.9	35.5	45.7	64.6	68.1	71.9	62.6
ハンセン病国賠訴訟で原告が勝訴した	59.3	64.5	76.4	79.9	89.1	88.4	75.1
患者・家族への差別があった	77.9	75.6	84.1	92.3	89.9	90.6	85.7
入所者の社会復帰が困難である	66.3	66.0	76.1	85.4	82.2	83.5	75.1
社会復帰支援員が活動している	8.1	9.1	11.6	12.4	14.3	23.7	25.5
入所者との交流活動が行われている	36.0	27.4	34.1	44.2	44.9	45.9	39.7
昭和63年に邑久長島大橋がかけられた	45.3	31.5	53.3	71.5	81.7	86.7	82.6

注：網掛けは、平均を上回っているものを示す

○学校教育により若者の認知割合が増大

15～19才の認知割合についてみると、今回調査では前回調査(平成15年1～2月実施の15～19才)と比べて、14項目中9項目で認知割合が増大している。また、今回調査の中で15～19才と20～24才の認知割合を比較すると、15項目中13項目で15～19才の認知割合の方が高くなっている。

今回調査で15～19才の認知割合が若干高まった要因は、学校教育にあると考えられ(15～19才の人がハンセン病という病名を知ったのは55.8%が「学校の授業で」、学校教育の場での取り上げの効果が表れている。

15～19才のハンセン病の認知状況(知っている人の割合) 単位：%

	今回調査 15～19才	前回調査 15～19才	今回調査 20～24才
どのような病気であるか	34.9	35.2	30.0
非常に感染力の弱い感染症である	70.8	69.4	57.9
後遺症もなくなおる病気である	61.5	55.1	47.4
患者が強制隔離されていた	80.2	76.1	78.0
療養所が岡山県にある	60.5	55.8	56.0
療養所からの退所規定がなかった	57.0	46.4	52.0
結婚の時に断種が条件とされていた	33.7	31.2	33.0
軽症患者が半強制的に作業をさせられていた	30.2	18.1	19.0
平成8年に「らい予防法」が廃止された	34.9	41.3	33.0
ハンセン病国賠訴訟で原告が勝訴した	59.3	67.4	66.0
患者・家族への差別があった	77.9	75.4	76.0
入所者の社会復帰が困難である	66.3	71.0	63.0
社会復帰支援員が活動している	8.1	11.6	10.0
入所者との交流活動が行われている	36.0		29.0
昭和63年に邑久長島大橋がかけられた	45.3	31.9	30.0

○若年者層と高齢者層では前回調査時よりも認知割合が若干低下（徐々に忘れていく）

人は一度学んでも（覚えても）再度学習する機会がないと徐々に忘れていく。こうした傾向が表れているのが、若年者層と高齢者層である（30才代～60才代ではこうした傾向はほとんどみられない）。

今回調査時の20～24才（前回調査時にはその大部分が15～19才に属していた）の5年間の認知度の変化をみると、14項目中8項目で認知割合が若干低下している。同様に、今回調査時の75才以上（前回調査時には70才以上）では14項目中12項目で認知割合が若干低下している。両者とも項目によっては10%ポイント以上低下している。

20～24才と75才以上のハンセン病の認知状況（知っている人の割合）

	前回調査	今回調査	前回調査	今回調査	単位：%
	15～19才	20～24才	70才以上	75才以上	
どのような病気であるか	35.2	30.0	61.6	49.6	
非常に感染力の弱い感染症である	69.4	57.9	52.5	51.3	
後遺症もなくなおる病気である	55.1	47.4	69.4	65.1	
患者が強制隔離されていた	76.1	78.0	90.7	83.3	
療養所が岡山県にある	55.8	56.0	91.6	89.5	
療養所からの退所規定がなかった	46.4	52.0	58.0	60.5	
結婚の時に断種が条件とされていた	31.2	33.0	43.3	41.2	
軽症患者が半強制的に作業をさせられていた	18.1	19.0	21.5	21.9	
平成8年に「らい予防法」が廃止された	41.3	33.0	65.1	56.1	
ハンセン病国賠訴訟で原告が勝訴した	67.4	66.0	87.5	69.3	
患者・家族への差別があった	75.4	76.0	85.3	82.9	
入所者の社会復帰が困難である	71.0	63.0	74.4	68.0	
社会復帰支援員が活動している	11.6	10.0	30.2	20.2	
昭和63年に邑久長島大橋がかけられた	31.9	30.0	83.7	82.0	

○地域別には岡山南東部の認知割合が若干高い

地域別に認知状況を見ると、岡山南東部では 15 項目中 12 項目で平均を上回る認知状況となっており、総じて他地域に比べてハンセン病について知っている人が多い。他方、岡山北部では 15 項目中 13 項目で平均を下回る認知状況となっており、総じて他地域に比べて認知割合が小さくなっている。

地域別にみたハンセン病の認知状況（知っている人の割合）単位：%

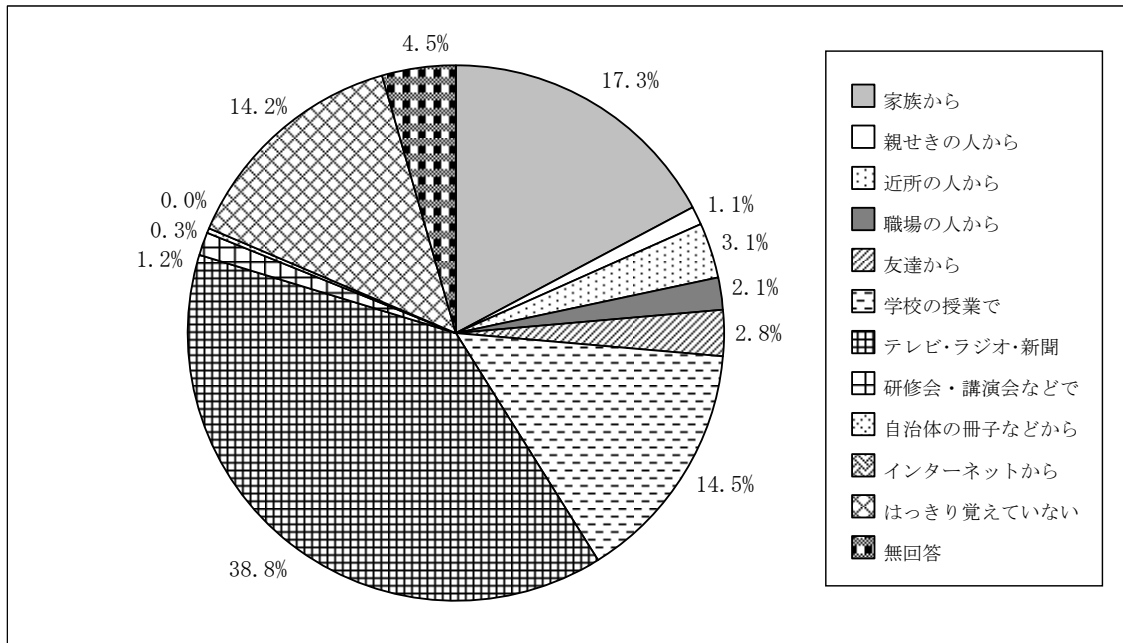
	岡山南東部	岡山南西部	岡山北部
どのような病気であるか	46.5	42.2	43.1
非常に感染力の弱い感染症である	67.5	62.5	58.8
後遺症もなくなおる病気である	65.3	62.5	66.1
患者が強制隔離されていた	91.6	89.8	87.1
療養所が岡山県にある	88.3	85.7	83.4
療養所からの退所規定がなかった	63.0	63.6	63.4
結婚の時に断種が条件とされていた	52.2	48.3	44.1
軽症患者が半強制的に作業をさせられていた	31.2	26.5	24.7
平成8年に「らい予防法」が廃止された	60.1	60.2	56.9
ハンセン病国賠訴訟で原告が勝訴した	79.0	82.0	75.9
患者・家族への差別があった	87.8	87.2	82.9
入所者の社会復帰が困難である	79.8	77.4	76.6
社会復帰支援員が活動している	16.9	17.1	16.6
入所者との交流活動が行われている	41.5	40.7	36.3
昭和63年に邑久長島大橋がかけられた	74.6	68.9	65.8

注：網掛けは、平均を上回っているものを示す

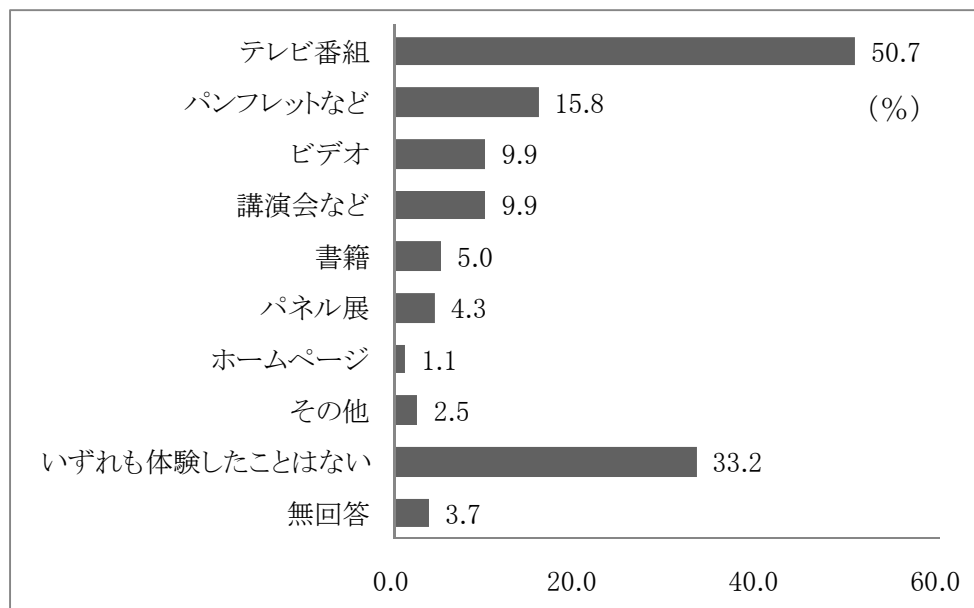
○テレビ・ラジオ・新聞・本などからハンセン病を知った人が多い

ハンセン病という病名を知ったソース（情報源）は「テレビ・ラジオ・新聞・本などから」が38.8%で最も多く、次いで「家族から」17.3%、「学校の授業で」14.5%の順である。また、岡山県が実施しているハンセン病対策事業の中で実際に見たもの、行ったことがあるものを尋ねたところ、「テレビ番組」が最も多く50.7%、次いで「パンフレットなど」15.8%、「ビデオ」9.9%、「講演会など」9.9%の順である。多くの人に知ってもらう手段としてはテレビなどのマスコミを活用することが効果的であると考えられる。

「ハンセン病」という病名をだれ（何）から知ったか



実際に体験したことのあるハンセン病に関する岡山県の事業

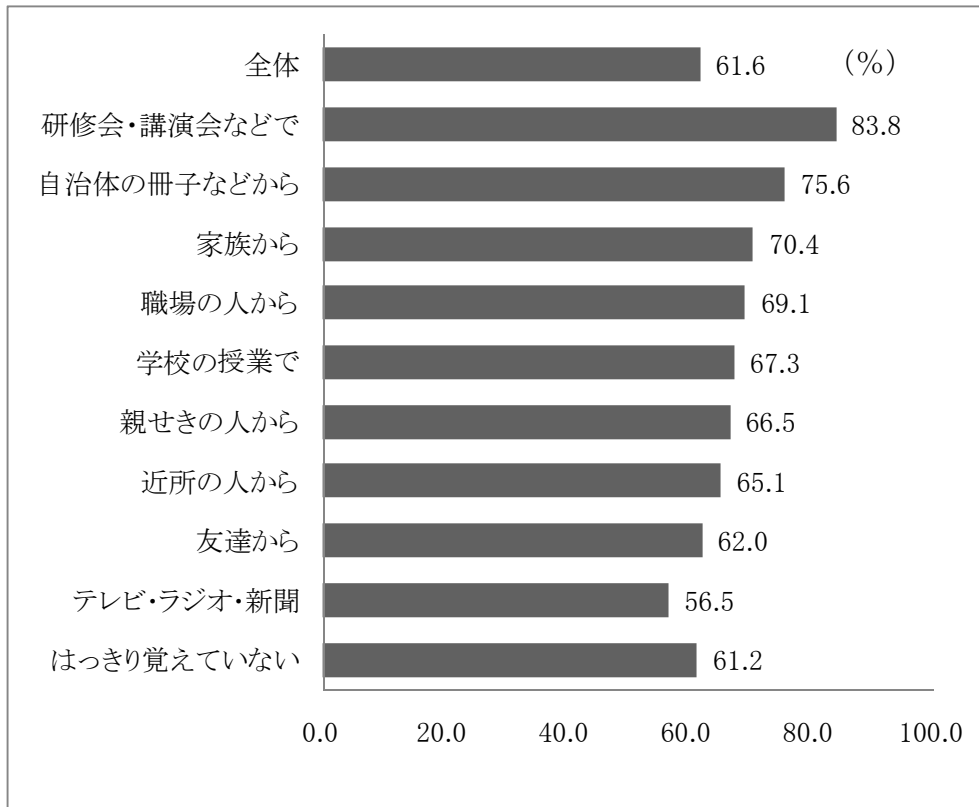


○研修会・講演会や自治体の冊子などから知った人は、多くの事柄を知っている

ハンセン病の認知状況について病名を知った相手別にみると、「研修会・講演会などで」知った人や、「県や市町村の広報紙や冊子などから」知った人は、ハンセン病について様々な事柄を知っている（覚えている）。研修会・講演会や自治体の冊子などからハンセン病の名前を知った人は少ないものの、研修会・講演会や自治体の冊子などは「詳細に知ってもらう」「いつまでも内容を覚えておいてもらう」手法としては、効果的であると思われる。

他方、「テレビ・ラジオ・新聞・本などから」ハンセン病について知った人は、ハンセン病について一部の事柄しか知らない（覚えていない）ようである。マスコミ等を通じた啓発事業は、一度に多くの人に知ってもらう上では効果的であるが、「詳細に知ってもらう」「いつまでも内容を覚えておいてもらう」手法として活用する際には、今後は工夫が必要と思われる。

病名を知った相手別にみた「ハンセン病について様々な情報を知っている人」の割合

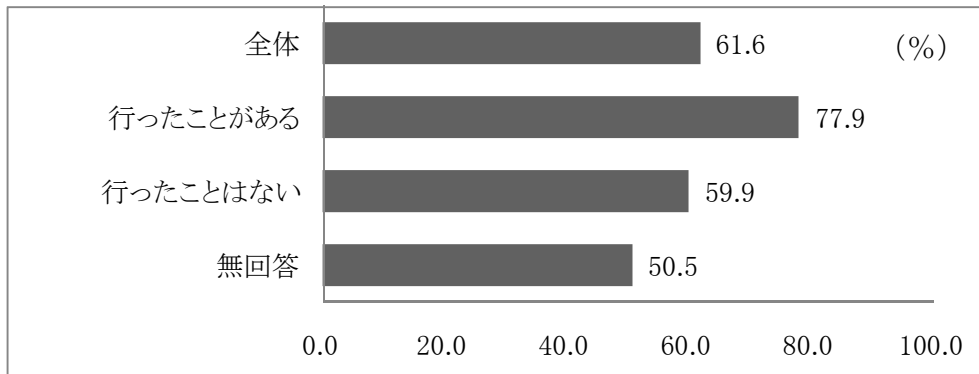


注：病名を知った相手別に、問4～問14、問16～問19の15問について「知っている人」の割合の平均値を算出したもの。

○ハンセン病療養所へ行ったことがある人は、多くの事柄を知っている

ハンセン病の認知状況についてハンセン病療養所へ行った経験の有無別にみると、「行ったことがある」人は、ハンセン病について様々な事柄を知っている（覚えている）。ハンセン病療養所への訪問機会を増やすことは、ハンセン病について「詳細に知ってもらう」「いつまでも内容を覚えておいてもらう」手法としては、効果的であると思われる。

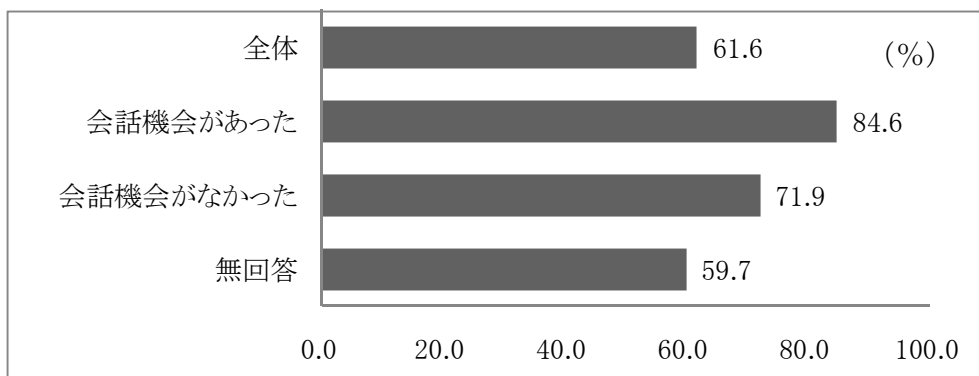
ハンセン病療養所へ行った経験の有無別にみた「ハンセン病について様々な情報を知っている人」の割合



注：療養所へ行った経験の有無別に、問4～問14、問16～問19の15問について「知っている人」の割合の平均値を算出したもの。

さらに、ハンセン病療養所入所者との会話機会の有無別にみると、「会話機会があった」人は、「会話機会がなかった」人に比べてハンセン病について様々な事柄を知っている（覚えている）割合がやや大きい。ハンセン病療養所への訪問機会を増やすことに加えて、療養所入所者との会話（交流）機会を増やすことは、ハンセン病について「詳細に知ってもらう」「いつまでも内容を覚えておいてもらう」手法としては、非常に効果的であると思われる。

ハンセン病療養所訪問時の療養所入所者との会話機会の有無別にみた「ハンセン病について様々な情報を知っている人」の割合



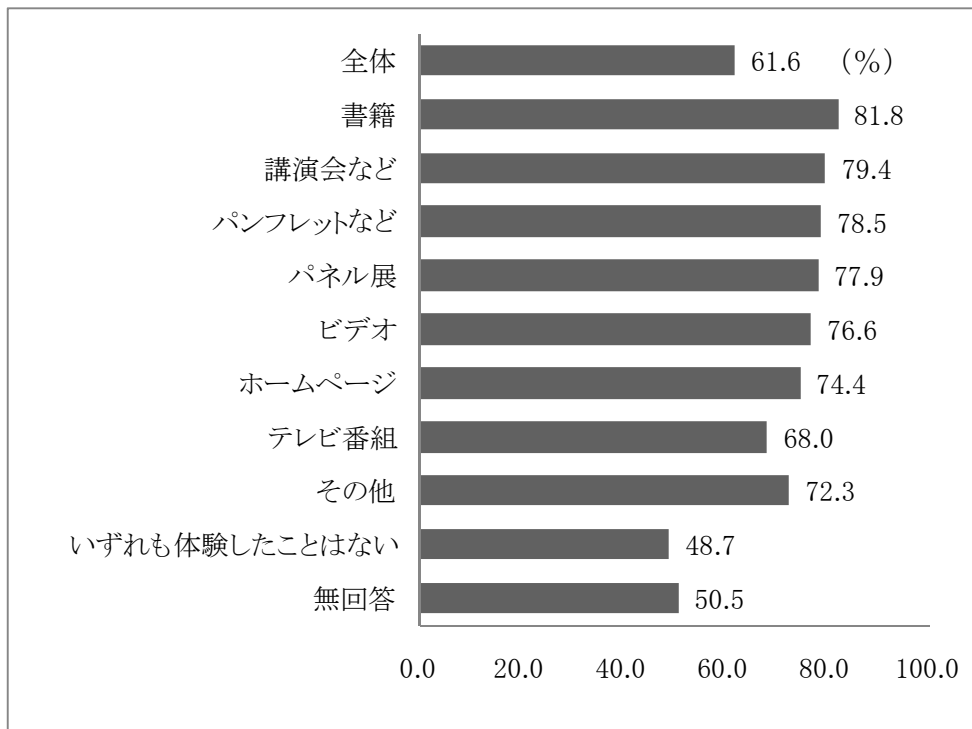
注：療養所入所者との会話機会の有無別に、問4～問14、問16～問19の15問について「知っている人」の割合の平均値を算出したもの。

○岡山県が実施しているハンセン病対策事業を体験したことがある人は、多くの事柄を知っている

ハンセン病の認知状況について、岡山県のハンセン病対策事業の体験状況別にみると、「書籍」を読んだことがある人、「講演会など」を聞いたことがある人、「パンフレットなど」を見たことがある人など、岡山県のハンセン病対策事業の中でいずれかを体験したことがある人は、それらを体験したことがない人に比べて、ハンセン病について様々な事柄を知っている（覚えている）。

このことから、これまで岡山県が実施してきたハンセン病対策事業すべてが、啓発事業としての効果を上げていることが分かる。

岡山県のハンセン病対策事業の体験状況別にみた「ハンセン病について様々な情報を知っている人」の割合



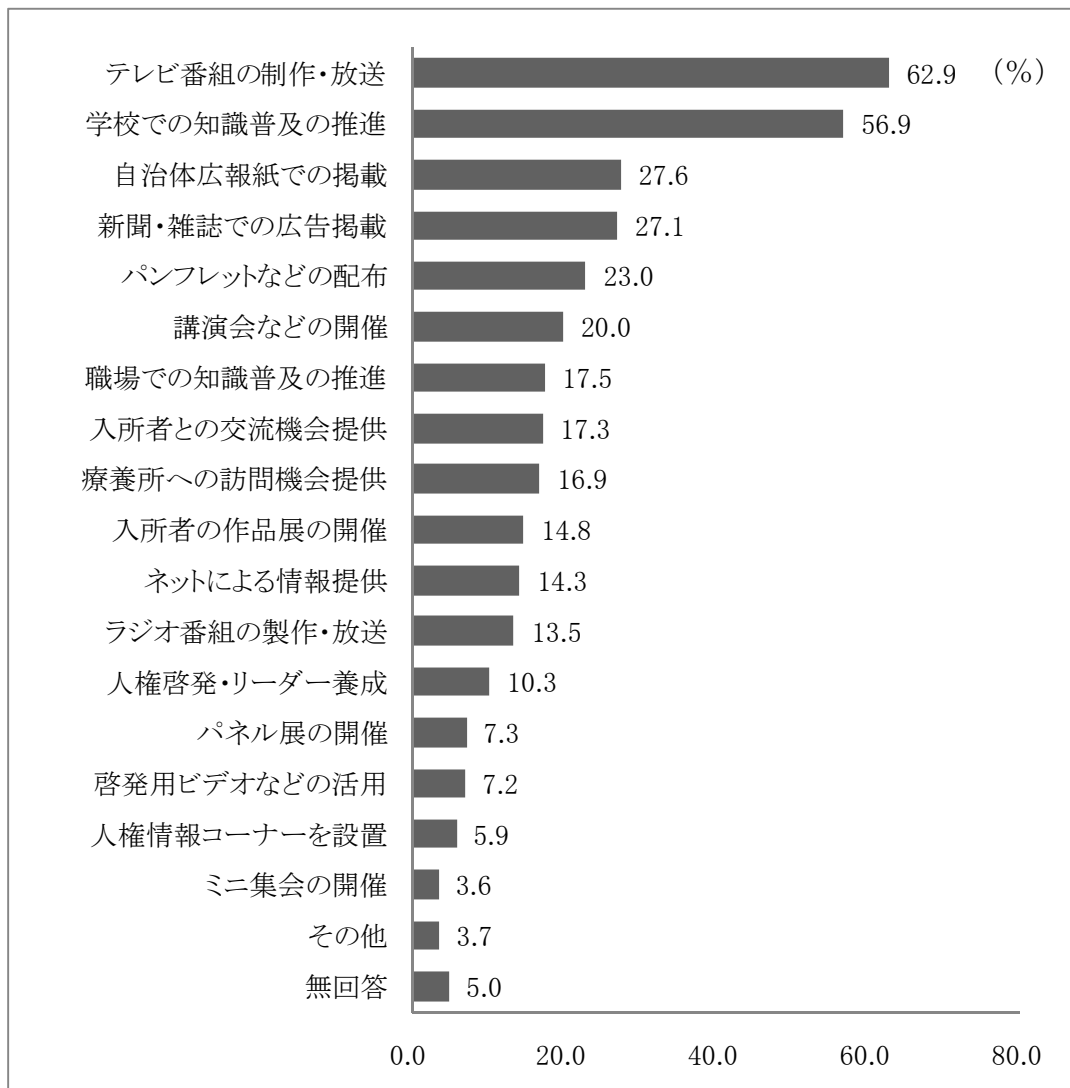
注：県のハンセン病対策事業の体験状況別に、問4～問14、問16～問19の15問について「知っている人」の割合の平均値を算出したもの。

○今後望まれている施策は「テレビ番組の制作・放送」「学校での知識普及の推進」など

今後望まれる岡山県のハンセン病対策事業としては、「テレビ番組の制作・放送」と「学校での知識普及の推進」が特に多いほか、「県や市町村の広報紙での記事の掲載」、「新聞・雑誌での広告記事の掲載」、「パンフレットなどの配布」、「講演会などの開催」など、多様な施策の展開が望まれている。

誤った知識・考えを持っている人に正しい理解をしてもらうこと、ハンセン病を知らない若者世代に事実を正確に伝えることによって同じような被害を二度と生じさせないことが望まれている。そのための手段としてテレビ番組、学校教育、自治体広報紙、新聞などを通じて幅広い層に働きかけていくとともに、講演会や入所者との交流、療養所への訪問などにより詳細な理解を進めていくことが要望されており、それらを通じて偏見や差別を無くしていくことが望まれている。

今後望まれる岡山県のハンセン病対策事業



○ハンセン病について「知っている」人のタイプは、「小中学生時に初めて聞いた人」「年齢が45才以上の人」「研修会・講演会などで知った人」「療養所へ行ったことがある人」（総合分析結果）

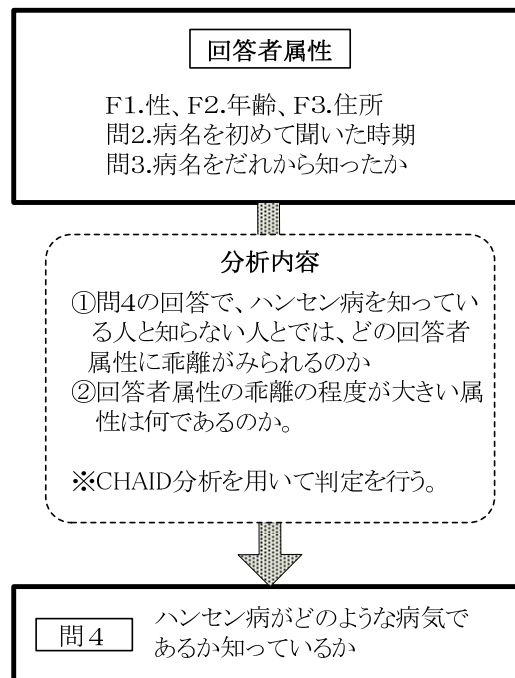
これまで様々な角度からアンケート調査結果について検討を加えてきたが、最後に、ハンセン病について「知っている人」は、どのようなタイプの人であるかを明らかにし、今後のハンセン病対策事業の参考とすることとする。

<分析1> 「回答者属性」と「問4. ハンセン病がどのような病気か知っているか」の関係

「問4. ハンセン病がどのような病気であるか知っていますか」に対する回答が、回答者の属性によってどれだけ乖離^{かいり}するのか、あるいはまた、乖離^{かいり}の程度が大きい属性が何であるのかをCHAID分析¹により明らかにすることとした。

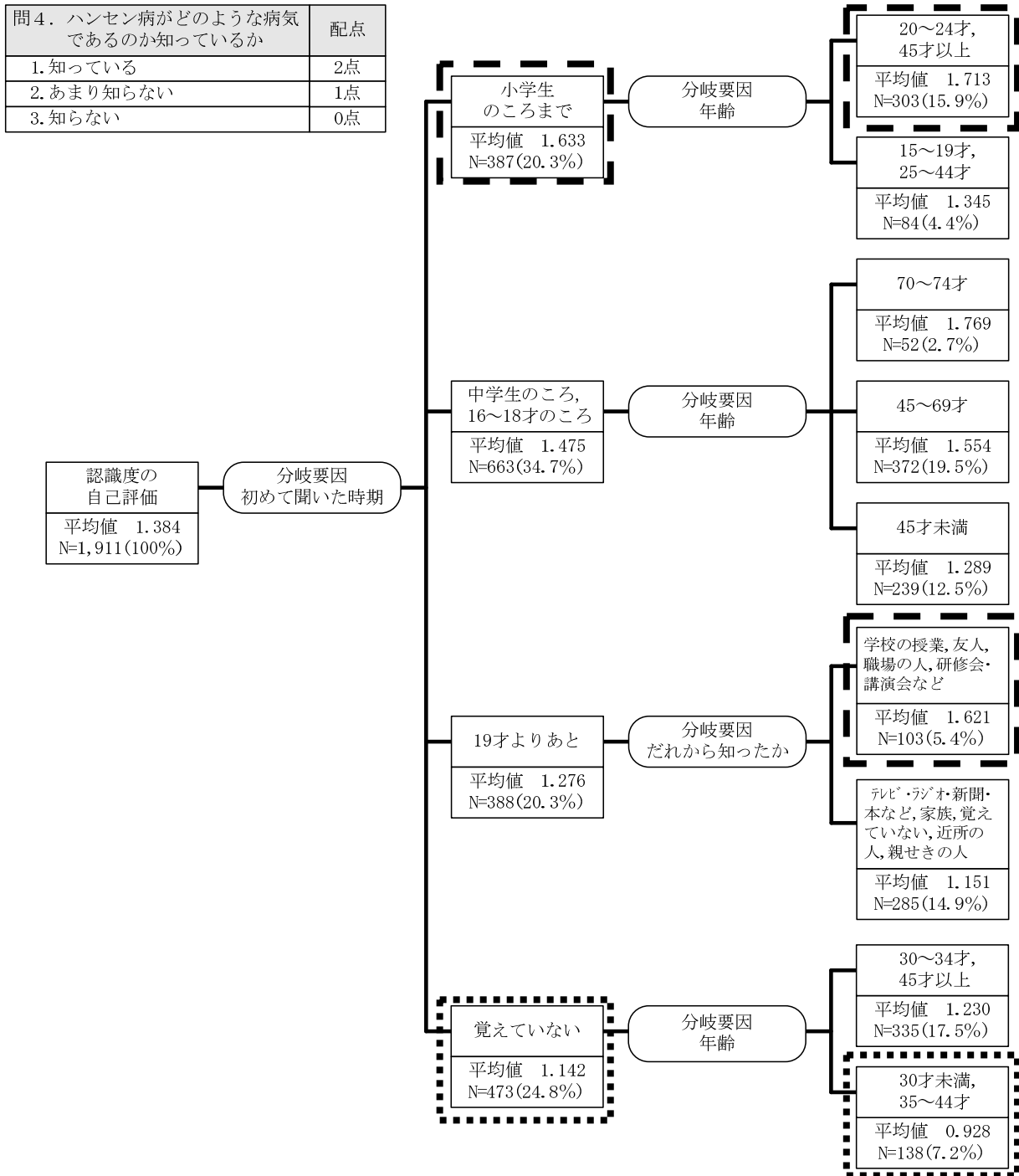
回答者属性としては「性」、「年齢」、「住所」、「問2. 病名を初めて聞いた時期」、「問3. 病名をだれ（何）から知ったか」、の5項目を想定した。なお、この分析では、①分析2の事前分析として実施していること、②回答者属性が問4の回答へ及ぼしている影響度合をみていることから、回答者数の少ない「問20. 療養所へ行ったことがあるか」を除いた方がよいと考えられる。従って、回答者属性に「問20. 療養所へ行ったことがあるか」を含めていない。

分析1の概要



¹ CHAID (Chi-squared Automatic Interaction Detector) 分析とは、特定の変数（本分析では問4）の違いが最も大きくなるような要因（本分析では回答者属性）を特定し、その要因ごとにサンプルを分割していく分析手法である。これを繰り返し実施することにより、要因（本分析では回答者属性）を順序づけるものである。読み方は「カイド」、または「チェイド」と読まれることも多い。

分析 1 (CHAID 分析) の結果



結果をみると、「問 4. ハンセン病がどのような病気であるか知っていますか」に対しては、「初めて聞いた時期」「年齢」「だれ（何）から知ったか」の順に効いている。全体的に「知っている」人の割合が高い傾向にあるのは、「初めて聞いた時期が早い」、「年齢がおおむね 45 才以上の回答者」、「初めて聞いた時期が 19 才よりあとでも、学校の授業、友人、職場の人、研修会・講演会などで知った場合」などである。

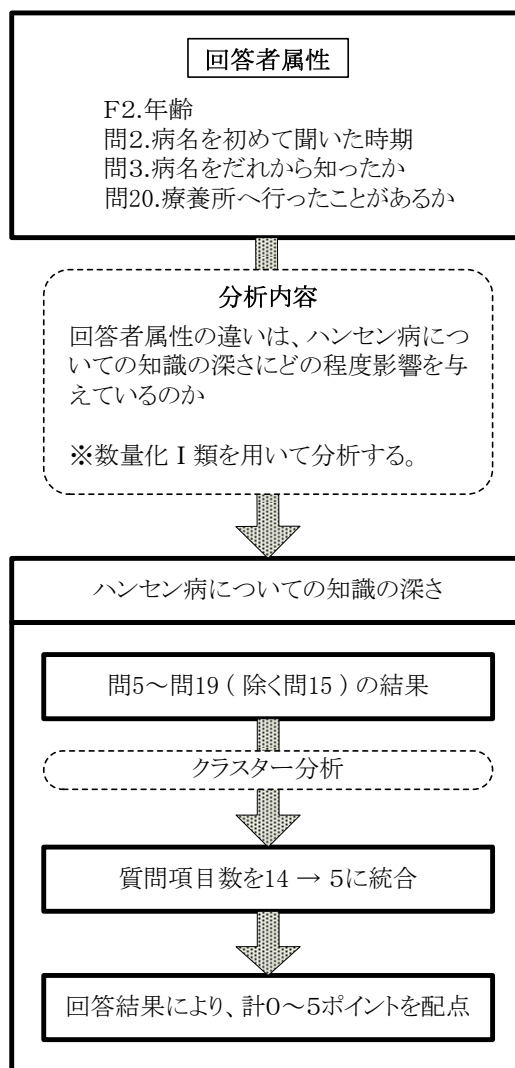
この結果から、ハンセン病についての普及を図るには、小中学生の頃に授業で教えることや、成人を対象とする場合には口コミや研修会・講演会などが効果的であることが分かる。

<分析2> 「回答者属性」と「ハンセン病についての知識の深さ（問5～14、問16～19）」の関係

ハンセン病に関する具体的な知識について質問している問5～問14および問15～問19において、「知っている」の回答数はハンセン病についての知識の深さを表す指標の1つとみなすことができる。そこで、この指標に対して、回答者の属性がどの程度の影響を与えているのかを数量化I類²を用いて分析した。

回答者属性としては、「年齢」、「問2.病名を初めて聞いた時期」、「問3.病名をだれ（何）から知ったか」、「問20.療養所へ行ったことがあるか」の4項目を想定した。なお、分析1の結果から、回答者属性として「性」、「住所」は含めないこととした。また、分析1の結果をもとに回答者属性の一部については質問項目の統合を行って分析した。

分析2の概要



² カテゴリー変数（本分析では「回答者属性」）が、数量変数（本分析では「ハンセン病についての知識の深さ」）にどの程度の影響を与えているのかを、分析対象とするカテゴリー変数ごとに推計する手法。

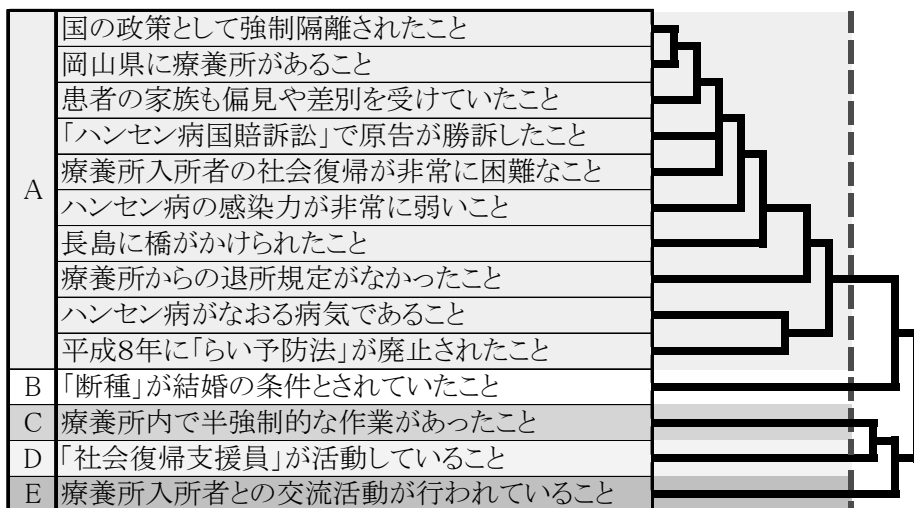
■ 「ハンセン病の知識の深さ」の得点化（数量化Ⅰ類による分析のための事前分析）

ハンセン病についての知識を質問している問5～14 および問16～19（計14の質問項目）には、回答傾向が類似する質問がある。質問ではハンセン病についての知識を細分化して聞いているが、知識の深さを得点化する場合、各質問で「知っている」と回答した場合にそのまま1点を配点することは適切ではない。回答傾向が類似する質問は一定の基準で統合することにより、知識の深さをより適切に捉えることができる。

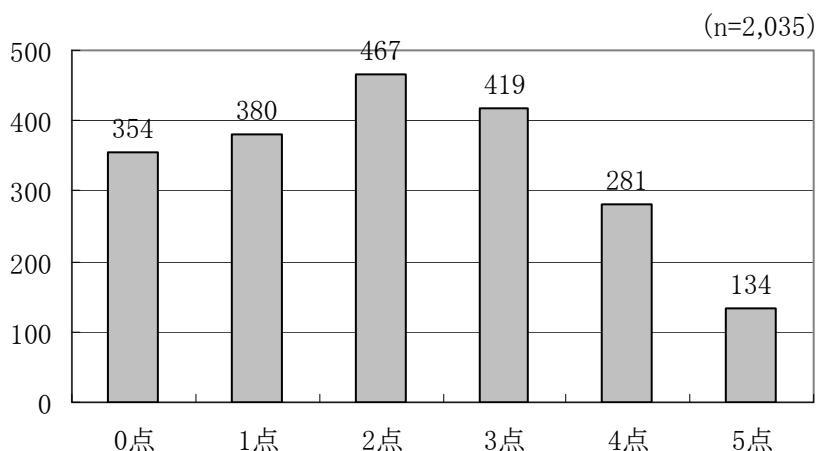
そこで本分析ではクラスター分析³を用いて、14の質問項目を新しい5つの区分に統合した。うち1つの区分は10の質問項目を統合してできるが、それら質問項目について「知っている」と回答した数が10問のうち6問以上の場合に、統合後の新しい区分に1点の配点を行った。

残る4区分については、1つずつの質問項目に対応するので、「知っている」と回答している場合に1点の配点を行った。結果として5区分として分析を行ったことから、ここでの得点分布は0～5点となった。

問5～問14 および問15～問19のクラスター分析による樹形図

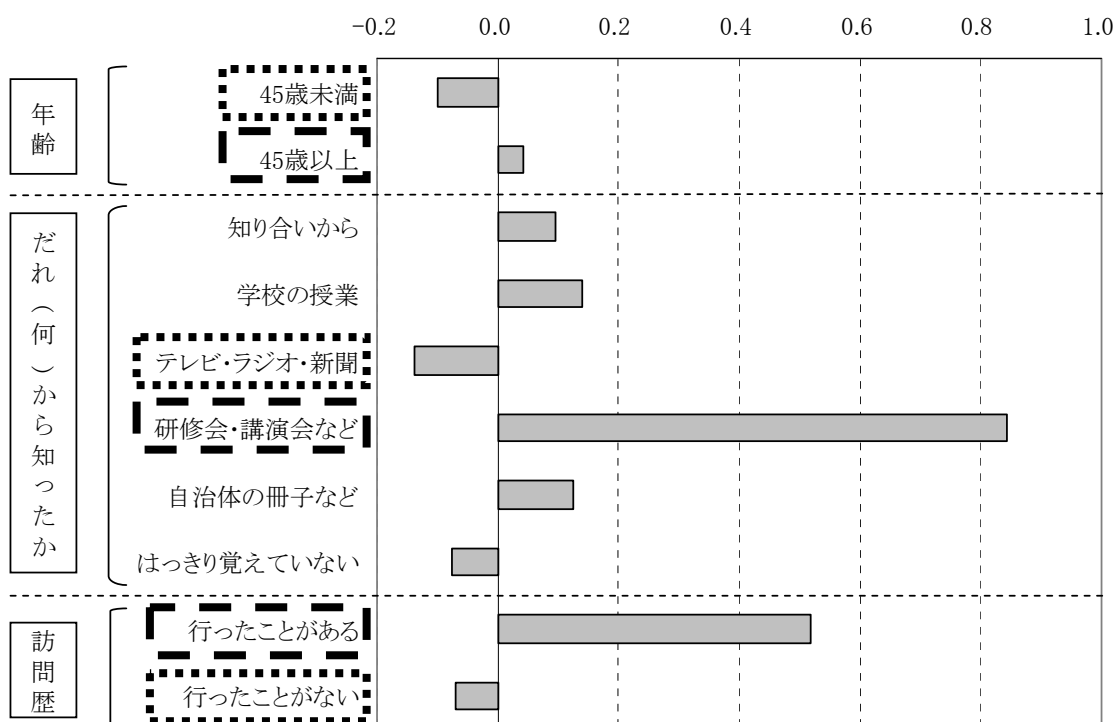


「ハンセン病についての知識の深さ」の得点分布



³ 異なる特性が混合している集団（本節では問5～問14、問15～問19）を、特性の類似性（本節では質問項目に対する回答傾向）を基準に区分し集団（クラスター）を作ることによって分類を行う方法。

分析2（数量化I類による分析）の結果①
「回答者属性」が「知識の深さの得点」に与える加減点① (点)



「回答者属性」が「知識の深さの得点」に与える加減点①

回答者属性	サンプル数	加減点	平均値
45歳未満	473	-0.10	2.48
45歳以上	1,139	0.04	2.64
知り合いから	481	0.10	2.74
学校の授業	259	0.14	2.73
テレビ・ラジオ・新聞	604	-0.14	2.41
研修会・講演会など	23	0.84	3.57
自治体の冊子など	6	0.13	2.67
はっきり覚えていない	239	-0.08	2.53
行ったことがある	190	0.52	3.19
行ったことがない	1,422	-0.07	2.51
定数項	1,612	2.59	

得点化した「知識の深さ」に対して与える影響力の大きさを、回答者属性の「年齢」、「だれ(何)から知ったか」、「療養所へ行ったことがあるか」の3項目について推計した。

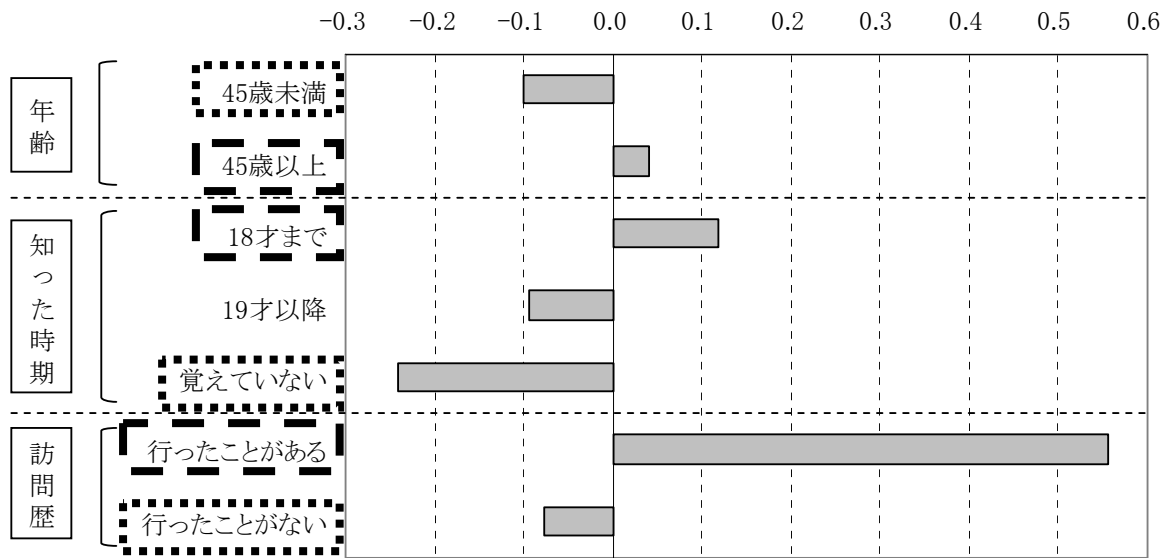
分析結果をみると、「知識の深さ」の得点が最も高くなるのは「年齢が45歳以上」、「研修会・講演会などで知った」、「療養所に行ったことがある」の組合せであり、特に「研修会・講演会などで知った」人と、「療養所に行ったことがある」人は、ハンセン病について詳しく知っている（知識が深い）。

この結果から、ハンセン病について詳しく知ってもらうには、研修会・講演会の実施や、療養所訪問機会の拡大が効果的であることが分かる。また、この分析結果は、幅広い層に知ってもらう手段としての「テレビ・ラジオ・新聞」などの効果を軽視するものではない。

分析2（数量化I類による分析）の結果②

「回答者属性」が「知識の深さの得点」に与える加減点②

(点)



「回答者属性」が「知識の深さの得点」に与える加減点②

回答者属性	サンプル数	加減点	平均値
45歳未満	481	-0.10	2.48
45歳以上	1,158	0.04	2.64
18才まで	973	0.12	2.72
19才以降	314	-0.09	2.52
覚えていない	352	-0.24	2.32
行ったことがある	198	0.56	3.18
行ったことがない	1,441	-0.08	2.52
定数項	1,639	2.60	

次に、得点化した「知識の深さ」に対して与える影響力の大きさを、回答者属性の「年齢」、「初めて聞いた時期」、「療養所へ行ったことがあるか」の3項目について推計した。なお、この分析で「だれ（何）から知ったか」と「初めて聞いた時期」を同時に扱わなかったのは、両者の間に高い相関がみられるために、同時に扱うことは不適切と判断したためである。

分析結果をみると、「知識の深さ」の得点が最も高くなるのは「年齢が45歳以上」、「18才までに聞いた」、「療養所に行ったことがある」の組合せであり、特に「療養所に行ったことがある」人と、「18才までに聞いた」人は、ハンセン病について詳しく知っている（知識が深い）。

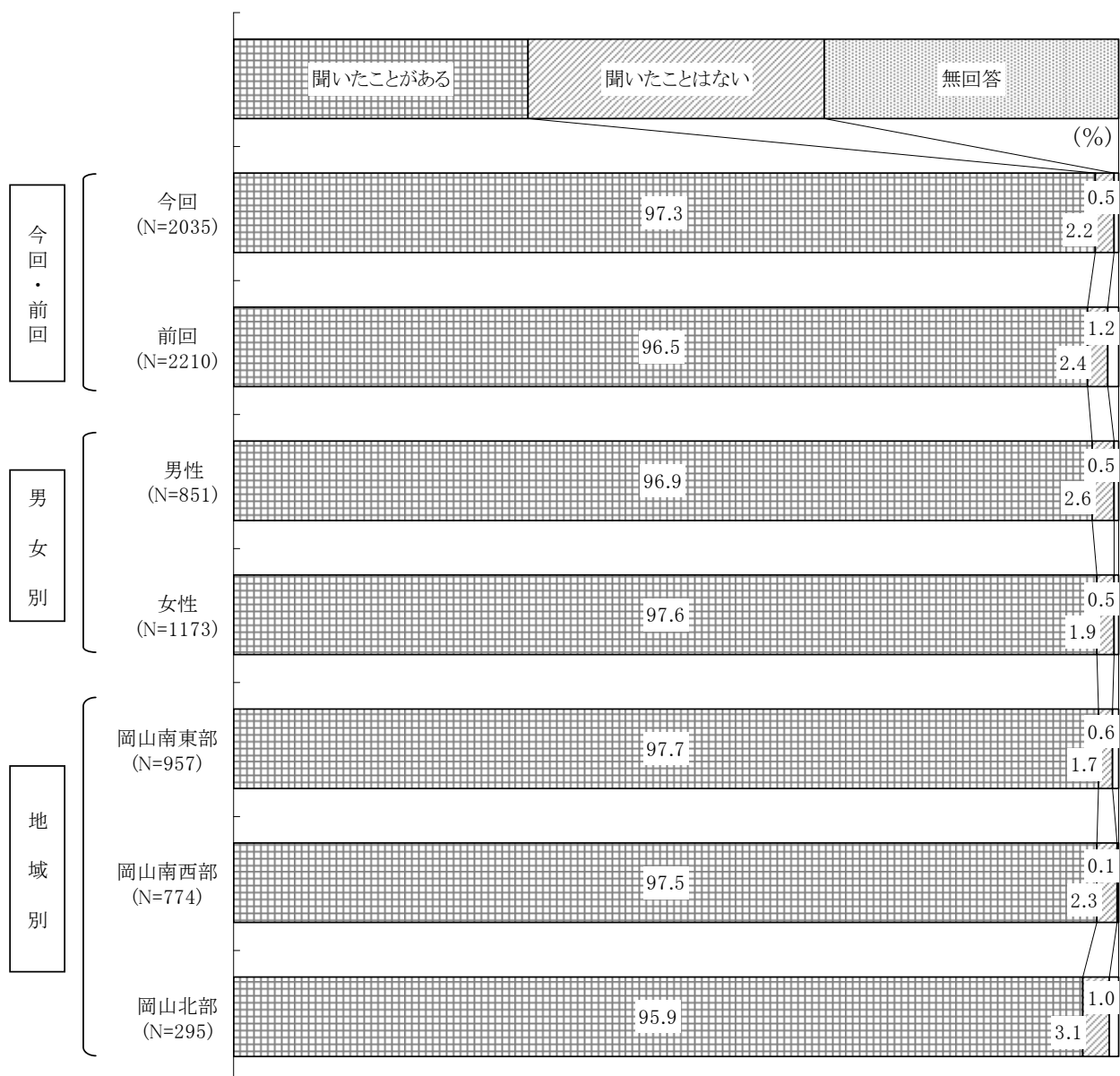
この結果から、ハンセン病について詳しく知ってもらうには、療養所訪問機会の拡大や、若年層を対象に普及を図ることが効果的であることが分かる。

Ⅲ. 調査結果の詳細

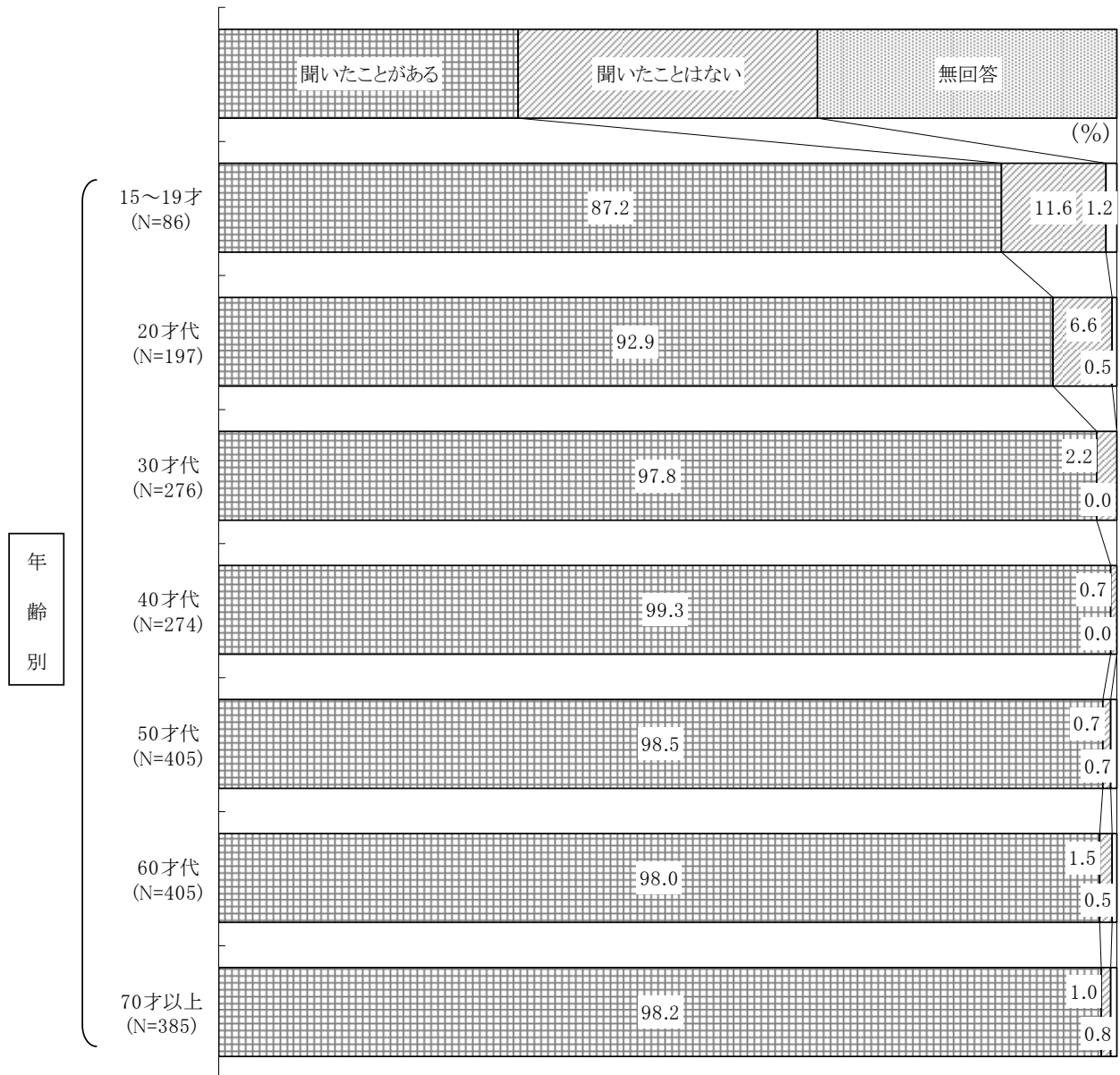
1. 「ハンセン病」病名認知状況

問. あなたは「ハンセン病(らい)」という病気の名前を聞いたことがありますか。(どちらかに○)

- ・ハンセン病の病名を知っている人の割合は 97.3%と大きく、15 才以上の県民のほとんどすべてが病名を知っている。前回調査結果（全体での認知割合は 96.5%）と比較すると、概ね同程度の割合となっており、大きな変化はみられない。
- ・男女別、地域別には差はみられない。



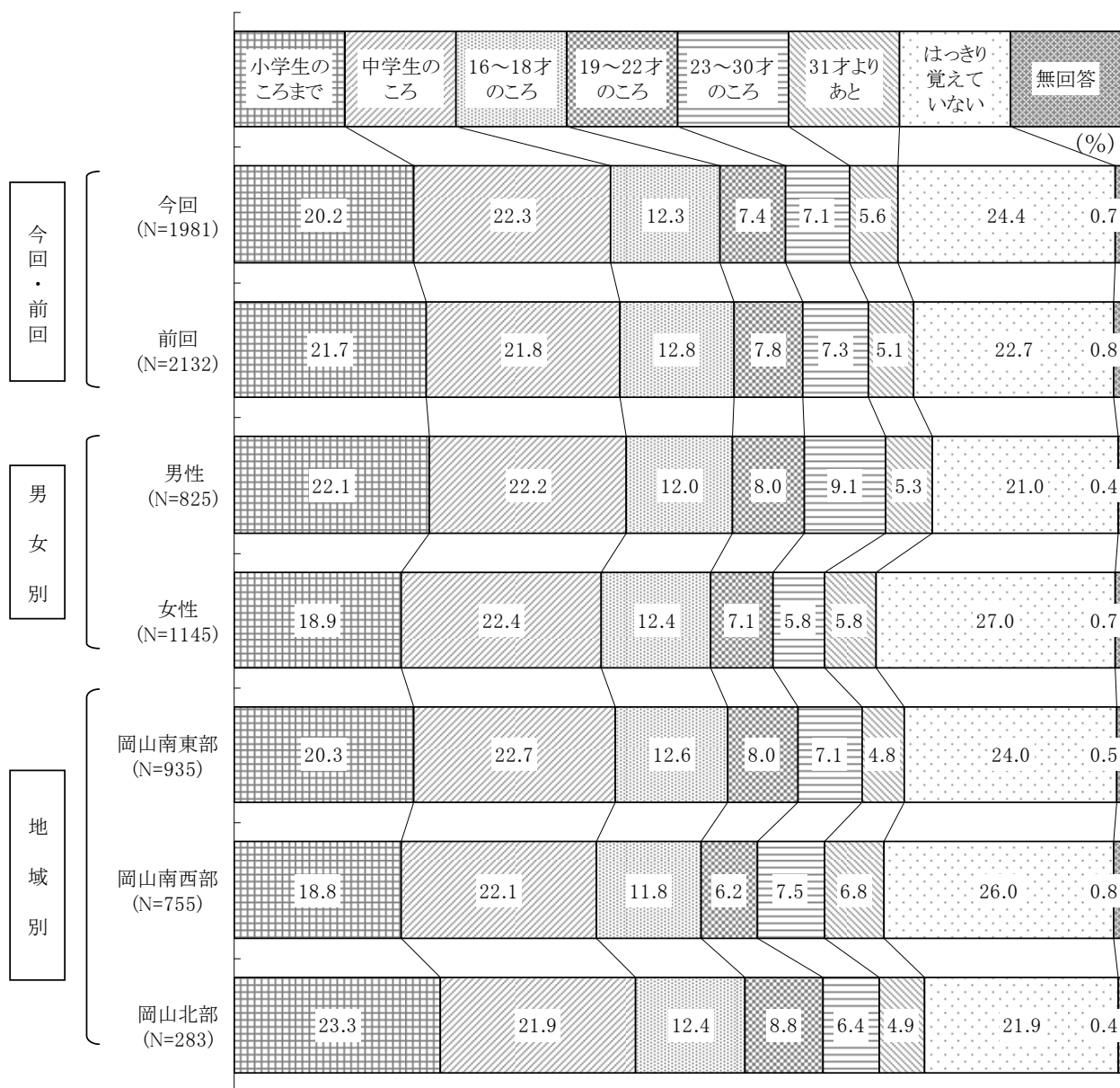
- ・年齢別にみると、15～19才の認知割合が87.2%となるなど、30才代以下では年齢が若くなるにつれて認知割合がやや小さくなる傾向がみられる。
- ・前回調査以降の年齢コーホート別の変化をみると、20～24才では認知割合が前回の88.4%から今回は93.0%に若干高まっている（参考資料 p87 を参照）。



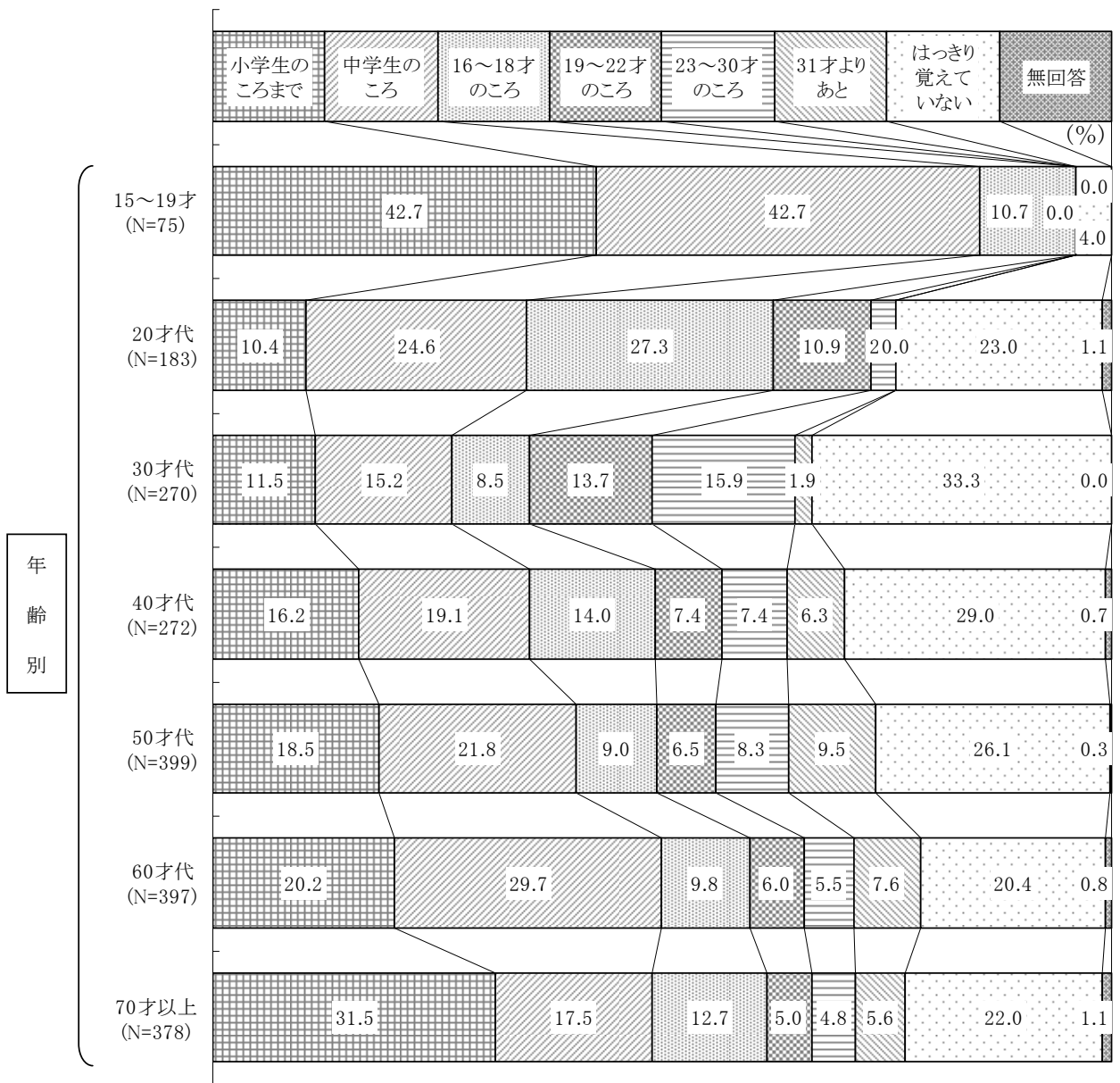
2. 「ハンセン病」を初めて知った時期

問. あなたがハンセン病という病気の名前を初めて聞いたのはいつごろですか。(ひとつだけに○)

- ・「ハンセン病」という病名を聞いたことがある人に初めて聞いた時期を尋ねたところ、「中学生のころ」が最も多く 22.3%、次いで「小学生のころまで」20.2%、「16才～18才のころ」12.3%の順である。「覚えていない」人と無回答の人を除くと 73.1%の人が 18 才のころまでに病名を聞いている。
- ・前回調査結果と比較すると、概ね同様の結果となっており、大きな違いはみられない。
- ・男女別にみると、女性では男性に比べて「覚えていない」人が多くなっている。
- ・地域別には大きな差はみられない。



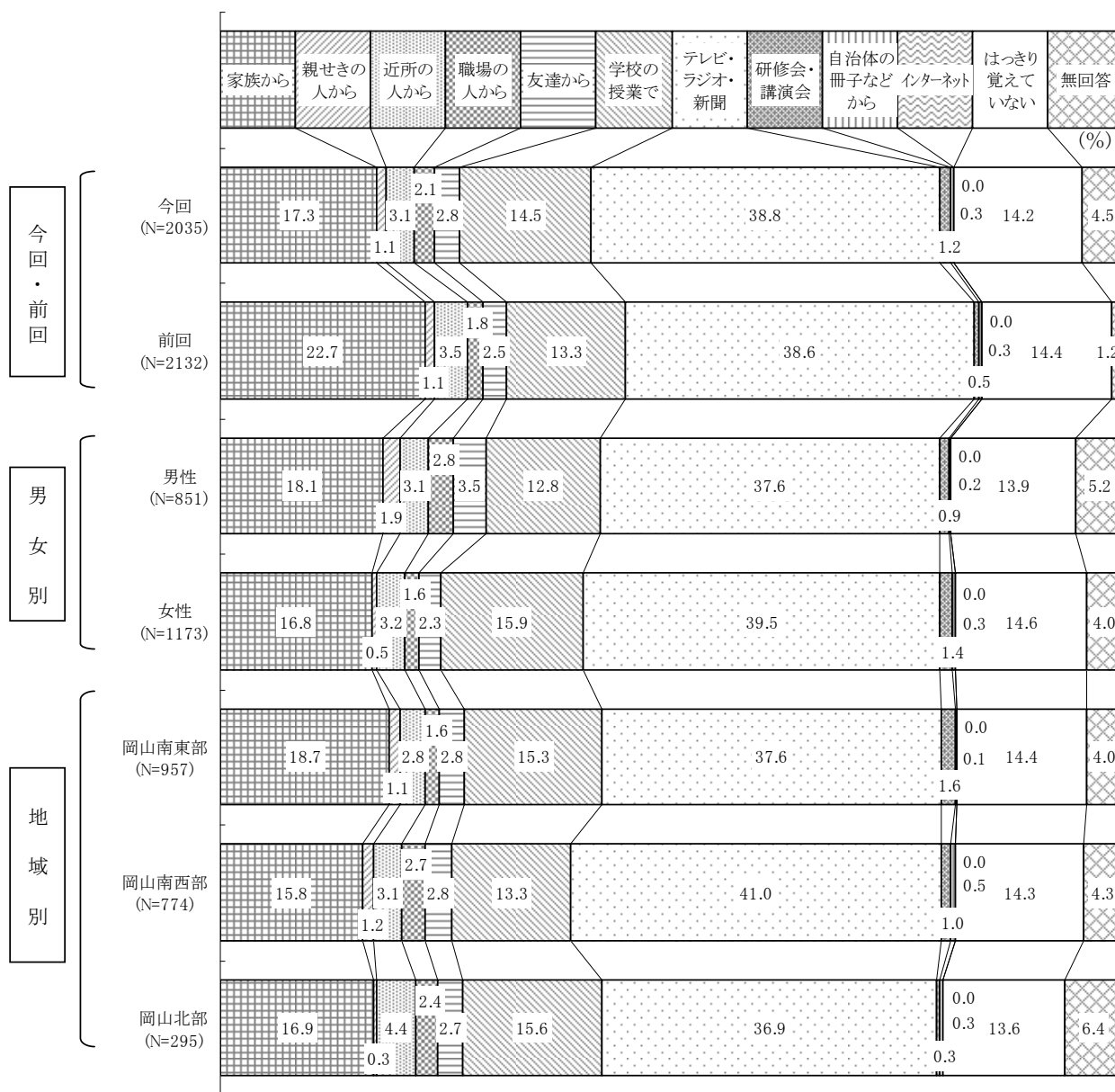
- ・年齢別にみると、「小学生のころまで」に聞いた人の割合は70才以上では31.5%であるが、徐々に小さくなって20才代では10.4%となり、その後増加に転じて15～19才では42.7%となっている。
- ・今回調査の15～19才では「小学生のころまで」に聞いた人の割合が42.7%となっているのに対し、前回調査の15～19才では9.8%となっており、この5年間で認知時期が早まっている（参考資料 p88 を参照）。



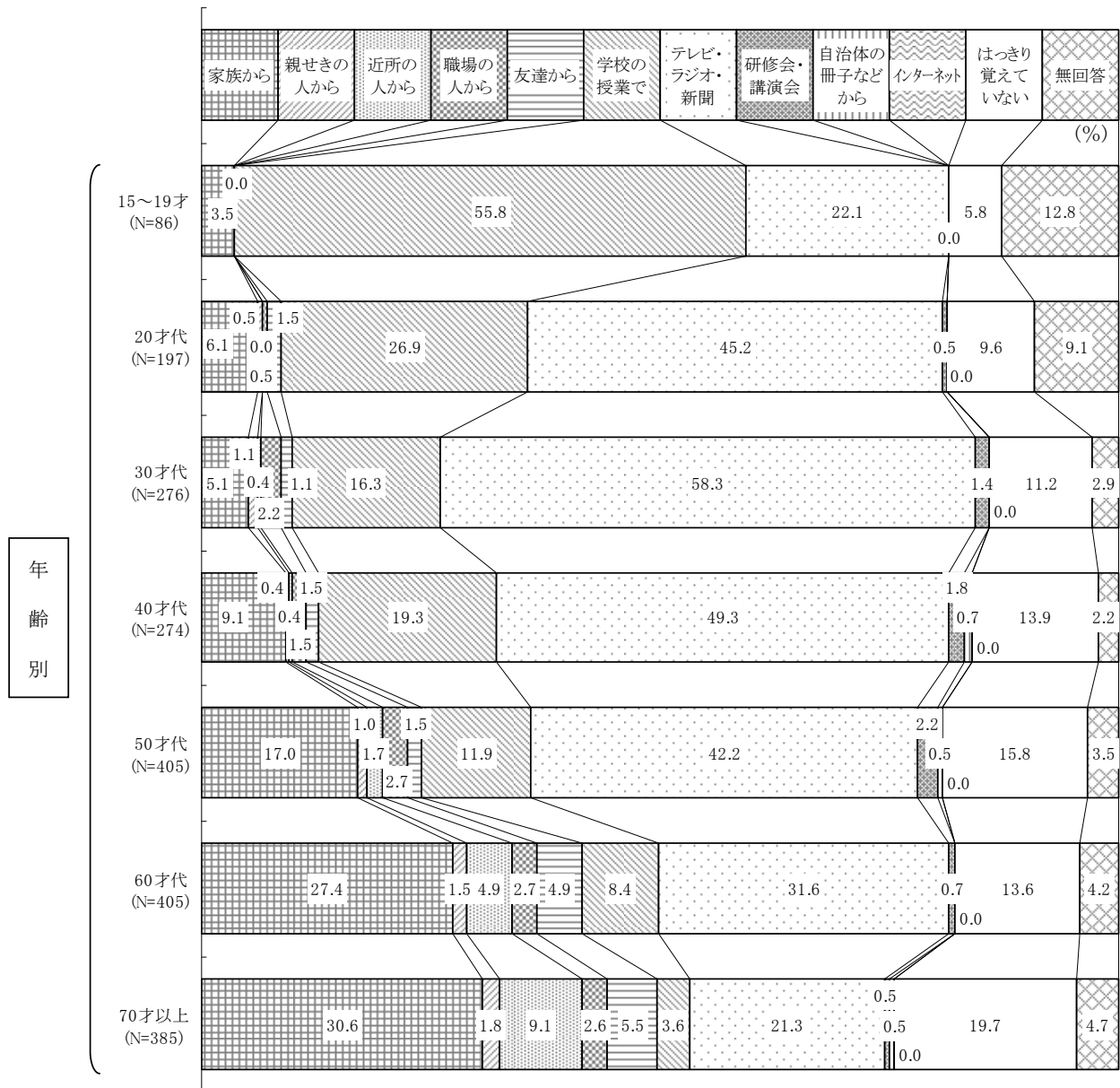
3. 「ハンセン病」という病名をだれ（何）から知ったか

問. あなたはハンセン病という病気の名前をだれ（何）から知りましたか。（ひとつだけに○）

- ・ハンセン病という病名を知った相手は、「テレビ・ラジオ・新聞・本などから」が最も多く 38.8%、次いで「家族から」17.3%、「学校の授業で」14.5%の順である。
- ・前回の調査結果と比較すると、「家族から」が前回の 22.7%から今回は 17.3%へ低下し、一方、「学校の授業で」が 13.3%から 14.5%へ、「研修会・講演会などで」が 0.5%から 1.2%へ増加している。
- ・男女別にみると、女性では男性に比べて「学校の授業で」がやや多くなっている。
- ・地域別にみると、岡山南西部では「テレビ・ラジオ・新聞・本などから」がやや多くなっている。



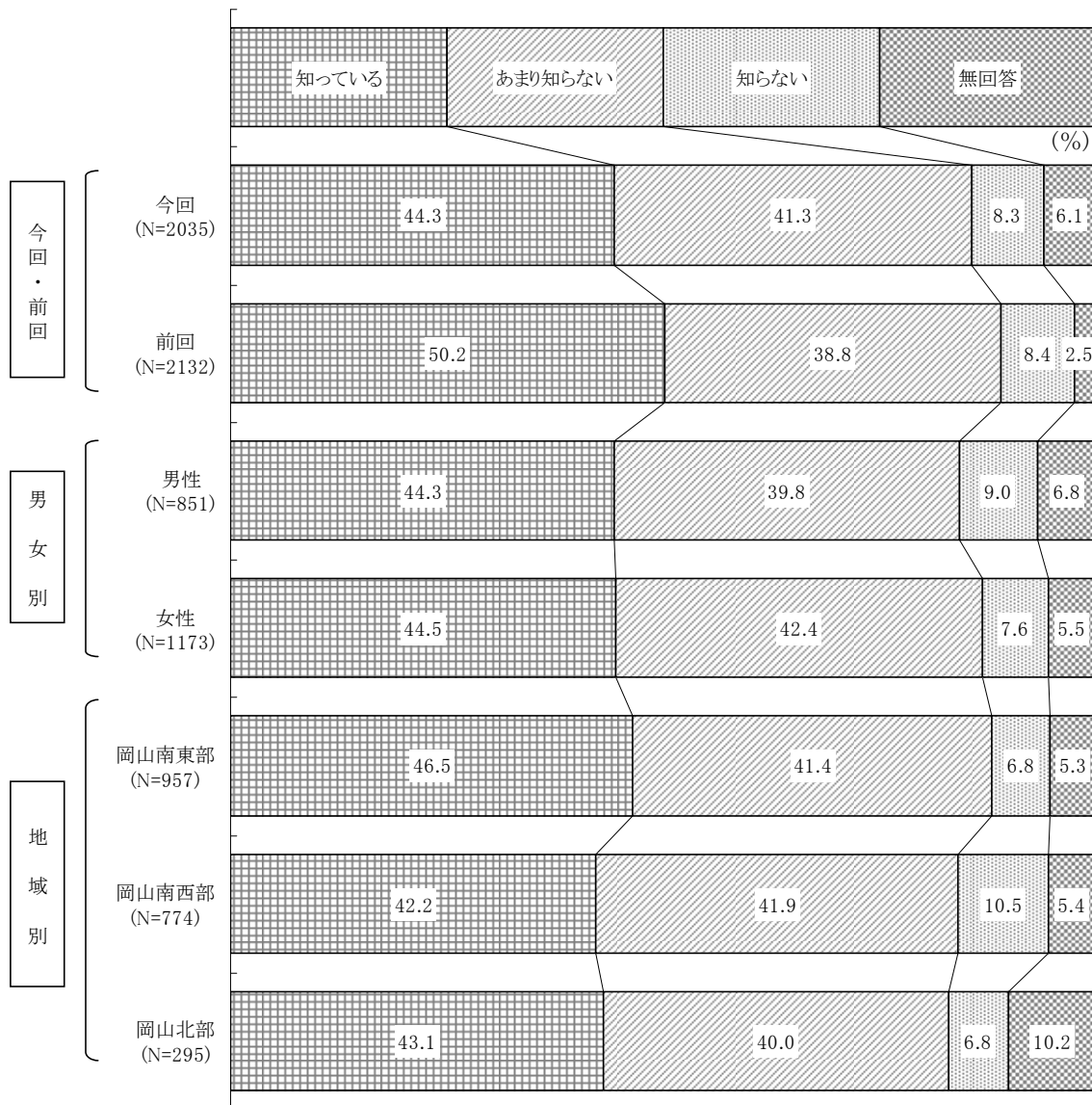
- ・年齢別にみると、70才以上の方は「家族から」が最も多く、20～60才代の方は「テレビ・ラジオ・新聞・本などから」が、15～19才の方は「学校の授業で」が、最も多くなっている。
- ・今回調査の15～19才では「学校の授業で」聞いた人の割合が55.8%となっているのに対し、前回調査の15～19才では35.2%となっており、この5年間で「学校の授業で」聞いた人の割合が大きくなっている（参考資料 p89 を参照）。

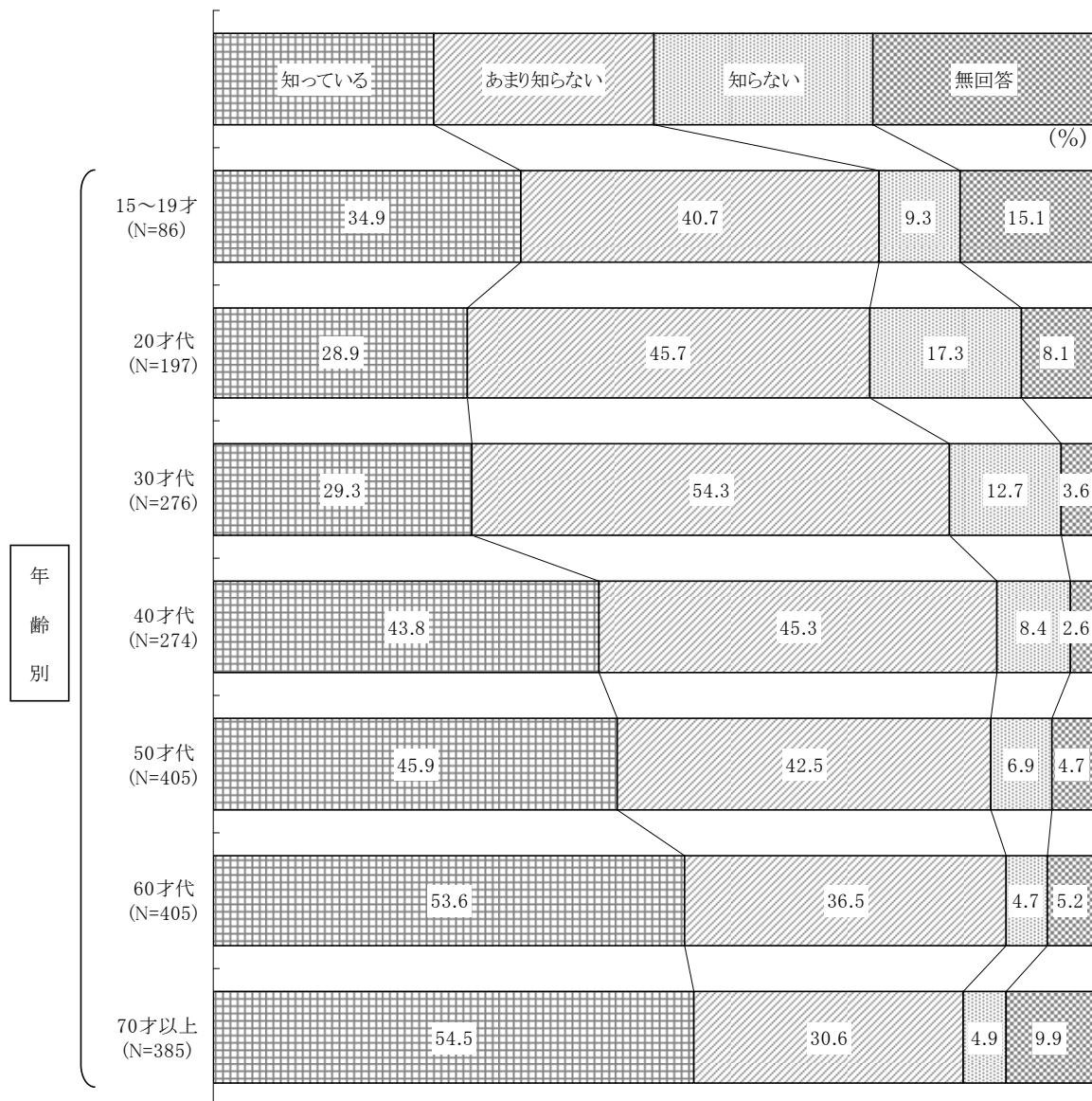


4. 「ハンセン病」の具体的な認知状況

問. あなたはハンセン病がどのような病気であるか知っていますか。(ひとつだけに○)

- ・ハンセン病がどのような病気であるかを「知っている」人の割合は44.3%であり、「あまり知らない」人が41.3%、「知らない」人が8.3%である。前回調査では50.2%の人が「知っている」と回答しており、今回は約6%ポイント低下している。
- ・地域別にみると、岡山南東部では「知っている」人の割合が他地域に比べて若干大きくなっている。
- ・年齢別にみると、60才以上の方は50%以上の人が知っているなど、年齢が高くなるにつれて「知っている」人の割合が大きくなっている。
- ・病名を知った経路別にみると、「テレビ・ラジオ・新聞・本などから」病名を知った人は、病気については「あまり知らない」人が50.8%と多い。一方、「研修会・講演会などで」病名を知った人は、79.2%が病気について「知っている」としており、病名をだれ（何）から知ったかによって、病気の具体的な認知状況に差がみられる。





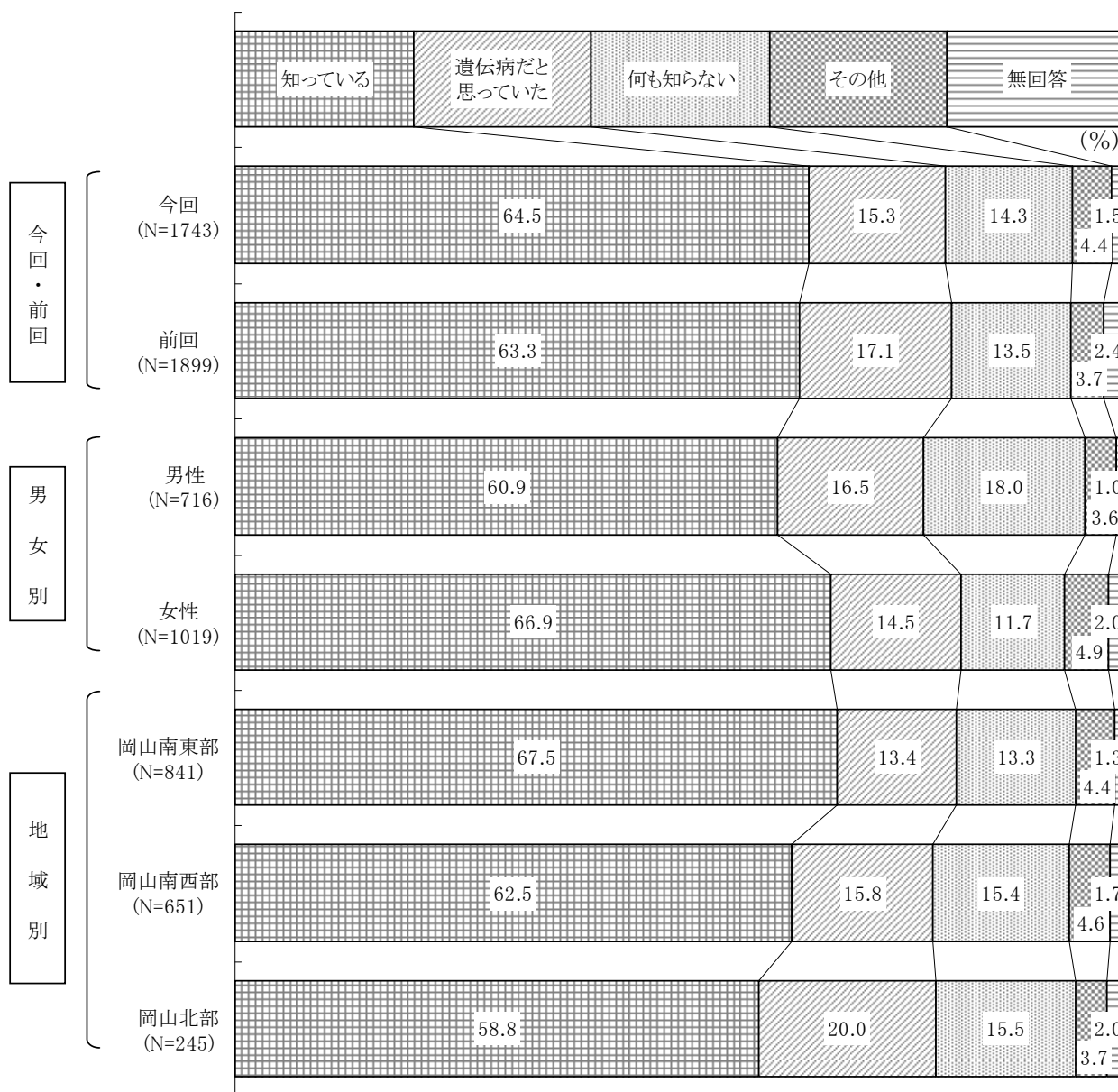
病名を知った経路別に見た ハンセン病の具体的な認知状況 単位:%

	知っている	あまり知らない	知らない	無回答	合計
家族から	65.7	26.9	3.4	4.0	100.0
親せきの人から	45.5	31.8	4.5	18.2	100.0
近所の人から	50.0	42.2	3.1	4.7	100.0
職場の人から	58.1	34.9	4.7	2.3	100.0
友達から	57.9	26.3	10.5	5.3	100.0
学校の授業で	51.4	41.2	5.4	2.0	100.0
テレビ・ラジオ・新聞・本などから	32.8	50.8	12.8	3.5	100.0
研修会・講演会などで	79.2	16.7	4.2	0.0	100.0
県や市町村の広報紙や冊子などから	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
何から知ったかはっきり覚えていない	40.1	47.8	8.7	3.5	100.0
無回答	22.8	15.2	2.2	59.8	100.0
合計	44.3	41.3	8.3	6.1	100.0

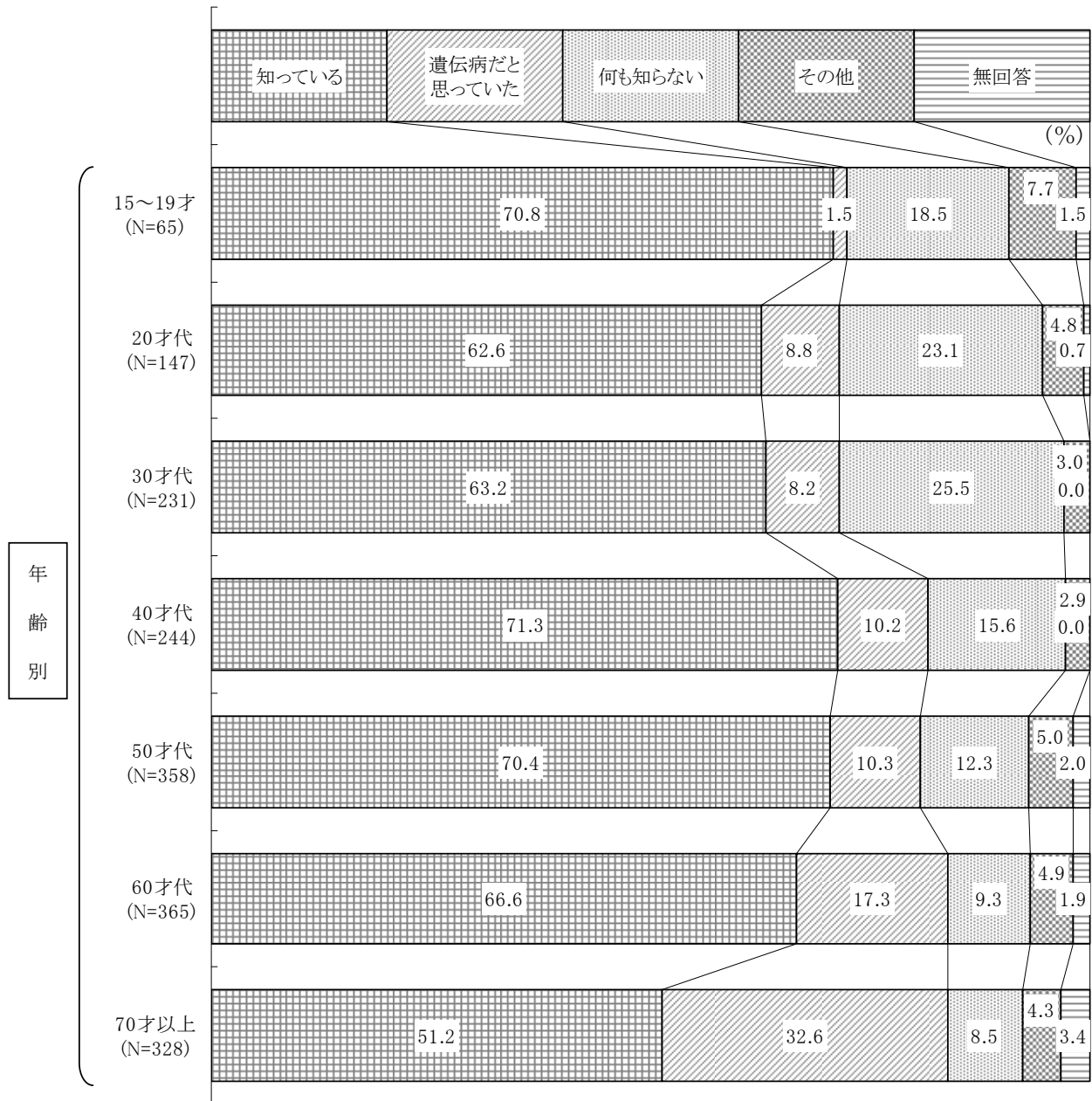
5. 「ハンセン病」が非常に感染力の弱い感染症であることの認知状況

問. あなたはハンセン病が非常に感染力の弱い感染症(=うつる病気)であることを知っていますか。
(ひとつだけに○)

- ・ハンセン病がどのような病気であるかを「知っている」人と「あまり知らない」人に、非常に感染力の弱い感染症であることを知っているかどうかを尋ねたところ、「知っている」が64.5%、「遺伝病だと思っていた」が15.3%、「何も知らない」が14.3%である。
- ・前回調査結果では「知っている」が63.3%であるなど、全体では大きな違いはみられない。
- ・男女別には女性で、地域別には岡山南東部で、「知っている」人の割合がやや大きくなっている。



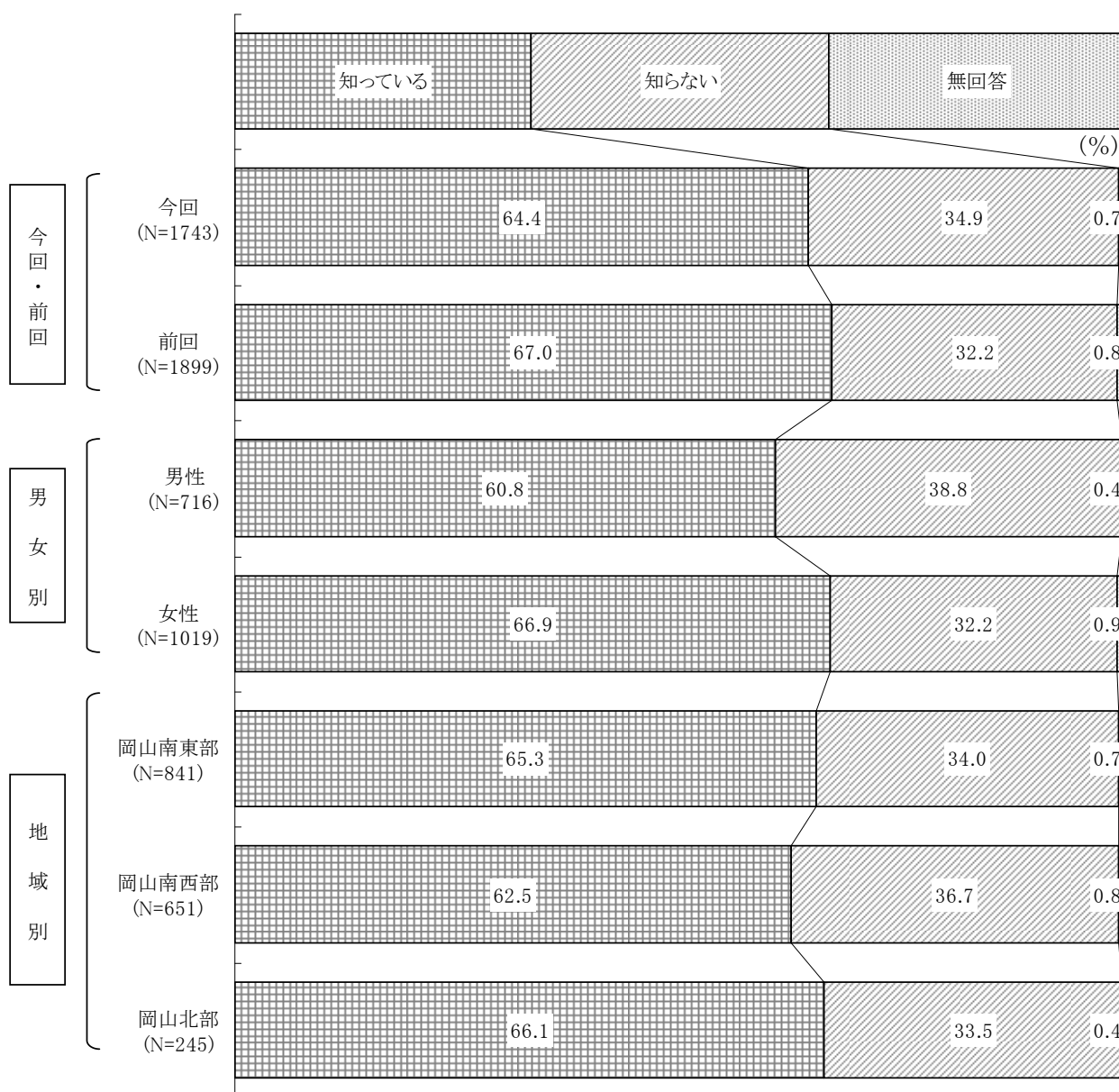
- ・年齢別には15～19才と40才代、50才代で「知っている」人の割合が70%以上と若干大きくなっている。
- ・前回調査以降の年齢コーホート別の変化をみると、20～24才では認知割合が前回の69.4%から今回は57.9%に低下している（参考資料 p90 を参照）。



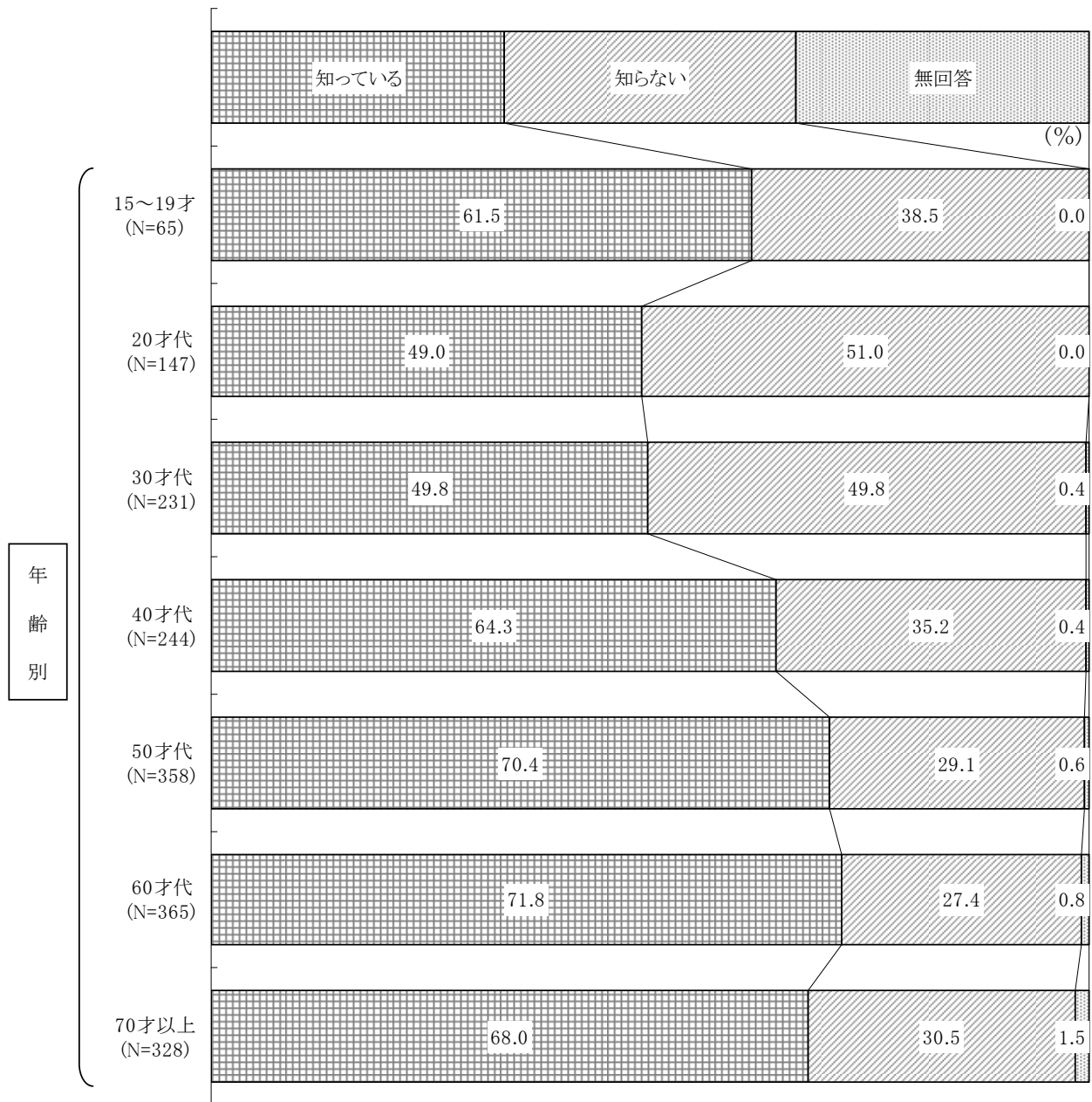
6. 「ハンセン病」が後遺症もなく治癒する病気であることの認知状況

問. 現在では、ハンセン病は早めに治療すれば後遺症もなく、なおる病気ですが、あなたはこのことを知っていますか。(どちらかに○)

- ・ハンセン病がどのような病気であるかを「知っている」人と「あまり知らない」人に、早めに治療すれば後遺症もなく治癒する病気であることを知っているかどうかを尋ねたところ、「知っている」が64.4%、「知らない」が34.9%である。
- ・前回調査結果では「知っている」が67.0%であり、「知っている」人の割合がわずかに低下している。
- ・男女別には女性で「知っている」人の割合がやや大きくなっている。また、前回調査と比べると男性の「知っている」人の割合が65.9%から60.8%へ低下している（参考資料p91を参照）。



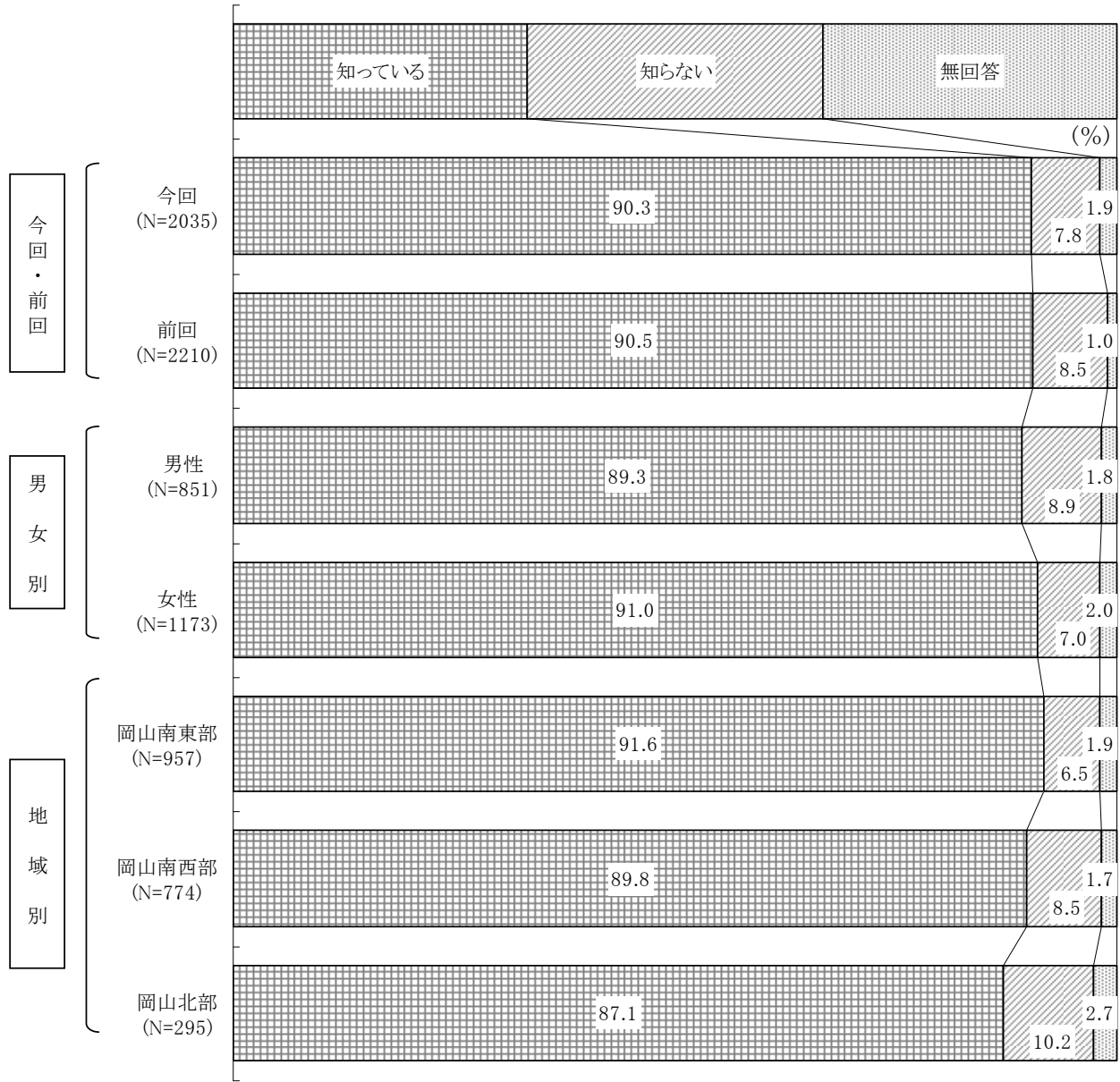
- ・年齢別にみると、総じて年齢が高くなるにつれて「知っている」人の割合が大きくなる傾向がみられる。
- ・前回調査以降の年齢コーホート別の変化をみると、20～44才では認知割合が前回結果に比べて若干低下している（参考資料 p91 を参照）。



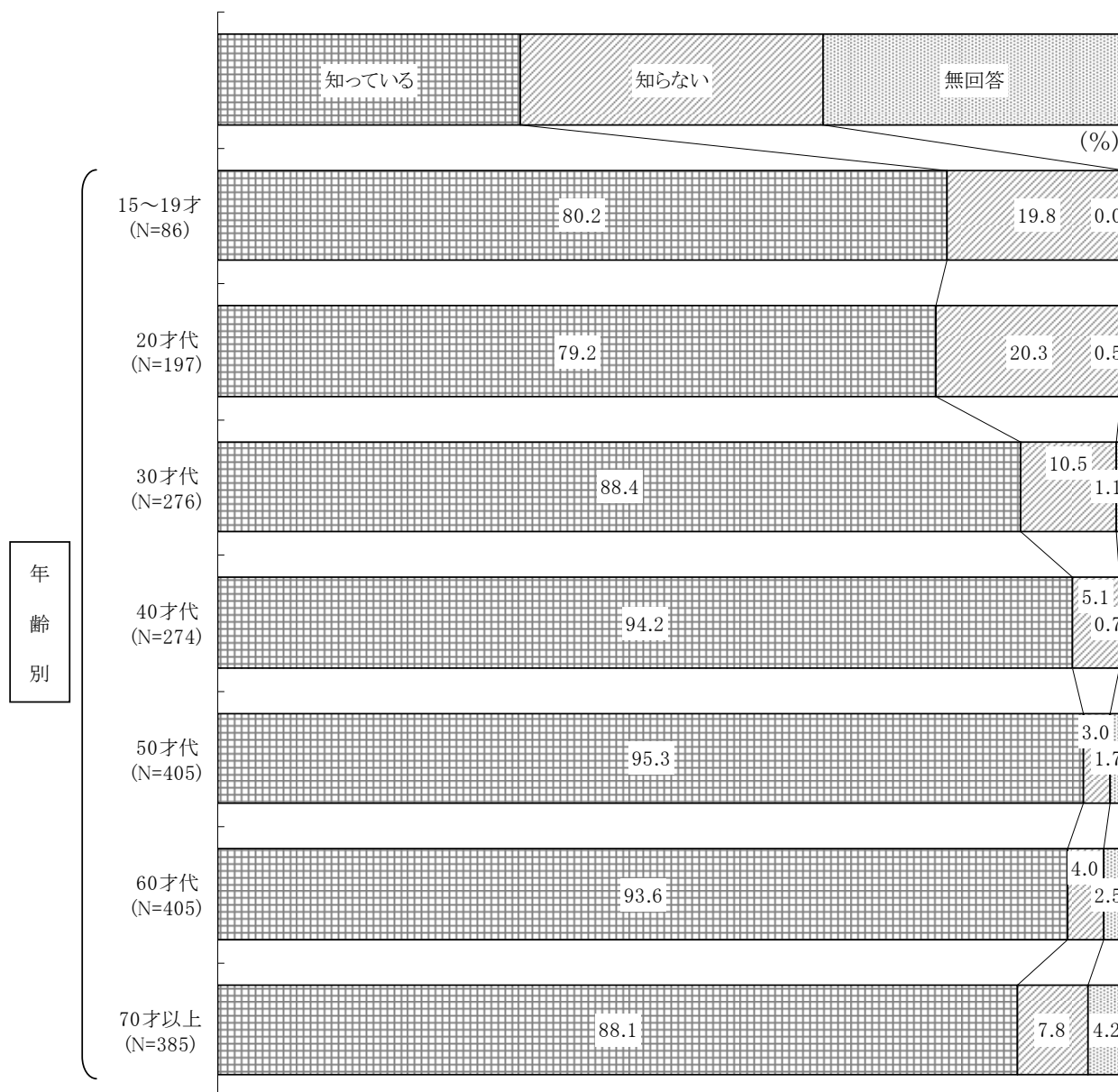
7. ハンセン病患者が強制隔離されていたことの認知状況

問. あなたはハンセン病の患者が国の政策として強制隔離されていたことを知っていますか。
(どちらかに○)

- ・ハンセン病の患者が強制隔離されていたことを「知っている」人の割合は90.3%と、15才以上の県民の大部分を占めている。
- ・前回調査結果では「知っている」が90.5%であるなど、大きな変化はみられない。
- ・男女別、地域別にも大きな違いはみられない。



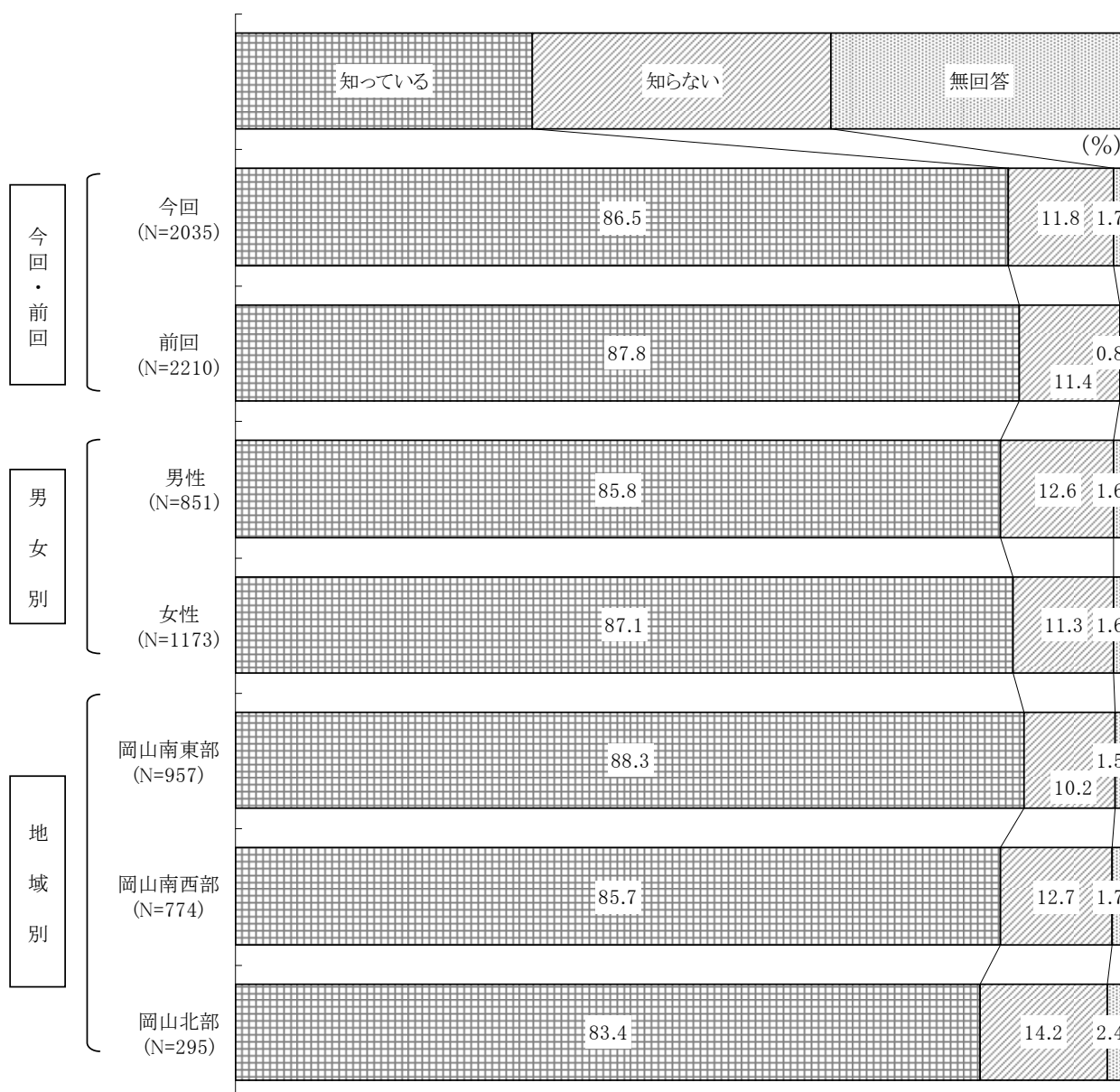
- ・年齢別にみると、総じて年齢が高くなるにつれて「知っている」人の割合が大きくなる傾向がみられる。
- ・前回調査以降の年齢コーホート別の変化をみると、75才以上では「知っている」人の割合が前回の90.7%から今回は83.3%へ低下している（参考資料 p91 を参照）。



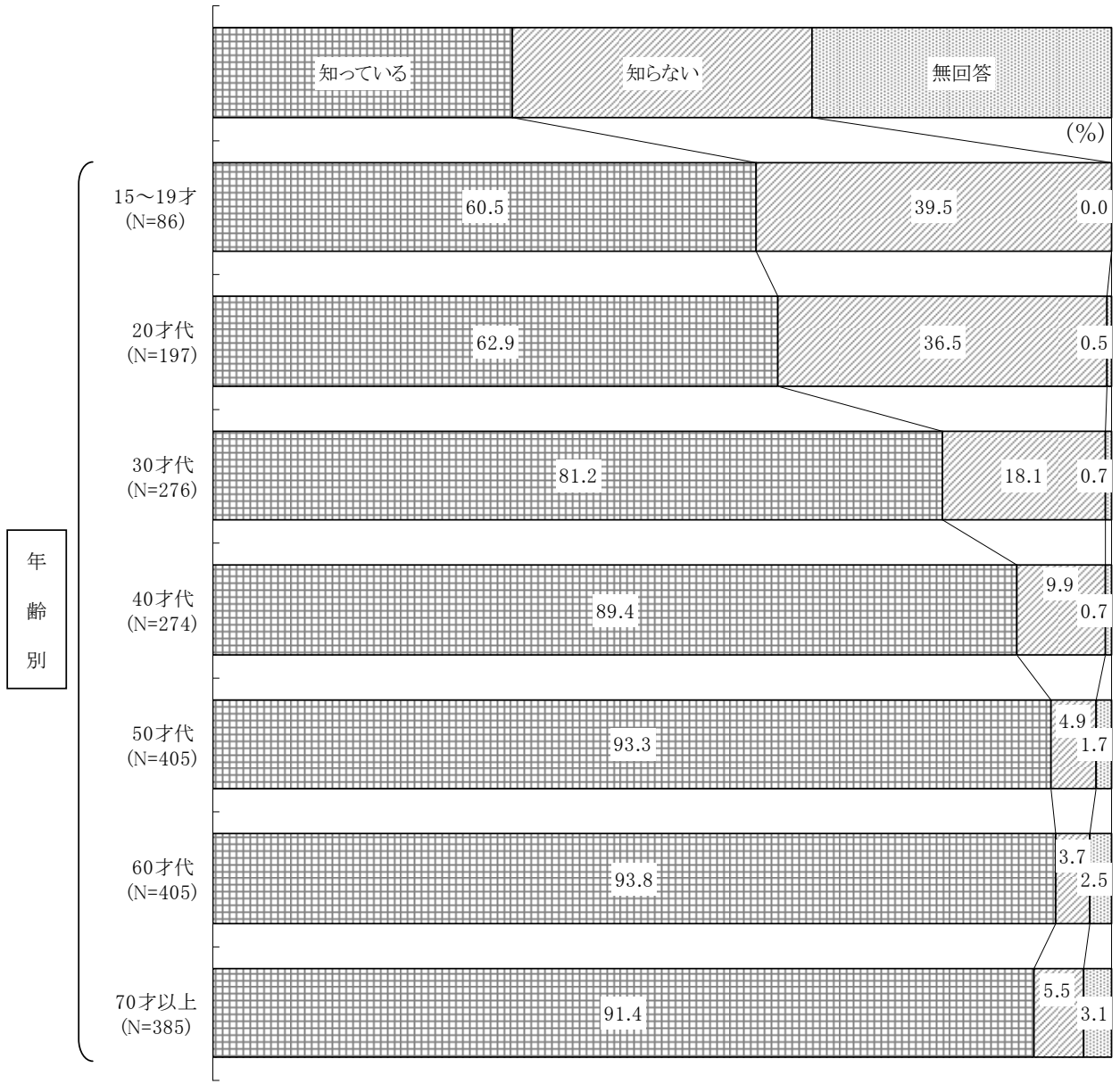
8. ハンセン病療養所が岡山県にあることの認知状況

問. あなたはハンセン病療養所が岡山県にあることを知っていますか。(どちらかに○)

- ・ハンセン病療養所が岡山県にあることを「知っている」人の割合は 86.5%である。前回調査結果（「知っている」人の割合は 87.8%）と比較しても、概ね同様の結果となっており、大きな違いはみられない。
- ・男女別、地域別には大きな違いはみられない。



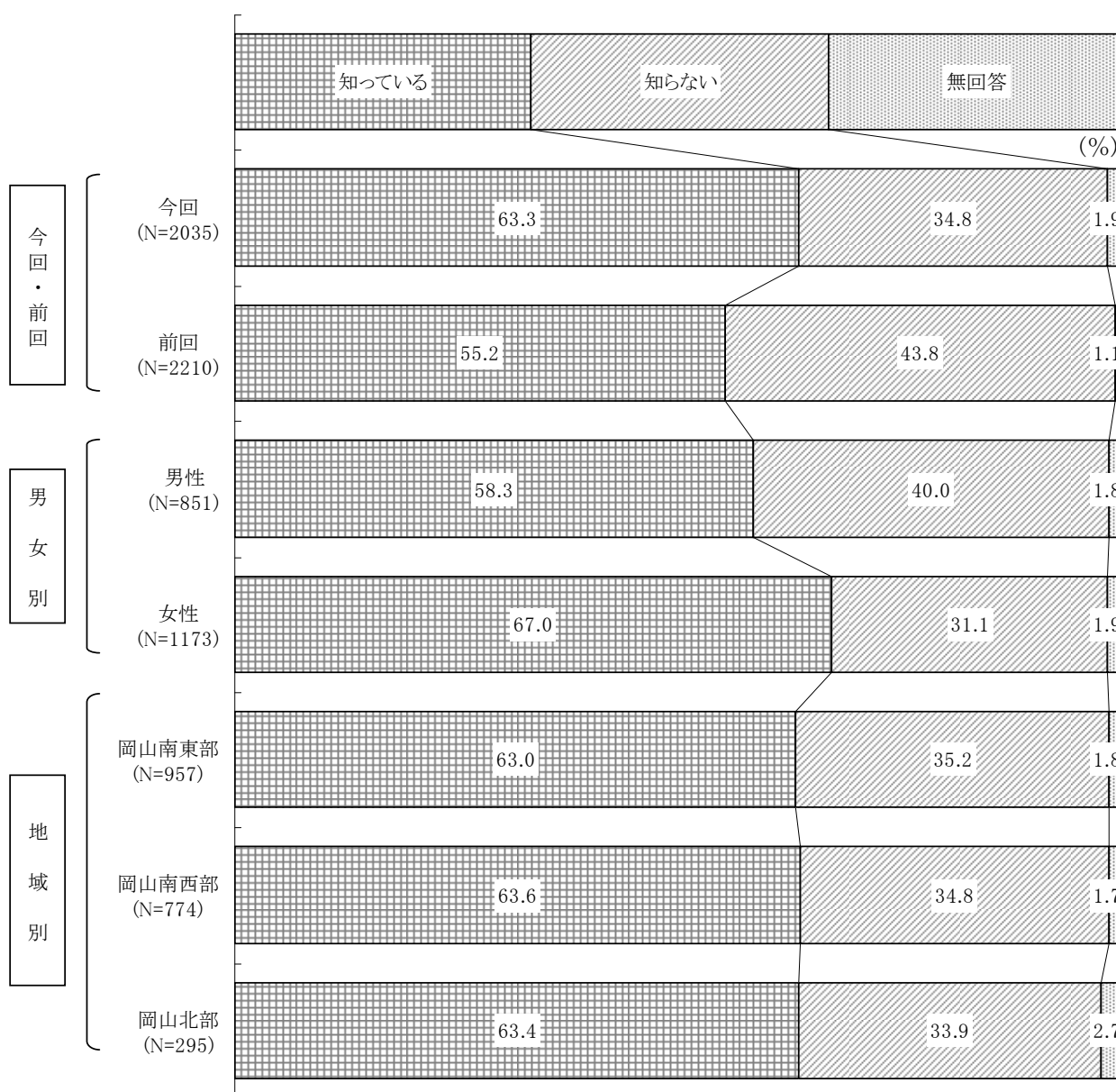
・年齢別にみると、年齢が低下するにつれて「知らない」人の割合が大きくなる傾向がみられる。特に20才代以下では「知らない」人の割合が約36～39%となっている。



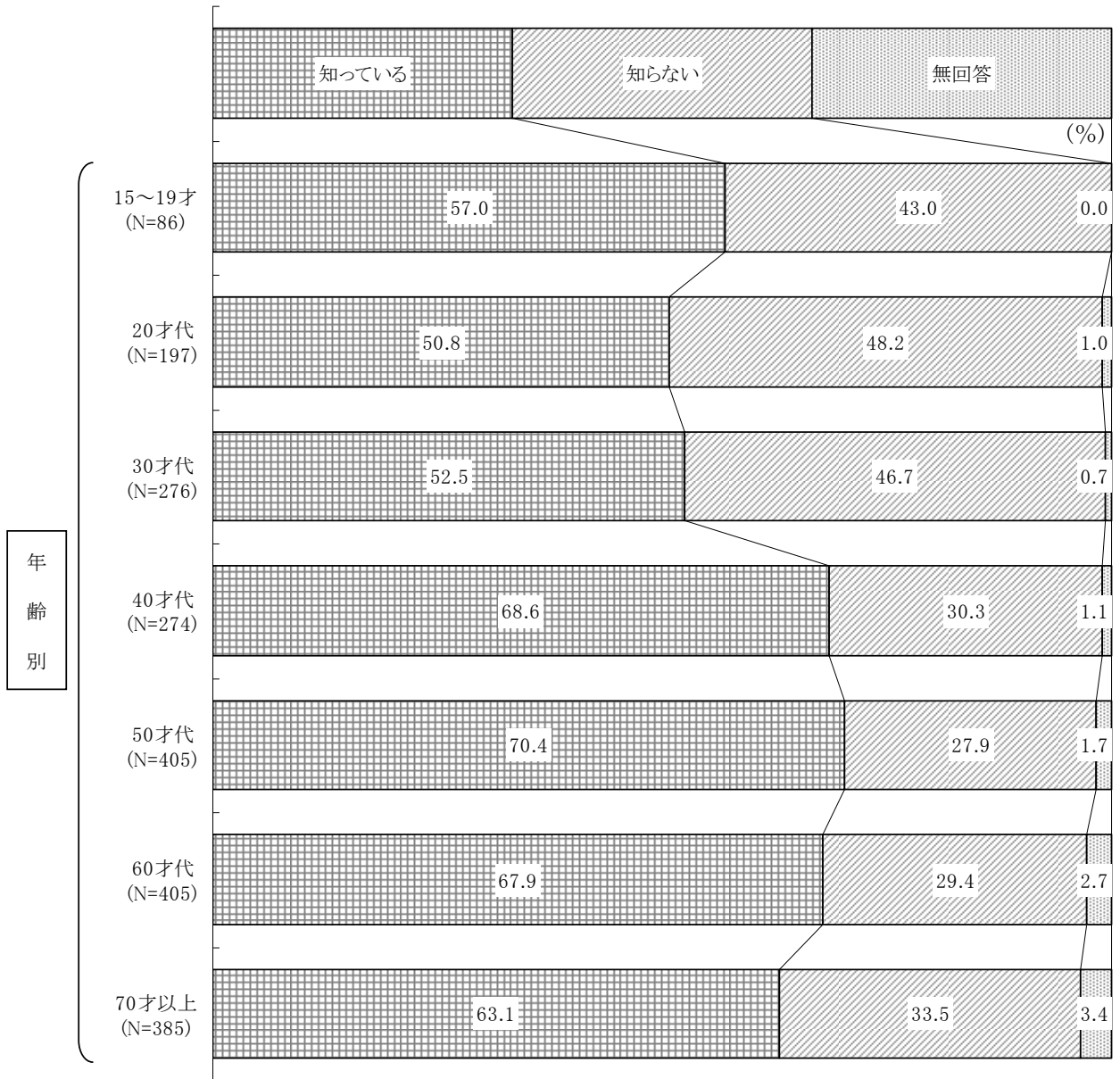
9. 「らい予防法」に療養所からの退所規定がなかったことの認知状況

問. あなたは「らい予防法」には療養所からの退所規定がなかった(=病気がなおって出たいと思っても出られなかった)ということを知っていますか。(どちらかに○)

- ・「らい予防法」に療養所からの退所規定がなかったことを「知っている」人の割合は 63.3% である。前回調査結果では「知っている」人の割合は 55.2%であったことから、認知割合が高まっている。
- ・男女別には女性で「知っている」人の割合が大きくなっている。地域別には違いはみられない。



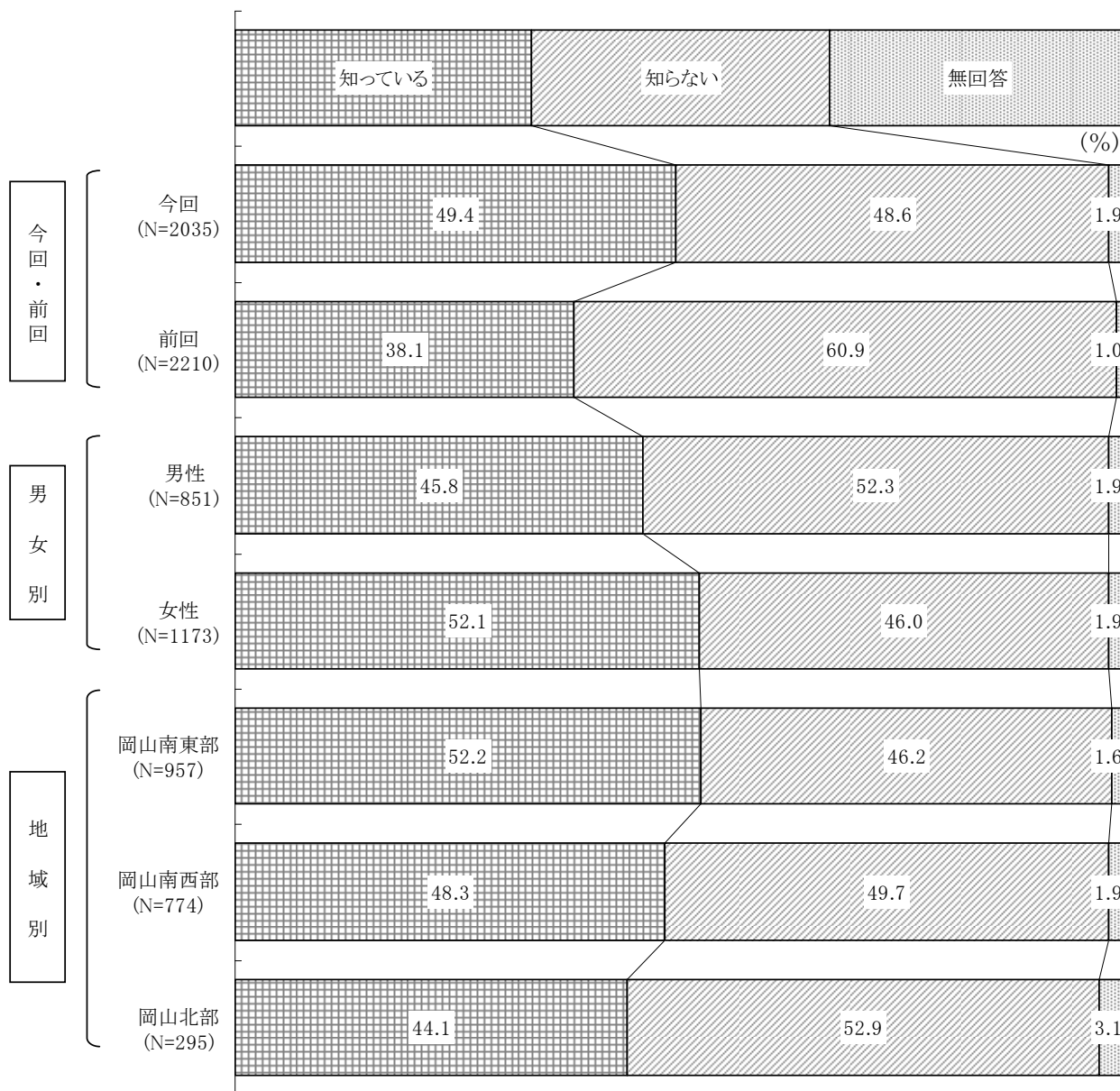
- ・年齢別にみると40～60才代で「知っている」人の割合が大きくなっている。
- ・前回調査結果と比べると男女別、年齢コーホート別、地域別のいずれの層でも認知割合がやや高くなっている（参考資料 p92 を参照）。



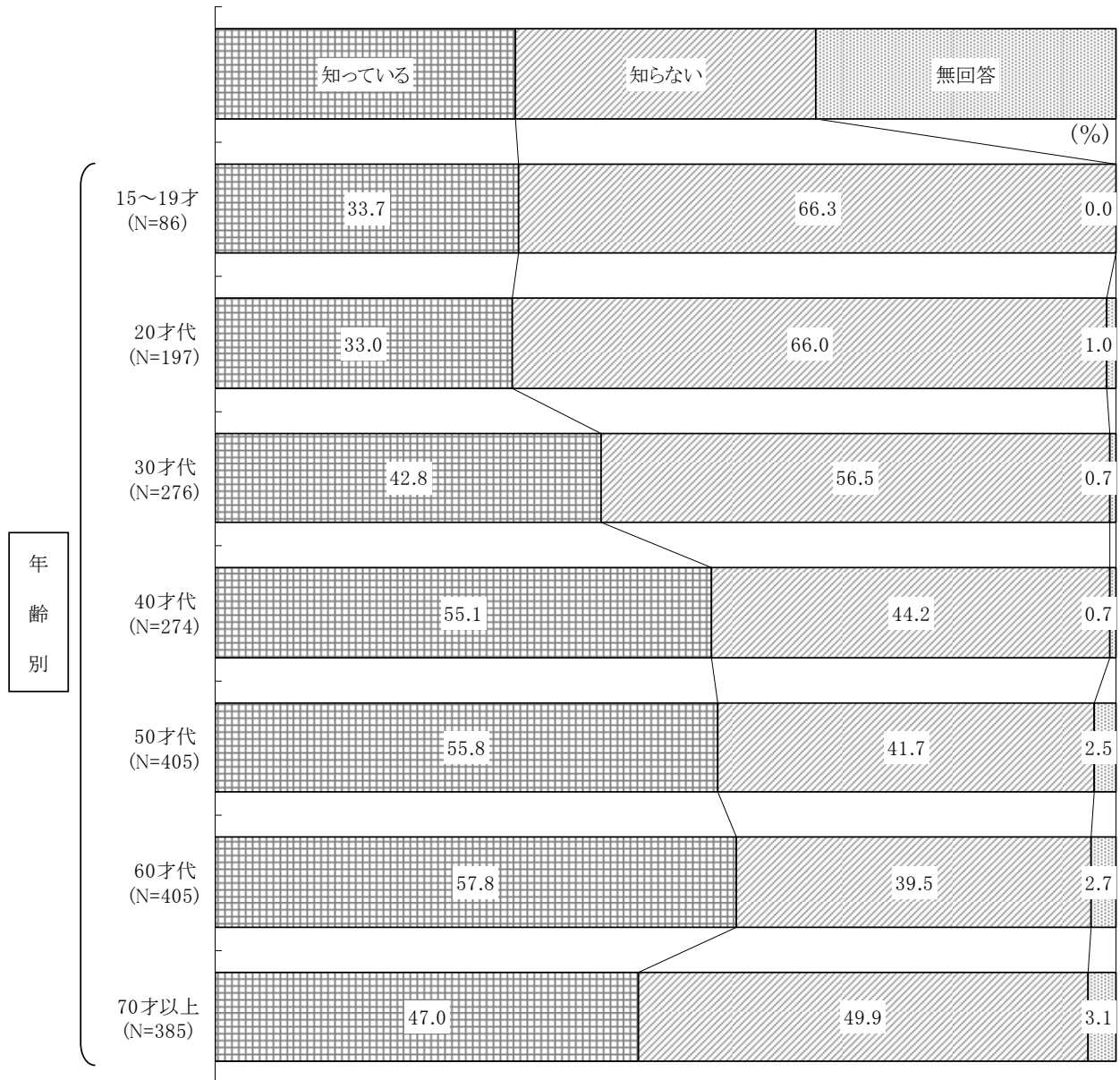
10. 療養所内の結婚に際し、断種が条件とされていたことの認知状況

問. あなたはかつて療養所内では、結婚の時に「断種(=子どもを産めなくする手術をすること)」を条件とされていたことを知っていますか。(どちらかに○)

- ・療養所内の結婚に際し、断種が条件とされていたことを「知っている」人の割合は 49.4% と約半数である。前回調査結果では「知っている」人の割合は 38.1%であったことから、認知割合が 10%ポイント以上高まっている。
- ・男女別には女性で、地域別には岡山南東部で「知っている」人の割合がやや大きくなっている。



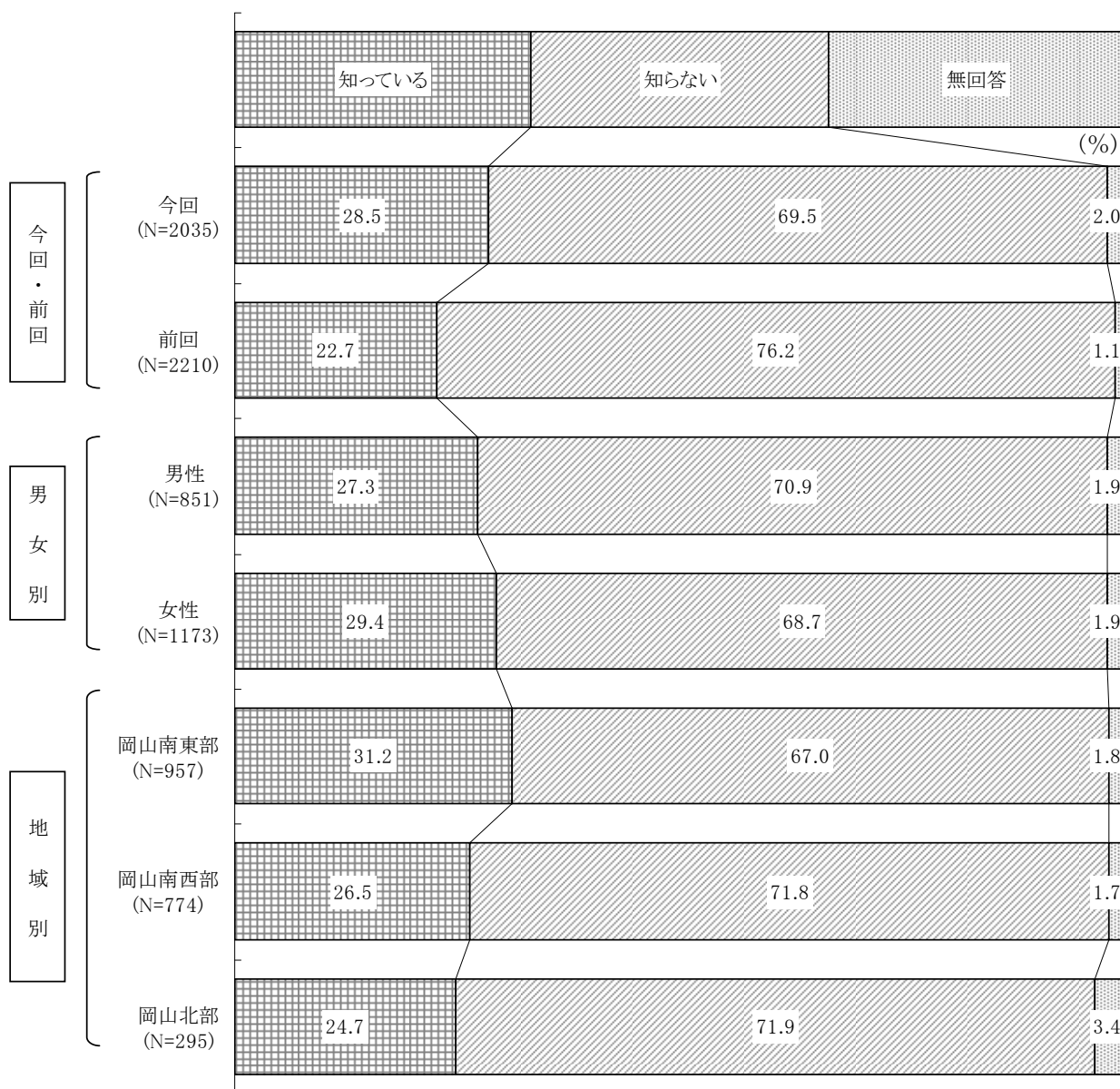
- ・年齢別にみると40～60才代で「知っている」人の割合が大きくなっている。
- ・前回調査結果と比べると男女別、年齢別、地域別のほとんどの層で認知割合が前回調査時に比べて若干高くなっている。ただ年齢コーホートで見ると75才以上のみで「知っている」人の割合が若干低下している（参考資料 p93 を参照）。



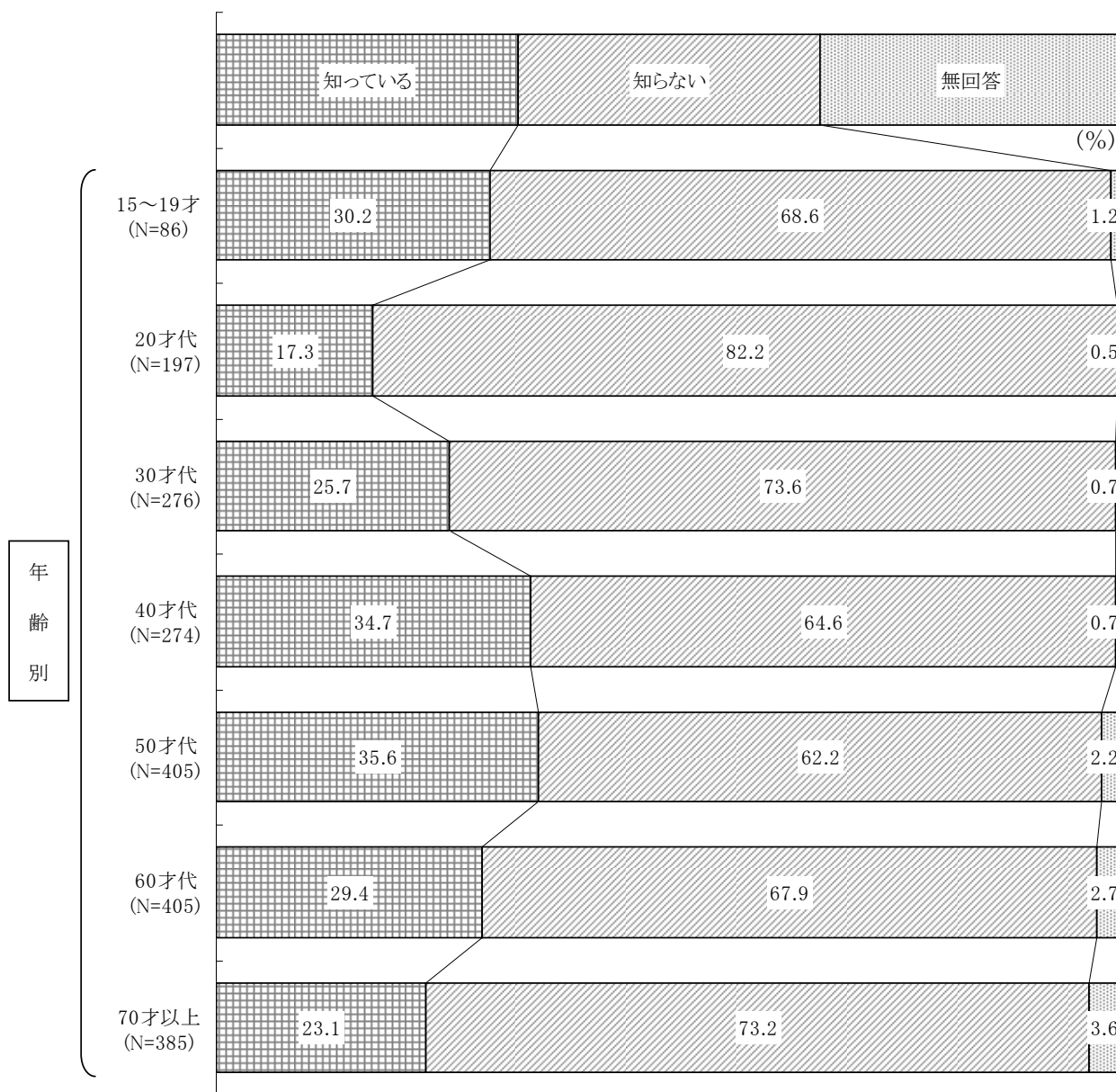
11. 療養所内で軽症患者が半強制的に作業をさせられていたことの認知状況

問. かつて療養所内では、軽い症状の患者が重い症状の患者の看護や施設運営の作業などを半強制的にさせられていたことを、あなたは知っていますか。(どちらかに○)

- ・療養所内で軽症患者が半強制的に作業をさせられていたことを「知っている」人の割合は28.5%と低い。しかし、前回調査結果では「知っている」人の割合は22.7%であったことから、認知割合が高まっている。
- ・地域別には岡山南東部で「知っている」人の割合がやや大きくなっている。



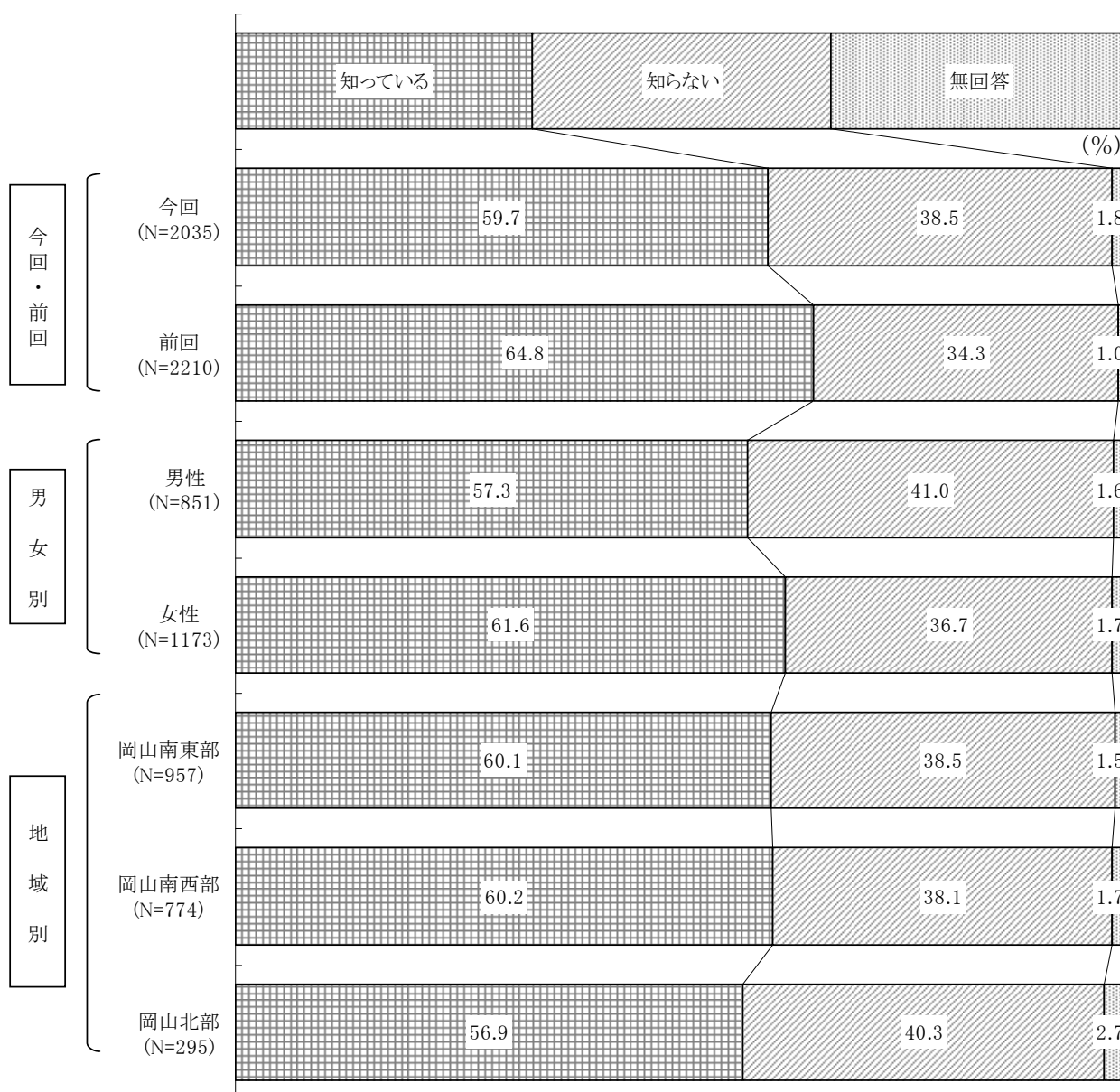
- ・年齢別には40才代、50才代で「知っている」人の割合がやや大きくなっている。また、50才代をピークとして、年齢が低下するにつれて「知っている」人の割合が小さくなる傾向がみられるが、15～19才のみは30.2%が「知っている」と回答している。
- ・前回調査と比較すると、男女別、年齢コーホート別、地域別のすべての層で認知割合が前回調査時に比べて若干高くなっている（参考資料 p93 を参照）。



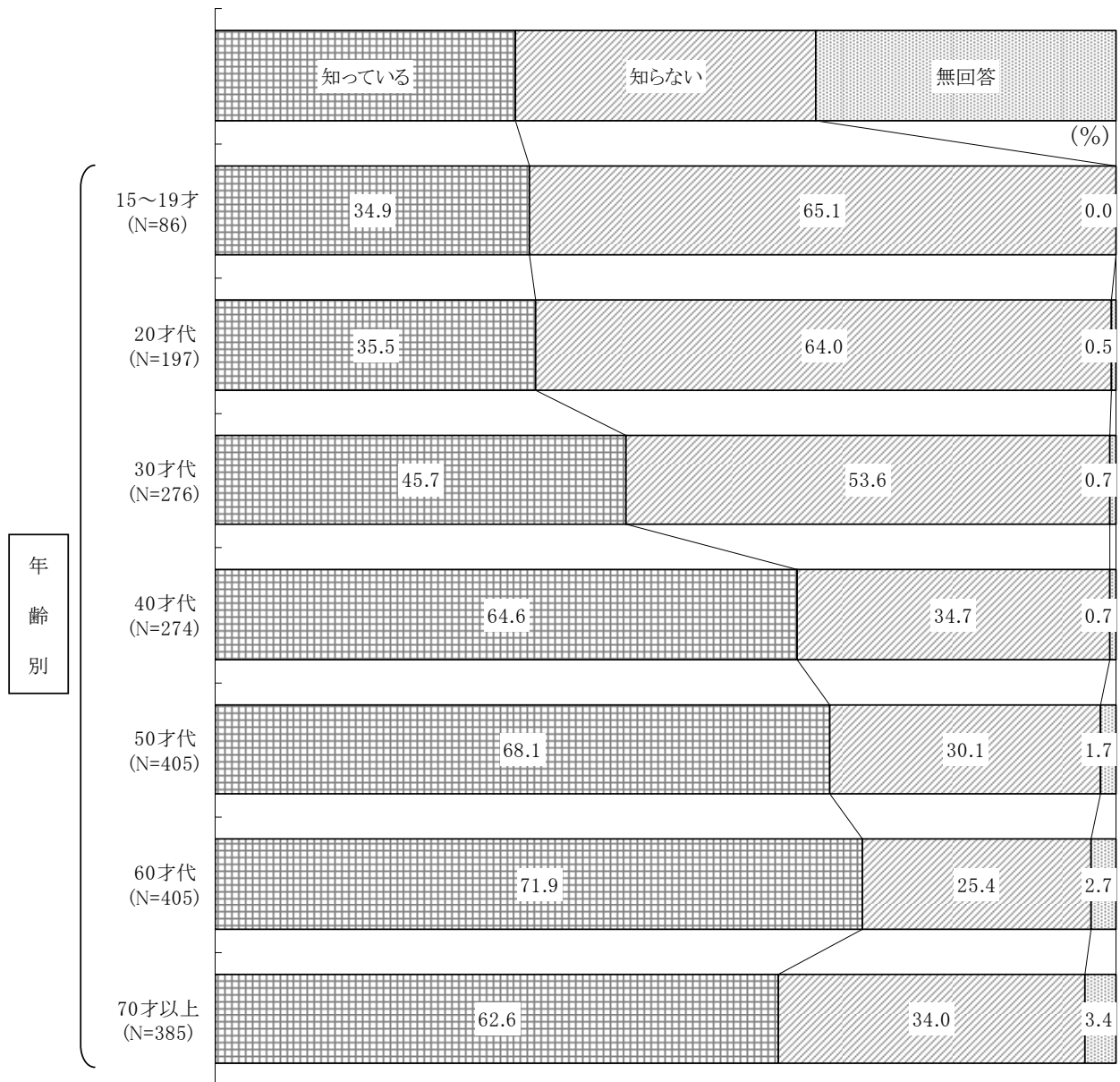
12. 平成8年に「らい予防法」が廃止されたことの認知状況

問. あなたは平成8年に「らい予防法」が廃止されたことを知っていますか。(どちらかに○)

- ・平成8年に「らい予防法」が廃止されたことを「知っている」人の割合は59.7%である。前回調査結果では「知っている」人の割合は64.8%であったことから、認知割合が低下している。
- ・男女別、地域別には大きな違いはみられない。



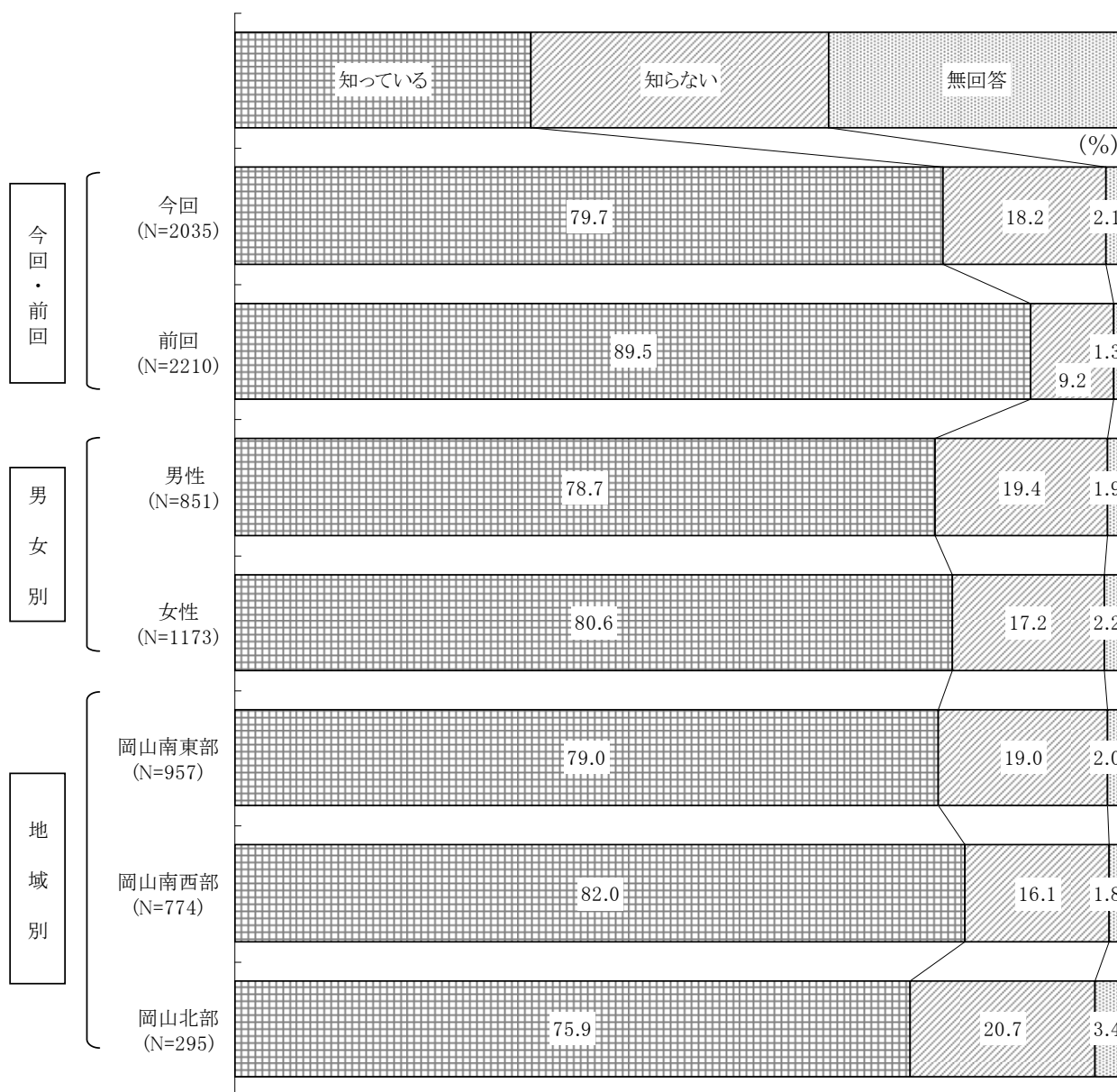
- ・年齢別にみると40才以上で「知っている」人の割合が60%以上と大きくなっている一方、30才代以下では50%未満となるなど、大きな差がみられる。
- ・前回調査と比較すると、男女別、年齢コーホート別、地域別のほとんど全ての層で認知割合が前回調査時に比べて若干低くなっている（参考資料 p94 を参照）。



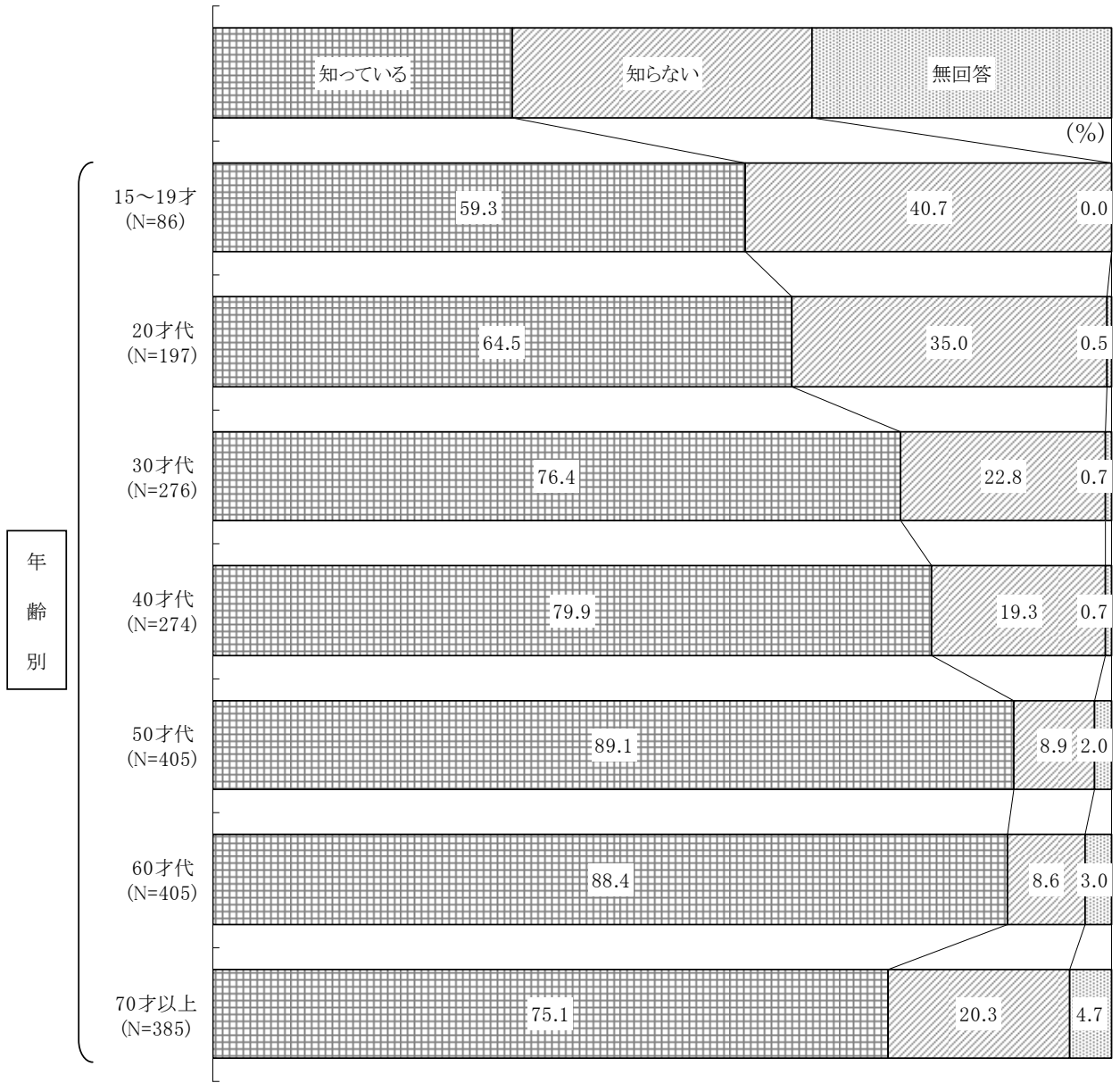
13. ハンセン病国賠訴訟で原告が勝訴したことの認知状況

問. あなたはいわゆる「ハンセン病国賠訴訟(ハンセン病施策に対する国の責任を問う裁判)」で原告(=訴えた人)が勝訴(=訴訟に勝つ)したことを知っていますか。(どちらかに○)

- ・ハンセン病国賠訴訟で原告が勝訴したことを「知っている」人の割合は79.7%である。前回調査結果では「知っている」人の割合は89.5%であったことから、認知割合が約10%ポイント低下している。
- ・男女別、地域別には大きな違いはみられない。



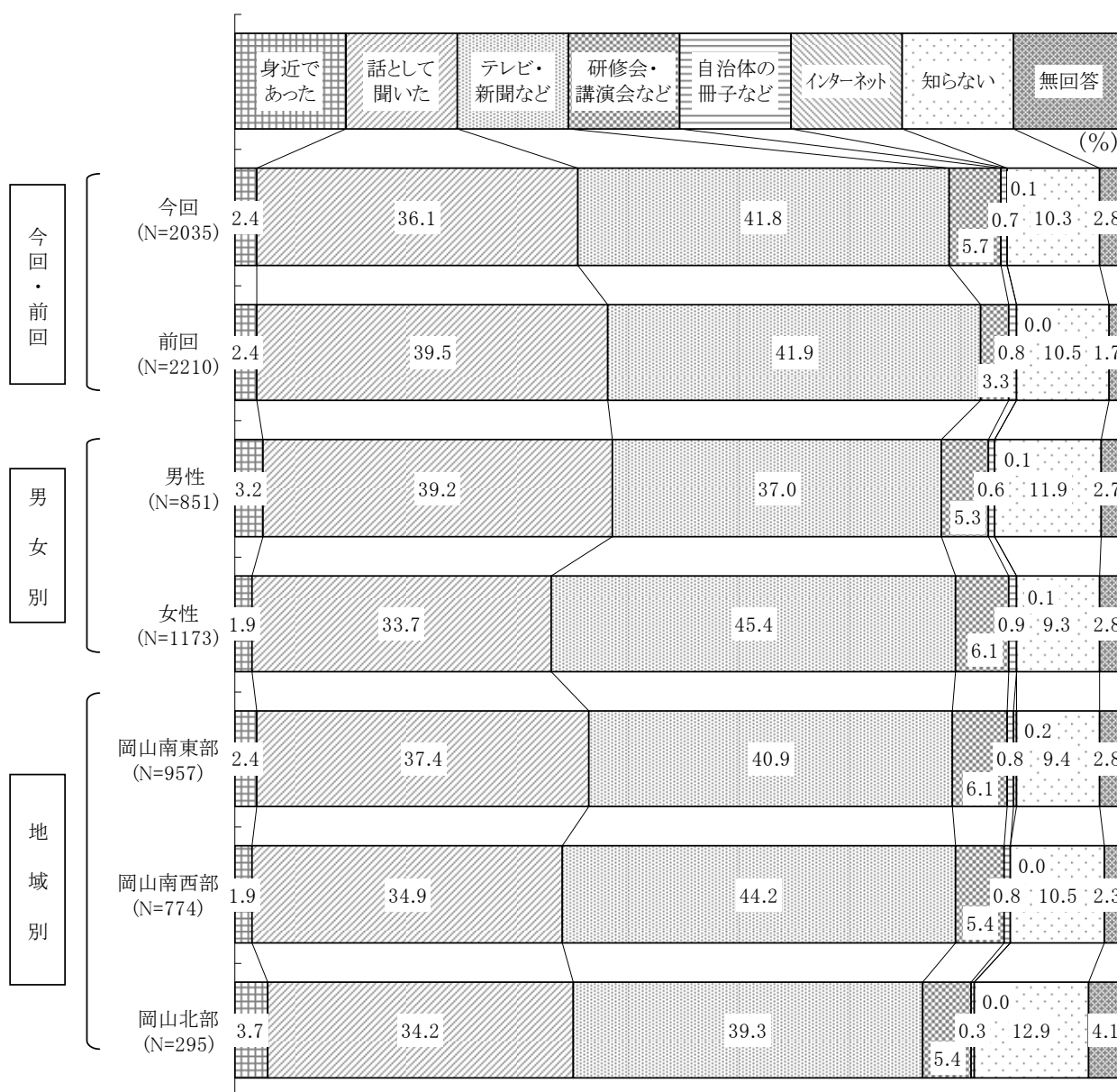
- ・年齢別にみると50才代、60才代で「知っている」人の割合が約89%と大きく、それらを頂点として年齢が高齢化するにつれて、また低年齢化するにつれて、認知割合が小さくなる傾向がみられる。
- ・前回調査と比較すると、男女別、年齢コーホート別、地域別の全ての層で認知割合が前回調査時に比べて若干低くなっている（参考資料 p94 を参照）。



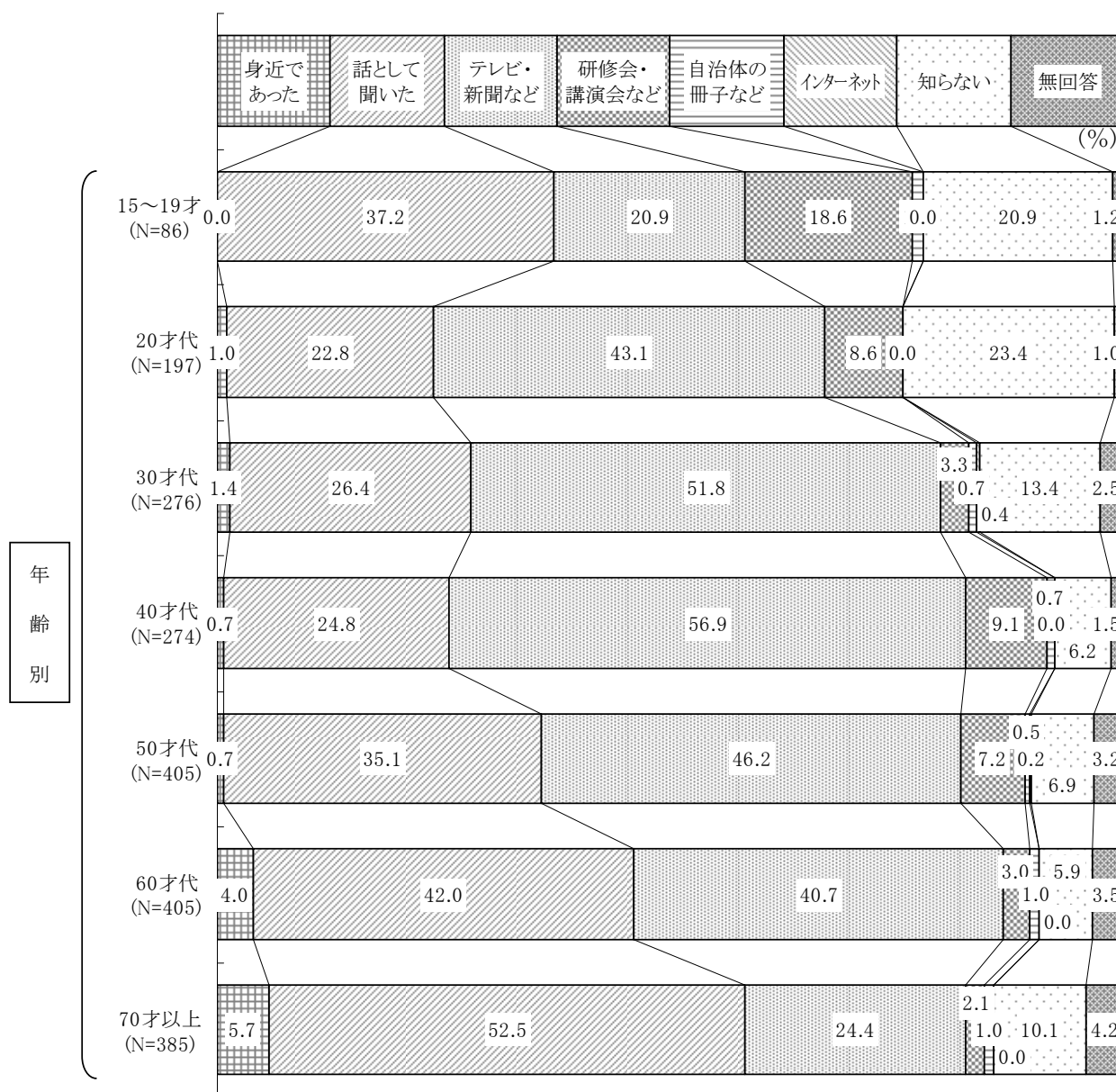
14. ハンセン病患者・家族への差別があったことの認知状況

問. あなたは、かつてハンセン病患者だけでなく、その家族も偏見や差別を受けたことを知っていますか。(ひとつだけに○)

- ・かつてハンセン病患者だけでなく、その家族も偏見や差別を受けたことを知っているか否かを尋ねたところ、「テレビ・ラジオ・新聞・本などから知った」が41.8%で最も多く、次いで「話として聞いて知っている」が36.1%である。何らかの形で「知っている」と答えた人は合わせて86.9%である。
- ・前回調査結果では何らかの形で「知っている」人の割合は87.8%であり、全体的には大きな違いはみられない。
- ・男女別にみると、男性では「話として聞いて知っている」が、女性では「テレビ・ラジオ・新聞・本などから知った」が、それぞれ最も多くなっている。



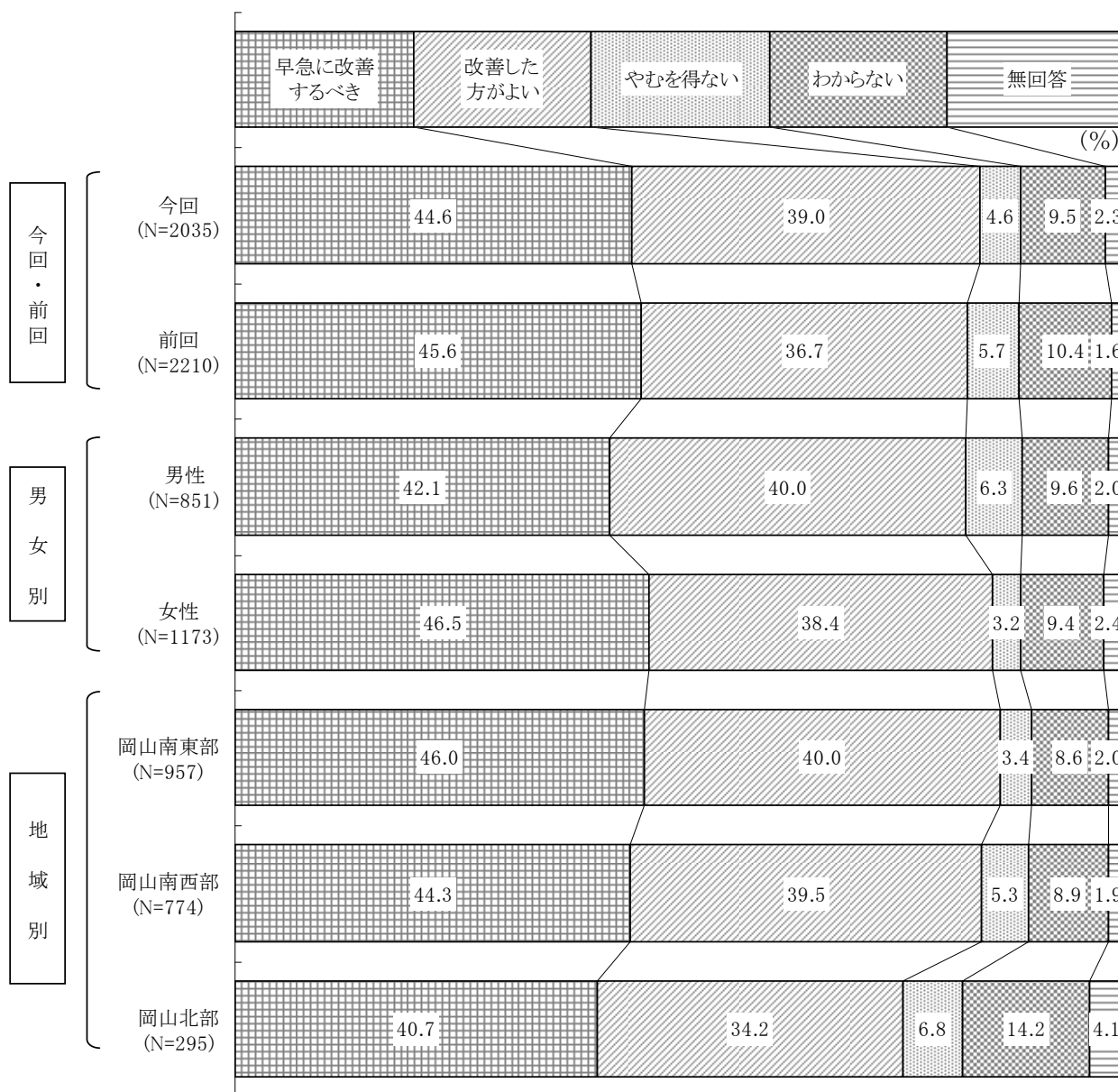
- ・年齢別にみると15～19才と60才代以上では「話として聞いて知っている」が最も多く、20～50才代では「テレビ・ラジオ・新聞・本などから知った」が最多である。
- ・「知らない」人の割合は低年齢層でやや大きく、20才代以下では20%以上の人が「知らない」と回答している。
- ・前回調査結果と比較すると、「研修会・講演会などで知った」人の割合が、15～19才では前回の10.9%から今回は18.6%へ若干高まったほか、男女別、年齢コーホート別、地域別の全ての層で、「研修会・講演会などで知った」人の割合が前回調査結果に比べてやや大きくなっている（参考資料 p95 を参照）。



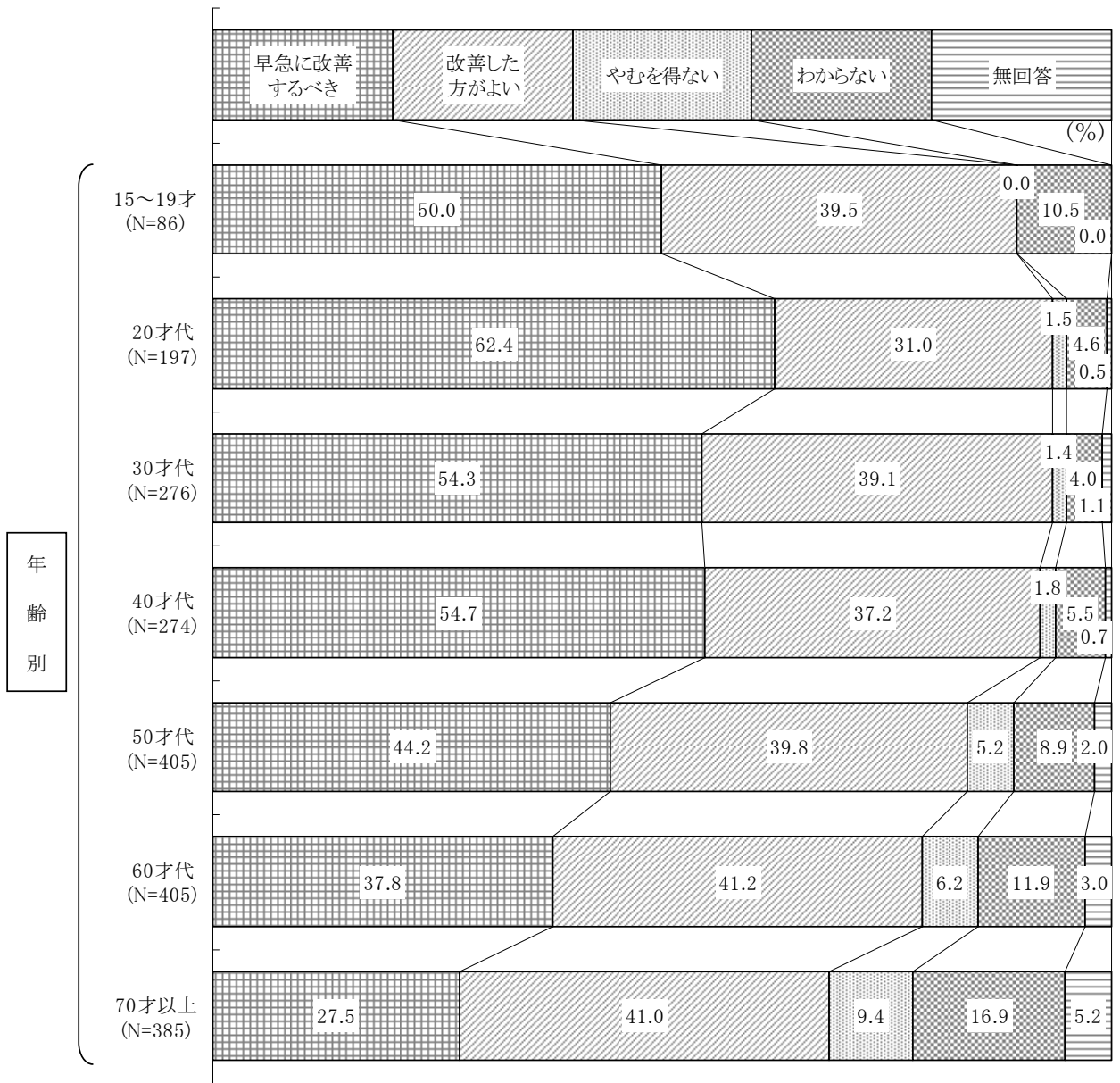
15. 療養所入所者の多くが故郷へ帰ることができないことへの意識

問. ハンセン病療養所入所者の多くが、ふるさとに帰りたいのに帰れないでいることを、あなたはどのように思いますか。(ひとつだけに○)

- ・ハンセン病療養所入所者の多くが故郷へ帰りたいのに帰れないでいることに対して「早急に改善しなければならない」が 44.6%、「改善した方がよい」が 39.0%であり、合わせて 83.6%の人が改善を望んでいる。
- ・前回調査結果では、「早急に改善しなければならない」が 45.6%、「改善した方がよい」が 36.7%であり、合わせて 82.3%の人が改善を望んでいたことから、ほとんど違いはみられない。
- ・地域別にみると、岡山北部では「わからない」という回答が若干多くなっている。



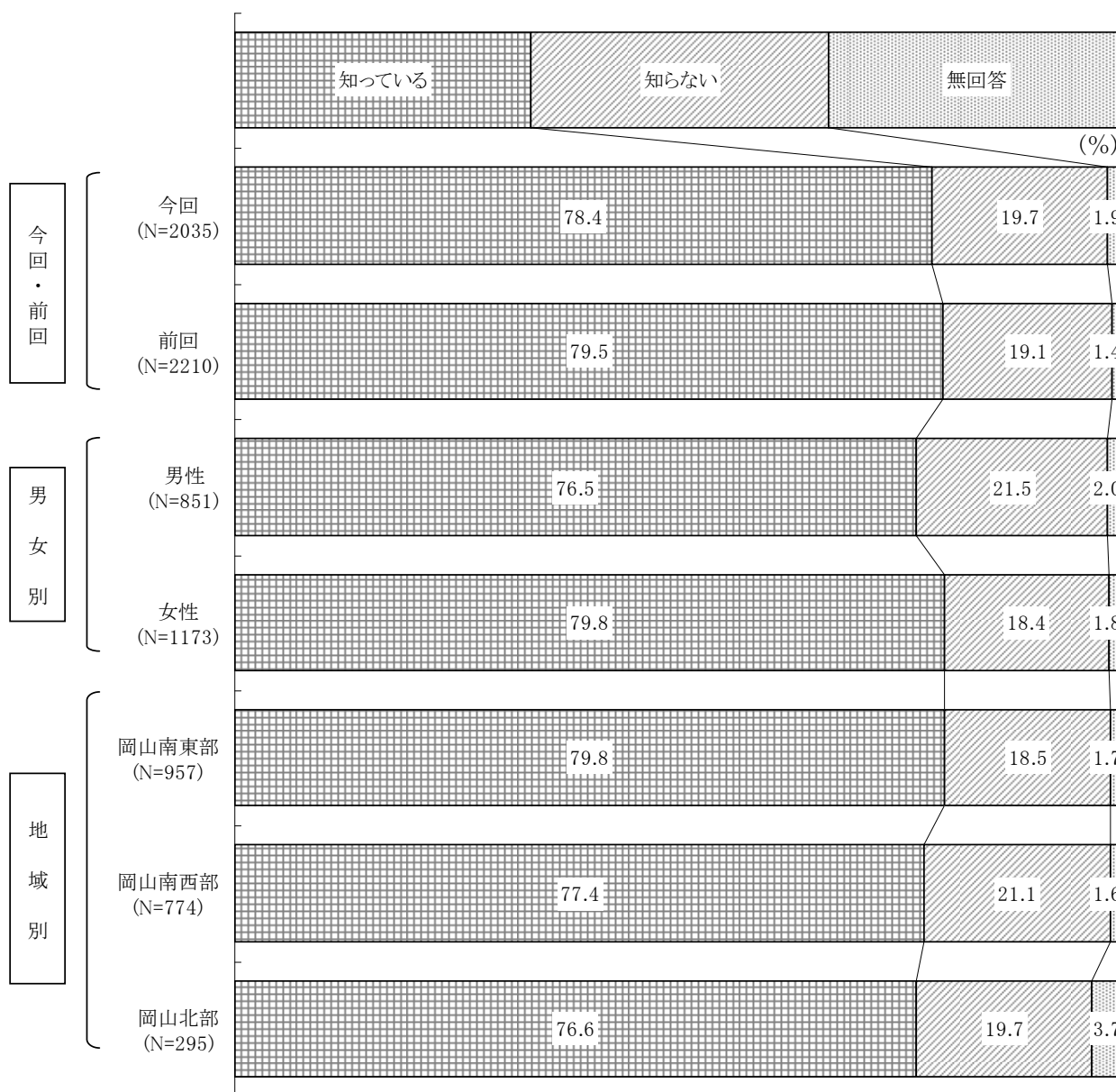
・年齢別にみると、総じて若い人ほど「早急に改善しなければならない」とする人が多くなっている。「やむを得ない」とする人は、高齢になるほどやや多くなっている。



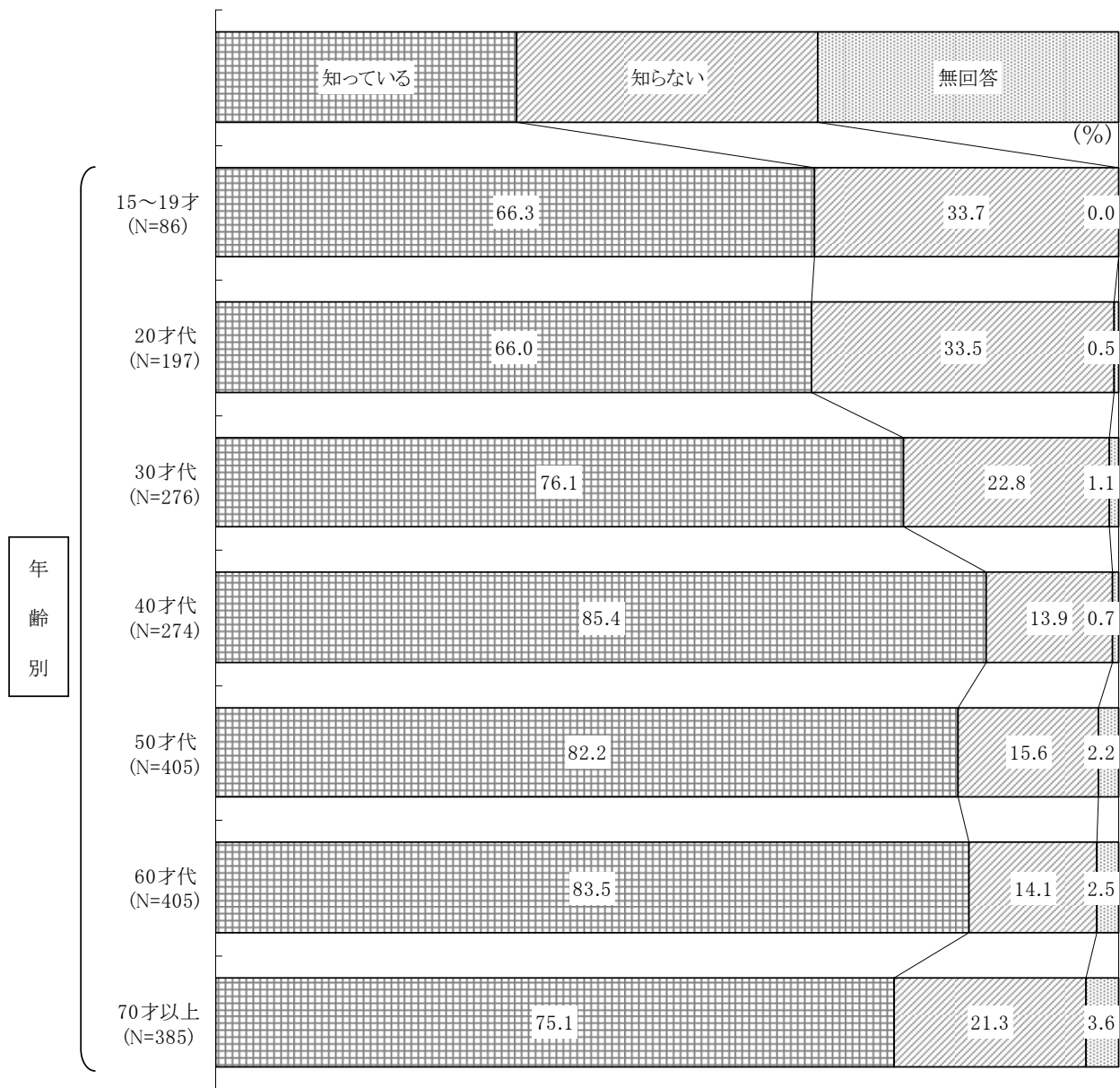
16. 療養所入所者の社会復帰が困難であることの認知状況

問. ハンセン病療養所入所者の社会復帰は、偏見・差別意識などのため、非常に困難であるということを知っていますか。(どちらかに○)

- ・ハンセン病療養所入所者の社会復帰が偏見・差別意識などのために非常に困難であるということを知っている人は78.4%である。前回調査結果では、「知っている」人が79.5%であったことから、ほとんど違いはみられない。
- ・男女別、地域別には大きな違いはみられない。



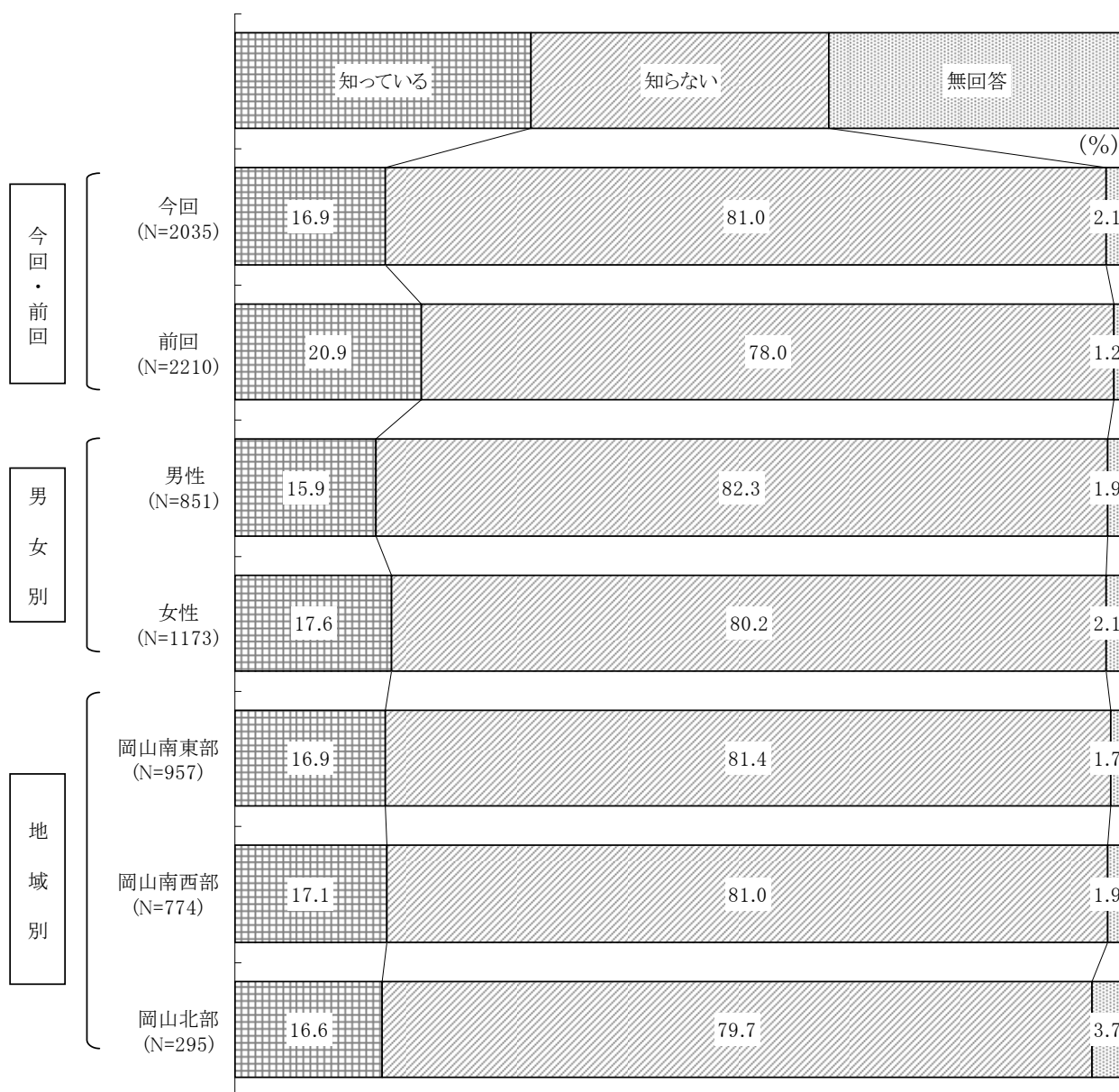
・年齢別にみると、40～60才代では「知っている」人が80%以上と多くなっている。



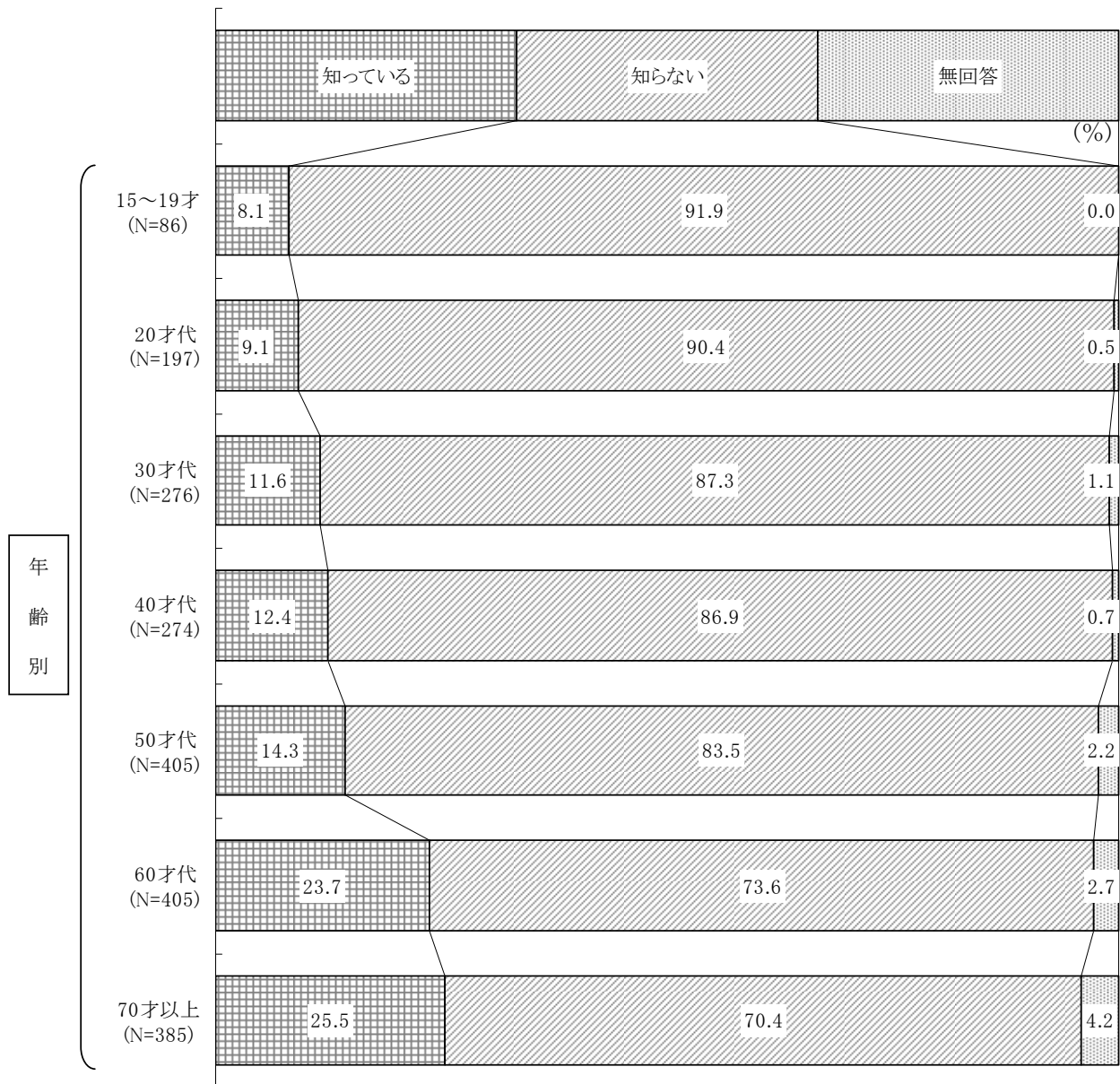
17. 社会復帰支援員の認知状況

問. あなたは、療養所入所者の社会復帰を支援する「社会復帰支援員」が活動していることを知っていますか。(どちらかに○)

- ・療養所入所者の社会復帰を支援する社会復帰支援員のことを「知っている」人の割合は16.9%であり、「知らない」人が81.0%である。前回調査では20.9%の人が「知っている」と回答しており、今回は4%ポイント低下している。
- ・男女別、地域別には大きな違いはみられない。



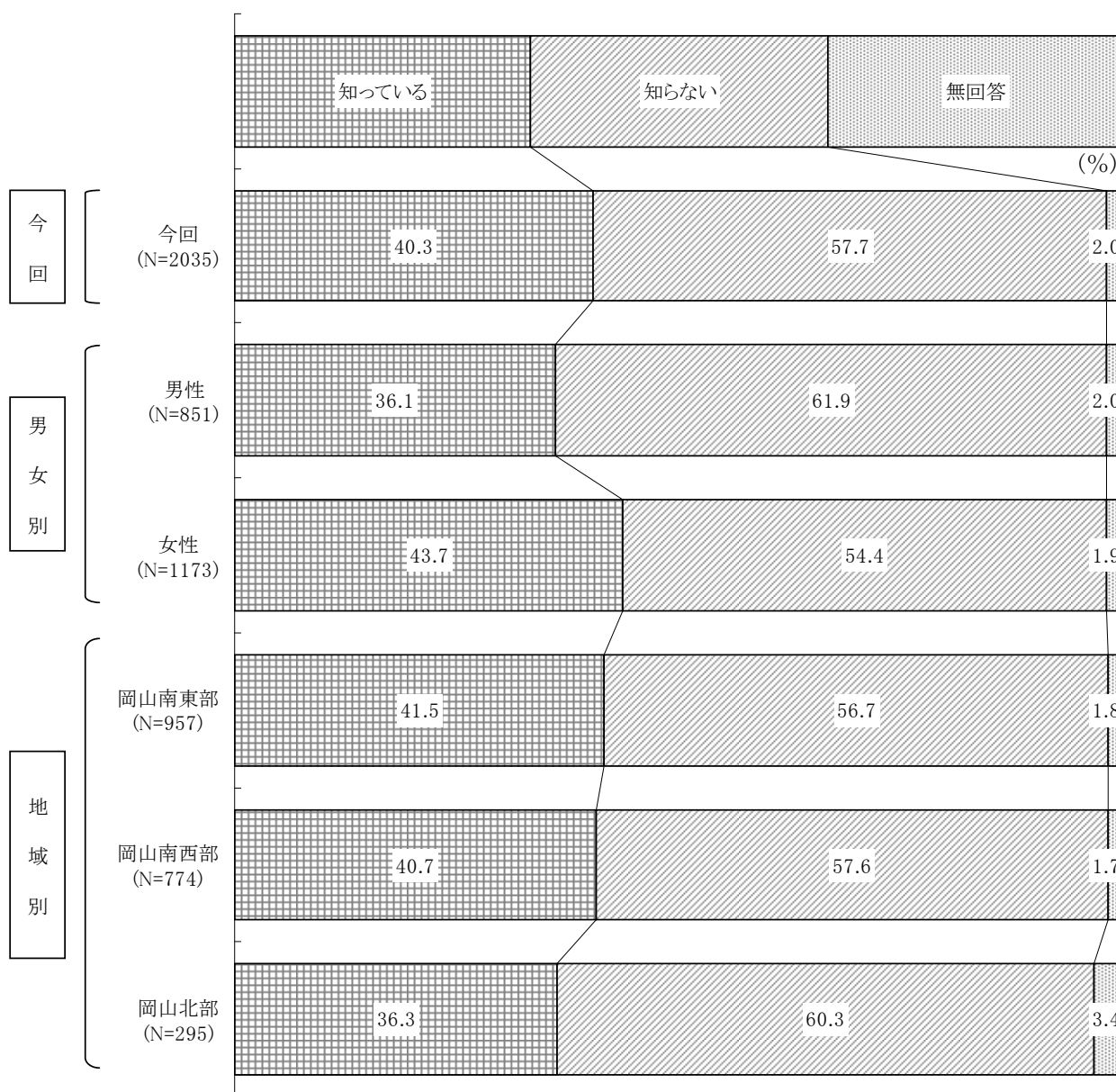
- 年齢別にみると、高齢になるほど知っている人の割合が大きくなっており、70才以上の人は25.5%の人が知っている。
- 前回調査以降の年齢コーホート別の変化をみると、45才以上では「知っている」人の割合が若干低下している。(参考資料 p97 を参照)。



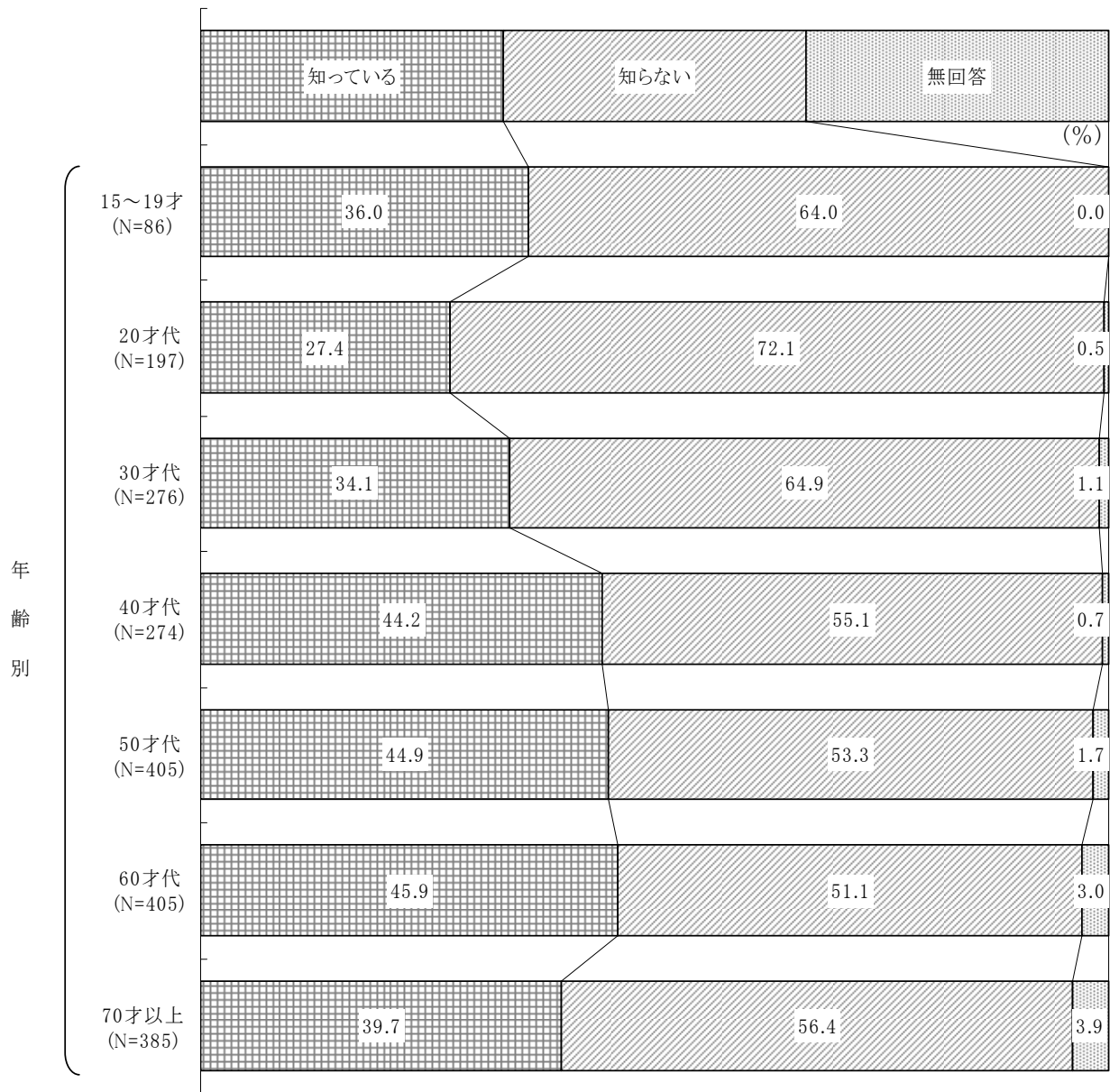
18. 療養所入所者との交流活動の認知状況

問. あなたは、療養所入所者との交流活動として納涼夏祭り、小学生との交流、中学生、高校生との体験学習、座談会などが行われていることを知っていますか。(どちらかに○)

- ・療養所入所者との交流活動として納涼夏祭り、小学生との交流、中学生、高校生との体験学習、座談会などが行われていることを「知っている」人は40.3%、「知らない」人は57.7%である。
- ・男女別にみると女性では「知っている」人が43.7%と、男性の36.1%に比べて若干多い。
- ・地域別には大きな違いはみられない。



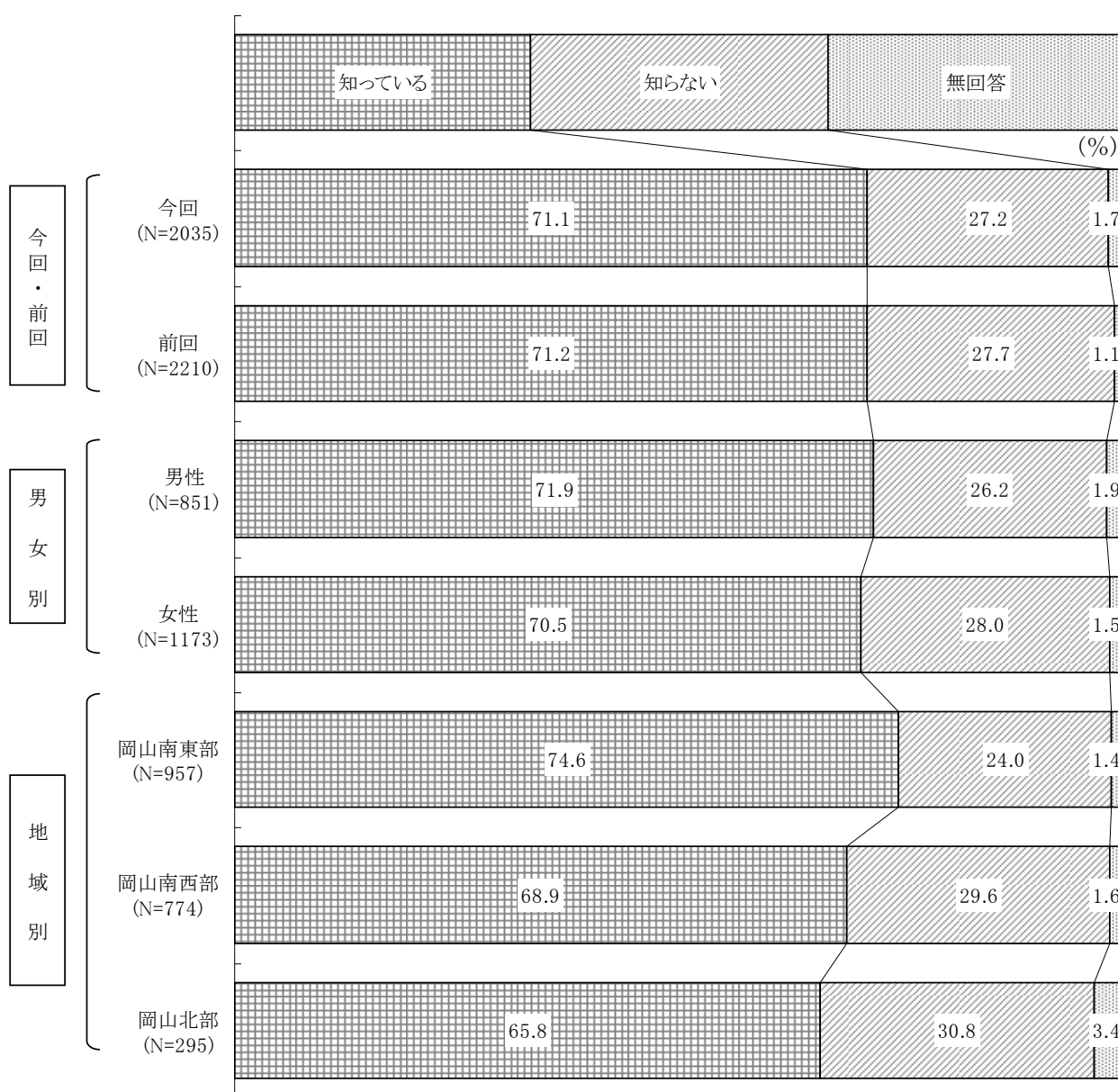
・年齢別にみると、40～60才代の認知割合が45%前後とやや大きくなっている。



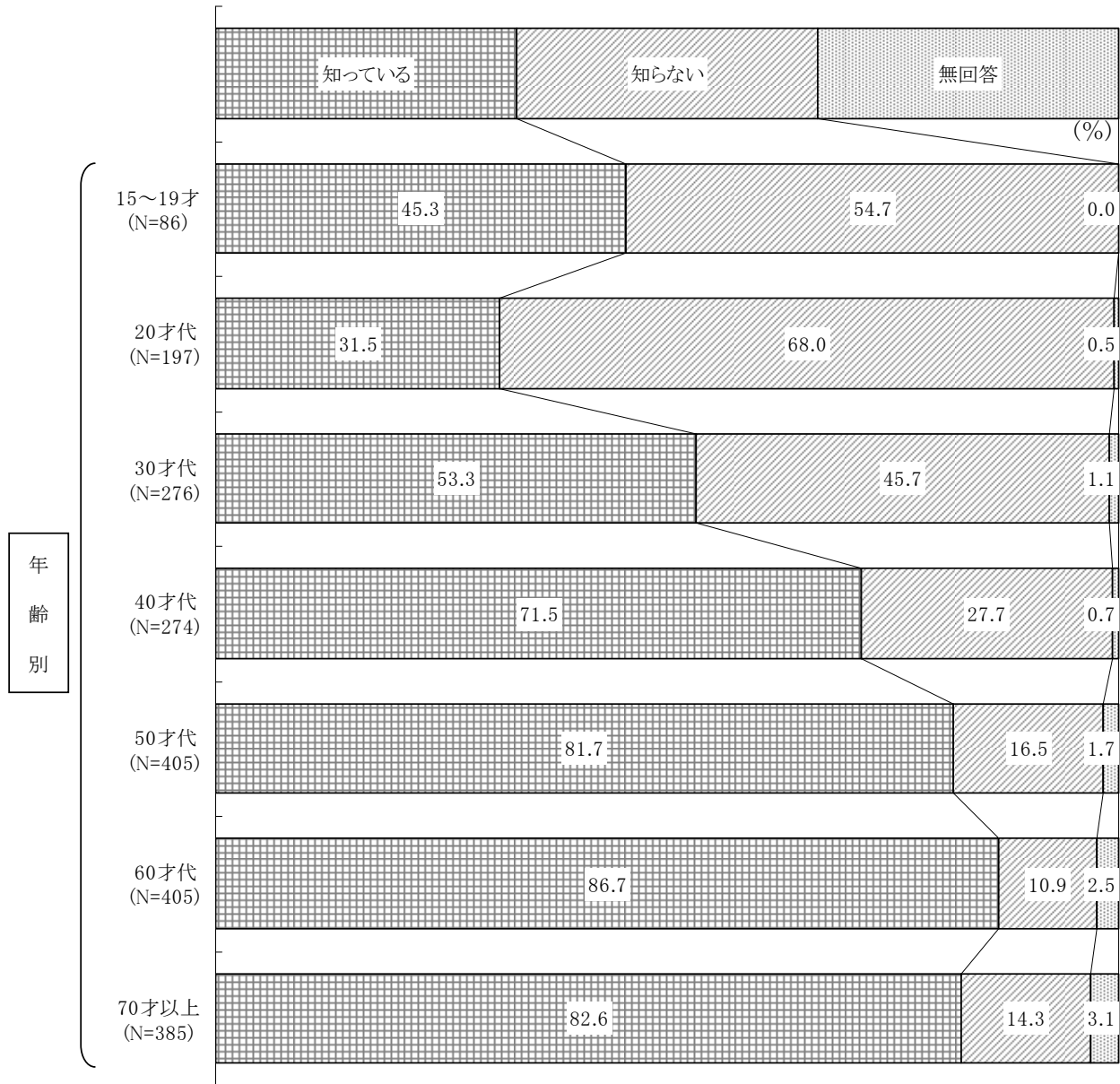
19. 昭和 63 年の邑久長島大橋架橋の認知状況

問. あなたは、昭和 63 年、国立療養所長島愛生園と邑久光明園がある長島(瀬戸内市邑久町)に、邑久長島大橋がかけられたことを知っていますか。(どちらかに○)

- ・昭和 63 年に邑久長島大橋がかけられたことを「知っている」人は 71.1%、「知らない」人は 27.2%である。前回調査では「知っている」人は 71.2%であり、今回調査とほぼ同じ結果であった。
- ・男女別には大きな違いはみられない。
- ・地域別にみると岡山南東部では 74.6%の人が知っており、他地域に比べて認知割合がやや大きくなっている。



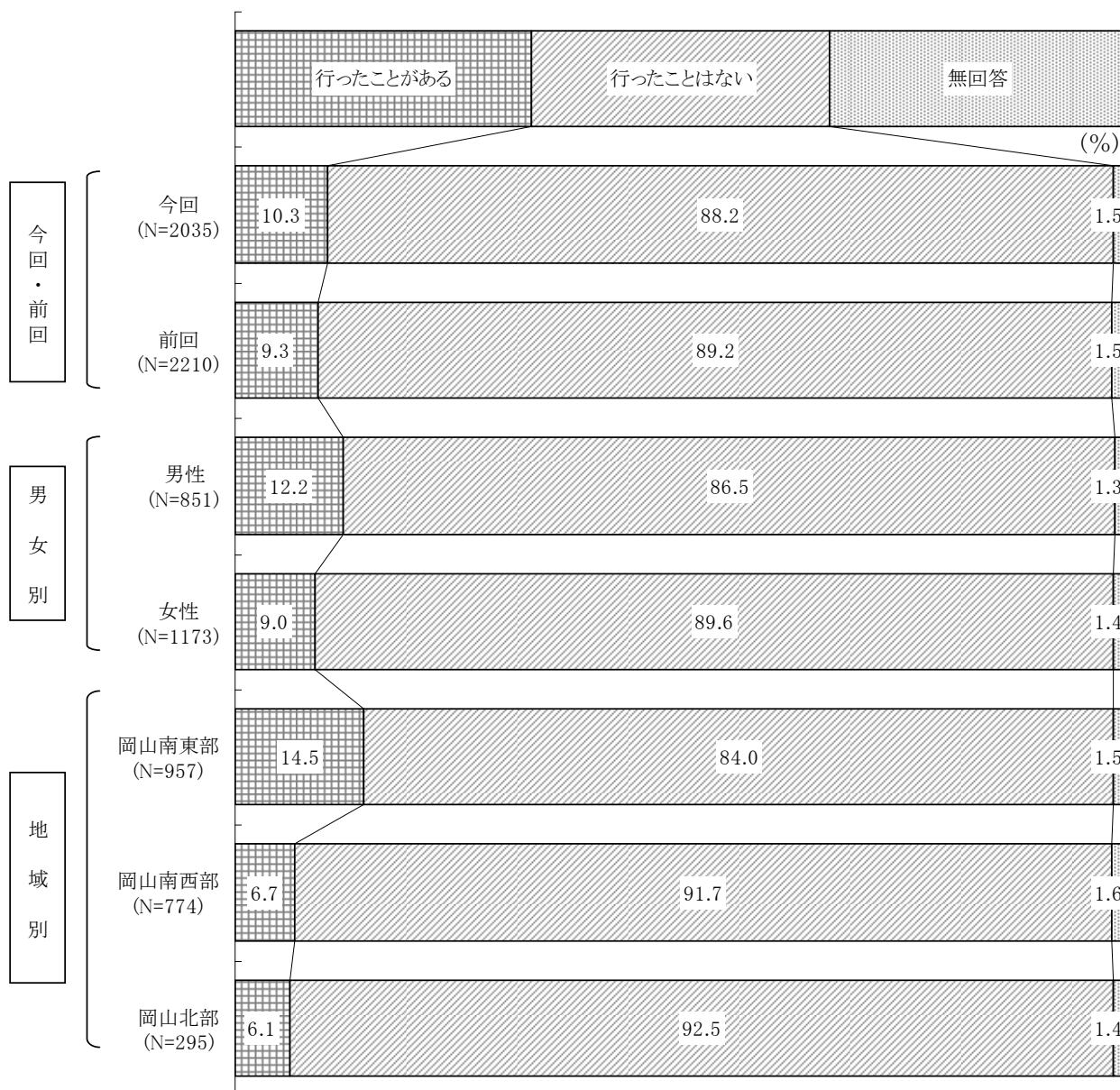
・年齢別にみると 50 才代以上では 80%以上の人知っているが、年齢が低くなるにつれて総じて認知割合が小さくなる傾向がみられる。



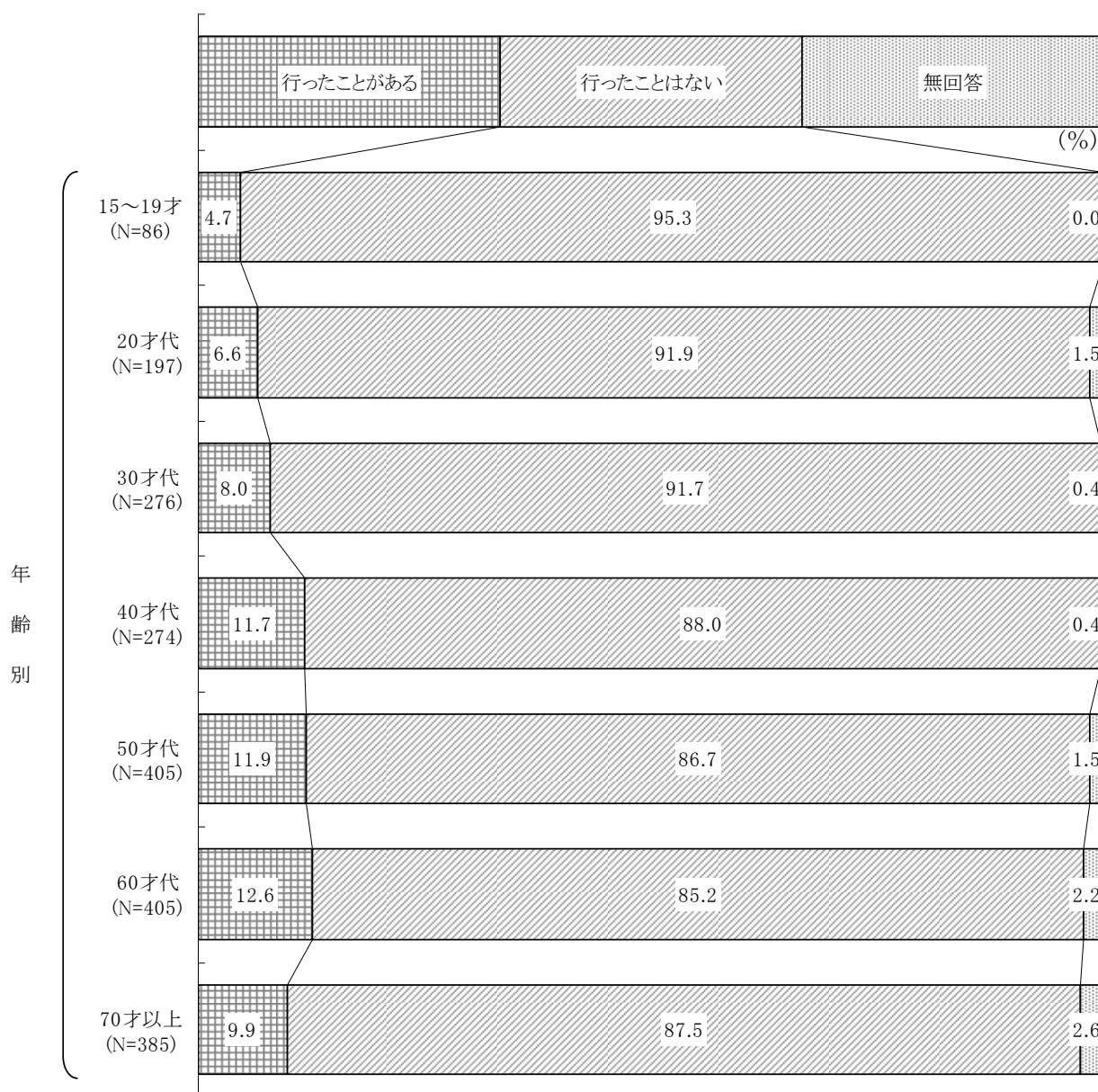
20. ハンセン病療養所への訪問状況

問. あなたは、ハンセン病療養所へ行ったことがありますか。(どちらかに○)

- ・ハンセン病療養所への訪問経験を尋ねたところ、「行ったことがある」人が10.3%、「行ったことはない」人は88.2%である。
- ・男女別には男性が、地域別には岡山南東部が、「行ったことがある」人の割合が若干大きくなっている。



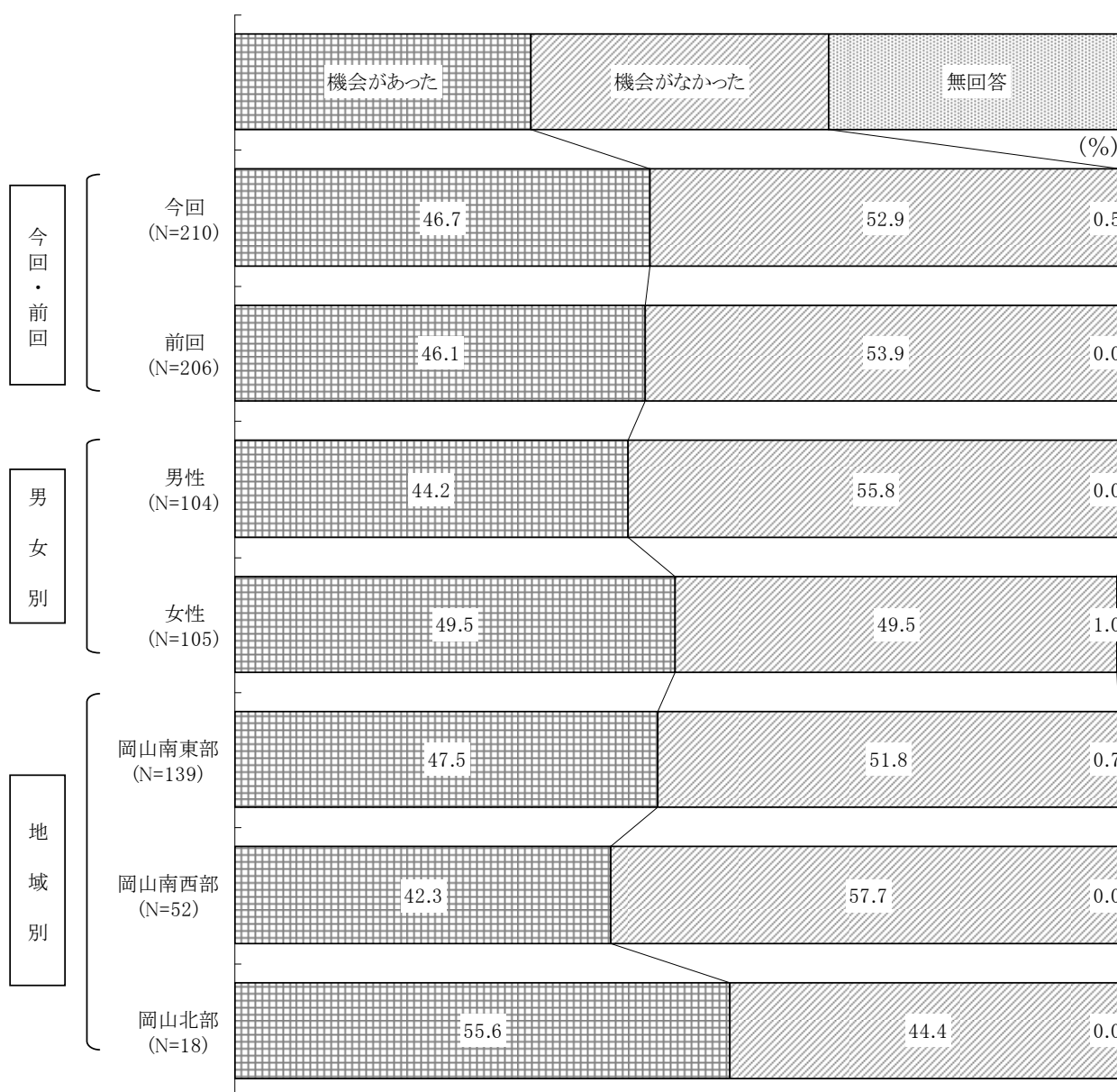
- ・年齢別にみると、総じて高齢になるにつれて「行ったことがある」人が多くなる傾向がある。
- ・前回調査では「行ったことがある」人は9.3%であった。今回調査との差はわずかに1%ポイントと小さいが、男女別、年齢コーホート別、地域別にみると、ほとんどすべての層で「行ったことがある」人の割合が今回調査の方が若干大きくなっていることから、ハンセン病療養所への訪問経験者は最近5年間に微増したものと推察される（参考資料p99を参照）。



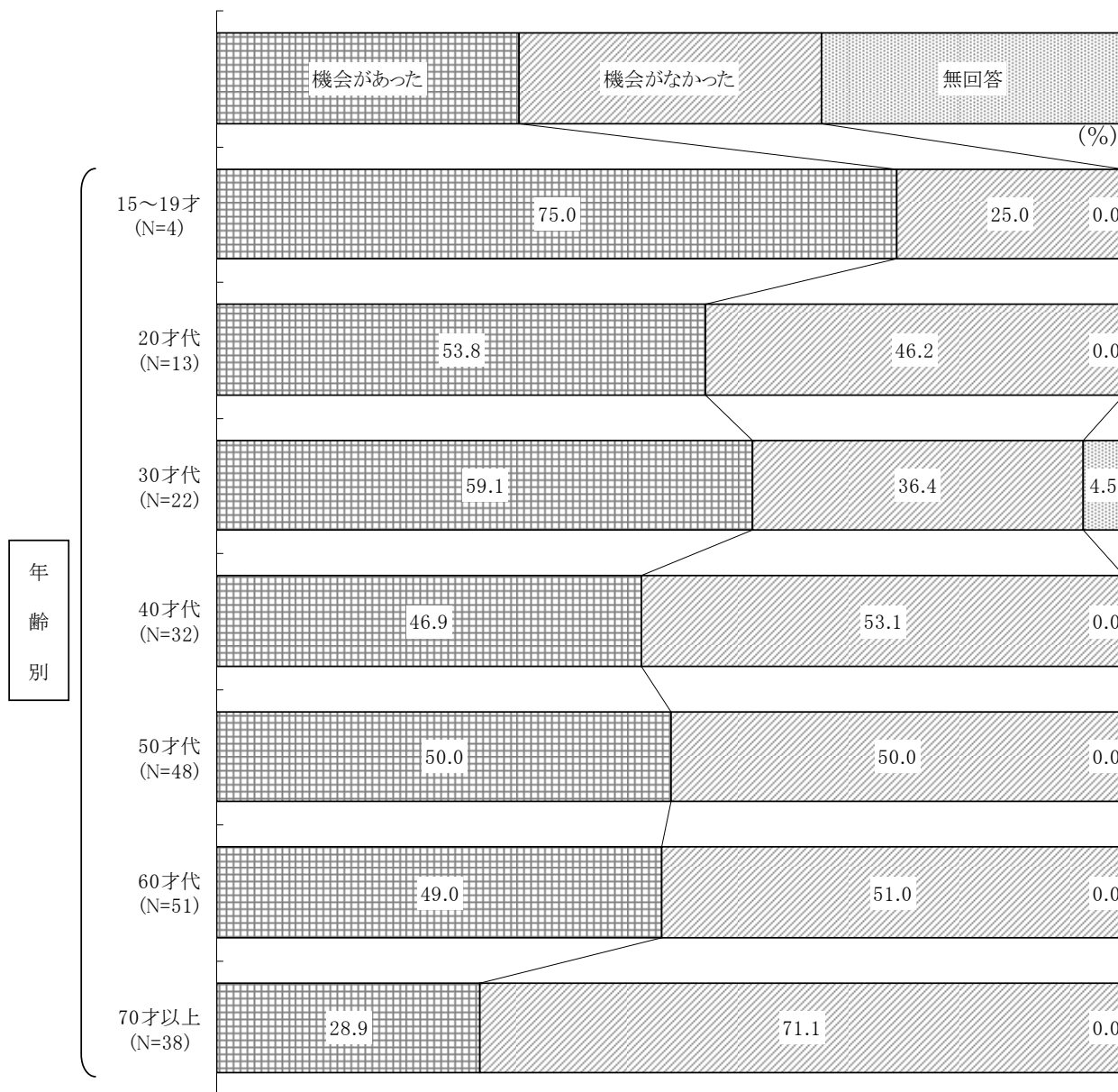
21. 療養所訪問時の療養所入所者との会話機会の状況

問. あなたはハンセン病療養所で入所者と直接話をする機会がありましたか。(どちらかに○)

- ・ハンセン病療養所へ行ったことがある人（今回調査では 210 人）に、入所者と直接話をする機会があったか否かを尋ねたところ、「機会があった」人が 46.7%、「機会がなかった」人が 52.9%である。
- ・前回調査結果では「機会があった」人が 46.1%、「機会がなかった」人が 53.9%であり、差はみられない。
- ・男女別、地域別に若干差がみられるものの、誤差率を考慮すると明確な差とは言えない。



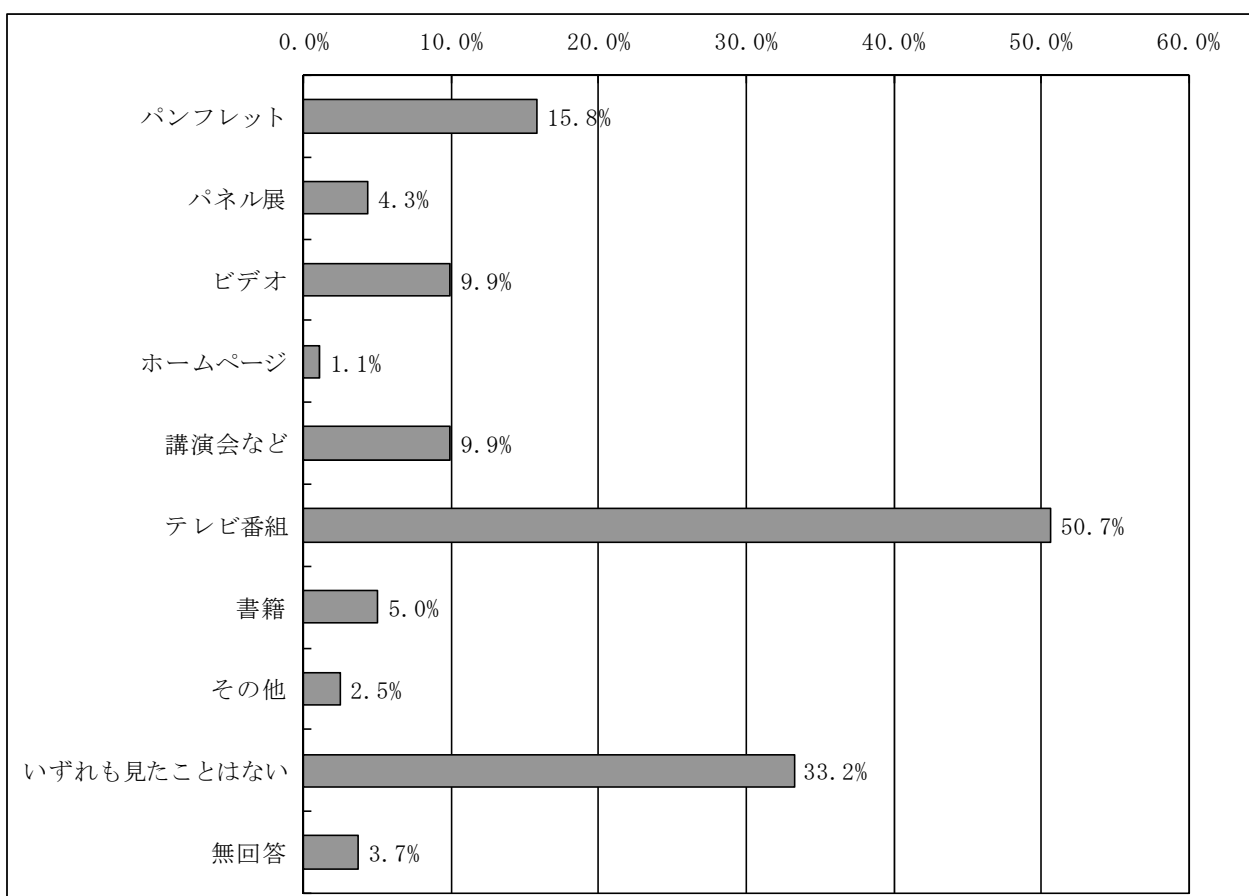
・年齢別にみると、年齢が若くなるにつれて「機会があった」人の割合が総じて大きくなる傾向がみられる。



22. 実際に体験したことのあるハンセン病に関する岡山県の事業

問. 岡山県は、県民一人ひとりがハンセン病に対する偏見や差別の解消に向けて正しい知識と理解を持ってもらうために、様々な活動を行っています。次の中であなたが実際に見たもの、行ったことがあるものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも)

- ・岡山県が実施しているハンセン病対策事業の中で実際に見たもの、行ったことがあるものを尋ねたところ「テレビ番組」が最も多く 50.7%、次いで「パンフレットなど」15.8%、「ビデオ」9.9%、「講演会など」9.9%の順である。「いずれも見た(行った)ことはない」人は 33.2%である。「その他」では、「テレビ・新聞などのニュース」0.6%、「学校の授業」0.4%などの記述がみられる。



- ・前回調査結果と比較すると、「テレビ番組」が減少し、「講演会など」が6.6%から9.9%へ増加している。
- ・年齢別にみると20才代以上では「テレビ番組」が最も多く、次いで「パンフレットなど」の順となっているが、15～19才のみは「ビデオ」43.0%、「テレビ番組」25.6%、「パンフレットなど」20.9%、「講演会など」19.8%の順となっている。

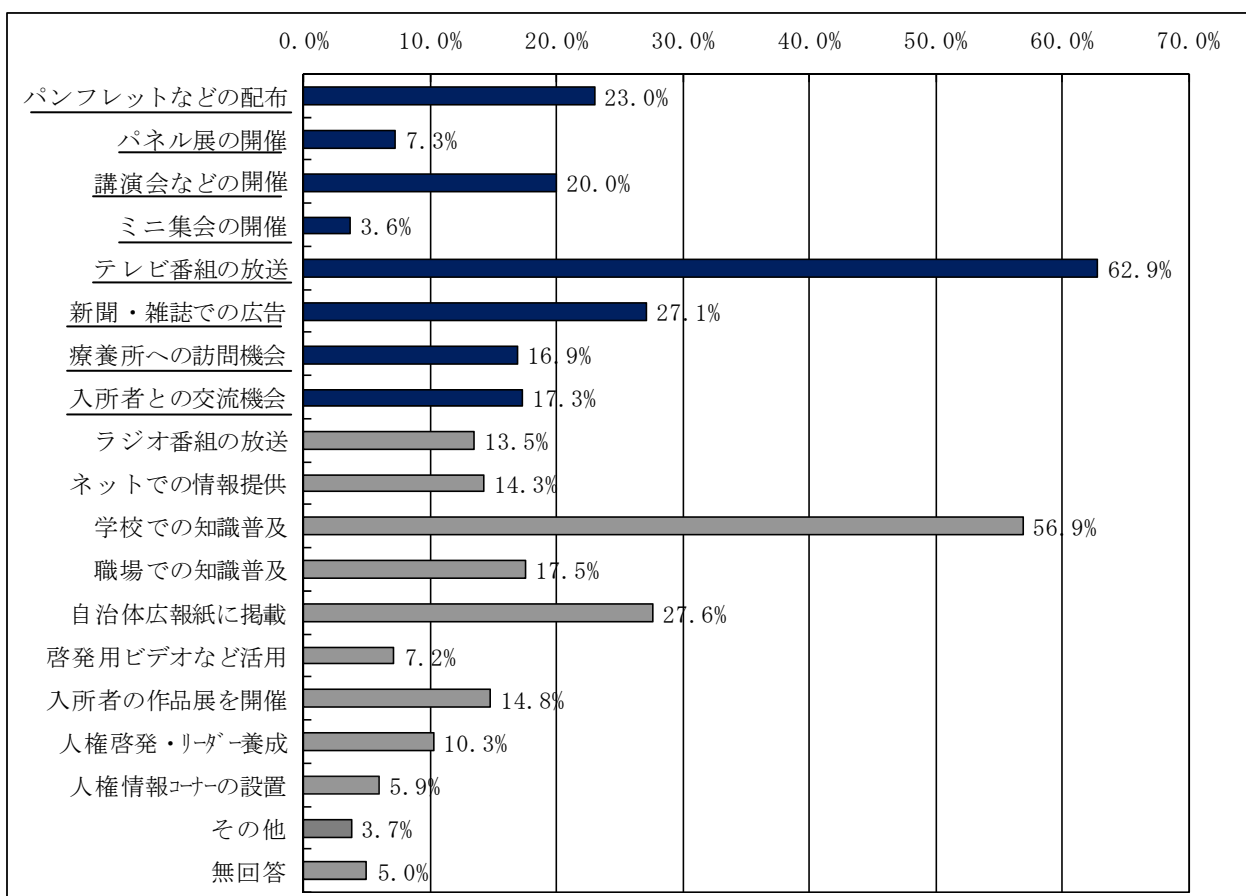
問22 実際に体験したことのあるハンセン病に関する岡山県の事業（複数回答） 単位：%

		どるハ パン セン フ ン レ 病 ッ ト 関 な す	るハ パ ン ネ セ ル 展 病 に 関 す	るハ ビ デ オ 病 に 関 す	るハ ホ ー セ ム ペ ー ジ に 関 す	るハ 講 演 会 な ど に 関 す	るハ テ レ セ ン 病 に 関 す	るハ 書 籍 に 関 す	そ の 他	な い （ い づ れ も 見 た こ と は	無 回 答
今 回 ・ 前 回	今回 (N=2035)	15.8	4.3	9.9	1.1	9.9	50.7	5.0	2.5	33.2	3.7
	前回 (N=2210)	16.5	3.1	8.8	1.1	6.6	55.2		3.5	32.4	2.7
男 女 別	男性 (N=851)	18.3	4.2	9.8	1.6	9.9	47.4	4.3	1.4	35.5	3.8
	女性 (N=1173)	13.9	4.3	10.1	0.7	10.1	53.1	5.5	3.2	31.6	3.5
年 齢 別	15～19才 (N=86)	20.9	2.3	43.0	4.7	19.8	25.6	3.5	3.5	34.9	-
	20才代 (N=197)	10.2	0.5	8.1	1.0	9.1	40.1	2.5	3.0	48.2	2.5
	30才代 (N=276)	14.1	1.8	5.4	1.4	8.7	46.7	4.3	4.3	40.6	0.4
	40才代 (N=274)	21.9	4.0	9.1	1.8	11.7	55.1	6.9	4.4	28.1	0.7
	50才代 (N=405)	17.0	5.7	9.6	0.7	11.9	61.0	5.7	0.7	26.2	3.5
	60才代 (N=405)	15.3	7.2	8.4	1.0	9.4	55.1	4.9	1.7	31.9	4.0
	70才以上 (N=385)	13.8	4.2	9.1	-	6.5	46.5	5.2	1.8	31.7	9.6
地 域 別	岡山南東部 (N=957)	16.7	5.4	10.6	1.4	11.1	50.5	5.7	2.4	32.6	3.9
	岡山南西部 (N=774)	14.0	3.5	8.4	0.5	8.0	51.8	3.7	1.8	33.6	3.5
	岡山北部 (N=295)	18.0	2.7	11.9	1.7	11.2	49.5	6.1	4.4	33.2	3.7

23. 今後望まれる岡山県のハンセン病対策事業

問. あなたは今後、ハンセン病への偏見や差別の解消のための岡山県の取り組みとして、どのような活動を行うことがよいと思われますか。(〇はいくつでも)

- ・ハンセン病への偏見や差別の解消のための岡山県の取り組みとして望まれる事業を尋ねたところ、「テレビ番組の制作・放送」62.9%と「学校での知識普及の推進」56.9%が特に多く、次いで「県や市町村の広報紙での記事の掲載」27.6%、「新聞・雑誌での広告記事の掲載」27.1%、「パンフレットなどの配布」23.0%、「講演会などの開催」20.0%の順であり、多様な施策の展開が望まれている。「その他」では提案として「携帯サイトでの情報提供」「アニメ映画の制作」などがみられる。
- ・前回調査では施策の例示が8項目であったが、今回調査では17項目とした。そのため、前回調査と同じ8項目については、いずれの項目でも今回の方が回答割合が若干小さくなっている。
- ・年齢別にみると「療養所への訪問機会の提供」「療養所入所者との交流機会の提供」「インターネットによる情報提供」「職場での知識普及の推進」の4項目は、総じて年齢が若い人ほど挙げる割合が大きくなる傾向がみられる。
- ・ハンセン病についてもっとよく知りたいと思っている人では「療養所への訪問機会の提供」を挙げている人が40.8%に達している。



注：選択肢にアンダーラインを引いているのは、前回調査と同じ8項目。

問23 今後望まれる岡山県のハンセン病対策事業（複数回答）

単位：%

		のバ配 ンブ レツ トな ど	パ ネ ル 展 の 開 催	講 演 会 な ど の 開 催	ミ ニ 集 会 の 開 催	作 テ レ ビ 番 組 の 制	告 新 聞 ・ 雑 誌 の 掲 載	会 の 提 供 の 訪 問 機	療 養 所 入 所 者 の 提 供	交 流 機 会 の 提 供	作 ラ ジ オ 番 組 の 製	よ る 情 報 提 供 に	イ ン タ ー ネ ッ ト	の 推 進	学 校 で の 知 識 普 及	の 推 進	職 場 で の 知 識 普 及	紙 の 記 事 の 掲 載	県 や 市 町 村 の 広 報	V 啓 発 用 ビ ジ オ ・ D の 活 用	療 養 所 入 所 者 の 作 品 展 の 開 催	リ ー ダ ー の 養 成	人 権 啓 発 ・ 教 育	を 多 数 設 置	人 権 情 報 コ ー ナ ー	そ の 他	無 回 答				
今 回 ・ 前 回	今 回 (N=2035)	23.0	7.3	20.0	3.6	62.9	27.1	16.9	17.3	13.5	14.3	56.9	17.5	27.6	7.2	14.8	10.3	5.9	3.7	5.0											
	前 回 (N=2210)	32.0	9.7	22.7	6.0	70.4	38.6	20.0	22.4																		6.4	3.1			
男 女 別	男 性 (N=851)	25.0	7.3	16.3	3.5	61.9	29.5	12.2	14.6	14.9	15.6	54.3	17.0	27.8	8.1	12.1	11.8	6.2	4.7	4.6											
	女 性 (N=1173)	21.6	7.2	22.8	3.8	63.7	25.7	20.4	19.4	12.6	13.3	58.9	18.1	27.5	6.6	16.7	9.3	5.8	3.0	5.1											
年 齢 別	15～19才 (N=86)	25.6	5.8	38.4	2.3	47.7	31.4	26.7	24.4	14.0	23.3	60.5	18.6	16.3	9.3	22.1	5.8	4.7	2.3	1.2											
	20才代 (N=197)	14.7	5.1	18.8	3.6	68.5	31.0	24.4	22.3	14.2	22.3	71.1	25.4	21.8	6.6	14.7	9.1	4.1	4.1	3.0											
	30才代 (N=276)	23.2	7.2	19.6	2.9	69.9	30.8	19.6	24.3	11.2	21.0	66.3	28.3	24.3	5.1	17.8	8.7	5.8	6.2	0.7											
	40才代 (N=274)	18.2	8.0	21.9	5.1	70.1	31.0	19.7	23.7	12.8	20.1	75.5	19.7	28.5	10.9	16.1	10.9	6.2	1.8	1.5											
	50才代 (N=405)	22.0	7.2	20.2	4.2	67.9	29.6	15.6	16.8	15.8	14.8	59.0	18.8	34.3	8.1	13.3	12.8	7.2	3.2	3.5											
	60才代 (N=405)	25.9	11.1	19.0	4.4	58.0	22.2	15.1	13.8	15.8	9.4	50.6	13.3	28.9	8.4	13.8	10.1	5.9	3.2	4.7											
	70才以上 (N=385)	28.1	3.9	16.6	2.1	53.5	21.8	10.6	8.1	10.6	3.9	33.5	7.5	26.5	3.6	12.5	10.1	6.0	4.4	14.5											
地 域 別	岡 山 南 東 部 (N=957)	22.2	7.6	17.7	4.2	62.5	29.3	16.3	18.1	12.7	15.2	58.0	18.6	24.1	7.5	15.7	11.3	5.6	3.6	5.2											
	岡 山 南 西 部 (N=774)	22.4	7.6	20.2	2.7	65.2	24.8	16.9	16.1	14.5	12.7	55.4	16.0	30.7	6.8	14.0	9.9	5.8	4.1	4.9											
	岡 山 北 部 (N=295)	27.5	4.7	27.1	4.1	58.3	27.1	19.0	18.0	13.9	15.6	57.6	18.6	30.2	7.1	13.9	8.1	7.5	3.1	4.7											
普 及 状 況 意 識 別	普 及 し て い る と 思 う (N=136)	30.1	9.6	16.9	5.1	55.9	21.3	14.0	10.3	12.5	6.6	46.3	14.0	24.3	5.1	16.2	8.8	4.4	2.9	4.4											
	少 し は 普 及 し て い る と 思 う (N=733)	21.0	7.1	24.1	3.7	65.5	25.9	19.9	20.9	14.7	14.7	61.5	16.5	28.5	9.4	16.1	10.9	7.4	1.9	3.1											
	あ ま り 普 及 し て い な い と 思 う (N=797)	24.2	8.4	19.8	3.8	65.5	29.9	17.3	18.4	13.0	15.8	61.0	20.7	29.1	6.3	16.2	11.7	5.8	4.0	2.0											
	ま っ た く 普 及 し て い な い と 思 う (N=135)	25.9	3.0	16.3	2.2	65.9	36.3	16.3	20.0	13.3	18.5	66.7	27.4	26.7	6.7	12.6	6.7	5.2	7.4	2.2											
	わ か ら な い (N=169)	21.3	5.3	11.8	3.0	47.3	20.1	8.3	3.6	11.2	8.3	29.0	6.5	23.1	4.1	5.3	6.5	2.4	9.5	16.6											
知 識 ・ 情 報 へ の 意 欲 別	も っ と よ く 知 り た い と 思 う (N=169)	30.2	12.4	30.8	5.9	71.0	34.9	40.8	36.7	16.6	28.4	77.5	36.1	28.4	12.4	26.0	15.4	8.9	6.5	1.2											
	機 会 が あ れ ば 知 り た い と 思 う (N=1146)	24.2	8.6	24.1	4.3	68.6	28.8	18.8	20.0	14.3	15.4	64.7	21.0	29.9	7.5	16.1	11.3	7.1	2.0	1.9											
	特 に 知 り た い と 思 わ な い (N=610)	18.9	3.6	10.7	2.0	53.1	24.3	8.0	7.7	12.1	9.8	41.3	7.9	23.4	5.7	9.2	7.4	3.4	5.7	7.4											

・見たもの行ったことがあるもの別に岡山県の取り組むべき事業をみると、いずれの場合も「テレビ番組の制作・放送」と「学校での知識普及の推進」が多いが、それら以外では、パンフレットをみたことがある人は「パンフレットなどの配布」を希望し、パネル展へ行ったことがある人は「パネル展の開催」を挙げるなど、総じて自分自身が経験したものを挙げている人が多い。また、ホームページをみた人は、他のものを見聞きした人に比べて多くの事業を挙げている。

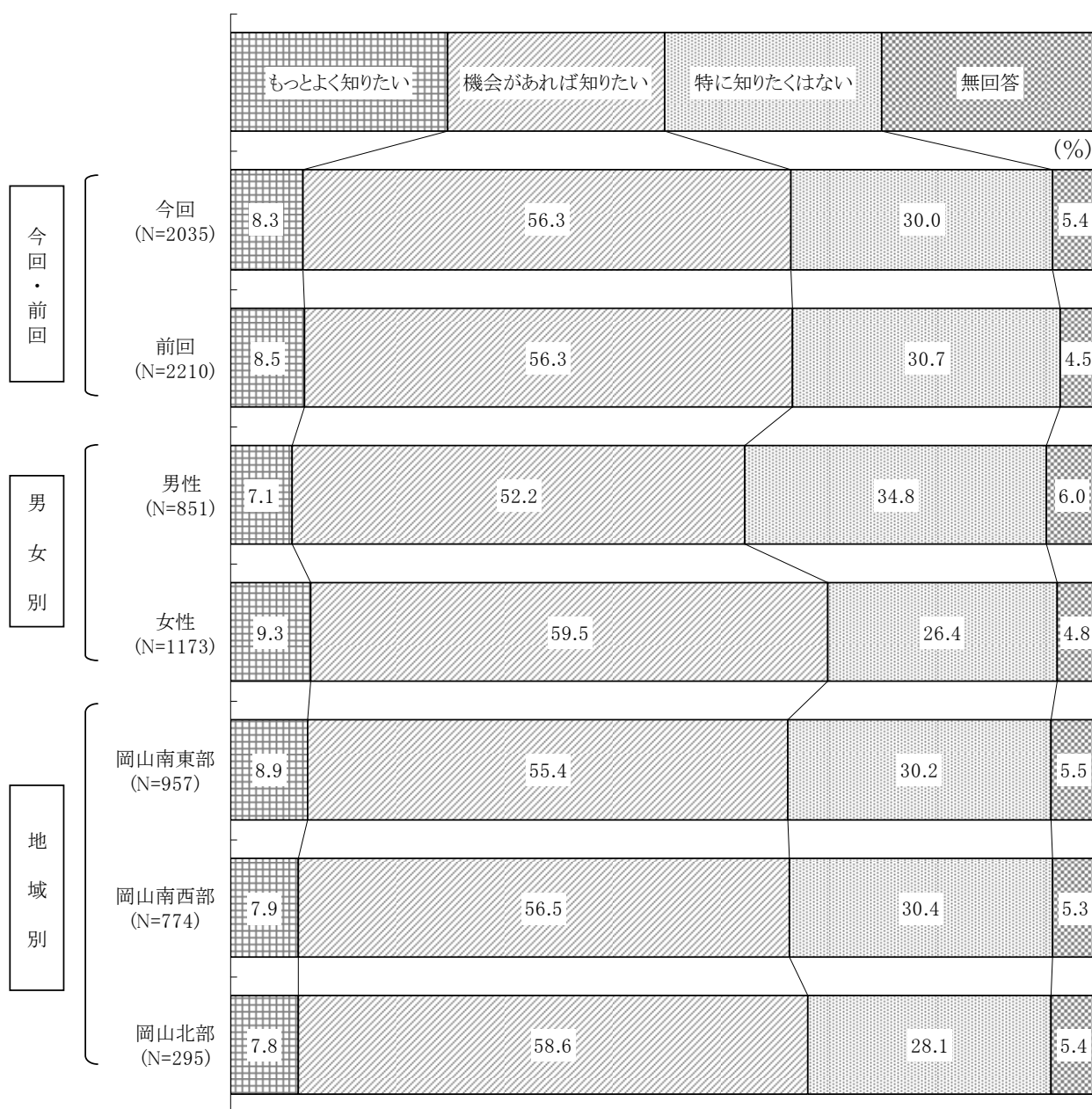
見たもの行ったことがあるもの別にみた 岡山県が取り組むべき事業（複数回答） 単位：%

		問22 見たもの、行ったことがあるもの									全体
		パンフレット	パネル展	ビデオ	ホームページ	講演会など	テレビ番組	書籍	その他	こいずれもない見た	
問23	パンフレットなどの配布	36.3	39.8	27.2	45.5	28.7	21.8	32.4	20.0	24.6	23.0
	パネル展の開催	10.9	31.8	9.4	22.7	10.4	8.7	10.8	2.0	5.5	7.3
	講演会などの開催	36.0	37.5	43.1	36.4	51.0	21.7	32.4	22.0	14.1	20.0
	ミニ集会の開催	7.1	10.2	6.4	13.6	8.4	4.5	7.8	8.0	2.7	3.6
	テレビ番組の放送	59.6	62.5	60.4	54.5	50.5	74.3	60.8	54.0	56.4	62.9
	新聞・雑誌での広告	29.5	23.9	26.7	40.9	25.7	29.5	32.4	28.0	27.7	27.1
	療養所への訪問機会	30.4	34.1	31.2	40.9	34.7	19.1	38.2	24.0	11.8	16.9
	入所者との交流機会	31.1	31.8	28.2	50.0	34.7	21.5	32.4	24.0	10.9	17.3
	ラジオ番組の放送	13.0	14.8	14.9	18.2	12.9	15.6	10.8	16.0	13.6	13.5
	ネットでの情報提供	14.3	10.2	13.9	36.4	13.4	14.7	12.7	24.0	16.0	14.3
	学校での知識普及	69.6	67.0	68.8	86.4	68.8	63.0	80.4	68.0	49.7	56.9
	職場での知識普及	27.6	19.3	25.7	31.8	30.2	19.0	29.4	20.0	16.4	17.5
	自治体広報紙に掲載	31.7	29.5	25.7	40.9	31.2	30.9	30.4	14.0	26.6	27.6
	啓発用ビデオなど活用	15.2	18.2	21.8	13.6	14.4	8.8	19.6	12.0	4.4	7.2
	入所者の作品展を開催	19.3	26.1	22.3	45.5	24.3	17.5	31.4	20.0	11.4	14.8
	人権啓発・リーダー養成	19.3	26.1	21.3	18.2	22.8	12.7	23.5	12.0	6.5	10.3
	人権情報コーナーの設置	8.1	13.6	8.4	9.1	7.9	7.5	7.8	2.0	5.3	5.9
	その他	3.1	0.0	2.5	0.0	3.5	2.5	1.0	18.0	6.1	3.7
	無回答	0.9	3.4	2.0	0.0	1.5	1.3	0.0	2.0	4.3	5.0

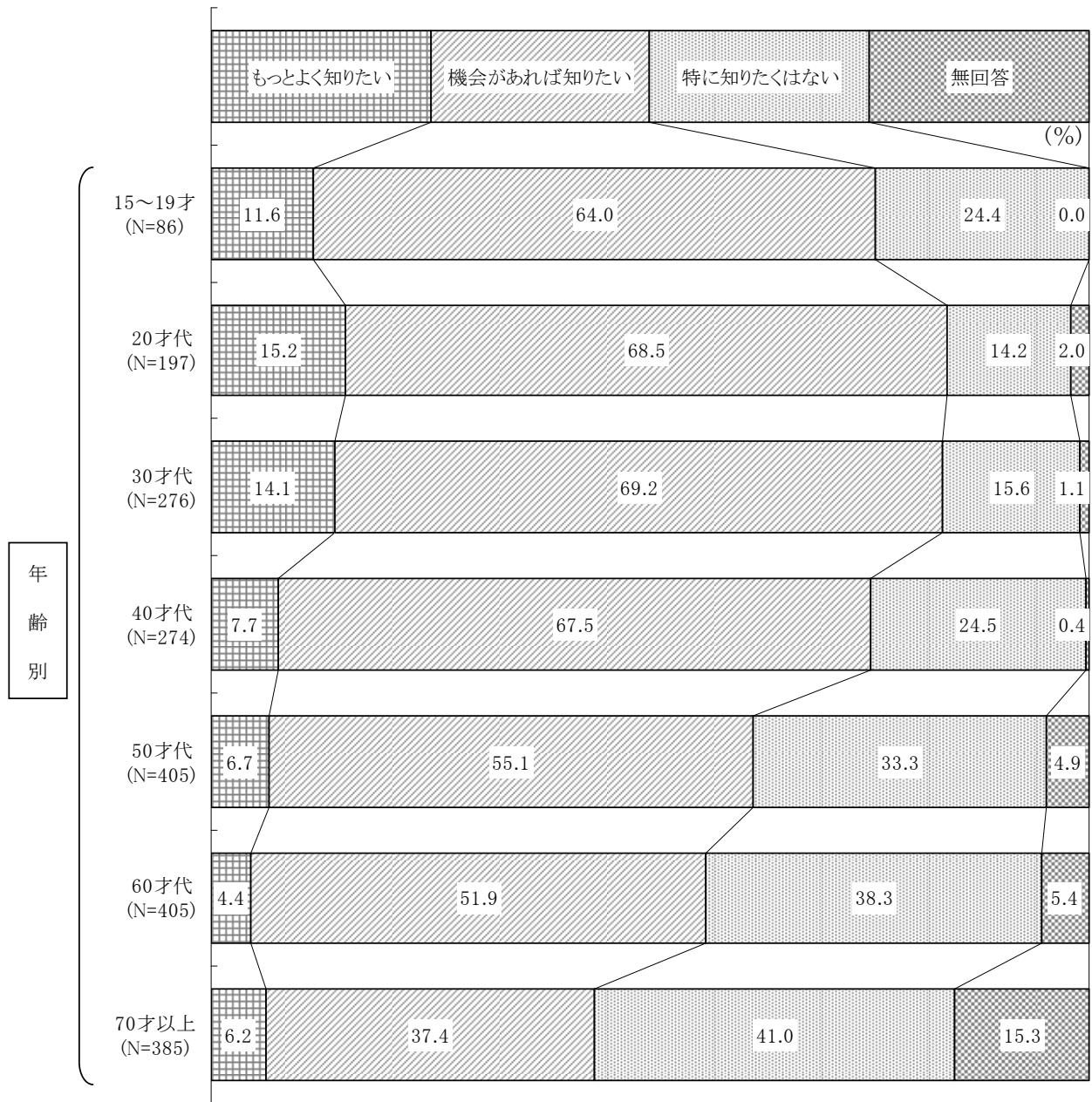
24. ハンセン病についての知識・情報への意欲

問. あなたはハンセン病に関することを、知りたいと思いますか。(ひとつだけに○)

- ・ハンセン病についての知識・情報への意欲をみると、「もっとよく知りたい」人が8.3%、「機会があれば知りたい」人が56.3%であり、合わせて64.6%の人が知りたいと思っている。
- ・前回調査では「もっとよく知りたい」人が8.5%、「機会があれば知りたい」人が56.3%であり、今回の結果は前回とほぼ同じとなっている。
- ・男女別にみると、女性では「もっとよく知りたい」人が9.3%、「機会があれば知りたい」人が59.5%と、男性に比べて知りたいと思っている人が多い。



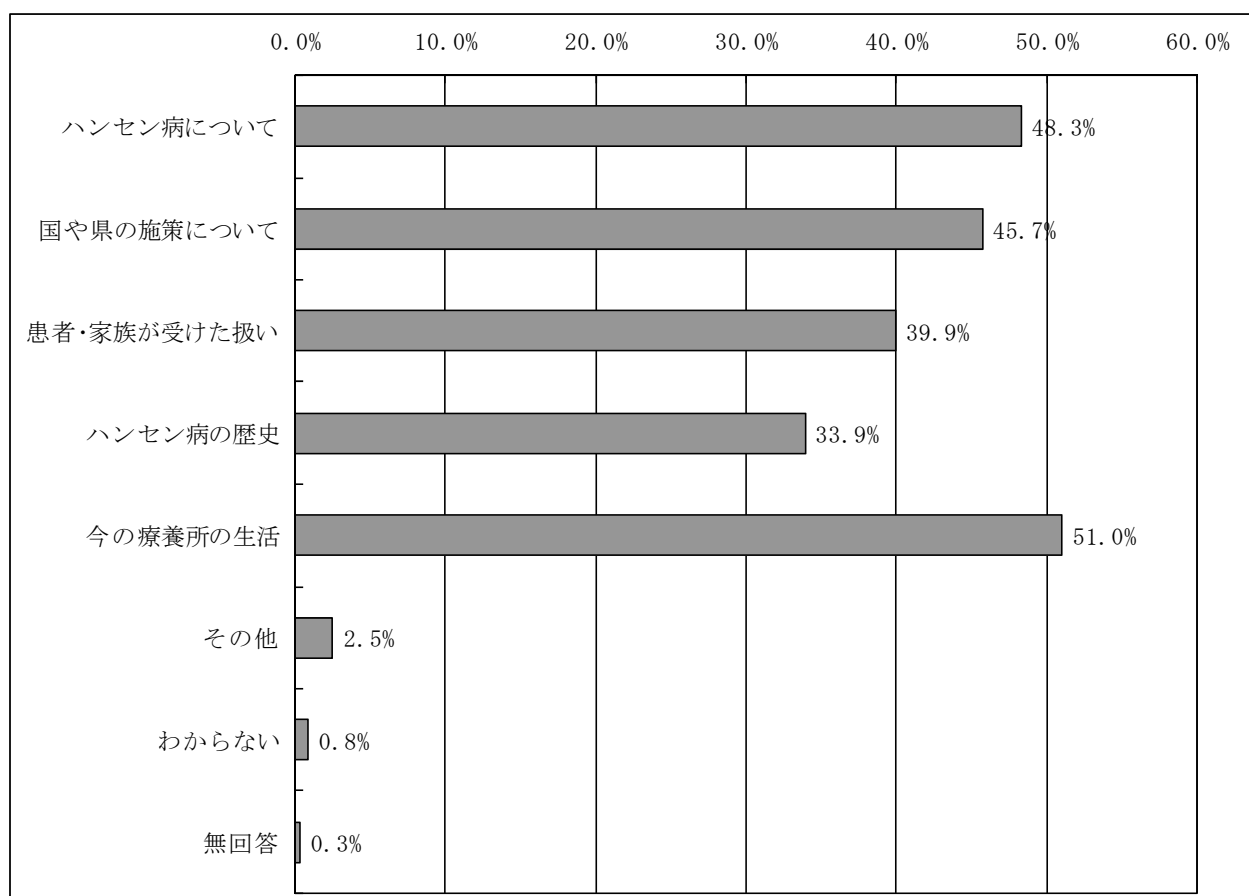
・年齢別にみると、総じて若い人ほど「もっとよく知りたい」「機会があれば知りたい」と思っている人が多い。



25. ハンセン病について知りたいこと

問. あなたはハンセン病について、どのようなことを知りたいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・ハンセン病について「もっとよく知りたい」または「機会があれば知りたい」と思っている人に、知りたい内容を尋ねたところ、「今の療養所の生活について」が最も多く51.0%、次いで「ハンセン病という病気について」48.3%、「国や県の施策について」45.7%、「患者や家族がどのような扱いを受けてきたかについて」39.9%、「ハンセン病の歴史について」33.9%の順である。
- ・「その他」では、「今後の生活、これからの将来」「回復者の気持ち、思い」などを知りたいという意見がみられる。



- ・前回調査結果と比較すると、挙げられている割合の順序等には差はみられないが、「国や県の施策について」以外の項目では、挙げられている割合が僅かずつではあるが小さくなっている。
- ・年齢別にみると、20才代以下と40～50才代では「今の療養所の生活について」が最も多く、30才代と70才以上では「ハンセン病という病気について」が、60才代では「国や県の施策について」が、それぞれ最も多くなっている。
- ・もっとよく知りたい人は、機会があれば知りたい人に比べて、いずれの内容についても多くの人が挙げている。

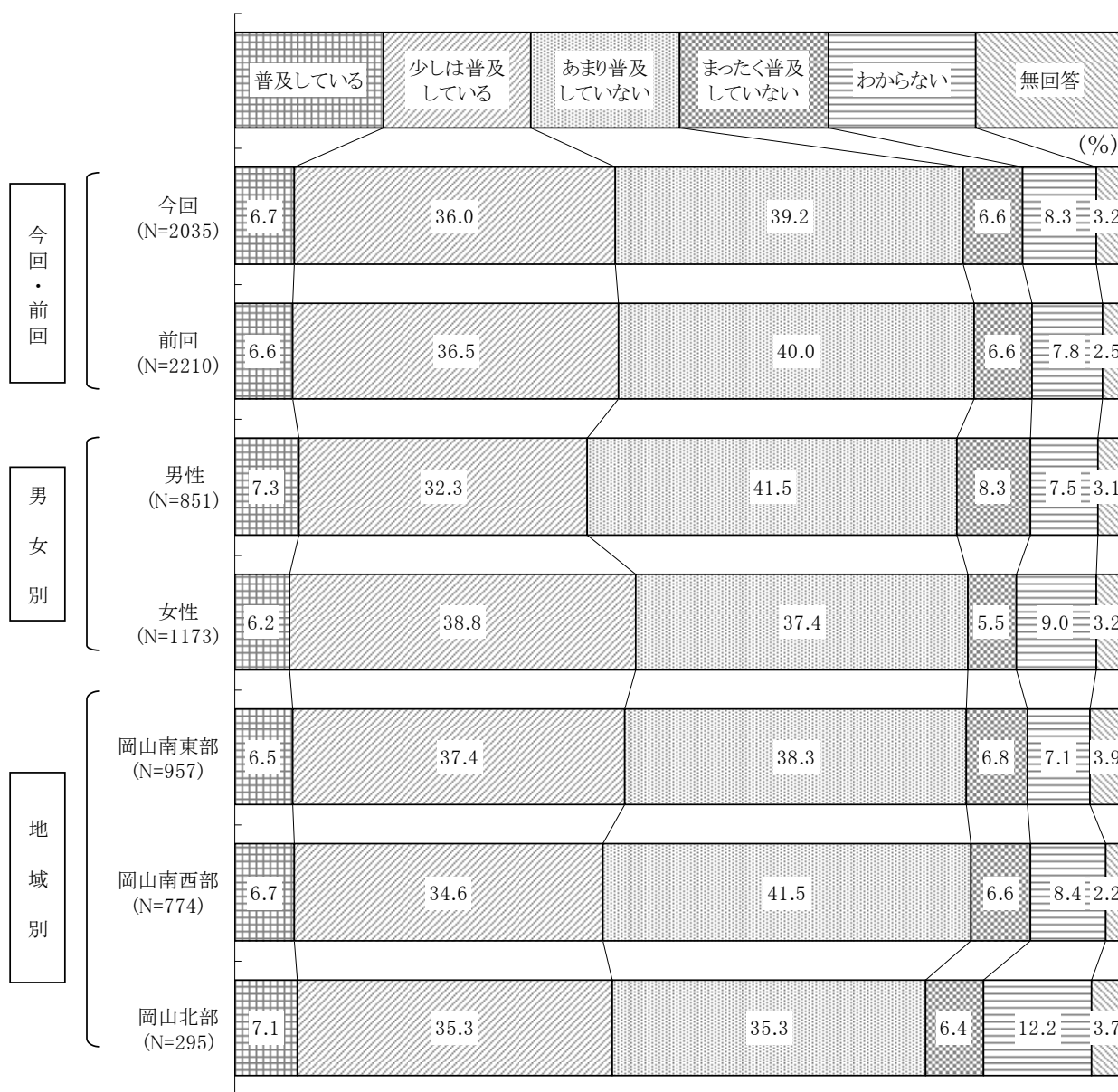
問25 ハンセン病について知りたいこと（複数回答） 単位：%

		にハン いセン 病とい う病気	国 や 県 の 施 策 に つ い て	たよ か う に な つ い い て 受 け て き の	い ハ ン セ ン 病 の 歴 史 に つ	い 今 の 療 養 所 の 生 活 に つ	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
今回・ 前回	今回 (N=1315)	48.3	45.7	39.9	33.9	51.0	2.5	0.8	0.3
	前回 (N=1432)	51.5	44.2	40.3	35.5	52.0	2.8	1.3	0.5
男女別	男性 (N=504)	50.0	46.4	40.1	39.9	44.6	2.8	0.8	0.4
	女性 (N=807)	47.3	45.2	39.9	30.2	54.9	2.4	0.9	0.2
年齢別	15～19才(N=65)	44.6	41.5	33.8	27.7	49.2	-	-	32.3
	20才代 (N=165)	57.0	47.9	49.7	37.0	65.5	3.0	-	18.8
	30才代 (N=230)	59.1	46.1	46.1	35.2	57.0	1.3	-	19.1
	40才代 (N=206)	51.0	48.1	41.3	38.3	52.9	4.9	-	32.5
	50才代 (N=250)	42.8	48.4	38.4	32.4	52.4	3.6	-	58.0
	60才代 (N=228)	42.1	47.4	38.2	34.2	43.0	2.6	0.9	74.1
	70才以上(N=168)	52.4	42.9	37.5	38.1	47.6	0.6	1.2	116.1
地域別	岡山南東部(N=615)	47.8	45.2	36.6	32.4	52.7	2.4	1.0	-
	岡山南西部(N=498)	48.8	45.6	42.0	34.7	49.4	2.2	0.6	0.6
	岡山北部 (N=196)	49.0	47.4	45.9	37.2	49.5	3.6	1.0	0.5
知識へ の意欲 別	もっとよく知りたいと思 う(N=169)	56.2	56.8	52.1	43.8	58.0	5.9	-	-
	機会があれば知りたい と思う(N=1146)	47.1	44.1	38.1	32.5	50.0	2.0	1.0	0.3

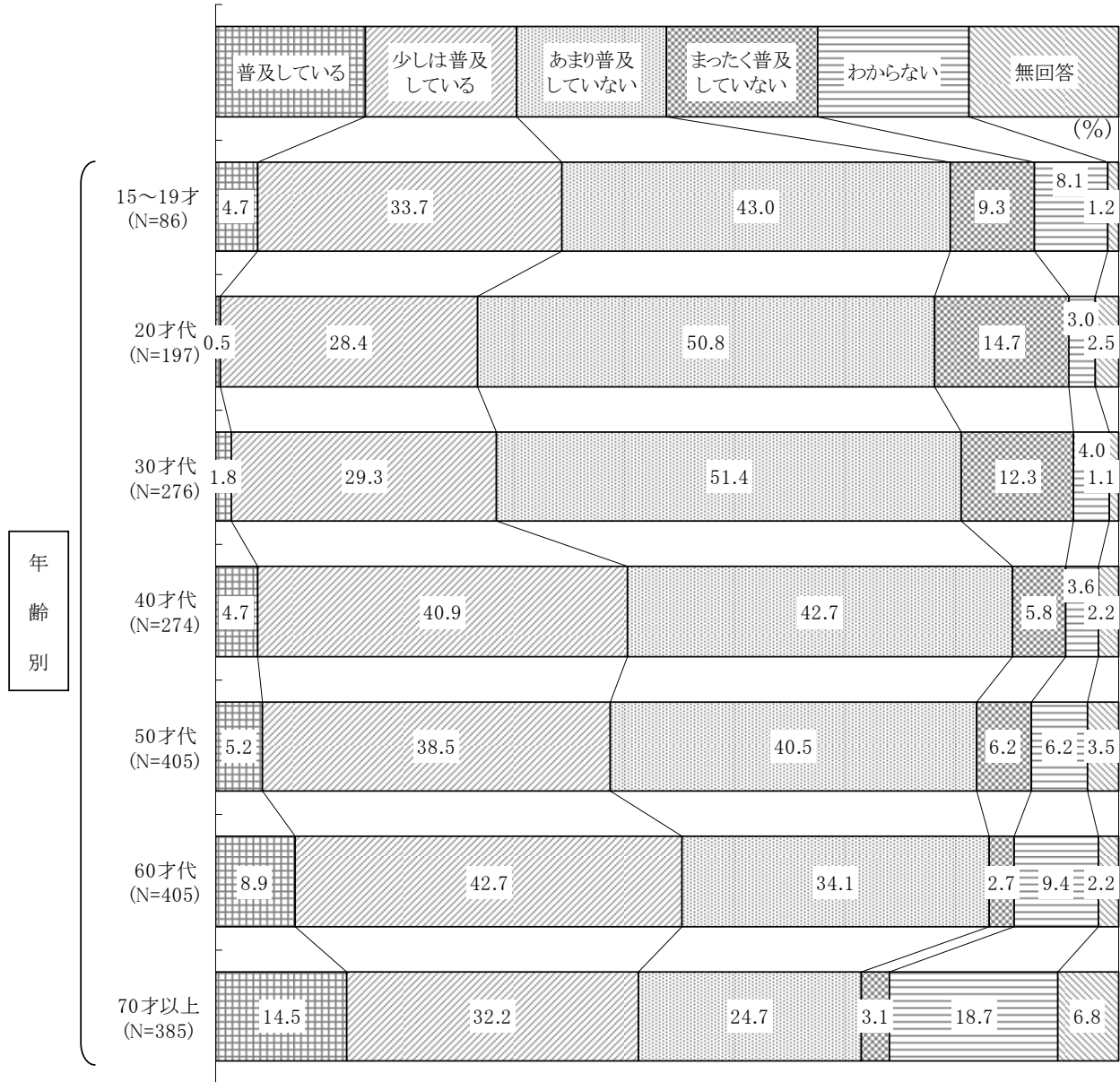
26. ハンセン病に関する知識・情報の普及状況の意識

問. あなたは、現在ハンセン病に関する正しい知識や情報が普及(=広く行きわたること)していると思いますか。(ひとつだけに○)

- ・ 現在ハンセン病に関する正しい知識や情報の普及状況をどのようにみているかについて尋ねたところ、「普及していると思う」が 6.7%、「少しは普及していると思う」が 36.0%で合わせて 42.7%、「あまり普及していないと思う」が 39.2%、「まったく普及していないと思う」が 6.6%で合わせて 45.8%であり、後者の合計が前者の合計を若干上回る結果となっている。
- ・ 前回調査との比較では、大きな違いはみられない。
- ・ 「普及していない」としているのは、男女別では男性に若干多くみられる。



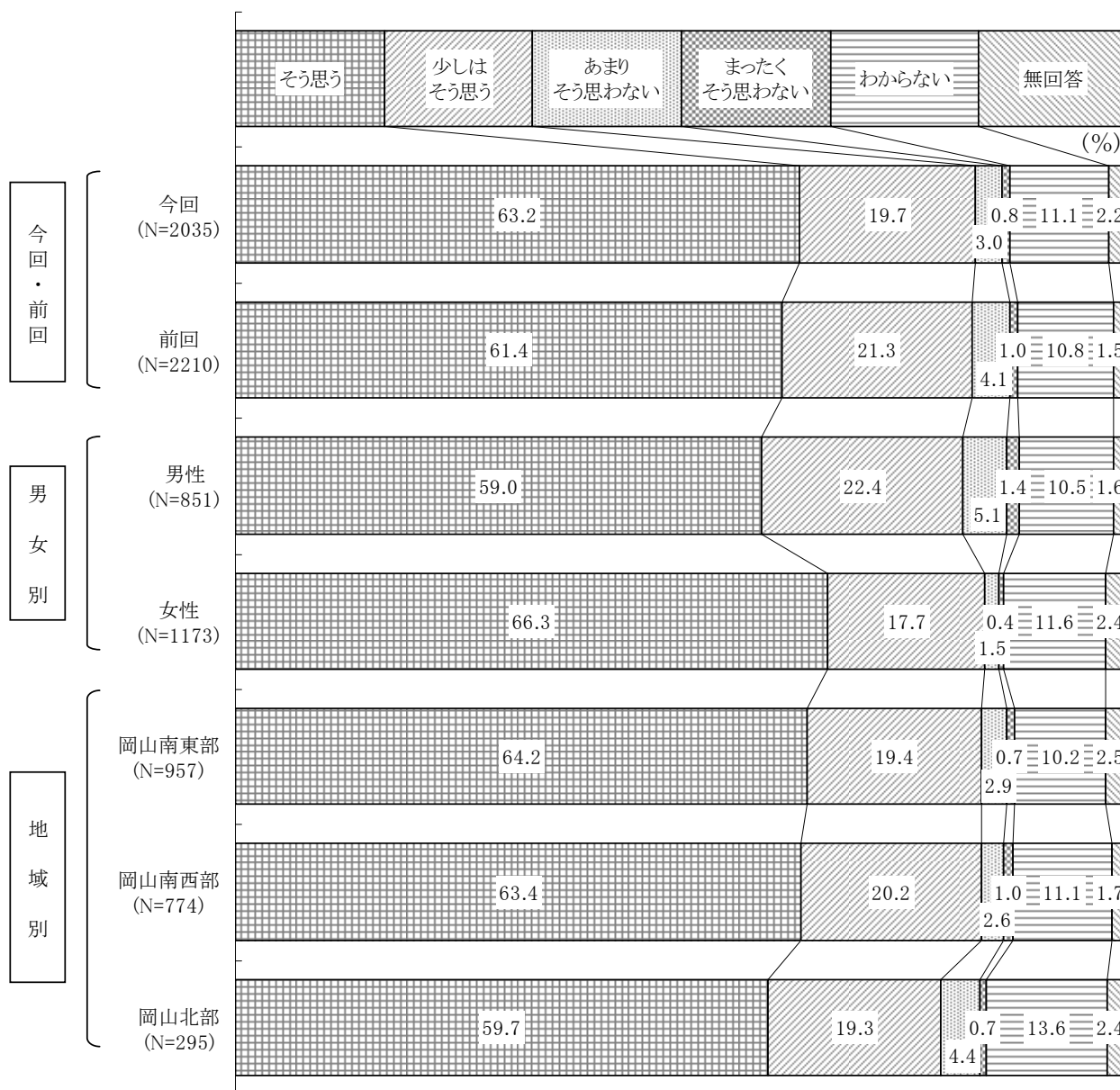
・年齢別にみると、「普及していない」としている人は、総じて年齢が若くなるほど多くなっている。



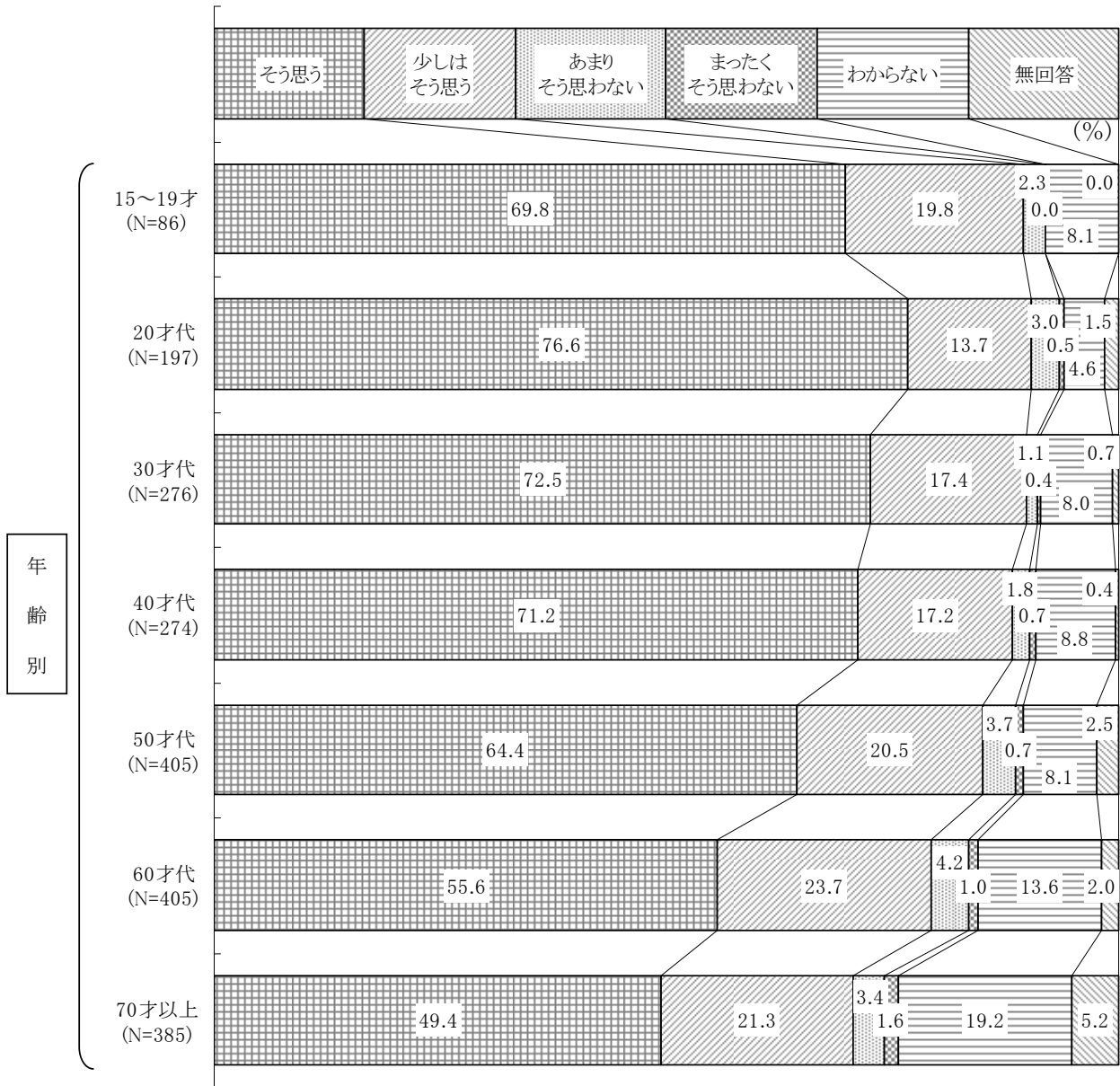
27. 療養所入所者の社会との交流についての意識

問. あなたは、療養所入所者がもっと自由に様々な人に会ったり、買物や食事のために好きな所へ行くなど、社会との交流を深めることができるようにしたほうがよいと思いますか。(ひとつだけに○)

- ・療養所入所者がもっと自由に社会との交流を深めることができるようにしたほうがよいと思うかどうかを尋ねたところ、「そう思う」が63.2%、「少しはそう思う」が19.7%であり、合わせて82.9%の人が肯定している。
- ・前回調査結果では「そう思う」が61.4%、「少しはそう思う」が21.3%であり、合わせて82.7%の人が肯定しており、この5年間に大きな変化はみられない。
- ・「そう思う」人の割合は、男女別では女性でやや大きくなっている。



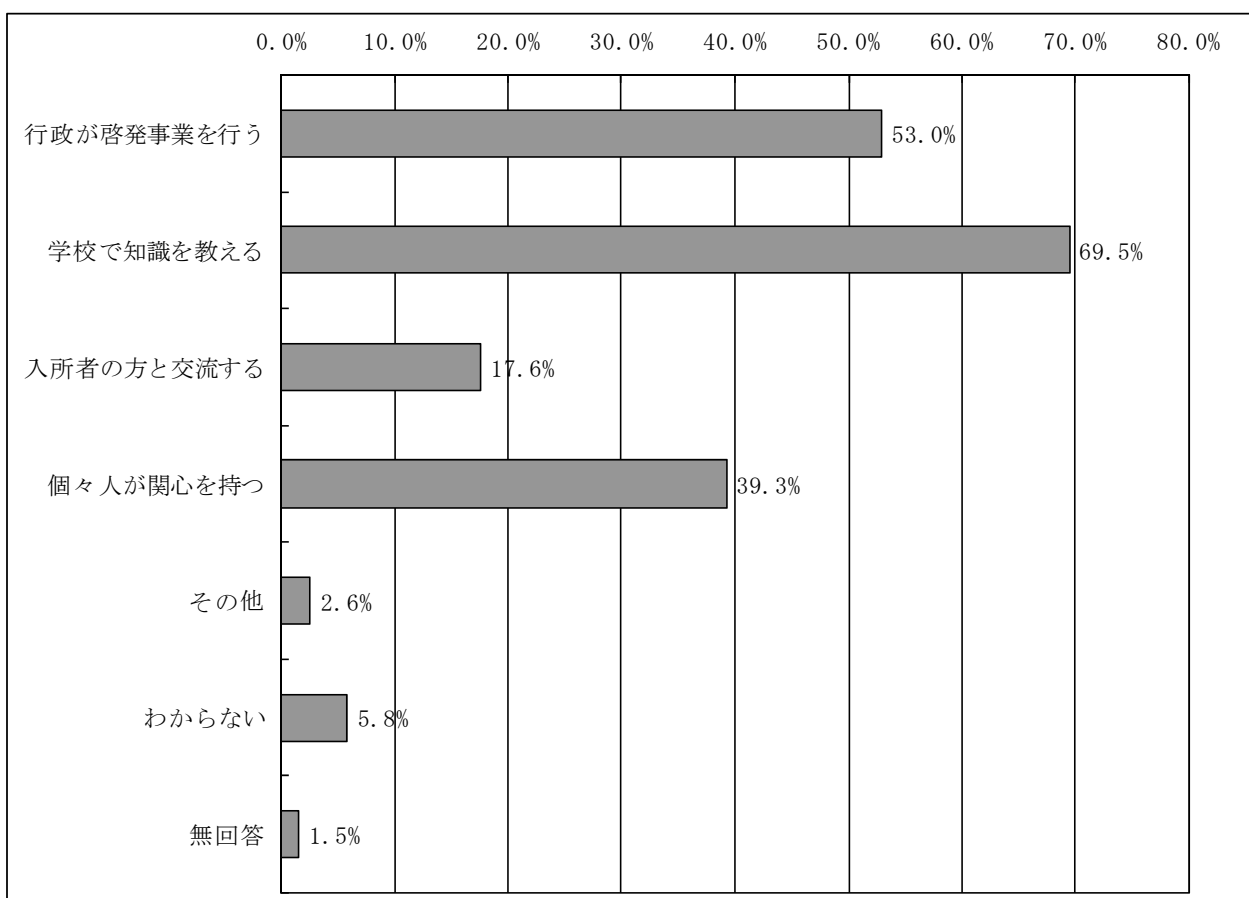
・年齢別にみると、「そう思う」人の割合は、総じて若くなるにつれて大きくなる傾向がみられる。



28. 偏見や差別の解消のための方策

問. あなたは、ハンセン病への偏見や差別の解消のために何をしたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・ハンセン病への偏見や差別の解消のために何をしたらよいと思うかを尋ねたところ、「学校で正しい知識を教える」が最も多く 69.5%、次いで「国や県などの行政がもっと啓発事業を行う」53.0%、「一人ひとりがもっと関心を持つ」39.3%、「療養所入所者の方と交流する」17.6%の順である。
- ・「その他」では「テレビ等で取り上げる」0.5%、「知らない人には知らせない・時間が経つと忘れられる」0.2%などの意見がみられる。



- ・全体及び男女別、年齢別、地域別の調査結果を、前回の結果と比較しても大きな違いはみられない（参考資料 p107 を参照）。
- ・年齢別にみると、「学校で正しい知識を教える」「療養所入所者の方と交流する」「一人ひとりがもっと関心を持つ」の3方策については、総じて若い人ほど挙げる割合が大きくなる傾向がみられる。
- ・地域別にみると、岡山北部では「国や県などの行政がもっと啓発事業を行う」を挙げている人が61.4%と、他地域に比べて多くなっている。

問28 偏見や差別の解消のための方策（複数回答）

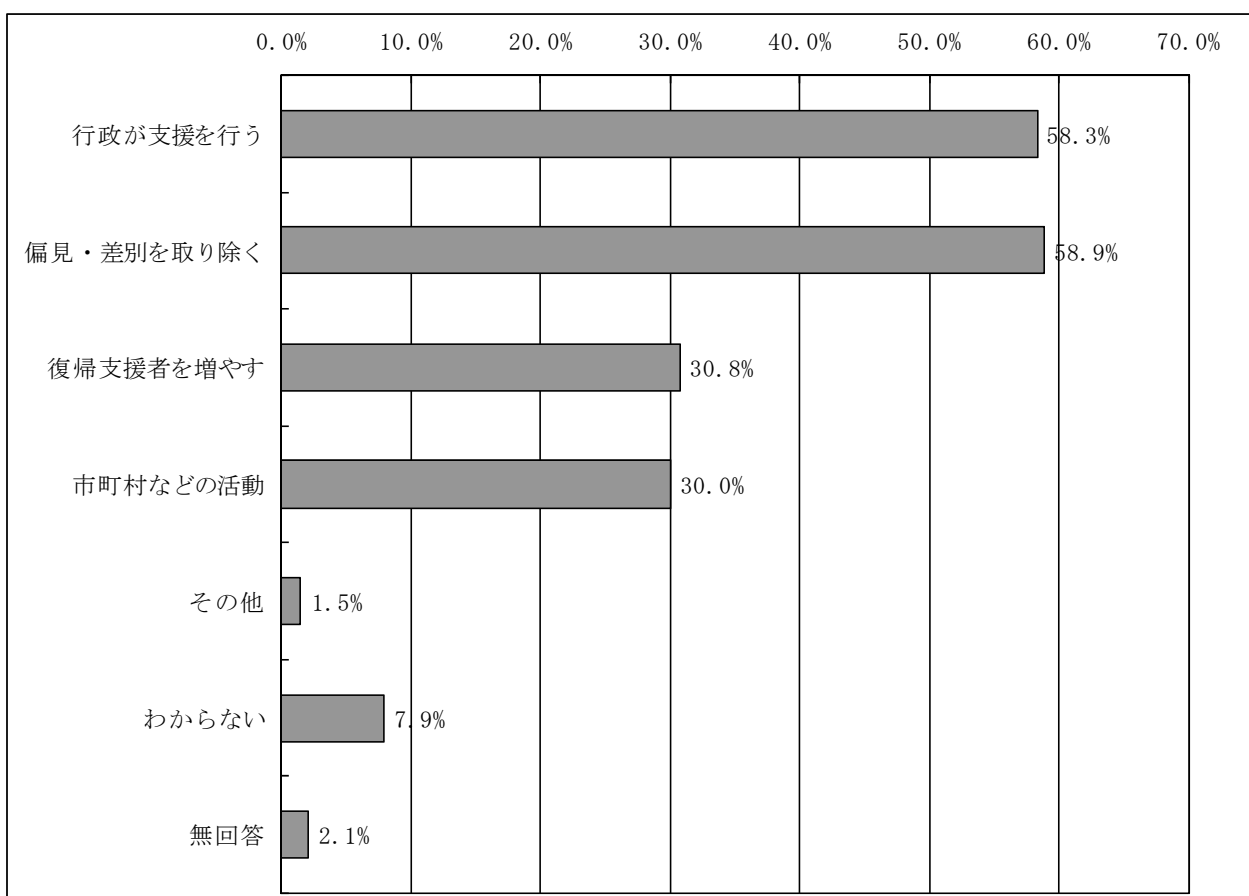
単位：%

		国や県など啓発事業を行う	学校で正しい知識を教える	療養所入所者の方と交流する	一人ひとりが関心を持つ	その他	わからない	無回答
今回・前回	今回 (N=2035)	53.0	69.5	17.6	39.3	2.6	5.8	1.5
	前回 (N=2210)	51.7	67.3	15.9	41.4	3.1	6.0	1.5
男女別	男性 (N=851)	53.1	69.0	15.0	34.3	2.9	5.4	1.5
	女性 (N=1173)	52.9	70.1	19.5	42.9	2.3	6.1	1.4
年齢別	15～19才 (N=86)	26.7	79.1	30.2	48.8	2.3	4.7	1.2
	20才代 (N=197)	54.3	82.7	26.9	47.2	3.0	3.0	-
	30才代 (N=276)	48.2	74.6	25.0	44.2	4.7	3.3	0.4
	40才代 (N=274)	60.2	75.2	22.3	40.5	2.9	3.6	-
	50才代 (N=405)	58.8	70.9	13.3	40.0	2.0	3.2	1.2
	60才代 (N=405)	53.6	65.7	12.8	36.8	2.2	7.2	1.2
	70才以上 (N=385)	49.9	55.8	10.9	30.9	1.6	11.7	4.9
地域別	岡山南東部 (N=957)	49.7	70.0	19.7	37.3	3.1	6.2	1.6
	岡山南西部 (N=774)	53.7	69.5	15.4	41.5	2.5	5.2	1.2
	岡山北部 (N=295)	61.4	68.1	16.6	40.7	1.0	6.1	2.0

29. 療養所入所者の社会復帰のための方策

問. あなたは、療養所入所者が社会復帰するために、どうしたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

- ・療養所入所者の社会復帰のための方策を尋ねたところ「偏見・差別を取り除く」が 58.9%、「国や県などの行政が手厚い支援を行う」が 58.3%と多く、次いで「復帰を支援する人を増やす」30.8%、「市町村やボランティアがむかえ入れるための活動をする」が 30.0%の順である。
- ・「その他」では「社会復帰が可能なのか、社会復帰の際にどのような問題があるかを明らかにする必要がある」という意見がみられる。



- ・前回調査と比較すると、「国や県などの行政が手厚い支援を行う」が前回の 54.8%から今回は 58.3%へ若干増加している。
- ・男性では前は「偏見・差別を取り除く」が 57.8%で最も多かったが、今回は「国や県などの行政が手厚い支援を行う」が最多となっている（参考資料 p108 を参照）。
- ・「偏見・差別を取り除く」という意見は、男女別では女性に相対的に多くみられる。

問29 療養所入所者の社会復帰のための方策（複数回答） 単位：%

		厚い支援を行う行政が手厚い	偏見・差別を取り除く	や復すを支援する人を増	活が市動む町をか村えや入ボれるンたテめイのア	その他	わからない	無回答
今回・前回	今回 (N=2035)	58.3	58.9	30.8	30.0	1.5	7.9	2.1
	前回 (N=2210)	54.8	60.9	28.9	30.7	3.0	7.8	1.8
男女別	男性 (N=851)	59.5	53.9	29.3	25.9	2.1	7.6	1.5
	女性 (N=1173)	57.5	62.7	31.8	33.2	1.1	8.0	2.4
年齢別	15～19才 (N=86)	48.8	59.3	33.7	33.7	1.2	7.0	-
	20才代 (N=197)	58.4	62.4	35.0	41.1	1.0	4.1	1.0
	30才代 (N=276)	61.2	59.4	37.0	35.1	2.5	5.1	1.1
	40才代 (N=274)	60.9	61.3	34.7	37.2	1.8	5.5	-
	50才代 (N=405)	59.3	60.7	35.3	33.6	1.2	6.7	2.2
	60才代 (N=405)	57.8	58.3	26.4	25.9	2.0	8.9	2.0
	70才以上 (N=385)	56.1	53.5	20.5	15.3	0.8	14.0	5.2
地域別	岡山南東部 (N=957)	55.9	59.0	31.0	30.0	1.5	8.0	2.1
	岡山南西部 (N=774)	60.1	57.9	31.8	30.5	1.7	7.0	2.3
	岡山北部 (N=295)	61.4	61.0	27.1	29.2	1.4	9.8	1.4

30. ハンセン病問題解消のためにしたいこと・必要なこと

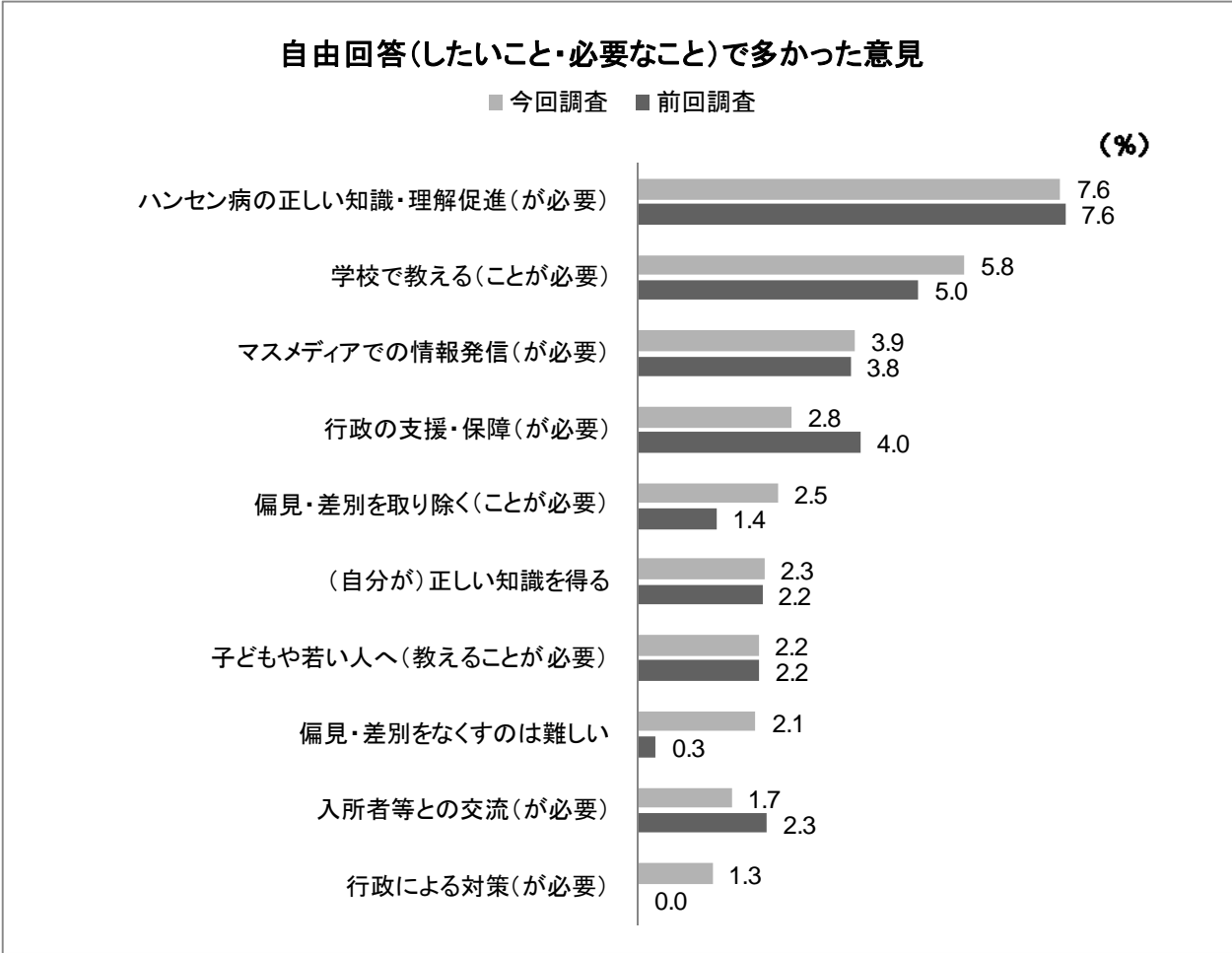
問. あなたは、ハンセン病問題の解消を図るために、何かしたいことはありますか。また今後どのようなことが必要だと思いますか。ご自由にお答えください。(自由回答)

- ・全体の回答内容は前回調査と似ており、今後必要なこととして「認知・理解の促進」を記述している人が多い。合わせて“テレビ等で伝える”など「認知の機会・方法」を提案している人、“学校で教える”など「認知促進場所」に言及している人が多い。
- ・前回調査と比較すると、今後必要なことと感想・疑問などが多く記述されており、自分がしたいことの記述割合は若干低下している。

回答内容		全回答者に占める割合(%)		回答件数(件)	
		今回	前回	今回	前回
自分がしたいこと	入所者と交流	1.0	2.7	21	59
	知識の取得	2.4	2.3	48	50
	知識の取得機会	0.7	0.3	14	6
	他者への伝達	1.9	2.6	39	58
	ボランティア等支援	1.1	1.7	23	38
	意識とその改革	1.5	1.9	30	41
	その他	2.7	2.0	55	44
今後必要なこと	認知・理解の促進	10.4	10.1	212	224
	認知の機会・方法	9.5	9.4	194	207
	認知促進場所	7.8	6.2	159	137
	認知促進対象者	3.1	2.7	64	59
	意識改革	4.9	3.7	99	81
	入所者のすべきこと	1.2	1.9	24	43
	支援・ケア・受入	4.0	6.2	81	138
	療養所内で	0.5	0.9	10	19
	社会復帰に向けて	1.1	0.7	22	16
	ハンセン病への対応	0.7	0.7	14	15
	その他行政がすべきこと	1.1	0.2	22	4
その他	3.5	1.6	72	36	
感想・疑問など		9.7	3.0	198	67

注:今回調査は827人、1,401件、前回調査は946人、1,342件の回答あり。

- ・個別の自由回答で特に多い意見は「ハンセン病の正しい知識・理解促進（が必要）」「学校で教える（が必要）」「マスメディアでの情報発信（が必要）」「行政の支援・保障（が必要）」「偏見・差別を取り除く（が必要）」などである。
- ・少数ではあるがハンセン病対策に否定的な意見もみられ、「必要以上に騒がない・そっとしておく」「必要以上の広報は悪影響を生ずる」といった記述もみられる。
- ・今回のアンケート調査実施についての意見・感想としては「アンケートで事実を知った」「意識調査はよいことである」といった肯定的な意見が多くみられる。



■自分がしたいこと

今回 前回

		今回	前回
入所者と交流 (件)			
交流する		9	38
交流を続ける		1	7
手紙やメールで		1	1
療養所を見学・訪問		10	10
地域に迎える		0	3
知識の取得			
正しい知識を得る		46	49
現状の認知		0	1
療養所での生活を知る		2	
知識の取得機会			
マスメディアで知る		1	1
ホームページで知る		4	1
講演会を聞く		4	2
入所者等の家族の話を知る		1	2
勉強の場にできるだけ参加したい		2	
書籍を読む		2	
他者への伝達			
他者に伝える		23	25
自分の子に伝える		11	20
生徒に伝える		1	5
家族に伝える		3	4
家族で話し合う		1	3
パンフレットを作って配布		0	1
ボランティア等支援			
応援・支援したい		10	18
ボランティアに参加したい		5	14
募金したい		1	1
パンフレット配布の手伝い		0	1
支援方法を教えて欲しい		3	4
里帰りなどの付き添い		1	
介護の手伝い		1	
社会復帰の手助け		1	
普及、啓発活動の手助け		1	
意識とその改革			
偏見や差別意識をを持たない		14	18
普通に接する		4	7
差別をなくしたい		0	5
その人の身になって考える		3	2
様々な差別について考えたい		0	1
もっと関心を持つ		7	1
何ができるか考えたい		1	7
差別をしない意識をもたせたい		1	

今回 前回

その他 (件)		今回	前回
機会がない		1	1
何もしない		6	6
何もできない		14	20
わからない		15	16
差別してしまいそう		2	1
活動をしていきたい		6	
できる限り協力をしたい		9	
歌をネットで公開する		1	
なかなか行動に移せない		1	

■ 今後必要なこと

今回 前回

認知・理解の促進 (件)		今回	前回
ハンセン病の正しい知識・理解促進	154	169	
感染力が弱く治る病気	17	12	
具体的感染方法	4	4	
治療方法	1	4	
過去の歴史	11	8	
現在の療養所生活	5	3	
調査結果	0	1	
長期間繰返し伝える	15	23	
患者が頑張っている明るい姿を伝える	2		
交流行事をPRする	2		
支援している人の活動を伝える	1		
認知の機会・方法		今回	前回
マスメディアでの情報発信	79	84	
映画化やドラマ化	9	5	
「砂の器」の映画試写	0	1	
インターネット	4	1	
ビデオ・DVD	4	2	
講演会・集会・学習会	19	30	
広報誌・ポスター・パンフレット	13	8	
行政のPR・啓発活動促進	7	21	
入所者等との交流	34	51	
定期的なDM	4	1	
アンケートを全ての人に	0	3	
現地を訪問する	4		
日常的に目にしたり接したりする機会を増やす	5		
アンケートの実施	3		
効率よく伝える手段を考える	2		
大きなイベントで取り上げる	1		
公共機関等での展示	4		
漫画雑誌への連載	1		
「砂の器」ではドラマの前後でハンセン病をきちんと伝える	1		
認知促進場所		今回	前回
公民館等各地域ごと	8	11	
職場での研修	11	3	
家庭で	7	4	
学校で教える	119	111	
学校で療養所訪問	8	8	
人の集まる企業、病院等で	5		
少人数の集まりで	1		
認知促進対象者		今回	前回
子どもや若い人へ	44	48	
高齢者、年配の方へ	10	11	
行政や教育者が正しい知識を	4		
町内会長、民生委員が知識を持ち口コミで広げる	1		
大人へ	4		
医療関係者へ	1		

今回 前回

意識改革 (件)		今回	前回
偏見・差別を取り除く	51	31	
全ての差別がなくなる社会を作る	18	8	
理解しあう・助け合う	8	10	
思いやり・関心を持つ	22	25	
普通に接する	0	7	
入所者のすべきこと		今回	前回
積極的に外へ出る、社会復帰	13	22	
意識改革・自信を持つ	2	9	
外出・生活・帰郷など自由に	1	12	
前向きに取り組む	7		
国の過ちを許す	1		
支援・ケア・受入		今回	前回
行政の支援・保障	56	88	
地域の支援・受入	9	24	
老人ホームへの受入	1	1	
近親者が受入	0	2	
復帰支援カンパ	0	1	
ボランティアの活性化	6	13	
余生を送るためのケア	1	3	
精神的なケア	3	6	
支援	5		
療養所内で		今回	前回
イベントの実施	1	6	
行楽施設等の整備	0	4	
交流施設・資料館の設置	1	2	
ツアーバス	0	1	
一般の老人ホームにする	1	1	
療養所生活向上・住環境整備	3	5	
誰でも入っていけるようにする	2		
一般療養所の一診療科として扱う	1		
療養所を出入り自由な場所へ移転させる	1		
社会復帰に向けて		今回	前回
社会教育、特技・技術の取得	0	2	
復帰支援者・組織を増加・拡大	3	3	
職場・作業所の確保と整備	4	6	
就職支援	1	5	
住居を国や県が提供	3		
国が法律をつくる	1		
行政が積極的に取り組む	7		
患者が一般の人とふれあう機会を多くする	3		
ハンセン病への対応		今回	前回
予防・早期発見・治療の確立	5	11	
病気の撲滅	8	4	
在宅治療を可能に	1		

■今後必要なこと(続き)

今回 前回

その他行政がすべきこと (件)		
行政は県民・市民の声を直接聞く	1	1
国の意識・構造改革	1	2
国家費用で整形手術	2	1
二度とあのような施設を造らない	2	
国、県、市町村が一体となって取り組む	6	
市町村が積極的に取り組む	3	
一つでも多く取り組む	4	
定期的検査を義務づける	1	
民間への協力依頼	2	
その他		
家族と暮らせる環境作り	2	2
現在の取り組みを継続	1	2
遺骨の身内への返還	0	1
「ハンセン病」という名前の変更	0	2
療養所の名前の変更	1	1
宗教・信仰	0	2
入所者等の意思の尊重	18	25
療養所の周辺に一般の人が住む	0	1
人材育成	2	
ハンセン病対策	2	
救済	3	
行政による対策	27	
アンケート費用を他のハンセン病対策に使うべき	1	
長島全体を明るい島にする、海水浴場等を整備	2	
一人ひとりが活動をする	3	
公務員数削減により、金銭的面を解決する	1	
政策決定に携わる指導者全員が療養所を訪ねる	1	
特別扱いをしない	3	
心を解放できるよう芸術、手記など発表の場を用意する	1	
ボランティア等の参加機会を増やす	1	
旅行の際に長島へ立ち寄れるようにする	1	
患者にアンケートを実施し、どのように接してほしいかを取りまとめ伝える	1	
差別の実態を把握する	1	

■感想・疑問など

今回 前回

感想・疑問など	(件)	
アンケートで事実を知った	18	3
意識調査はよいことである	3	
アンケートの実施が偏見につながるのではないか	2	
ハンセン病に関心がない人がアンケートに回答するとは思えない	1	
アンケートで「もしあなたがハンセン病になったら」という問いも必要	1	
何もやる必要ない	0	3
必要以上に騒がない・そっとしておく	11	9
知らない人に知らせる必要ない	3	8
いつか自然に忘れられる問題	4	6
補償金は出さなくてもいい	0	5
感染が不安	3	8
遺伝が不安	1	1
納得できないものがあり接することはできない	5	
自分には関係のないことと思っている	2	
現状維持が一番の方法である	1	
過度の啓発活動が逆差別となっている	2	
必要以上の広報は悪影響を生ずる	5	
偏見は頭の中では続いてきた	1	
今の国や県の支援で十分である	1	
買い物等で患者が団体で行動しているのが感じがよくない	1	
肉親が迎ええないのに、他の人に理解してもらうのは難しい	1	
子どもの頃の記憶もあり、信じることができない	1	

今回 前回

感想・疑問など	(件)	
真剣に考えない人が多いのが残念	3	
気の毒である、悲しい	24	
申し訳ない	4	
患者さんに楽しい老後を生きてもらいたい	18	
勇気がないことが恥ずかしい	1	
偏見や差別がなくなり社会復帰されることを望む	5	
国や県は本気で取り組んではいけない	1	
いやな言葉を言わない社会になってほしい	1	
患者がプライドを持てる場所を探してあげたい	1	
人間として認めてあげてほしい	1	
長い間廃止できなかったことに怒りを感じる	1	
偏見・差別をなくすのは難しい	44	7
隔離はしかたないことだった	6	6
新しく入所する人がいるのか？	2	1
今でも隔離が必要な人はいるのか？	0	1
温泉等へ元患者が行くと客が減るといふ噂を聞いた	0	5
ハンセン病患者が近所にいた	1	1
世間の風は冷たい	1	1
他の病気も大変	3	1
家族等が復帰を願っているか知りたい	0	1
高齢化で園外では暮らせなくなっている	1	
ハンセン病にこだわりすぎ	1	
伝染力が弱いことはいつ分かったのか？	1	
自然になくす方法を考える	1	
患者を療養所に集団化させると差別化される	1	
一人ひとりの心の持ち方だと思う	4	
入所していることに満足している人も多くいる	1	
この病気は日本だけなのか？	1	
一般の人より良い生活をしていると聞いた	1	
現在も発症しているのか(国内、海外を含め)	1	
ハンセン病そのものがよく分からない	1	

参 考 资 料

今回及び前回の集計結果

○以下の集計結果では、年齢別集計に際しては、前回調査時以降約5年間の変化をみるために、前回調査時に「30才代」であった人は、今回調査時には概ね「35～44才」となっているという年齢コーホート別の集計を実施し、その結果を掲載している。

(注：コーホートとは同年（または同期間）に出生した集団を意味する人口学上の概念である。)

○集計結果はすべて、小数点以下第2位を四捨五入しており、比率の合計が100%にならないことがある。

○複数回答を依頼した質問（Multiple Answer：「○はいくつでも」）では、集計結果の合計は100%を超える。

○回答比率（%）は、その質問の回答者数を母数（N=Number of case）として算出した。

○男女、年齢、住所地が無回答のものがあるため、各男女別、各年齢別、各地域別のN（母数）の合計は全体のN（母数）と一致しない。

問1 「ハンセン病」病名認知状況

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		が聞 あ い る た こ と	は聞 ない た こ と	無 回 答
	全体 (N=2035)	97.3	2.2	0.5
男女別	男性 (N=851)	96.9	2.6	0.5
	女性 (N=1173)	97.6	1.9	0.5
年齢別	15～19才 (N=86)	87.2	11.6	1.2
	20～24才 (N=100)	93.0	6.0	1.0
	25～34才 (N=235)	95.3	4.7	-
	35～44才 (N=265)	98.5	1.5	-
	45～54才 (N=321)	99.4	-	0.6
	55～64才 (N=439)	98.4	1.1	0.5
	65～74才 (N=354)	98.3	1.4	0.3
75才以上 (N=228)	97.4	1.3	1.3	
地域別	岡山南東部 (N=957)	97.7	1.7	0.6
	岡山南西部 (N=774)	97.5	2.3	0.1
	岡山北部 (N=295)	95.9	3.1	1.0

前回(平成15年1～2月)調査結果		が聞 あ い る た こ と	は聞 ない た こ と	無 回 答
	全体 (N=2210)	96.5	2.4	1.2
	男性 (N=916)	97.5	2.5	-
	女性 (N=1255)	97.8	2.2	-
	15～19才 (N=138)	88.4	11.6	-
	20才代 (N=224)	94.2	5.8	-
	30才代 (N=268)	97.8	2.2	-
	40才代 (N=342)	98.8	1.2	-
	50才代 (N=428)	99.1	0.9	-
	60才代 (N=405)	99.3	0.7	-
	70才以上 (N=367)	98.6	1.4	-
	岡山南東部 (N=1003)	96.4	1.9	1.7
	岡山南西部 (N=873)	96.3	2.9	0.8
	岡山北部 (N=334)	97.0	2.4	0.6

注：本文 p21～p22 を参照。

問2 「ハンセン病」を初めて知った時期

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		こ ろ 学 生 ま ま の こ ろ	中 学 生 の こ ろ	16 才 の こ ろ	19 才 の こ ろ	23 才 の こ ろ	31 才 よ り あ と	覚 は い え っ つ て き だ い り っ た か	無 回 答
	全体 (N=1981)	20.2	22.3	12.3	7.4	7.1	5.6	24.4	0.7
男 女 別	男性 (N=825)	22.1	22.2	12.0	8.0	9.1	5.3	21.0	0.4
	女性 (N=1145)	18.9	22.4	12.4	7.1	5.8	5.8	27.0	0.7
年 齢 別	15～19才(N=75)	42.7	42.7	10.7	-	-	-	4.0	-
	20～24才(N=93)	16.1	30.1	26.9	7.5	-	-	18.3	1.1
	25～34才(N=224)	7.1	17.0	16.1	16.1	17.0	0.4	25.9	0.4
	35～44才(N=261)	13.4	16.9	12.3	8.0	8.0	6.1	35.2	-
	45～54才(N=319)	19.7	21.0	10.3	6.3	9.1	5.3	27.3	0.9
	55～64才(N=432)	18.3	25.0	9.5	8.1	6.3	9.0	23.6	0.2
	65～74才(N=348)	23.9	27.9	9.5	4.9	4.0	8.0	21.0	0.9
	75才以上(N=222)	34.2	12.2	15.3	4.5	5.4	4.5	22.5	1.4
地 域 別	岡山南東部(N=935)	20.3	22.7	12.6	8.0	7.1	4.8	24.0	0.5
	岡山南西部(N=755)	18.8	22.1	11.8	6.2	7.5	6.8	26.0	0.8
	岡山北部 (N=283)	23.3	21.9	12.4	8.8	6.4	4.9	21.9	0.4

単位：%

前回(平成15年1～2月)調査結果		こ ろ 学 生 ま ま の こ ろ	中 学 生 の こ ろ	16 才 の こ ろ	19 才 の こ ろ	23 才 の こ ろ	31 才 よ り あ と	覚 は い え っ つ て き だ い り っ た か	無 回 答
	全体 (N=2132)	21.7	21.8	12.8	7.8	7.3	5.1	22.7	0.8
男 女 別	男性 (N=893)	23.5	25.2	12.8	7.4	8.5	4.3	17.7	0.7
	女性 (N=1227)	20.4	19.2	12.9	8.1	6.4	5.6	26.4	1.0
年 齢 別	15～19才(N=122)	9.8	50.0	28.7	-	-	-	11.5	-
	20才代 (N=211)	11.4	19.0	14.7	22.7	12.8	-	19.0	0.5
	30才代 (N=262)	12.2	18.3	11.8	6.1	17.9	8.0	25.6	-
	40才代 (N=338)	17.5	21.3	11.2	7.7	5.3	6.8	29.3	0.9
	50才代 (N=424)	17.9	20.3	12.3	8.0	5.7	5.9	29.5	0.5
	60才代 (N=402)	29.1	26.4	9.5	6.0	4.7	6.7	16.9	0.7
	70才以上(N=362)	38.7	13.5	13.0	5.0	5.2	3.0	19.1	2.5
	地 域 別	岡山南東部(N=967)	25.0	21.6	13.7	7.4	5.7	4.6	21.0
岡山南西部(N=841)		19.4	22.1	12.7	8.0	7.8	4.8	24.5	0.7
岡山北部 (N=324)		17.9	21.6	10.2	8.3	10.5	7.4	23.5	0.6

注：本文 p23～p24 を参照。

問3 「ハンセン病」という病名をだれ(何)から知ったか

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果

		家族から	親せきの人から	近所の人から	職場の人から	友達から	学校の授業で	どから オレビ ・新聞 ・ラジ 本な	テレ ビ・ラ ジ	研修会 ・講演 会	から 報紙や 冊子な ど	県や市 町村の 広	等)ホ ンター ムペ ーネ ット	いな つき り覚 えて か	何から 知った か	無 回 答
	全体 (N=2035)	17.3	1.1	3.1	1.0	2.8	14.5	38.8	1.2	0.3	-	14.2	4.5			
男女別	男性 (N=851)	18.1	1.9	3.1	2.8	3.5	12.8	37.6	0.9	0.2	-	13.9	5.2			
	女性 (N=1173)	16.8	0.5	3.2	1.6	2.3	15.9	39.5	1.4	0.3	-	14.6	4.0			
年齢別	15～19才(N=86)	3.5	-	-	-	-	55.8	22.1	-	-	-	5.8	12.8			
	20～24才(N=100)	4.0	1.0	-	-	1.0	30.0	41.0	-	-	-	13.0	10.0			
	25～34才(N=235)	6.4	0.4	0.4	2.1	1.7	20.0	54.5	1.7	-	-	7.7	5.1			
	35～44才(N=265)	6.4	0.8	0.4	1.5	0.8	17.4	54.7	1.5	0.4	-	13.2	3.0			
	45～54才(N=321)	13.4	0.9	0.6	2.5	0.9	16.5	43.3	2.2	0.6	-	16.8	2.2			
	55～64才(N=439)	20.7	1.4	3.0	2.5	3.4	10.3	39.4	1.4	0.2	-	14.1	3.6			
	65～74才(N=354)	31.6	1.1	5.9	2.5	5.1	5.6	28.0	0.8	0.3	-	14.7	4.2			
75才以上(N=228)	29.4	2.2	11.4	2.6	6.1	2.6	18.0	-	0.4	-	21.5	5.7				
地域別	岡山南東部(N=957)	18.7	1.1	2.8	1.6	2.8	15.3	37.6	1.6	0.1	-	14.4	4.0			
	岡山南西部(N=774)	15.8	1.2	3.1	2.7	2.8	13.3	41.0	1.0	0.5	-	14.3	4.3			
	岡山北部(N=295)	16.9	0.3	4.4	2.4	2.7	15.6	36.9	0.3	0.3	-	13.6	6.4			

単位：％

前回(平成15年1～2月)調査結果

		家族から	親せきの人から	近所の人から	職場の人から	友達から	学校の授業で	どから オレビ ・新聞 ・ラジ 本な	テレ ビ・ラ ジ	研修会 ・講演 会	から 報紙や 冊子な ど	県や市 町村の 広	等)ホ ンター ムペ ーネ ット	いな つき り覚 えて か	無 回 答
	全体 (N=2132)	22.7	1.1	3.5	1.8	2.5	13.3	38.6	0.5	0.3	14.4	1.2			
男女別	男性 (N=893)	22.8	1.2	3.9	2.7	2.4	11.1	39.8	0.4	0.7	13.9	1.1			
	女性 (N=1227)	22.7	1.1	3.3	1.1	2.5	15.0	37.8	0.5	0.1	14.7	1.3			
年齢別	15～19才(N=122)	3.3	-	-	-	-	35.2	48.4	-	0.8	10.7	1.6			
	20才代(N=211)	6.6	0.5	-	0.5	0.9	19.0	61.6	-	-	10.9	-			
	30才代(N=262)	8.0	-	-	1.1	1.1	18.3	56.9	0.8	0.4	12.2	1.1			
	40才代(N=338)	17.5	0.3	0.6	2.7	0.9	18.9	45.0	0.9	-	12.4	0.9			
	50才代(N=424)	21.9	0.7	1.2	1.2	1.9	11.8	40.3	0.5	-	19.8	0.7			
	60才代(N=402)	38.3	3.2	6.5	1.7	4.0	6.5	24.4	0.2	0.2	13.2	1.7			
	70才以上(N=362)	37.8	1.7	11.6	3.6	5.8	3.3	16.6	0.6	1.1	15.7	2.2			
地域別	岡山南東部(N=967)	27.0	1.2	3.2	2.7	2.8	13.0	32.4	0.5	0.3	15.4	1.4			
	岡山南西部(N=841)	20.5	0.8	3.6	0.7	1.9	13.3	44.5	0.4	0.4	13.1	1.0			
	岡山北部(N=324)	16.0	1.5	4.3	1.9	3.1	14.2	42.3	0.6	0.3	14.5	1.2			

注：本文 p25～p26 を参照。

問4 「ハンセン病」の具体的な認知状況

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		知 つ て い る	い あ ま り 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答
	全体 (N=2035)	44.3	41.3	8.3	6.1
男女別	男性 (N=851)	44.3	39.8	9.0	6.8
	女性 (N=1173)	44.5	42.4	7.6	5.5
年齢別	15～19才(N=86)	34.9	40.7	9.3	15.1
	20～24才(N=100)	30.0	46.0	15.0	9.0
	25～34才(N=235)	28.1	50.6	16.2	5.1
	35～44才(N=265)	32.1	52.5	12.1	3.4
	45～54才(N=321)	50.8	41.1	5.6	2.5
	55～64才(N=439)	48.1	40.3	6.6	5.0
	65～74才(N=354)	57.3	31.9	4.0	6.8
	75才以上(N=228)	49.6	33.3	5.3	11.8
地域別	岡山南東部(N=957)	46.5	41.4	6.8	5.3
	岡山南西部(N=774)	42.2	41.9	10.5	5.4
	岡山北部(N=295)	43.1	40.0	6.8	10.2

注：本文 p27～p28 を参照。

前回(平成15年1～2月)調査結果		知 つ て い る	い あ ま り 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答
	全体 (N=2132)	50.2	38.8	8.4	2.5
男女別	男性 (N=893)	50.5	37.1	10.0	2.5
	女性 (N=1227)	50.0	40.2	7.4	2.4
年齢別	15～19才(N=122)	35.2	45.1	18.9	0.8
	20才代(N=211)	25.1	57.8	16.6	0.5
	30才代(N=262)	30.2	57.3	11.8	0.8
	40才代(N=338)	50.9	39.9	8.0	1.2
	50才代(N=424)	53.1	38.9	6.4	1.7
	60才代(N=402)	66.9	26.6	3.7	2.7
	70才以上(N=362)	61.6	25.1	6.1	7.2
	岡山南東部(N=967)	52.5	37.7	7.7	2.1
岡山南西部(N=841)	49.1	39.1	8.9	2.9	
岡山北部(N=324)	46.3	41.4	9.6	2.8	

問5 「ハンセン病」が非常に感染力の弱い感染症であることの認知状況

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		知 つ て い る	思 遺 つ 伝 つ て 病 だ と	何 も 知 ら な い	そ の 他	無 回 答
	全体 (N=1743)	64.5	15.3	14.3	4.4	1.5
男女別	男性 (N=716)	60.9	16.5	18.0	3.6	1.0
	女性 (N=1019)	66.9	14.5	11.7	4.9	2.0
年齢別	15～19才(N=65)	70.8	1.5	18.5	7.7	1.5
	20～24才(N=76)	57.9	7.9	28.9	5.3	-
	25～34才(N=185)	64.3	7.0	23.8	4.3	0.5
	35～44才(N=224)	65.6	10.7	21.4	2.2	-
	45～54才(N=295)	71.9	10.8	12.5	4.1	0.7
	55～64才(N=388)	71.4	12.4	10.6	4.1	1.5
	65～74才(N=316)	56.6	25.3	8.2	6.0	3.8
	75才以上(N=189)	51.3	32.3	10.1	3.7	2.6
地域別	岡山南東部(N=841)	67.5	13.4	13.3	4.4	1.3
	岡山南西部(N=651)	62.5	15.8	15.4	4.6	1.7
	岡山北部(N=245)	58.8	20.0	15.5	3.7	2.0

注：本文 p29～p30 を参照。

前回(平成15年1～2月)調査結果		知 つ て い る	思 遺 つ 伝 つ て 病 だ と	何 も 知 ら な い	そ の 他	無 回 答
	全体 (N=1899)	63.3	17.1	13.5	3.7	2.4
男女別	男性 (N=782)	63.8	17.4	11.5	3.8	3.5
	女性 (N=1106)	63.1	16.7	14.8	3.7	1.6
年齢別	15～19才(N=98)	69.4	5.1	22.4	2.0	1.0
	20才代(N=175)	59.4	5.1	28.6	5.1	1.7
	30才代(N=229)	59.8	8.3	25.8	4.4	1.7
	40才代(N=307)	71.0	12.1	11.7	3.6	1.6
	50才代(N=390)	67.9	12.1	12.3	4.4	3.3
	60才代(N=376)	63.6	23.4	6.1	4.3	2.7
	70才以上(N=314)	52.5	37.3	5.4	1.9	2.9
	岡山南東部(N=873)	66.0	16.8	12.3	2.7	2.2
岡山南西部(N=742)	60.6	17.0	14.7	5.1	2.6	
岡山北部(N=284)	62.3	18.0	14.1	3.2	2.5	

問6 「ハンセン病」が後遺症もなく治癒する病気であることの認知状況 単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
	全体 (N=1743)	64.4	34.9	0.7
男 女 別	男性 (N=716)	60.8	38.8	0.4
	女性 (N=1019)	66.9	32.2	0.9
年 齢 別	15～19才(N=65)	61.5	38.5	0.0
	20～24才(N=76)	47.4	52.6	0.0
	25～34才(N=185)	49.7	50.3	0.0
	35～44才(N=224)	54.0	45.5	0.4
	45～54才(N=295)	71.2	28.5	0.3
	55～64才(N=388)	71.4	28.1	0.5
	65～74才(N=316)	70.3	28.2	1.6
	75才以上(N=189)	65.1	33.3	1.6
地 域 別	岡山南東部(N=841)	65.3	34.0	0.7
	岡山南西部(N=651)	62.5	36.7	0.8
	岡山北部 (N=245)	66.1	33.5	0.4

前回(平成15年1～2月)調査結果		知 つ て い る	知 ら な い	無 回 答
	全体 (N=1899)	67.0	32.2	0.8
	男性 (N=782)	65.9	32.9	1.3
	女性 (N=1106)	67.9	31.7	0.4
	15～19才(N=98)	55.1	44.9	-
	20才代(N=175)	51.4	48.0	0.6
	30才代(N=229)	60.3	39.3	0.4
	40才代(N=307)	70.4	29.3	0.3
	50才代(N=390)	71.0	28.2	0.8
	60才代(N=376)	72.9	26.3	0.8
	70才以上(N=314)	69.4	29.3	1.3
	岡山南東部(N=873)	66.6	32.8	0.7
	岡山南西部(N=742)	67.3	31.8	0.9
	岡山北部 (N=284)	67.6	31.7	0.7

注：本文 p31～p32 を参照。

問7 ハンセン病患者が強制隔離されていたことの認知状況 単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		い 知 る っ て	い 知 ら な い	無 回 答
	全体 (N=2035)	90.3	7.8	1.9
男 女 別	男性 (N=851)	89.3	8.9	1.8
	女性 (N=1173)	91.0	7.0	2.0
年 齢 別	15～19才(N=86)	80.2	19.8	-
	20～24才(N=100)	78.0	22.0	-
	25～34才(N=235)	84.3	14.0	1.7
	35～44才(N=265)	91.3	7.9	0.8
	45～54才(N=321)	96.0	3.7	0.3
	55～64才(N=439)	94.8	3.4	1.8
	65～74才(N=354)	93.2	3.7	3.1
	75才以上(N=228)	83.3	11.0	5.7
地 域 別	岡山南東部(N=957)	91.6	6.5	1.9
	岡山南西部(N=774)	89.8	8.5	1.7
	岡山北部 (N=295)	87.1	10.2	2.7
訪 問 経 験 別	行ったことがある(N=210)	97.6	1.4	1.0
	行ったことはない(N=1795)	89.8	8.6	1.6

前回(平成15年1～2月)調査結果		い 知 る っ て	い 知 ら な い	無 回 答
	全体 (N=2210)	90.5	8.5	1.0
	男性 (N=916)	90.3	8.8	0.9
	女性 (N=1255)	90.8	8.2	1.0
	15～19才(N=138)	76.1	23.9	-
	20才代 (N=224)	81.7	17.9	0.4
	30才代 (N=268)	91.4	8.2	0.4
	40才代 (N=342)	95.6	4.1	0.3
	50才代 (N=428)	91.6	7.7	0.7
	60才代 (N=405)	94.3	4.9	0.7
	70才以上(N=367)	90.7	6.0	3.3
	岡山南東部(N=1003)	91.0	7.8	1.2
	岡山南西部(N=873)	90.8	8.2	0.9
	岡山北部 (N=334)	88.3	11.1	0.6
	行ったことがある(N=206)	98.1	0.5	1.5
	行ったことはない(N=1971)	90.1	9.2	0.7

注：本文 p33～p34 を参照。

問8 ハンセン病療養所が岡山県にあることの認知状況

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	86.5	11.8	1.7
男女別	男性 (N=851)	85.8	12.6	1.6
	女性 (N=1173)	87.1	11.3	1.6
年齢別	15～19才(N=86)	60.5	39.5	-
	20～24才(N=100)	56.0	44.0	-
	25～34才(N=235)	73.2	25.5	1.3
	35～44才(N=265)	85.3	14.0	0.8
	45～54才(N=321)	95.3	4.4	0.3
	55～64才(N=439)	93.4	4.8	1.8
	65～74才(N=354)	92.9	4.0	3.1
	75才以上(N=228)	89.5	6.6	3.9
地域別	岡山南東部(N=957)	88.3	10.2	1.5
	岡山南西部(N=774)	85.7	12.7	1.7
	岡山北部(N=295)	83.4	14.2	2.4
訪問経 験別	行ったことがある (N=210)	98.6	0.5	1.0
	行ったことはない (N=1795)	85.5	13.2	1.3

前回(平成15年1～2月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2210)	87.8	11.4	0.8
	男性 (N=916)	88.0	11.2	0.8
	女性 (N=1255)	87.6	11.6	0.8
	15～19才(N=138)	55.8	44.2	-
	20才代 (N=224)	71.4	28.1	0.4
	30才代 (N=268)	85.1	14.6	0.4
	40才代 (N=342)	92.7	7.0	0.3
	50才代 (N=428)	93.9	5.8	0.2
	60才代 (N=405)	95.6	3.7	0.7
	70才以上(N=367)	91.6	5.7	2.7
	岡山南東部(N=1003)	89.4	9.7	0.9
	岡山南西部(N=873)	86.3	12.9	0.8
	岡山北部(N=334)	86.8	12.6	0.6
	行ったことがある (N=206)	98.5	-	1.5
	行ったことはない (N=1971)	86.8	12.7	0.5

注：本文 p35～p36 を参照。

問9 「らい予防法」に療養所からの退所規定がなかったことの認知状況

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	63.3	34.8	1.9
男女別	男性 (N=851)	58.3	40.0	1.8
	女性 (N=1173)	67.0	31.1	1.9
年齢別	15～19才(N=86)	57.0	43.0	-
	20～24才(N=100)	52.0	48.0	-
	25～34才(N=235)	50.6	47.7	1.7
	35～44才(N=265)	59.6	39.6	0.8
	45～54才(N=321)	68.8	30.5	0.6
	55～64才(N=439)	71.5	26.7	1.8
	65～74才(N=354)	66.1	30.8	3.1
	75才以上(N=228)	60.5	34.6	4.8
地域別	岡山南東部(N=957)	63.0	35.2	1.8
	岡山南西部(N=774)	63.6	34.8	1.7
	岡山北部(N=295)	63.4	33.9	2.7
訪問経 験別	行ったことがある (N=210)	79.5	19.5	1.0
	行ったことはない (N=1795)	61.6	36.8	1.6

前回(平成15年1～2月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2210)	55.2	43.8	1.1
	男性 (N=916)	51.9	46.9	1.2
	女性 (N=1255)	57.4	41.8	0.9
	15～19才(N=138)	46.4	53.6	-
	20才代 (N=224)	39.3	60.3	0.4
	30才代 (N=268)	51.5	48.1	0.4
	40才代 (N=342)	58.5	41.2	0.3
	50才代 (N=428)	55.1	44.6	0.2
	60才代 (N=405)	63.5	34.6	2.0
	70才以上(N=367)	58.0	39.2	2.7
	岡山南東部(N=1003)	58.6	40.5	0.9
	岡山南西部(N=873)	51.9	46.7	1.4
	岡山北部(N=334)	53.3	45.8	0.9
	行ったことがある (N=206)	74.3	23.3	2.4
	行ったことはない (N=1971)	53.4	45.9	0.7

注：本文 p37～p38 を参照。

問10 療養所内の結婚に際し、断種が条件とされていたことの認知状況 単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	49.4	48.6	1.9
男女別	男性 (N=851)	45.8	52.3	1.9
	女性 (N=1173)	52.1	46.0	1.9
年齢別	15～19才(N=86)	33.7	66.3	-
	20～24才(N=100)	33.0	66.0	1.0
	25～34才(N=235)	36.6	62.1	1.3
	35～44才(N=265)	50.6	48.7	0.8
	45～54才(N=321)	54.2	45.2	0.6
	55～64才(N=439)	57.9	39.9	2.3
	65～74才(N=354)	56.5	40.1	3.4
	75才以上(N=228)	41.2	54.8	3.9
地域別	岡山南東部(N=957)	52.2	46.2	1.6
	岡山南西部(N=774)	48.3	49.7	1.9
	岡山北部(N=295)	44.1	52.9	3.1
訪問経 験別	行ったことがある (N=210)	70.5	28.6	1.0
	行ったことはない (N=1795)	47.2	51.2	1.6

前回(平成15年1～2月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2210)	38.1	60.9	1.0
	男性 (N=916)	34.7	64.4	0.9
	女性 (N=1255)	40.6	58.3	1.1
	15～19才(N=138)	31.2	68.8	-
	20才代(N=224)	21.4	78.1	0.4
	30才代(N=268)	37.7	61.9	0.4
	40才代(N=342)	40.4	59.1	0.6
	50才代(N=428)	40.4	59.1	0.5
	60才代(N=405)	40.7	58.0	1.2
	70才以上(N=367)	43.3	53.7	3.0
	岡山南東部(N=1003)	42.8	56.2	1.0
	岡山南西部(N=873)	35.5	63.3	1.1
	岡山北部(N=334)	30.8	68.3	0.9
	行ったことがある (N=206)	62.6	34.0	3.4
	行ったことはない (N=1971)	35.7	63.7	0.6

注：本文 p39～p40 を参照。

問11 療養所内で軽症患者が半強制的に作業をさせられていたことの認知状況 単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	28.5	69.5	2.0
男女別	男性 (N=851)	27.3	70.9	1.9
	女性 (N=1173)	29.4	68.7	1.9
年齢別	15～19才(N=86)	30.2	68.6	1.2
	20～24才(N=100)	19.0	81.0	-
	25～34才(N=235)	20.0	78.7	1.3
	35～44才(N=265)	29.8	69.4	0.8
	45～54才(N=321)	34.9	64.5	0.6
	55～64才(N=439)	35.5	62.4	2.1
	65～74才(N=354)	25.1	71.5	3.4
	75才以上(N=228)	21.9	73.2	4.8
地域別	岡山南東部(N=957)	31.2	67.0	1.8
	岡山南西部(N=774)	26.5	71.8	1.7
	岡山北部(N=295)	24.7	71.9	3.4
訪問経 験別	行ったことがある (N=210)	51.4	46.7	1.9
	行ったことはない (N=1795)	25.8	72.7	1.5

前回(平成15年1～2月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2210)	22.7	76.2	1.1
	男性 (N=916)	21.3	77.7	1.0
	女性 (N=1255)	23.9	75.1	1.0
	15～19才(N=138)	18.1	81.9	-
	20才代(N=224)	16.1	83.5	0.4
	30才代(N=268)	22.8	76.9	0.4
	40才代(N=342)	28.9	70.8	0.3
	50才代(N=428)	21.7	77.6	0.7
	60才代(N=405)	24.9	74.3	0.7
	70才以上(N=367)	21.5	75.2	3.3
	岡山南東部(N=1003)	24.5	74.4	1.1
	岡山南西部(N=873)	21.8	77.1	1.1
	岡山北部(N=334)	19.5	79.6	0.9
	行ったことがある (N=206)	47.1	51.0	1.9
	行ったことはない (N=1971)	20.3	78.9	0.8

注：本文 p41～p42 を参照。

問12 平成8年に「らい予防法」が廃止されたことの認知状況

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	59.7	38.5	1.8
男女別	男性 (N=851)	57.3	41.0	1.6
	女性 (N=1173)	61.6	36.7	1.7
年齢別	15～19才(N=86)	34.9	65.1	-
	20～24才(N=100)	33.0	67.0	-
	25～34才(N=235)	39.6	59.1	1.3
	35～44才(N=265)	57.0	42.3	0.8
	45～54才(N=321)	67.3	32.4	0.3
	55～64才(N=439)	70.2	27.8	2.1
	65～74才(N=354)	71.2	25.7	3.1
	75才以上(N=228)	56.1	39.5	4.4
地域別	岡山南東部(N=957)	60.1	38.5	1.5
	岡山南西部(N=774)	60.2	38.1	1.7
	岡山北部(N=295)	56.9	40.3	2.7
訪問経 験別	行ったことがある (N=210)	75.7	23.3	1.0
	行ったことはない (N=1795)	58.1	40.5	1.4

前回(平成15年1～2月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2210)	64.8	34.3	1.0
	男性 (N=916)	64.2	34.9	0.9
	女性 (N=1255)	65.4	33.7	0.9
	15～19才(N=138)	41.3	58.7	-
	20才代 (N=224)	46.4	53.1	0.4
	30才代 (N=268)	54.9	44.8	0.4
	40才代 (N=342)	69.6	29.8	0.6
	50才代 (N=428)	72.4	27.3	0.2
	60才代 (N=405)	77.5	21.7	0.7
	70才以上(N=367)	65.1	31.9	3.0
	岡山南東部(N=1003)	67.3	31.7	1.0
	岡山南西部(N=873)	62.8	36.3	0.9
	岡山北部(N=334)	62.3	36.8	0.9
	行ったことがある (N=206)	84.5	14.1	1.5
	行ったことはない (N=1971)	63.1	36.3	0.6

注：本文 p43～p44 を参照。

問13 ハンセン病国賠訴訟で原告が勝訴したことの認知状況

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	79.7	18.2	2.1
男女別	男性 (N=851)	78.7	19.4	1.9
	女性 (N=1173)	80.6	17.2	2.2
年齢別	15～19才(N=86)	59.3	40.7	-
	20～24才(N=100)	66.0	34.0	-
	25～34才(N=235)	70.2	28.5	1.3
	35～44才(N=265)	78.9	20.4	0.8
	45～54才(N=321)	84.1	15.3	0.6
	55～64才(N=439)	90.9	7.3	1.8
	65～74才(N=354)	84.2	11.3	4.5
	75才以上(N=228)	69.3	25.4	5.3
地域別	岡山南東部(N=957)	79.0	19.0	2.0
	岡山南西部(N=774)	82.0	16.1	1.8
	岡山北部(N=295)	75.9	20.7	3.4
訪問経 験別	行ったことがある (N=210)	93.3	5.2	1.4
	行ったことはない (N=1795)	78.4	19.8	1.7

前回(平成15年1～2月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2210)	89.5	9.2	1.3
	男性 (N=916)	90.5	8.4	1.1
	女性 (N=1255)	89.0	9.6	1.4
	15～19才(N=138)	67.4	31.9	0.7
	20才代 (N=224)	83.5	15.6	0.9
	30才代 (N=268)	88.1	11.6	0.4
	40才代 (N=342)	93.6	6.4	-
	50才代 (N=428)	94.6	4.4	0.9
	60才代 (N=405)	95.1	3.5	1.5
	70才以上(N=367)	87.5	9.0	3.5
	岡山南東部(N=1003)	89.1	9.7	1.2
	岡山南西部(N=873)	89.9	8.7	1.4
	岡山北部(N=334)	89.2	9.3	1.5
	行ったことがある (N=206)	97.6	2.4	-
	行ったことはない (N=1971)	89.5	10.0	0.5

注：本文 p45～p46 を参照。

問14 ハンセン病患者・家族への差別があったことの認知状況

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果										前回(平成15年1～2月)調査結果									
		知身 近 所 で あ っ た の で	話 と し て 聞 い て 知 っ て い る	本 レ ビ ジ オ ・ 新 聞 ・ 知 っ た	研 修 会 ・ 講 演 会 な ど で	子 や 市 町 村 の 広 報 紙 や 冊	ペ ー ジ 等 の 知 っ た	イ ン タ ー ネ ッ ト (ホ ー ム	知 ら な い	無 回 答			知身 近 所 で あ っ た の で	話 と し て 聞 い て 知 っ て い る	本 レ ビ ジ オ ・ 新 聞 ・ 知 っ た	研 修 会 ・ 講 演 会 な ど で	子 や 市 町 村 の 広 報 紙 や 冊	知 ら な い	無 回 答
	全体 (N=2035)	2.4	36.1	41.8	5.7	0.7	0.1	10.3	2.8			全体 (N=2210)	2.4	39.5	41.9	3.3	0.8	10.5	1.7
男女別	男性 (N=851)	3.2	39.2	37.0	5.3	0.6	0.1	11.9	2.7			男性 (N=916)	2.9	41.6	38.8	2.7	0.8	11.6	1.6
	女性 (N=1173)	1.9	33.7	45.4	6.1	0.9	0.1	9.3	2.8			女性 (N=1255)	2.1	37.8	44.4	3.7	0.9	9.6	1.5
年齢別	15～19才 (N=86)	-	37.2	20.9	18.6	1.2	-	20.9	1.2			15～19才 (N=138)	-	20.3	42.8	10.9	1.4	23.9	0.7
	20～24才 (N=100)	1.0	27.0	38.0	11.0	-	-	22.0	1.0			20才代 (N=224)	0.9	15.6	59.4	2.2	0.9	19.2	1.8
	25～34才 (N=235)	0.9	23.4	48.5	5.1	0.4	-	19.1	2.6			30才代 (N=268)	-	20.1	65.3	3.7	0.4	9.0	1.5
	35～44才 (N=265)	1.1	25.7	55.8	6.0	0.8	0.4	8.7	1.5			40才代 (N=342)	1.5	33.3	50.6	6.7	0.6	7.0	0.3
	45～54才 (N=321)	0.9	28.7	50.5	8.7	0.6	0.3	8.1	2.2			50才代 (N=428)	1.6	40.4	45.3	2.3	0.5	8.6	1.2
	55～64才 (N=439)	1.6	39.4	45.6	4.6	0.9	-	5.5	2.5			60才代 (N=405)	3.5	61.2	24.9	1.7	1.0	5.7	2.0
	65～74才 (N=354)	4.5	45.8	35.6	2.5	0.6	-	5.9	5.1			70才以上 (N=367)	6.8	55.6	21.0	0.5	1.4	11.7	3.0
	75才以上 (N=228)	7.5	53.9	18.4	1.8	1.3	-	13.2	3.9			岡山南東部 (N=1003)	3.0	43.6	37.6	3.5	0.6	10.5	1.3
地域別	岡山南東部 (N=957)	2.4	37.4	40.9	6.1	0.8	0.2	9.4	2.8			岡山南西部 (N=873)	2.1	36.0	45.8	2.7	1.0	10.4	1.9
	岡山南西部 (N=774)	1.9	34.9	44.2	5.4	0.8	-	10.5	2.3			岡山北部 (N=334)	1.5	36.8	44.3	3.9	0.9	10.5	2.1
	岡山北部 (N=295)	3.7	34.2	39.3	5.4	0.3	-	12.9	4.1			行ったこと がある (N=210)	6.3	52.9	22.3	10.7	1.0	6.3	0.5
訪問経験別	行ったこと がある (N=210)	6.2	45.2	17.1	21.9	1.9	-	4.3	3.3			行ったこと はない (N=1795)	1.9	35.1	45.1	3.8	0.6	11.0	2.3
	行ったこと はない (N=1795)	1.9	35.1	45.1	3.8	0.6	0.1	11.0	2.3			行ったこと はない (N=1971)	2.0	38.6	44.3	2.5	0.8	11.0	0.9

注：本文 p47～p48 を参照。

問15 療養所入所者の多くが故郷へ帰ることができないことへの意識

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果							前回(平成15年1～2月)調査結果						
		け早 れ急 ばに改 善しな い	い改 善し た方 がよ	や むを 得な い	わ か ら な い	無 回 答			け早 れ急 ばに改 善しな い	い改 善し た方 がよ	や むを 得な い	わ か ら な い	無 回 答
	全体 (N=2035)	44.6	39.0	4.6	9.5	2.3		全体 (N=2210)	45.6	36.7	5.7	10.4	1.6
男 女 別	男 性 (N=851)	42.1	40.0	6.3	9.6	2.0		男 性 (N=916)	43.7	38.5	7.0	9.6	1.2
	女 性 (N=1173)	46.5	38.4	3.2	9.4	2.4		女 性 (N=1255)	47.0	35.8	4.7	10.8	1.8
年 齢 別	15～19才 (N=86)	50.0	39.5	-	10.5	-							
	20～24才 (N=100)	56.0	39.0	2.0	3.0	-		15～19才 (N=138)	57.2	30.4	2.9	9.4	-
	25～34才 (N=235)	58.3	33.6	1.3	5.1	1.7		20才代 (N=224)	52.7	38.4	2.2	6.3	0.4
	35～44才 (N=265)	57.4	36.6	1.1	4.2	0.8		30才代 (N=268)	60.8	28.0	3.0	7.8	0.4
	45～54才 (N=321)	49.5	37.7	4.0	8.4	0.3		40才代 (N=342)	52.0	36.5	3.2	7.3	0.9
	55～64才 (N=439)	40.5	42.6	5.7	8.9	2.3		50才代 (N=428)	44.2	38.3	5.8	10.0	1.6
	65～74才 (N=354)	33.6	40.7	8.8	12.4	4.5		60才代 (N=405)	38.5	38.8	8.4	11.9	2.5
	75才以上 (N=228)	26.3	39.5	7.5	21.1	5.7		70才以上 (N=367)	29.7	41.4	9.8	16.1	3.0
地 域 別	岡山南東部 (N=957)	46.0	40.0	3.4	8.6	2.0		岡山南東部 (N=1003)	44.0	38.0	6.7	10.0	1.4
	岡山南西部 (N=774)	44.3	39.5	5.3	8.9	1.9		岡山南西部 (N=873)	47.1	35.5	5.0	10.5	1.8
	岡山北部 (N=295)	40.7	34.2	6.8	14.2	4.1		岡山北部 (N=334)	46.4	36.2	4.8	11.1	1.5
訪 問 経 験 別	行ったこと がある (N=210)	45.7	40.0	5.7	6.7	1.9		行ったこと がある (N=206)	50.5	34.5	7.3	6.3	1.5
	行ったこと はない (N=1795)	44.7	39.1	4.6	9.8	1.8		行ったこと はない (N=1971)	45.4	37.5	5.6	10.8	0.7

注：本文 p49～p50 を参照。

問16 療養所入所者の社会復帰が困難であることの認知状況

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	78.4	19.7	1.9
男女別	男性 (N=851)	76.5	21.5	2.0
	女性 (N=1173)	79.8	18.4	1.8
年齢別	15～19才(N=86)	66.3	33.7	-
	20～24才(N=100)	63.0	37.0	-
	25～34才(N=235)	69.4	28.9	1.7
	35～44才(N=265)	81.1	18.1	0.8
	45～54才(N=321)	86.3	13.4	0.3
	55～64才(N=439)	85.0	12.8	2.3
	65～74才(N=354)	81.4	15.5	3.1
	75才以上(N=228)	68.0	27.2	4.8
地域別	岡山南東部(N=957)	79.8	18.5	1.7
	岡山南西部(N=774)	77.4	21.1	1.6
	岡山北部(N=295)	76.6	19.7	3.7
訪問経 験別	行ったことがある (N=210)	91.0	8.1	1.0
	行ったことはない (N=1795)	77.3	21.1	1.6

前回(平成15年1～2月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2210)	79.5	19.1	1.4
	男性 (N=916)	79.8	18.8	1.4
	女性 (N=1255)	79.6	19.1	1.3
	15～19才(N=138)	71.0	29.0	-
	20才代(N=224)	73.2	25.9	0.9
	30才代(N=268)	75.4	23.9	0.7
	40才代(N=342)	85.1	14.3	0.6
	50才代(N=428)	83.6	14.7	1.6
	60才代(N=405)	84.9	13.6	1.5
	70才以上(N=367)	74.4	22.9	2.7
	岡山南東部(N=1003)	81.8	17.1	1.1
	岡山南西部(N=873)	77.3	21.1	1.6
	岡山北部(N=334)	78.1	20.1	1.8
	行ったことがある (N=206)	92.7	7.3	-
	行ったことはない (N=1971)	78.9	20.5	0.6

注：本文 p51～p52 を参照。

問17 社会復帰支援員の認知状況

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	16.9	81.0	2.1
男女別	男性 (N=851)	15.9	82.3	1.9
	女性 (N=1173)	17.6	80.2	2.1
年齢別	15～19才(N=86)	8.1	91.9	-
	20～24才(N=100)	10.0	90.0	-
	25～34才(N=235)	10.2	88.1	1.7
	35～44才(N=265)	12.1	87.2	0.8
	45～54才(N=321)	10.9	88.5	0.6
	55～64才(N=439)	20.3	77.7	2.1
	65～74才(N=354)	28.2	67.8	4.0
	75才以上(N=228)	20.2	75.0	4.8
地域別	岡山南東部(N=957)	16.9	81.4	1.7
	岡山南西部(N=774)	17.1	81.0	1.9
	岡山北部(N=295)	16.6	79.7	3.7
訪問経 験別	行ったことがある (N=210)	25.2	73.3	1.4
	行ったことはない (N=1795)	15.8	82.5	1.7

前回(平成15年1～2月)調査結果		い知 る つ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2210)	20.9	78.0	1.2
	男性 (N=916)	19.5	79.3	1.2
	女性 (N=1255)	21.5	77.5	1.0
	15～19才(N=138)	11.6	88.4	-
	20才代(N=224)	8.0	91.1	0.9
	30才代(N=268)	7.8	91.8	0.4
	40才代(N=342)	14.3	85.7	-
	50才代(N=428)	25.0	73.8	1.2
	60才代(N=405)	31.4	66.9	1.7
	70才以上(N=367)	30.2	67.3	2.5
	岡山南東部(N=1003)	22.8	76.2	1.0
	岡山南西部(N=873)	18.3	80.4	1.3
	岡山北部(N=334)	21.6	76.9	1.5
	行ったことがある (N=206)	31.6	67.5	1.0
	行ったことはない (N=1971)	20.0	79.8	0.3

注：本文 p53～p54 を参照。

問18 療養所入所者との交流活動の認知状況

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 るっ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	40.3	57.7	2.0
男女別	男性 (N=851)	36.1	61.9	2.0
	女性 (N=1173)	43.7	54.4	1.9
年齢別	15～19才(N=86)	36.0	64.0	-
	20～24才(N=100)	29.0	71.0	-
	25～34才(N=235)	28.1	70.2	1.7
	35～44才(N=265)	38.9	60.4	0.8
	45～54才(N=321)	45.5	54.2	0.3
	55～64才(N=439)	46.7	51.0	2.3
	65～74才(N=354)	44.9	52.0	3.1
	75才以上(N=228)	36.0	58.8	5.3
地域別	岡山南東部(N=957)	41.5	56.7	1.8
	岡山南西部(N=774)	40.7	57.6	1.7
	岡山北部 (N=295)	36.3	60.3	3.4

単位：%

注：前回調査にはなかった調査項目。
本文 p55～p56 を参照。

問19 昭和63年の邑久長島大橋架橋の認知状況

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		い知 るっ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2035)	71.1	27.2	1.7
男女別	男性 (N=851)	71.9	26.2	1.9
	女性 (N=1173)	70.5	28.0	1.5
年齢別	15～19才(N=86)	45.3	54.7	-
	20～24才(N=100)	30.0	70.0	-
	25～34才(N=235)	41.3	57.0	1.7
	35～44才(N=265)	61.9	37.4	0.8
	45～54才(N=321)	80.7	19.0	0.3
	55～64才(N=439)	85.0	13.2	1.8
	65～74才(N=354)	83.3	13.6	3.1
	75才以上(N=228)	82.0	14.0	3.9
地域別	岡山南東部(N=957)	74.6	24.0	1.4
	岡山南西部(N=774)	68.9	29.6	1.6
	岡山北部 (N=295)	65.8	30.8	3.4

前回(平成15年1～2月)調査結果		い知 るっ て	い知 ら な	無 回 答
	全体 (N=2210)	71.2	27.7	1.1
	男性 (N=916)	74.6	24.3	1.1
	女性 (N=1255)	68.6	30.4	1.0
	15～19才(N=138)	31.9	68.1	-
	20才代 (N=224)	35.3	64.3	0.4
	30才代 (N=268)	54.1	45.5	0.4
	40才代 (N=342)	76.3	23.7	-
	50才代 (N=428)	82.9	16.1	0.9
	60才代 (N=405)	87.7	11.1	1.2
	70才以上(N=367)	83.7	13.1	3.3
	岡山南東部(N=1003)	76.5	22.6	0.9
	岡山南西部(N=873)	67.7	31.2	1.1
	岡山北部 (N=334)	64.7	33.8	1.5

注：本文 p57～p58 を参照。

問20 ハンセン病療養所への訪問状況

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果				
		あ 行 つ た こ と が	な 行 い つ た こ と は	無 回 答
	全体 (N=2035)	10.3	88.2	1.5
男女別	男性 (N=851)	12.2	86.5	1.3
	女性 (N=1173)	9.0	89.6	1.4
年齢別	15～19才(N=86)	4.7	95.3	-
	20～24才(N=100)	8.0	92.0	-
	25～34才(N=235)	7.7	91.1	1.3
	35～44才(N=265)	8.3	91.3	0.4
	45～54才(N=321)	13.4	85.7	0.9
	55～64才(N=439)	12.1	86.6	1.4
	65～74才(N=354)	11.9	85.6	2.5
	75才以上(N=228)	7.9	88.6	3.5
地域別	岡山南東部(N=957)	14.5	84.0	1.5
	岡山南西部(N=774)	6.7	91.7	1.6
	岡山北部 (N=295)	6.1	92.5	1.4

前回(平成15年1～2月)調査結果				
		あ 行 つ た こ と が	な 行 い つ た こ と は	無 回 答
	全体 (N=2210)	9.3	89.2	1.5
	男性 (N=916)	11.6	86.6	1.9
	女性 (N=1255)	7.7	91.2	1.1
	15～19才(N=138)	2.9	95.7	1.4
	20才代 (N=224)	3.6	96.0	0.4
	30才代 (N=268)	7.1	92.2	0.7
	40才代 (N=342)	10.5	89.2	0.3
	50才代 (N=428)	11.7	86.7	1.6
	60才代 (N=405)	10.9	87.9	1.2
	70才以上(N=367)	11.4	85.0	3.5
	岡山南東部(N=1003)	13.2	85.5	1.3
	岡山南西部(N=873)	5.8	92.7	1.5
	岡山北部 (N=334)	6.9	91.0	2.1

注：本文 p59～p60 を参照。

問21 療養所訪問時の療養所入所者との会話機会の状況

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果				
		機 会 が あ つ た	た 機 会 が な か つ	無 回 答
	全体 (N=210)	46.7	52.9	0.5
男女別	男性 (N=104)	44.2	55.8	-
	女性 (N=105)	49.5	49.5	1.0
年齢別	15～19才(N=4)	75.0	25.0	-
	20～24才(N=8)	50.0	50.0	-
	25～34才(N=18)	55.6	38.9	5.6
	35～44才(N=22)	54.5	45.5	-
	45～54才(N=43)	55.8	44.2	-
	55～64才(N=53)	47.2	52.8	-
	65～74才(N=42)	33.3	66.7	-
	75才以上(N=18)	33.3	66.7	-
地域別	岡山南東部(N=139)	47.5	51.8	0.7
	岡山南西部(N=52)	42.3	57.7	-
	岡山北部 (N=18)	55.6	44.4	-

前回(平成15年1～2月)調査結果				
		機 会 が あ つ た	た 機 会 が な か つ	
	全体 (N=206)	46.1	53.9	
	男性 (N=106)	48.1	51.9	
	女性 (N=97)	43.3	56.7	
	15～19才(N=4)	100.0	-	
	20才代(N=8)	62.5	37.5	
	30才代(N=19)	57.9	42.1	
	40才代(N=36)	44.4	55.6	
	50才代(N=50)	44.0	56.0	
	60才代(N=44)	45.5	54.5	
	70才以上(N=42)	35.7	64.3	
	岡山南東部(N=132)	45.5	54.5	
	岡山南西部(N=51)	52.9	47.1	
	岡山北部 (N=23)	34.8	65.2	

注：本文 p61～p62 を参照。

問22 実際に体験したことのあるハンセン病に関する岡山県の事業（複数回答） 単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		どるハンセンフレ病ツト関なす	るハンネル展病に關す	るハンデセン病に關す	るハンホーセンムページに關す	るハン講演会などに關す	るハンテレセン番組に關す	るハン書籍に關す	その他	ない(行つれも見たこととは	無回答
	全体 (N=2035)	15.8	4.3	9.9	1.1	9.9	50.7	5.0	2.5	33.2	3.7
男女別	男性 (N=851)	18.3	4.2	9.8	1.6	9.9	47.4	4.3	1.4	35.5	3.8
	女性 (N=1173)	13.9	4.3	10.1	0.7	10.1	53.1	5.5	3.2	31.6	3.5
年齢別	15～19才(N=86)	20.9	2.3	43.0	4.7	19.8	25.6	3.5	3.5	34.9	-
	20～24才(N=100)	12.0	1.0	12.0	1.0	12.0	45.0	3.0	2.0	44.0	1.0
	25～34才(N=235)	12.3	1.3	4.3	0.4	8.5	39.1	1.7	3.8	48.9	1.7
	35～44才(N=265)	14.7	2.6	8.3	2.3	9.4	52.5	6.8	4.5	32.8	0.8
	45～54才(N=321)	22.1	5.0	9.7	1.6	12.1	59.8	6.9	3.1	24.3	2.2
	55～64才(N=439)	17.8	7.7	10.0	0.5	10.7	60.8	5.9	0.5	27.8	2.5
	65～74才(N=354)	12.7	4.0	6.2	0.8	7.3	49.4	4.8	2.3	33.9	7.3
	75才以上(N=228)	12.7	4.4	10.1	-	7.0	43.0	3.9	1.8	32.9	10.5
地域別	岡山南東部(N=957)	16.7	5.4	10.6	1.4	11.1	50.5	5.7	2.4	32.6	3.9
	岡山南西部(N=774)	14.0	3.5	8.4	0.5	8.0	51.8	3.7	1.8	33.6	3.5
	岡山北部(N=295)	18.0	2.7	11.9	1.7	11.2	49.5	6.1	4.4	33.2	3.7

単位：%

前回(平成15年1～2月)調査結果		どるハンセンフレ病ツト関なす	るハンネル展病に關す	るハンデセン病に關す	るハンホーセンムページに關す	るハン講演会などに關す	るハンテレセン番組に關す	その他	ない(行つれも見たこととは	無回答
	全体 (N=2210)	16.5	3.1	8.8	1.1	6.6	55.2	3.5	32.4	2.7
男女別	男性 (N=916)	17.2	3.7	8.5	1.1	7.3	52.9	3.6	33.4	2.3
	女性 (N=1255)	16.1	2.7	9.1	1.2	6.2	56.8	3.6	31.6	2.7
年齢別	15～19才(N=138)	21.7	1.4	21.0	2.9	13.8	31.2	11.6	34.1	1.4
	20才代(N=224)	9.8	2.2	7.1	0.4	4.0	42.0	2.2	49.6	0.9
	30才代(N=268)	11.9	0.7	6.3	1.5	4.5	56.0	2.2	36.9	0.4
	40才代(N=342)	20.2	2.6	9.1	1.5	9.9	56.7	1.5	31.3	1.2
	50才代(N=428)	16.8	3.3	8.6	1.2	6.5	62.6	3.0	27.6	2.1
	60才代(N=405)	18.3	4.4	6.9	1.0	5.9	63.5	4.7	25.7	3.5
	70才以上(N=367)	16.6	4.9	9.3	0.5	5.2	52.6	3.8	31.6	6.3
	地域別	岡山南東部(N=1003)	17.2	3.6	8.6	1.2	7.0	54.9	4.3	30.9
岡山南西部(N=873)		14.3	2.6	9.6	1.5	6.0	55.0	3.1	34.8	2.3
岡山北部(N=334)		19.8	2.7	7.5	-	6.9	56.3	2.4	30.8	3.9

注：本文 p63～p64 を参照。

問23 今後望まれる岡山県のハンセン病対策事業（複数回答）

単位：％

今回（平成19年8～9月）調査結果

		のパン 配布 レット など	パ ネル 展の 開催	講 演会 などの 開催	ミ ニ 集 会 の 開催	作 レ 放 送 番 組 の 制	告 新 聞 ・ 雑 誌 で の 広	会 の 提 供 の 訪 問 機	療 養 所 へ の 提 供	交 流 機 会 の 提 供	作 ラ ジ オ 番 組 の 製	よ る 情 報 提 供	イ ン タ ー ネ ッ ト に	学 校 で の 知 識 普 及	の 推 進	職 場 で の 知 識 普 及	紙 で の 記 事 の 掲 載	県 や 市 町 村 の 広 報	V D の 活 用	啓 発 用 ビ デ オ ・ D	品 展 の 開 催	療 養 所 入 所 者 の 作	リ ー ダ ー の 養 成	人 権 啓 発 ・ 教 育	を 多 数 設 置	人 権 情 報 コ ー ナ ー	そ の 他	無 回 答
	全体 (N=2035)	23.0	7.3	20.0	3.6	62.9	27.1	16.9	17.3	13.5	14.3	56.9	17.5	27.6	7.2	14.8	10.3	5.9	3.7	5.0								
男女別	男 性 (N=851)	25.0	7.3	16.3	3.5	61.9	29.5	12.2	14.6	14.9	15.6	54.3	17.0	27.8	8.1	12.1	11.8	6.2	4.7	4.6								
	女 性 (N=1173)	21.6	7.2	22.8	3.8	63.7	25.7	20.4	19.4	12.6	13.3	58.9	18.1	27.5	6.6	16.7	9.3	5.8	3.0	5.1								
年齢別	15～19才 (N=86)	25.6	5.8	38.4	2.3	47.7	31.4	26.7	24.4	14.0	23.3	60.5	18.6	16.3	9.3	22.1	5.8	4.7	2.3	1.2								
	20～24才 (N=100)	13.0	6.0	26.0	4.0	66.0	26.0	24.0	22.0	16.0	26.0	72.0	25.0	20.0	6.0	15.0	9.0	3.0	4.0	2.0								
	25～34才 (N=235)	20.4	3.8	15.7	3.8	69.8	31.9	20.0	23.4	11.9	18.3	67.2	28.1	24.3	4.7	15.7	8.1	5.1	6.0	2.1								
	35～44才 (N=265)	20.0	10.2	22.3	3.4	72.5	32.5	20.4	23.8	12.1	21.9	71.7	24.2	26.8	7.2	17.0	11.3	5.7	3.8	0.8								
	45～54才 (N=321)	19.6	5.6	19.9	3.1	66.4	30.8	18.1	19.6	14.0	16.8	67.0	19.9	29.3	11.5	15.0	11.8	8.4	2.8	2.8								
	55～64才 (N=439)	25.1	10.0	19.8	5.5	62.9	24.4	16.2	16.9	13.9	12.3	55.8	15.0	32.1	8.4	14.4	12.1	5.9	2.7	3.4								
	65～74才 (N=354)	25.1	8.5	19.2	3.4	61.6	23.2	13.0	10.5	16.7	8.2	43.8	11.3	30.2	6.2	11.6	9.0	5.9	2.8	7.9								
	75才以上 (N=228)	30.3	3.1	14.5	1.8	46.9	21.9	9.2	7.5	9.6	2.6	29.8	7.0	24.6	2.6	13.6	10.1	5.7	6.1	17.5								
地域別	岡山南東部 (N=957)	22.2	7.6	17.7	4.2	62.5	29.3	16.3	18.1	12.7	15.2	58.0	18.6	24.1	7.5	15.7	11.3	5.6	3.6	5.2								
	岡山南西部 (N=774)	22.4	7.6	20.2	2.7	65.2	24.8	16.9	16.1	14.5	12.7	55.4	16.0	30.7	6.8	14.0	9.9	5.8	4.1	4.9								
	岡山北部 (N=295)	27.5	4.7	27.1	4.1	58.3	27.1	19.0	18.0	13.9	15.6	57.6	18.6	30.2	7.1	13.9	8.1	7.5	3.1	4.7								
普及状況意識別	普及している と思う (N=136)	30.1	9.6	16.9	5.1	55.9	21.3	14.0	10.3	12.5	6.6	46.3	14.0	24.3	5.1	16.2	8.8	4.4	2.9	4.4								
	少しは普及 している と思う(N=733)	21.0	7.1	24.1	3.7	65.5	25.9	19.9	20.9	14.7	14.7	61.5	16.5	28.5	9.4	16.1	10.9	7.4	1.9	3.1								
	あまり普及 していない と思う (N=797)	24.2	8.4	19.8	3.8	65.5	29.9	17.3	18.4	13.0	15.8	61.0	20.7	29.1	6.3	16.2	11.7	5.8	4.0	2.0								
	まったく普 及してい ないと思 う(N=135)	25.9	3.0	16.3	2.2	65.9	36.3	16.3	20.0	13.3	18.5	66.7	27.4	26.7	6.7	12.6	6.7	5.2	7.4	2.2								
	わからない (N=169)	21.3	5.3	11.8	3.0	47.3	20.1	8.3	3.6	11.2	8.3	29.0	6.5	23.1	4.1	5.3	6.5	2.4	9.5	16.6								
知識・ 情報への 意欲別	もっとよく知 りたいと思 う(N=169)	30.2	12.4	30.8	5.9	71.0	34.9	40.8	36.7	16.6	28.4	77.5	36.1	28.4	12.4	26.0	15.4	8.9	6.5	1.2								
	機会があれば知 りたいと思 う(N=1146)	24.2	8.6	24.1	4.3	68.6	28.8	18.8	20.0	14.3	15.4	64.7	21.0	29.9	7.5	16.1	11.3	7.1	2.0	1.9								
	特に知りた いと思わ ない(N=610)	18.9	3.6	10.7	2.0	53.1	24.3	8.0	7.7	12.1	9.8	41.3	7.9	23.4	5.7	9.2	7.4	3.4	5.7	7.4								

注：本文 p65～p67 を参照。

問23 今後望まれる岡山県のハンセン病対策事業（複数回答）

単位：％

前回(平成15年1～2月)調査結果		の配 布 レ ット など	パ ネ ル 展 の 開 催	講 演 会 な ど の 開 催	ミ ニ 集 会 の 開 催	作 テ レ ビ 放 送 番 組 の 制	告 新 聞 ・ 雑 誌 の 掲 載 の 広	会 療 養 所 へ の 訪 問 機	交 療 養 所 入 所 者 と の 提 供	そ の 他	無 回 答
	全体 (N=2210)	32.0	9.7	22.7	6.0	70.4	38.6	20.0	22.4	6.4	3.1
男 女 別	男 性 (N=916)	34.4	8.3	20.1	7.3	66.6	42.0	16.8	19.3	7.6	3.2
	女 性 (N=1255)	30.8	10.9	25.0	5.2	73.1	36.6	22.5	24.8	5.7	2.8
年 齢 別	15～19才 (N=138)	39.9	12.3	39.1	10.9	63.0	39.9	29.0	36.2	10.9	0.7
	20才代 (N=224)	25.4	12.9	21.0	4.0	77.7	51.8	19.6	26.3	7.6	1.8
	30才代 (N=268)	31.3	6.3	21.6	5.6	75.7	41.4	25.0	28.4	10.4	0.4
	40才代 (N=342)	31.9	11.1	26.0	6.7	75.4	41.2	21.3	27.5	5.8	1.5
	50才代 (N=428)	28.7	9.8	22.9	6.8	72.2	35.7	20.6	22.0	5.6	3.3
	60才代 (N=405)	34.3	8.6	23.2	5.7	64.7	34.8	19.0	19.3	3.7	4.4
	70才以上 (N=367)	36.8	9.5	15.8	4.9	64.0	34.9	13.1	10.1	6.0	5.7
	岡山南東部 (N=1003)	30.5	10.2	22.7	6.2	70.0	37.3	20.3	23.9	6.5	2.5
地 域 別	岡山南西部 (N=873)	32.6	9.3	21.5	5.3	69.6	39.1	19.2	20.5	6.8	3.8
	岡山北部 (N=334)	34.7	9.3	25.7	7.5	73.4	41.0	21.3	22.8	5.4	3.0
	普及している と思う (N=146)	29.5	7.5	20.5	6.2	61.0	32.9	15.8	15.8	6.2	5.5
普 及 状 況 意 識 別	少しは普及 している と思う(N=807)	33.1	11.0	24.9	6.8	72.6	38.3	22.8	24.4	4.5	1.7
	あまり普及 していない と思う (N=885)	33.1	10.1	23.4	5.6	72.9	41.9	22.3	25.1	6.7	1.7
	まったく普 及していな いと思う (N=145)	35.2	9.0	22.1	6.2	72.4	42.8	15.2	20.0	13.1	0.7
	わからない (N=172)	18.6	6.4	13.4	4.7	54.7	23.3	8.1	11.6	9.3	15.1
知 識 ・ 情 報 へ の 意 欲 別	もっとよく知 りたいと思う (N=187)	41.7	20.3	31.0	9.6	75.9	39.6	38.5	41.2	14.4	0.5
	機会があれば知 りたいと思 う (N=1245)	33.7	9.0	26.1	6.9	74.8	41.8	22.7	25.7	5.0	1.4
	特に知りた いと思わな い(N=678)	28.0	8.6	15.6	4.0	62.2	33.0	11.7	13.0	7.2	5.0

注：本文 p65～p67 を参照。

問24 ハンセン病についての知識・情報への意欲

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		前回(平成15年1～2月)調査結果			
		たも いと 思う よく 知り	り機 たい 会が いと 思れ ば知	思特 わに 知り たい と	無 回 答
	全体 (N=2035)	8.3	56.3	30.0	5.4
男女別	男性 (N=851)	7.1	52.2	34.8	6.0
	女性 (N=1173)	9.3	59.5	26.4	4.8
年齢別	15～19才 (N=86)	11.6	64.0	24.4	-
	20～24才 (N=100)	17.0	67.0	16.0	-
	25～34才 (N=235)	13.2	70.6	13.6	2.6
	35～44才 (N=265)	11.3	67.5	20.8	0.4
	45～54才 (N=321)	8.1	59.5	28.3	4.0
	55～64才 (N=439)	5.5	54.4	35.8	4.3
	65～74才 (N=354)	5.1	50.8	36.7	7.3
	75才以上 (N=228)	5.7	28.9	46.1	19.3
地域別	岡山南東部 (N=957)	8.9	55.4	30.2	5.5
	岡山南西部 (N=774)	7.9	56.5	30.4	5.3
	岡山北部 (N=295)	7.8	58.6	28.1	5.4
	全体 (N=2210)	8.5	56.3	30.7	4.5
	男性 (N=916)	6.4	55.7	34.2	3.7
	女性 (N=1255)	9.8	57.4	28.2	4.6
	15～19才 (N=138)	15.2	65.9	18.1	0.7
	20才代 (N=224)	17.0	66.5	16.5	-
	30才代 (N=268)	11.9	70.5	16.4	1.1
	40才代 (N=342)	6.7	67.3	24.6	1.5
	50才代 (N=428)	6.3	55.6	35.0	3.0
	60才代 (N=405)	4.0	51.6	39.5	4.9
	70才以上 (N=367)	6.8	34.1	45.2	13.9
	岡山南東部 (N=1003)	8.7	54.2	32.9	4.2
	岡山南西部 (N=873)	8.2	57.4	29.3	5.0
	岡山北部 (N=334)	8.4	59.9	27.5	4.2

注：本文 p68～p69 を参照。

問25 ハンセン病について知りたいこと（複数回答）

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		いいハンセン病に病つと	に国つやい県の施策	いてなど患者の家族な	歴ハンセン病の	生今の療養所の	その他	わからない	無回答
	全体 (N=1315)	48.3	45.7	39.9	33.9	51.0	2.5	0.8	0.3
男女別	男性 (N=504)	50.0	46.4	40.1	39.9	44.6	2.8	0.8	0.4
	女性 (N=807)	47.3	45.2	39.9	30.2	54.9	2.4	0.9	0.2
年齢別	15～19才(N=65)	44.6	41.5	33.8	27.7	49.2	-	-	-
	20～24才(N=84)	56.0	44.0	51.2	33.3	64.3	2.4	-	-
	25～34才(N=197)	57.4	49.7	50.3	37.1	59.4	2.0	-	-
	35～44才(N=209)	60.3	45.9	40.2	33.0	56.9	3.3	-	-
	45～54才(N=217)	41.9	45.6	36.4	36.9	49.3	5.1	1.8	-
	55～64才(N=263)	38.4	49.4	36.9	31.9	48.3	2.3	1.5	0.4
	65～74才(N=198)	44.9	41.4	35.9	33.8	38.4	1.0	0.5	1.0
	75才以上(N=79)	49.4	38.0	38.0	34.2	46.8	1.3	2.5	1.3
地域別	岡山南東部(N=615)	47.8	45.2	36.6	32.4	52.7	2.4	1.0	-
	岡山南西部(N=498)	48.8	45.6	42.0	34.7	49.4	2.2	0.6	0.6
	岡山北部 (N=196)	49.0	47.4	45.9	37.2	49.5	3.6	1.0	0.5
知識への意欲別	もっとよく知りたいと思う(N=169)	56.2	56.8	52.1	43.8	58.0	5.9	-	-
	機会があれば知りたいと思う(N=1146)	47.1	44.1	38.1	32.5	50.0	2.0	1.0	0.3

単位：％

前回(平成15年1～2月)調査結果		いいハンセン病に病つと	に国つやい県の施策	いてなど患者の家族な	歴ハンセン病の	生今の療養所の	その他	わからない	無回答
	全体 (N=1432)	51.5	44.2	40.3	35.5	52.0	2.8	1.3	0.5
男女別	男性 (N=569)	52.7	45.2	40.6	36.9	43.6	2.8	1.4	0.2
	女性 (N=843)	51.4	43.4	39.9	34.5	57.8	2.8	1.3	0.7
年齢別	15～19才(N=112)	56.3	42.9	40.2	29.5	53.6	3.6	2.7	-
	20才代 (N=187)	62.0	47.1	46.5	33.7	60.4	5.3	1.1	0.5
	30才代 (N=221)	65.2	48.0	50.7	36.7	56.6	1.4	1.4	0.5
	40才代 (N=253)	45.8	43.5	40.7	36.8	53.4	2.4	0.8	0.4
	50才代 (N=265)	49.1	46.0	33.6	32.8	50.6	2.3	1.5	0.4
	60才代 (N=225)	44.0	41.3	35.6	36.9	49.3	3.6	1.3	0.4
	70才以上(N=150)	44.0	38.0	34.7	41.3	38.7	2.0	1.3	1.3
地域別	岡山南東部(N=631)	50.4	43.6	39.3	33.9	50.9	3.5	1.0	0.6
	岡山南西部(N=573)	51.3	45.7	38.6	36.0	52.5	1.9	1.9	0.3
	岡山北部 (N=228)	55.3	42.1	47.4	39.0	53.5	3.1	0.9	0.4
知識への意欲別	もっとよく知りたいと思う(N=187)	58.3	54.5	55.1	45.5	63.1	5.3	1.1	0.5
	機会があれば知りたいと思う(N=1245)	50.5	42.7	38.1	34.1	50.3	2.4	1.4	0.5

注：本文 p70～p71 を参照。

問26 ハンセン病に関する知識・情報の普及状況の意識

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		う普及していると思	る少しは普及していると思	ないと思う	あまり普及している	まったく普及していない	わからない	無回答
	全体(N=2035)	6.7	36.0	39.2	6.6	8.3	3.2	
男女別	男性(N=851)	7.3	32.3	41.5	8.3	7.5	3.1	
	女性(N=1173)	6.2	38.8	37.4	5.5	9.0	3.2	
年齢別	15～19才(N=86)	4.7	33.7	43.0	9.3	8.1	1.2	
	20～24才(N=100)	1.0	33.0	50.0	12.0	3.0	1.0	
	25～34才(N=235)	0.9	23.8	55.3	14.0	3.8	2.1	
	35～44才(N=265)	2.3	36.6	44.9	10.2	3.8	2.3	
	45～54才(N=321)	5.3	38.3	41.7	6.5	5.9	2.2	
	55～64才(N=439)	6.2	42.4	38.5	4.3	5.7	3.0	
	65～74才(N=354)	11.3	41.0	29.9	2.3	11.6	4.0	
	75才以上(N=228)	17.1	27.2	21.1	3.1	24.1	7.5	
地域別	岡山南東部(N=957)	6.5	37.4	38.3	6.8	7.1	3.9	
	岡山南西部(N=774)	6.7	34.6	41.5	6.6	8.4	2.2	
	岡山北部(N=295)	7.1	35.3	35.3	6.4	12.2	3.7	

前回(平成15年1～2月)調査結果		う普及していると思	る少しは普及している	ないと思う	あまり普及している	まったく普及していない	わからない	無回答
	全体(N=2210)	6.6	36.5	40.0	6.6	7.8	2.5	
	男性(N=916)	6.9	34.1	42.0	7.2	7.0	2.8	
	女性(N=1255)	6.2	38.8	38.6	6.1	8.1	2.2	
	15～19才(N=138)	5.1	27.5	51.4	7.2	5.8	2.9	
	20才代(N=224)	1.3	24.6	56.7	12.5	4.5	0.4	
	30才代(N=268)	1.5	30.2	50.0	10.1	6.3	1.9	
	40才代(N=342)	2.0	39.2	45.9	9.1	2.6	1.2	
	50才代(N=428)	5.6	41.8	38.1	6.1	7.2	1.2	
	60才代(N=405)	10.9	43.5	30.1	3.0	8.9	3.7	
	70才以上(N=367)	14.4	36.8	26.2	2.5	15.0	5.2	
	岡山南東部(N=1003)	7.9	37.2	40.6	5.0	7.7	1.7	
	岡山南西部(N=873)	5.6	34.7	40.1	8.8	7.7	3.1	
	岡山北部(N=334)	5.4	39.2	38.3	5.4	8.4	3.3	

注：本文 p72～p73 を参照。

問27 療養所入所者の社会との交流についての意識

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		そう 思う	う少 しは そう 思	わあ ない ま り そ う 思	思ま わっ た た く そ う	わ か ら な い	無 回 答
	全体 (N=2035)	63.2	19.7	3.0	0.8	11.1	2.2
男女別	男 性 (N=851)	59.0	22.4	5.1	1.4	10.5	1.6
	女 性 (N=1173)	66.3	17.7	1.5	0.4	11.6	2.4
年齢別	15～19才 (N=86)	69.8	19.8	2.3	-	8.1	-
	20～24才 (N=100)	74.0	19.0	3.0	1.0	3.0	-
	25～34才 (N=235)	74.9	13.6	2.6	0.4	6.8	1.7
	35～44才 (N=265)	70.9	18.1	0.8	-	9.4	0.8
	45～54才 (N=321)	70.7	14.3	3.1	1.2	9.0	1.6
	55～64才 (N=439)	61.3	25.1	3.2	0.7	8.0	1.8
	65～74才 (N=354)	52.3	22.9	5.6	0.8	15.3	3.1
	75才以上 (N=228)	45.2	20.6	1.8	2.2	24.1	6.1
地域別	岡山南東部 (N=957)	64.2	19.4	2.9	0.7	10.2	2.5
	岡山南西部 (N=774)	63.4	20.2	2.6	1.0	11.1	1.7
	岡山北部 (N=295)	59.7	19.3	4.4	0.7	13.6	2.4

前回(平成15年1～2月)調査結果		そう 思う	う少 しは そう 思	わあ ない ま り そ う 思	思ま わっ た た く そ う	わ か ら な い	無 回 答
	全体 (N=2210)	61.4	21.3	4.1	1.0	10.8	1.5
	男 性 (N=916)	58.7	23.5	5.7	0.9	9.5	1.7
	女 性 (N=1255)	63.7	19.7	2.8	1.0	11.5	1.3
	15～19才 (N=138)	73.9	15.2	0.7	-	9.4	0.7
	20才代 (N=224)	73.2	18.3	1.8	-	6.7	-
	30才代 (N=268)	72.8	16.8	2.6	0.7	6.0	1.1
	40才代 (N=342)	67.5	20.5	2.6	0.3	8.2	0.9
	50才代 (N=428)	61.4	21.0	3.3	0.2	13.1	0.9
	60才代 (N=405)	53.3	25.7	6.7	1.2	11.1	2.0
	70才以上 (N=367)	46.0	24.5	6.8	3.3	15.8	3.5
	岡山南東部 (N=1003)	59.0	22.3	5.3	1.3	10.9	1.2
	岡山南西部 (N=873)	62.2	21.5	3.3	0.7	10.2	2.1
	岡山北部 (N=334)	66.5	17.7	2.4	0.6	12.0	0.9

注：本文 p74～p75 を参照。

問28 偏見や差別の解消のための方策（複数回答）

単位：％

今回(平成19年8～9月)調査結果		事業がや 行っなど 啓の 発行	政や 県な と	国を 教で え正 しい 知	学を 校で え正 しい 知	方療 と養 交所 流入 する 者の	つも 一人 とひと り関 心を持	その他	わから ない	無回 答
	全体 (N=2035)	53.0	69.5	17.6	39.3	2.6	5.8	1.5		
男女別	男性 (N=851)	53.1	69.0	15.0	34.3	2.9	5.4	1.5		
	女性 (N=1173)	52.9	70.1	19.5	42.9	2.3	6.1	1.4		
年齢別	15～19才(N=86)	26.7	79.1	30.2	48.8	2.3	4.7	1.2		
	20～24才(N=100)	52.0	84.0	30.0	50.0	2.0	2.0	-		
	25～34才(N=235)	51.9	76.6	24.7	41.3	4.3	3.8	0.4		
	35～44才(N=265)	55.1	75.8	24.5	44.9	4.9	3.0	-		
	45～54才(N=321)	56.4	73.8	16.2	39.9	2.8	3.1	0.6		
	55～64才(N=439)	57.4	67.9	13.7	40.5	1.1	5.0	1.1		
	65～74才(N=354)	54.8	65.5	11.0	33.9	2.3	7.6	2.5		
	75才以上(N=228)	46.1	48.7	11.8	28.1	1.3	14.9	5.7		
地域別	岡山南東部(N=957)	49.7	70.0	19.7	37.3	3.1	6.2	1.6		
	岡山南西部(N=774)	53.7	69.5	15.4	41.5	2.5	5.2	1.2		
	岡山北部(N=295)	61.4	68.1	16.6	40.7	1.0	6.1	2.0		

単位：％

前回(平成15年1～2月)調査結果		事業がや 行っなど 啓の 発行	政や 県な と	国を 教で え正 しい 知	学を 校で え正 しい 知	方療 と養 交所 流入 する 者の	つも 一人 とひと り関 心を持	その他	わから ない	無回 答
	全体 (N=2210)	51.7	67.3	15.9	41.4	3.1	6.0	1.5		
男女別	男性 (N=916)	55.0	67.0	14.3	36.2	3.5	5.3	1.9		
	女性 (N=1255)	49.5	68.5	17.3	45.3	2.8	5.9	1.2		
年齢別										
	15～19才(N=138)	42.8	79.7	25.4	49.3	6.5	2.9	0.7		
	20才代(N=224)	45.5	76.8	21.9	45.1	4.9	3.6	0.4		
	30才代(N=268)	54.5	75.7	17.5	45.9	3.7	3.4	0.7		
	40才代(N=342)	58.2	76.3	21.3	43.0	2.3	2.9	0.6		
	50才代(N=428)	56.1	62.6	15.9	43.5	2.8	4.7	1.2		
	60才代(N=405)	52.3	57.8	12.3	40.2	2.7	7.7	1.5		
	70才以上(N=367)	45.8	62.1	7.4	30.5	1.6	11.2	4.1		
地域別	岡山南東部(N=1003)	50.0	66.5	16.5	40.9	3.2	5.8	1.1		
	岡山南西部(N=873)	53.4	67.6	15.2	41.2	3.0	6.2	2.2		
	岡山北部(N=334)	52.7	69.2	15.9	43.1	3.0	6.0	0.9		

注：本文 p76～p77 を参照。

問29 療養所入所者の社会復帰のための方策（複数回答）

単位：%

今回(平成19年8～9月)調査結果		を政国 行がや う手県 厚な いど 支の 援行	り偏 除見 く・ 差 別 を取	人復 を帰 を増 や支 援す る	動入テ市 をれイ町 するア村 るたがや めむボ のかラ 活えン	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
	全体 (N=2035)	58.3	58.9	30.8	30.0	1.5	7.9	2.1
男女別	男性 (N=851)	59.5	53.9	29.3	25.9	2.1	7.6	1.5
	女性 (N=1173)	57.5	62.7	31.8	33.2	1.1	8.0	2.4
年齢別	15～19才(N=86)	48.8	59.3	33.7	33.7	1.2	7.0	-
	20～24才(N=100)	63.0	64.0	31.0	36.0	1.0	5.0	1.0
	25～34才(N=235)	57.9	59.6	37.4	39.6	1.7	3.4	0.9
	35～44才(N=265)	63.0	60.8	35.8	38.1	3.0	4.9	0.8
	45～54才(N=321)	57.0	58.3	36.8	33.3	1.2	7.2	1.2
	55～64才(N=439)	59.7	61.7	31.7	32.8	1.4	7.5	1.6
	65～74才(N=354)	57.9	58.8	24.0	19.2	1.1	9.3	2.8
	75才以上(N=228)	54.8	49.1	17.1	13.6	1.3	17.1	7.0
地域別	岡山南東部(N=957)	55.9	59.0	31.0	30.0	1.5	8.0	2.1
	岡山南西部(N=774)	60.1	57.9	31.8	30.5	1.7	7.0	2.3
	岡山北部 (N=295)	61.4	61.0	27.1	29.2	1.4	9.8	1.4

単位：%

前回(平成15年1～2月)調査結果		を政国 行がや う手県 厚な いど 支の 援行	り偏 除見 く・ 差 別 を取	人復 を帰 を増 や支 援す る	動入テ市 をれイ町 するア村 るたがや めむボ のかラ 活えン	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
	全体 (N=2210)	54.8	60.9	28.9	30.7	3.0	7.8	1.8
男女別	男性 (N=916)	53.7	57.8	27.1	29.1	3.5	7.3	2.2
	女性 (N=1255)	56.1	63.4	30.4	31.7	2.8	7.8	1.4
年齢別								
	15～19才(N=138)	54.3	70.3	47.8	36.2	4.3	3.6	0.7
	20才代 (N=224)	53.1	63.4	29.9	36.2	5.8	4.9	0.4
	30才代 (N=268)	57.1	60.1	32.5	38.4	4.1	4.9	1.1
	40才代 (N=342)	57.6	65.2	31.9	35.4	3.5	5.8	0.6
	50才代 (N=428)	57.5	60.7	30.1	31.3	1.2	6.5	0.9
	60才代 (N=405)	51.9	61.0	26.4	24.7	3.0	9.1	2.2
	70才以上(N=367)	53.7	53.7	17.7	20.7	2.2	13.9	4.9
地域別	岡山南東部(N=1003)	53.3	60.0	28.2	31.4	3.2	7.9	1.6
	岡山南西部(N=873)	56.1	62.2	28.9	30.0	3.1	7.4	2.3
	岡山北部 (N=334)	55.7	60.2	30.8	30.2	2.4	8.4	1.2

注：本文 p78～p79 を参照。

問3「病名をだれ(何)から知ったか」別にみた集計

単位：%

		問4 どのような病気であるか(単数)				問5 非常に感染力が弱いこと(単数)				
		知っている	あまり知らない	知らない	無回答	知っている	遺伝病だと思っていた	何も知らない	その他	無回答
問3 病名をだれ(何)から知ったか(単数)	家族から	65.7	26.9	3.4	4.0	65.4	25.1	4.9	3.1	1.5
	親せきの人から	45.5	31.8	4.5	18.2	52.9	29.4	11.8	0.0	5.9
	近所の人から	50.0	42.2	3.1	4.7	47.5	35.6	13.6	1.7	1.7
	職場の人から	58.1	34.9	4.7	2.3	67.5	15.0	15.0	2.5	0.0
	友達から	57.9	26.3	10.5	5.3	62.5	22.9	8.3	6.3	0.0
	学校の授業で	51.4	41.2	5.4	2.0	79.9	5.5	9.5	4.7	0.4
	テレビ・ラジオ・新聞	32.8	50.8	12.8	3.5	58.3	12.3	23.3	4.2	1.8
	研修会・講演会などで	79.2	16.7	4.2	0.0	87.0	4.3	4.3	4.3	0.0
	自治体の冊子などから	50.0	50.0	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
	はっきり覚えていない	40.1	47.8	8.7	3.5	66.1	14.6	11.8	6.7	0.8
	無回答	22.8	15.2	2.2	59.8	54.3	17.1	8.6	5.7	14.3
全体	44.3	41.3	8.3	6.1	64.5	15.3	14.3	4.4	1.5	

		問6 治療すればなおること(単数)			問7 国による強制隔離政策(単数)			問8 療養所が岡山県にあること(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問3 病名をだれ(何)から知ったか(単数)	家族から	74.6	24.5	0.9	95.2	1.4	3.4	94.3	2.8	2.8
	親せきの人から	76.5	17.6	5.9	95.5	4.5	0.0	100.0	0.0	0.0
	近所の人から	66.1	33.9	0.0	90.6	7.8	1.6	93.8	4.7	1.6
	職場の人から	82.5	17.5	0.0	93.0	4.7	2.3	93.0	4.7	2.3
	友達から	58.3	41.7	0.0	89.5	7.0	3.5	93.0	3.5	3.5
	学校の授業で	69.7	30.3	0.0	94.9	4.1	1.0	86.1	12.8	1.0
	テレビ・ラジオ・新聞	53.5	46.1	0.5	90.4	8.1	1.5	83.5	15.1	1.4
	研修会・講演会などで	91.3	8.7	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	自治体の冊子などから	83.3	16.7	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	はっきり覚えていない	66.5	31.9	1.6	89.6	8.7	1.7	89.6	9.3	1.0
	無回答	77.1	20.0	2.9	52.2	44.6	3.3	54.3	42.4	3.3
全体	64.4	34.9	0.7	90.3	7.8	1.9	86.5	11.8	1.7	

		問9 退所規定がなかったこと(単数)			問10 結婚は「断種」が条件であった(単数)			問11 半強制的に作業をさせられていた(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問3 病名をだれ(何)から知ったか(単数)	家族から	73.1	24.1	2.8	61.8	35.7	2.5	34.0	63.2	2.8
	親せきの人から	59.1	40.9	0.0	59.1	40.9	0.0	22.7	77.3	0.0
	近所の人から	65.6	32.8	1.6	42.2	56.3	1.6	29.7	68.8	1.6
	職場の人から	74.4	23.3	2.3	55.8	39.5	4.7	41.9	55.8	2.3
	友達から	64.9	31.6	3.5	35.1	61.4	3.5	22.8	71.9	5.3
	学校の授業で	72.6	26.0	1.4	54.7	43.6	1.7	37.2	61.5	1.4
	テレビ・ラジオ・新聞	57.9	40.3	1.8	43.9	54.4	1.8	24.1	74.1	1.8
	研修会・講演会などで	83.3	16.7	0.0	75.0	25.0	0.0	70.8	29.2	0.0
	自治体の冊子などから	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	16.7	83.3	0.0
	はっきり覚えていない	60.2	38.8	1.0	51.2	48.1	0.7	25.3	73.7	1.0
	無回答	38.0	58.7	3.3	29.3	66.3	4.3	15.2	80.4	4.3
全体	63.3	34.8	1.9	49.4	48.6	1.9	28.5	69.5	2.0	

問3「病名をだれ(何)から知ったか」別にみた集計

単位：%

		問12 平成8年の「らい予防法」廃止(単数)			問13 「ハンセン病国賠訴訟」の勝訴(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問3 病名をだれ(何)から知ったか(単数)	家族から	74.2	23.2	2.5	86.4	9.9	3.7
	親せきの人から	63.6	36.4	0.0	86.4	13.6	0.0
	近所の人から	71.9	25.0	3.1	85.9	10.9	3.1
	職場の人から	72.1	25.6	2.3	83.7	14.0	2.3
	友達から	59.6	36.8	3.5	78.9	17.5	3.5
	学校の授業で	63.2	35.8	1.0	83.8	15.2	1.0
	テレビ・ラジオ・新聞	50.2	48.2	1.6	79.1	19.3	1.6
	研修会・講演会などで	91.7	8.3	0.0	95.8	4.2	0.0
	自治体の冊子などから	100.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0
	はっきり覚えていない	64.4	34.9	0.7	76.1	21.8	2.1
	無回答	33.7	62.0	4.3	45.7	51.1	3.3
全体	59.7	38.5	1.8	79.7	18.2	2.1	

		問14 患者家族も偏見・差別を受けた(単数)							
		身近であった	話として聞いた	テレビ・新聞など	研修会・講演会など	自治体の冊子など	インターネット	知らない	無回答
問3 病名をだれ(何)から知ったか(単数)	家族から	6.5	55.0	26.6	1.4	0.3	0.3	6.5	3.4
	親せきの人から	9.1	63.6	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
	近所の人から	7.8	62.5	23.4	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1
	職場の人から	4.7	48.8	25.6	11.6	0.0	0.0	7.0	2.3
	友達から	10.5	54.4	21.1	0.0	0.0	0.0	10.5	3.5
	学校の授業で	0.3	40.2	34.5	15.2	3.0	0.0	4.4	2.4
	テレビ・ラジオ・新聞	0.5	20.3	64.1	2.7	0.3	0.1	9.8	2.3
	研修会・講演会などで	0.0	8.3	8.3	79.2	0.0	0.0	4.2	0.0
	自治体の冊子などから	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	はっきり覚えていない	1.4	46.0	30.4	4.5	0.7	0.0	14.5	2.4
	無回答	2.2	20.7	17.4	6.5	1.1	0.0	44.6	7.6
全体	2.4	36.1	41.8	5.7	0.7	0.1	10.3	2.8	

		問16 社会復帰が非常に困難なこと(単数)			問17 「社会復帰支援員」の活動(単数)			問18 小学・中学・高校生との交流(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問3 病名をだれ(何)から知ったか(単数)	家族から	84.1	12.7	3.1	22.1	74.8	3.1	49.0	48.2	2.8
	親せきの人から	81.8	18.2	0.0	31.8	68.2	0.0	40.9	59.1	0.0
	近所の人から	75.0	23.4	1.6	34.4	64.1	1.6	43.8	54.7	1.6
	職場の人から	76.7	20.9	2.3	23.3	72.1	4.7	46.5	51.2	2.3
	友達から	86.0	10.5	3.5	21.1	73.7	5.3	35.1	59.6	5.3
	学校の授業で	83.1	15.5	1.4	16.6	82.4	1.0	48.0	50.7	1.4
	テレビ・ラジオ・新聞	77.3	20.9	1.8	14.6	83.4	2.0	32.8	65.3	1.9
	研修会・講演会などで	95.8	4.2	0.0	25.0	75.0	0.0	75.0	25.0	0.0
	自治体の冊子などから	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	はっきり覚えていない	76.8	22.1	1.0	10.0	88.9	1.0	42.6	56.4	1.0
	無回答	46.7	50.0	3.3	14.1	82.6	3.3	28.3	68.5	3.3
全体	78.4	19.7	1.9	16.9	81.0	2.1	40.3	57.7	2.0	

問3「病名をだれ(何)から知ったか」別にみた集計 単位：%

		問19 長島への邑久長島大 橋架橋(単数)		
		知って いる	知らな い	無回答
問3 病 名をだ れ(何) から 知った か (単数)	家族から	86.1	11.3	2.5
	親せきの人から	90.9	9.1	0.0
	近所の人から	85.9	12.5	1.6
	職場の人から	76.7	20.9	2.3
	友達から	78.9	17.5	3.5
	学校の授業で	74.7	24.3	1.0
	テレビ・ラジオ・新聞	60.8	37.5	1.6
	研修会・講演会などで	91.7	8.3	0.0
	自治体の冊子などから	100.0	0.0	0.0
	はっきり覚えていない	76.1	22.8	1.0
	無回答	44.6	52.2	3.3
	全体	71.1	27.2	1.7

問4「どのような病気であるかの認知状況」別にみた集計

単位：%

		問5 非常に感染力が弱いこと(単数)					問6 治療すればなおること(単数)		
		知っている	遺伝病だと思っていた	何も知らない	その他	無回答	知っている	知らない	無回答
問4 どのような病気であるか(単数)	知っている	81.7	12.5	2.5	2.2	1.0	82.4	17.1	0.6
	あまり知らない	46.0	18.2	27.0	6.7	2.1	45.2	54.0	0.8
	知らない								
	無回答								
	全体	64.5	15.3	14.3	4.4	1.5	64.4	34.9	0.7

		問7 国による強制隔離政策(単数)			問8 療養所が岡山県にあること(単数)			問9 退所規定がなかったこと(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問4 どのような病気であるか(単数)	知っている	97.2	1.2	1.6	96.1	2.4	1.4	80.9	17.5	1.6
	あまり知らない	91.2	6.8	2.0	84.5	13.8	1.7	55.1	43.2	1.8
	知らない	70.2	28.6	1.2	62.5	36.3	1.2	28.6	69.6	1.8
	無回答	60.5	34.7	4.8	62.9	33.1	4.0	38.7	56.5	4.8
	全体	90.3	7.8	1.9	86.5	11.8	1.7	63.3	34.8	1.9

		問10 結婚は「断種」が条件であった(単数)			問11 半強制的に作業をさせられていた(単数)			問12 平成8年の「らい予防法」廃止(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問4 どのような病気であるか(単数)	知っている	70.4	27.9	1.7	44.7	53.3	2.0	78.4	20.1	1.6
	あまり知らない	37.2	61.0	1.8	17.4	80.9	1.8	49.3	48.9	1.8
	知らない	11.3	87.5	1.2	4.8	94.0	1.2	27.4	71.4	1.2
	無回答	31.5	62.9	5.6	18.5	77.4	4.0	37.9	58.1	4.0
	全体	49.4	48.6	1.9	28.5	69.5	2.0	59.7	38.5	1.8

		問13 「ハンセン病国賠訴訟」の勝訴(単数)		
		知っている	知らない	無回答
問4 どのような病気であるか(単数)	知っている	90.5	7.5	2.0
	あまり知らない	77.2	20.7	2.1
	知らない	57.7	41.1	1.2
	無回答	47.6	48.4	4.0
	全体	79.7	18.2	2.1

		問14 患者家族も偏見・差別を受けた(単数)							
		身近であった	話として聞いた	テレビ・新聞など	研修会・講演会など	自治体の冊子など	インターネット	知らない	無回答
問4 どのような病気であるか(単数)	知っている	4.1	42.9	37.0	9.4	1.1	0.1	2.5	2.8
	あまり知らない	1.0	34.4	48.2	3.2	0.6	0.1	10.0	2.6
	知らない	0.0	19.0	45.8	0.6	0.0	0.0	32.1	2.4
	無回答	3.2	21.8	28.2	2.4	0.0	0.0	39.5	4.8
	全体	2.4	36.1	41.8	5.7	0.7	0.1	10.3	2.8

問4「どのような病気であるかの認知状況」別にみた集計

単位：%

		問16 社会復帰が非常に困難なこと(単数)			問17「社会復帰支援員」の活動(単数)			問18 小学・中学・高校生との交流(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問4 どのような病気であるか(単数)	知っている	91.1	7.3	1.6	25.8	72.3	1.9	55.1	43.3	1.6
	あまり知らない	74.9	23.1	2.0	10.6	87.4	2.0	30.8	67.2	2.0
	知らない	47.6	50.6	1.8	3.0	95.2	1.8	16.7	81.5	1.8
	無回答	50.8	45.2	4.0	13.7	82.3	4.0	29.8	65.3	4.8
	全体	78.4	19.7	1.9	16.9	81.0	2.1	40.3	57.7	2.0

		問19 長島への邑久長島大橋架橋(単数)		
		知っている	知らない	無回答
問4 どのような病気であるか(単数)	知っている	87.1	11.5	1.3
	あまり知らない	62.4	35.9	1.7
	知らない	41.1	57.1	1.8
	無回答	54.0	41.1	4.8
	全体	71.1	27.2	1.7

問20「ハンセン病療養所へ行った経験の有無」別にみた集計

単位：%

		問4 どのような病気であるか(単数)				問5 非常に感染力が弱いこと(単数)				
		知っている	あまり知らない	知らない	無回答	知っている	遺伝病だと思っていた	何も知らない	その他	無回答
問20 ハンセン病療養所へ行ったこと(単数)	行ったことがある	76.7	20.0	1.0	2.4	77.8	11.3	5.9	2.5	2.5
	行ったことはない	40.8	44.0	9.1	6.2	62.7	15.6	15.6	4.7	1.3
	無回答	30.0	33.3	10.0	26.7	63.2	26.3	0.0	0.0	10.5
	全体	44.3	41.3	8.3	6.1	64.5	15.3	14.3	4.4	1.5

		問6 治療すればなおること(単数)			問7 国による強制隔離政策(単数)			問8 療養所が岡山県にあること(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問20 ハンセン病療養所へ行ったこと(単数)	行ったことがある	80.8	18.7	0.5	97.6	1.4	1.0	98.6	0.5	1.0
	行ったことはない	62.2	37.2	0.6	89.8	8.6	1.6	85.5	13.2	1.3
	無回答	68.4	21.1	10.5	66.7	6.7	26.7	66.7	6.7	26.7
	全体	64.4	34.9	0.7	90.3	7.8	1.9	86.5	11.8	1.7

		問9 退所規定がなかったこと(単数)			問10 結婚は「断種」が条件であった(単数)			問11 半強制的に作業をさせられていた(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問20 ハンセン病療養所へ行ったこと(単数)	行ったことがある	79.5	19.5	1.0	70.5	28.6	1.0	51.4	46.7	1.9
	行ったことはない	61.6	36.8	1.6	47.2	51.2	1.6	25.8	72.7	1.5
	無回答	53.3	20.0	26.7	36.7	36.7	26.7	30.0	40.0	30.0
	全体	63.3	34.8	1.9	49.4	48.6	1.9	28.5	69.5	2.0

		問12 平成8年の「らい予防法」廃止(単数)			問13 「ハンセン病国賠訴訟」の勝訴(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問20 ハンセン病療養所へ行ったこと(単数)	行ったことがある	75.7	23.3	1.0	93.3	5.2	1.4
	行ったことはない	58.1	40.5	1.4	78.4	19.8	1.7
	無回答	46.7	26.7	26.7	56.7	13.3	30.0
	全体	59.7	38.5	1.8	79.7	18.2	2.1

		問14 患者家族も偏見・差別を受けた(単数)							
		身近であった	話として聞いた	テレビ・新聞など	研修会・講演会など	自治体の冊子など	インターネット	知らない	無回答
問20 ハンセン病療養所へ行ったこと(単数)	行ったことがある	6.2	45.2	17.1	21.9	1.9	0.0	4.3	3.3
	行ったことはない	1.9	35.1	45.1	3.8	0.6	0.1	11.0	2.3
	無回答	6.7	33.3	16.7	6.7	0.0	0.0	10.0	26.7
	全体	2.4	36.1	41.8	5.7	0.7	0.1	10.3	2.8

問20「ハンセン病療養所へ行った経験の有無」別にみた集計

単位：%

		問16 社会復帰が非常に困難なこと(単数)			問17 「社会復帰支援員」の活動(単数)			問18 小学・中学・高校生との交流(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問20 ハンセン病療養所へ行ったこと(単数)	行ったことがある	91.0	8.1	1.0	25.2	73.3	1.4	63.3	35.2	1.4
	行ったことはない	77.3	21.1	1.6	15.8	82.5	1.7	37.9	60.4	1.6
	無回答	56.7	16.7	26.7	26.7	46.7	26.7	23.3	50.0	26.7
	全体	78.4	19.7	1.9	16.9	81.0	2.1	40.3	57.7	2.0

		問19 長島への邑久長島大橋架橋(単数)		
		知っている	知らない	無回答
問20 ハンセン病療養所へ行ったこと(単数)	行ったことがある	95.2	3.8	1.0
	行ったことはない	68.3	30.3	1.4
	無回答	70.0	3.3	26.7
	全体	71.1	27.2	1.7

問21「療養所で入所者と話をする機会の有無」別にみた集計

単位：％

		問4 どのような病気であるか (単数)				問5 非常に感染力が弱いこと (単数)				
		知っている	あまり知らない	知らない	無回答	知っている	遺伝病だと思っていた	何も知らない	その他	無回答
問21 療養所で入所者と話をする機会 (単数)	機会があった	86.7	11.2	0.0	2.0	87.5	5.2	3.1	0.0	4.2
	機会がなかった	67.6	27.9	1.8	2.7	68.9	17.0	8.5	4.7	0.9
	無回答	40.6	43.8	9.1	6.5	62.8	15.8	15.4	4.6	1.4
	全体	44.3	41.3	8.3	6.1	64.5	15.3	14.3	4.4	1.5

		問6 治療すればなおること (単数)			問7 国による強制隔離政策 (単数)			問8 療養所が岡山県にあること (単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問21 療養所で入所者と話をする機会 (単数)	機会があった	93.8	6.3	0.0	96.9	1.0	2.0	98.0	0.0	2.0
	機会がなかった	68.9	30.2	0.9	98.2	1.8	0.0	99.1	0.9	0.0
	無回答	62.3	37.0	0.7	89.4	8.5	2.0	85.2	13.1	1.8
	全体	64.4	34.9	0.7	90.3	7.8	1.9	86.5	11.8	1.7

		問9 退所規定がなかったこと (単数)			問10 結婚は「断種」が条件であった (単数)			問11 半強制的に作業をさせられていた (単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問21 療養所で入所者と話をする機会 (単数)	機会があった	85.7	12.2	2.0	82.7	15.3	2.0	69.4	26.5	4.1
	機会がなかった	73.9	26.1	0.0	59.5	40.5	0.0	35.1	64.9	0.0
	無回答	61.5	36.5	2.0	47.0	50.9	2.0	25.9	72.1	2.0
	全体	63.3	34.8	1.9	49.4	48.6	1.9	28.5	69.5	2.0

		問12 平成8年の「らい予防法」廃止 (単数)			問13 「ハンセン病国賠訴訟」の勝訴 (単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問21 療養所で入所者と話をする機会 (単数)	機会があった	80.6	17.3	2.0	93.9	4.1	2.0
	機会がなかった	71.2	28.8	0.0	92.8	6.3	0.9
	無回答	57.9	40.3	1.9	78.1	19.7	2.2
	全体	59.7	38.5	1.8	79.7	18.2	2.1

		問14 患者家族も偏見・差別を受けた (単数)							
		身近であった	話として聞いた	テレビ・新聞など	研修会・講演会など	自治体の冊子など	インターネット	知らない	無回答
問21 療養所で入所者と話をする機会 (単数)	機会があった	11.2	36.7	12.2	30.6	2.0	0.0	1.0	6.1
	機会がなかった	1.8	53.2	21.6	14.4	0.9	0.0	7.2	0.9
	無回答	2.0	35.0	44.6	3.8	0.7	0.1	11.0	2.7
	全体	2.4	36.1	41.8	5.7	0.7	0.1	10.3	2.8

問21「療養所で入所者と話をする機会の有無」別にみた集計

単位：％

		問16 社会復帰が非常に困難なこと(単数)			問17「社会復帰支援員」の活動(単数)			問18 小学・中学・高校生との交流(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問21 療養所で入所者と話をする機会(単数)	機会があった	90.8	7.1	2.0	34.7	62.2	3.1	78.6	18.4	3.1
	機会がなかった	91.0	9.0	0.0	17.1	82.9	0.0	49.5	50.5	0.0
	無回答	76.9	21.0	2.0	15.9	81.9	2.1	37.7	60.2	2.0
	全体	78.4	19.7	1.9	16.9	81.0	2.1	40.3	57.7	2.0

		問19 長島への邑久長島大橋架橋(単数)		
		知っている	知らない	無回答
問21 療養所で入所者と話をする機会(単数)	機会があった	96.9	1.0	2.0
	機会がなかった	93.7	6.3	0.0
	無回答	68.3	29.8	1.8
	全体	71.1	27.2	1.7

問22「見たもの、行ったことがあるもの」別にみた集計

単位：%

		問4 どのような病気であるか(単数)				問5 非常に感染力が弱いこと(単数)				
		知っている	あまり知らない	知らない	無回答	知っている	遺伝病だと思っ	何も知らない	その他	無回答
問22 見たもの、 行ったことがあるもの (複数)	パンフレット	71.1	24.2	0.6	4.0	80.5	9.1	7.2	2.3	1.0
	パネル展	67.0	27.3	2.3	3.4	79.5	13.3	3.6	1.2	2.4
	ビデオ	68.3	26.2	2.0	3.5	80.1	9.4	6.8	2.1	1.6
	ホームページ	63.6	27.3	9.1	0.0	90.0	0.0	5.0	5.0	0.0
	講演会など	73.8	18.8	2.0	5.4	80.2	9.1	7.0	2.7	1.1
	テレビ番組	50.0	41.6	4.4	4.1	68.0	14.6	11.3	4.4	1.6
	書籍	75.5	19.6	0.0	4.9	89.7	6.2	3.1	1.0	0.0
	その他	56.0	30.0	8.0	6.0	88.4	2.3	4.7	2.3	2.3
	いずれも見たことはない	29.0	47.2	15.2	8.6	53.0	16.5	23.3	5.6	1.6
	無回答	42.7	32.0	10.7	14.7	55.4	30.4	7.1	0.0	7.1
	全体	44.3	41.3	8.3	6.1	64.5	15.3	14.3	4.4	1.5

		問6 治療すればなおること(単数)			問7 国による強制隔離政策(単数)			問8 療養所が岡山県にあること(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問22 見たもの、 行ったことがあるもの (複数)	パンフレット	85.0	15.0	0.0	97.2	2.2	0.6	97.5	1.9	0.6
	パネル展	78.3	21.7	0.0	95.5	2.3	2.3	95.5	2.3	2.3
	ビデオ	82.7	17.3	0.0	98.0	1.5	0.5	92.6	6.9	0.5
	ホームページ	85.0	15.0	0.0	95.5	4.5	0.0	90.9	9.1	0.0
	講演会など	84.0	16.0	0.0	96.5	1.5	2.0	94.1	4.0	2.0
	テレビ番組	69.0	30.5	0.5	95.4	3.4	1.2	92.1	6.7	1.2
	書籍	91.8	8.2	0.0	94.1	2.0	3.9	96.1	0.0	3.9
	その他	83.7	16.3	0.0	92.0	6.0	2.0	90.0	8.0	2.0
	いずれも見たことはない	49.9	49.3	0.8	83.3	15.4	1.3	77.5	21.6	0.9
	無回答	60.7	33.9	5.4	69.3	13.3	17.3	76.0	9.3	14.7
	全体	64.4	34.9	0.7	90.3	7.8	1.9	86.5	11.8	1.7

		問9 退所規定がなかったこと(単数)			問10 結婚は「断種」が条件であった(単数)			問11 半強制的に作業をさせられていた(単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問22 見たもの、 行ったことがあるもの (複数)	パンフレット	80.4	18.9	0.6	68.6	30.4	0.9	49.4	49.7	0.9
	パネル展	83.0	15.9	1.1	70.5	28.4	1.1	53.4	44.3	2.3
	ビデオ	82.7	16.8	0.5	67.3	32.2	0.5	53.0	46.0	1.0
	ホームページ	68.2	31.8	0.0	63.6	36.4	0.0	50.0	50.0	0.0
	講演会など	83.2	14.9	2.0	70.8	26.7	2.5	57.4	40.6	2.0
	テレビ番組	72.1	26.6	1.4	58.5	40.2	1.4	34.6	64.0	1.4
	書籍	82.4	13.7	3.9	79.4	16.7	3.9	65.7	29.4	4.9
	その他	78.0	20.0	2.0	68.0	30.0	2.0	50.0	48.0	2.0
	いずれも見たことはない	45.9	52.7	1.5	32.7	66.0	1.3	14.1	85.1	0.9
	無回答	54.7	30.7	14.7	36.0	48.0	16.0	21.3	60.0	18.7
	全体	63.3	34.8	1.9	49.4	48.6	1.9	28.5	69.5	2.0

問22「見たもの、行ったことがあるもの」別にみた集計

単位：%

		問12 平成8年の「らい予防法」廃止 (単数)			問13 「ハンセン病国賠訴訟」の勝訴 (単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問22 見たもの、 行ったことがあるもの (複数)	パンフレット	81.1	18.0	0.9	91.9	7.1	0.9
	パネル展	79.5	19.3	1.1	89.8	8.0	2.3
	ビデオ	75.7	23.8	0.5	90.1	8.9	1.0
	ホームページ	81.8	18.2	0.0	86.4	13.6	0.0
	講演会など	82.2	15.3	2.5	93.1	5.0	2.0
	テレビ番組	67.5	31.3	1.2	87.6	11.1	1.4
	書籍	84.3	10.8	4.9	92.2	2.9	4.9
	その他	64.0	34.0	2.0	86.0	12.0	2.0
	いずれも見なかった	45.7	53.4	0.9	68.2	30.3	1.5
	無回答	38.7	45.3	16.0	57.3	25.3	17.3
	全体	59.7	38.5	1.8	79.7	18.2	2.1

		問14 患者家族も偏見・差別を受けた (単数)							
		身近であった	話として聞いた	テレビ・新聞など	研修会・講演会など	自治体の冊子など	インターネット	知らない	無回答
問22 見たもの、 行ったことがあるもの (複数)	パンフレット	3.1	41.3	32.9	17.1	2.2	0.3	0.6	2.5
	パネル展	9.1	42.0	21.6	18.2	2.3	1.1	1.1	4.5
	ビデオ	2.0	38.1	22.8	27.7	2.5	0.5	2.0	4.5
	ホームページ	0.0	31.8	50.0	9.1	0.0	4.5	0.0	4.5
	講演会など	2.0	31.7	18.8	39.6	1.5	0.5	1.5	4.5
	テレビ番組	2.6	34.5	50.5	4.5	0.7	0.0	5.0	2.1
	書籍	6.9	34.3	37.3	11.8	0.0	0.0	0.0	9.8
	その他	0.0	38.0	40.0	8.0	2.0	0.0	8.0	4.0
	いずれも見なかった	1.5	36.4	38.5	0.7	0.3	0.0	20.9	1.8
	無回答	6.7	38.7	18.7	4.0	0.0	1.3	13.3	17.3
	全体	2.4	36.1	41.8	5.7	0.7	0.1	10.3	2.8

		問16 社会復帰が非常に困難なこと (単数)			問17 「社会復帰支援員」の活動 (単数)			問18 小学・中学・高校生との交流 (単数)		
		知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
問22 見たもの、 行ったことがあるもの (複数)	パンフレット	93.2	5.6	1.2	29.5	69.9	0.6	65.5	33.5	0.9
	パネル展	89.8	8.0	2.3	40.9	56.8	2.3	59.1	38.6	2.3
	ビデオ	89.1	8.9	2.0	22.3	76.7	1.0	66.8	32.2	1.0
	ホームページ	90.9	9.1	0.0	22.7	77.3	0.0	63.6	36.4	0.0
	講演会など	91.6	6.4	2.0	29.7	67.8	2.5	72.8	25.2	2.0
	テレビ番組	86.7	11.9	1.4	19.3	79.3	1.4	48.7	50.0	1.3
	書籍	89.2	5.9	4.9	37.3	57.8	4.9	68.6	26.5	4.9
	その他	86.0	12.0	2.0	20.0	78.0	2.0	56.0	42.0	2.0
	いずれも見なかった	64.6	34.3	1.0	9.8	88.9	1.3	23.7	75.1	1.2
	無回答	60.0	25.3	14.7	22.7	60.0	17.3	24.0	58.7	17.3
	全体	78.4	19.7	1.9	16.9	81.0	2.1	40.3	57.7	2.0

問22「見たもの、行ったことがあるもの」別にみた集計 単位：%

		問19 長島への長久長島大橋架橋(単数)		
		知っている	知らない	無回答
問22 見たもの、 行ったことがあるもの (複数)	パンフレット	89.8	9.6	0.6
	パネル展	92.0	6.8	1.1
	ビデオ	86.1	13.4	0.5
	ホームページ	68.2	31.8	0.0
	講演会など	87.6	10.4	2.0
	テレビ番組	78.0	21.0	1.1
	書籍	91.2	3.9	4.9
	その他	78.0	20.0	2.0
	いずれも見たことはない	56.5	42.5	1.0
	無回答	69.3	14.7	16.0
	全体	71.1	27.2	1.7

ハンセン病に関する県民意識調査

ハンセン病に関する県民意識調査へのご協力をお願い

この調査は、県民の皆さんのハンセン病についてのお考えをお聞かせいただき、ハンセン病を患った人々を社会に迎えて、県民一人ひとりが、おたがいを尊重し支え合いながら、偏見(=かたよった見方)や差別のない明るい社会を築いていくための資料とするものです。

県内にお住まいの15才以上の方4,000人を対象として実施するもので、あなたは、無作為(=偶然にまかせること)に選ばせていただきましたお一人です。記入に当たっては、他の人と相談したりしないで、今あなたがお考えになっていることをそのままお答えください。

回答には名前や住所を書く必要はありません。また、回答は統計的な処理をして結果をとりまとめますので、お答えいただいた方にご迷惑がかかるようなことは絶対ありません。

お忙しい時期とは思いますが、ご協力くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

平成19年8月

岡山県保健福祉部健康対策課

お問い合わせ先

この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

岡山県保健福祉部健康対策課

ハンセン病県民意識調査担当：山下・長門

岡山市内山下2-4-6

TEL (086) 226 - 7331

なお、ご回答いただきましたアンケート用紙は、同封の返信用封筒をご使用になり、平成19年9月3日(月)までにご返送くださるようお願いいたします。

岡 山 県

ご記入にあたってのお願い

- ※ 回答は、ご本人がご記入ください。
- ※ 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）や、説明にしたがってご回答ください。
- ※ 「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にご記入ください。

あなたご自身についておたずねします

F 1 あなたの性別について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|------------|
| 1. 10才代 | 2. 20～24才 | 3. 25～29才 | 4. 30～34才 |
| 5. 35～39才 | 6. 40～44才 | 7. 45～49才 | 8. 50～54才 |
| 9. 55～59才 | 10. 60～64才 | 11. 65～69才 | 12. 70～74才 |
| 13. 75才以上 | | | |

F 3 あなたの住所について、あてはまるものに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|-----------|---------|----------|----------|
| 1. 岡山市 | 2. 倉敷市 | 3. 津山市 | 4. 玉野市 | 5. 笠岡市 |
| 6. 井原市 | 7. 総社市 | 8. 高梁市 | 9. 新見市 | 10. 備前市 |
| 11. 瀬戸内市 | 12. 赤磐市 | 13. 真庭市 | 14. 美作市 | 15. 浅口市 |
| 16. 和気町 | 17. 早島町 | 18. 里庄町 | 19. 矢掛町 | 20. 新庄村 |
| 21. 鏡野町 | 22. 勝央町 | 23. 奈義町 | 24. 西粟倉村 | 25. 久米南町 |
| 26. 美咲町 | 27. 吉備中央町 | | | |

問 1. あなたは「ハンセン病（らい）」という病気の名前を聞いたことがありますか。

(どちらかに○)

1. 聞いたことがある	2. 聞いたことはない
-------------	-------------

(問 1 で「1」に○をした人)

→ 3 ページを読んで問 7 へお進みください

問 2. あなたがハンセン病という病気の名前を初めて聞いたのはいつごろですか。

(ひとつだけに○)

1. 小学生のころまで	2. 中学生のころ
3. 16才～18才のころ	4. 19才～22才の頃
5. 23才～30才のころ	6. 31才よりあと
7. いつだったかははっきり覚えていない	

問 3. あなたはハンセン病という病気の名前をだれ（何）から知りましたか。

(ひとつだけに○)

1. 家族から	2. 親せきの人から	3. 近所の人から	4. 職場 <small>しよくば</small> の人から
5. 友達から	6. 学校の授業で	7. テレビ・ラジオ・新聞・本などから	
8. 研修会・講演会 <small>こうえん</small> などで		9. 県や市町村の広報紙 <small>こうほう</small> や冊子 <small>きっし</small> などから	
10. インターネット（ホームページ等）から			
11. 何から知ったかははっきり覚えていない			

問 4. あなたはハンセン病がどのような病気であるか知っていますか。 (ひとつだけに○)

1. 知っている	2. あまり知らない	3. 知らない
----------	------------	---------

(問 4 で「1」「2」に○をした人)

→ 3 ページを読んで
問 7 へお進みください

問 5. あなたはハンセン病が非常に感染力の弱い感染症（＝うつる病気）であることを知っていますか。 (ひとつだけに○)

1. 知っている	2. 遺伝病 <small>いでん</small> だと思っていた
3. 何も知らない	4. その他 ()

問 6. 現在では、ハンセン病は早めに治療ちりょうすれば後遺症こういしょうもなく、なおる病気ですが、あなたは
このことを知っていますか。 (どちらかに○)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

3 ページを読んで問 7 へお進みください

問7をお答えいただく前に、お読みください

ハンセン病とはどのような病気か

ハンセン病は「らい菌」という細菌の感染によっておこる慢性の感染症で、主に末梢神経と皮膚がおかされる病気です。このハンセン病をひきおこす細菌には次のような特徴があります。

① ヒトの神経と結びつきやすい

ヒトの体内に入ると末梢神経や皮膚をおかします。早期に診断がなされなかったり、適切に治療されないと、まず知覚まひがおこり、やがて運動まひをおこします。皮膚にも、皮疹や結節があらわれたりします。

② この細菌は温度の低いところを好む

ヒトの体の中でも温度の低いところ（顔、手足など）を好みます。これらはすべて衣服から出ているところで、他の人が見てわかりやすいところに、病気による変化が出やすいという特徴があります。

③ 菌の増えるスピードがたいへん遅い

感染してから発病するまでの期間（潜伏期）が長く、平均で4～5年もかかります。

④ この細菌の病原性はとても弱い

この細菌の病原性（病気を引き起こす力）は非常に弱く、仮に感染しても発病することはほとんどありません。近年国内で感染する方は、0に近くなっています。

⑤ 現在では治療法が確立されている

1943年、ハンセン病によく効く薬が開発され、現在では在宅で充分治療できます。

このようにハンセン病はごくふつうの感染症の一つで、隔離（＝一定の場所にうつし、他の者から引き離すこと）などまったく必要のない病気です。

問7へお進みください

問 7. あなたはハンセン病の患者が国の政策として強制隔離されていたことを知っていますか。 (どちらかに○)

1. 知っている 2. 知らない

問 8. あなたはハンセン病療養所が岡山県にあることを知っていますか。 (どちらかに○)

1. 知っている 2. 知らない

問 9. あなたは「らい予防法」には療養所からの退所規定がなかった (=病気がなおって出たいと思っても出られなかった) ということを知っていますか。 (どちらかに○)

1. 知っている 2. 知らない

問 10. あなたはかつて療養所内では、結婚の時に「断種 (=子どもを産めなくする手術をすること)」を条件とされていたことを知っていますか。 (どちらかに○)

1. 知っている 2. 知らない

問 11. かつて療養所内では、軽い症状の患者が重い症状の患者の看護や施設運営の作業などを半強制的にさせられていたことを、あなたは知っていますか。 (どちらかに○)

1. 知っている 2. 知らない

問 12. あなたは平成 8 年に「らい予防法」が廃止されたことを知っていますか。 (どちらかに○)

1. 知っている 2. 知らない

問 13. あなたはいわゆる「ハンセン病国賠訴訟 (ハンセン病施策に対する国の責任を問う裁判)」で原告 (= 訴えた人) が勝訴 (= 訴訟に勝つ) したことを知っていますか。 (どちらかに○)

1. 知っている 2. 知らない

問 14. あなたは、かつてハンセン病患者^{かんじゃ}だけでなく、その家族も偏見^{へんけん}や差別を受けたことを知っていますか。 (ひとつだけに○)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1. 身近・近所であったので知っている | 2. 話として聞いて知っている |
| 3. テレビ・ラジオ・新聞・本などから知った | 4. 研修会・講演会 ^{こうえん} などで知った |
| 5. 県や市町村の広報紙 ^{こうほう} や冊子 ^{さつし} などから知った | |
| 6. インターネット（ホームページ等）から知った | 7. 知らない |

問 15. ハンセン病療養^{りょうよう}所入所者の多くが、ふるさとに帰りたいのに帰れないであることを、あなたはどのように思いますか。 (ひとつだけに○)

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| 1. 早急に改善 ^{かいぜん} しなければならない | 2. 改善 ^{かいぜん} した方がよい |
| 3. やむを得ない | 4. わからない |

問 16. ハンセン病療養^{りょうよう}所入所者の社会復帰^{ふっき}は、偏見^{へんけん}・差別意識^{いしき}などのため、非常に困難^{ひじょう こんなん}であるということを知っていますか。 (どちらかに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 17. あなたは、療養^{りょうよう}所入所者の社会復帰^{ふっき}を支援する「社会復帰^{ふっき}支援員」が活動していることを知っていますか。 (どちらかに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 18. あなたは、療養^{りょうよう}所入所者との交流活動として納涼夏祭り^{のうりょう}、小学生との交流、中学生、高校生との体験学習、座談会などが行われていることを知っていますか。 (どちらかに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 19. あなたは、昭和 63 年、国立療養所長島愛生園^{りょうよう ながしまあいせいえん}と邑久光明園^{おく こうみょうえん}がある長島^{ながしま}（瀬戸内市邑久町^{せとうち おく}）に、邑久長島大橋^{おくながしま}がかけられたことを知っていますか。 (どちらかに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 20. あなたは、ハンセン病療養所へ行ったことがありますか。 (どちらかに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 行ったことがある | 2. 行ったことはない |
|-------------|-------------|

(問 20 で「1」に○をした人のみ)

問 22 へお進みください

問 21. そのとき、あなたはハンセン病療養所で入所者と直接話をする機会がありましたか。 (どちらかに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 機会があった | 2. 機会がなかった |
|-----------|------------|

問 22. 岡山県は、県民一人ひとりがハンセン病に対する偏見や差別の解消に向けて正しい知識と理解を持ってもらうために、様々な活動を行っています。次の中であなたが実際に見たもの、行ったことがあるものをすべてお知らせください。 (○はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1. ハンセン病に関するパンフレットなど | 2. ハンセン病に関するパネル展 |
| 3. ハンセン病に関するビデオ | 4. ハンセン病に関するホームページ
(「人間回復の橋、心のかげ橋となれ」など) (http://www.hansen-okayama.jp/) |
| 5. ハンセン病に関する講演会など | 6. ハンセン病に関するテレビ番組 |
| 7. ハンセン病に関する書籍(「長島は語る 岡山県ハンセン病関係資料集・前編」など) | |
| 8. その他 () | |
| 9. いずれも見つかった (行った) ことはない | |

問 23. あなたは今後、ハンセン病への偏見や差別の解消のための岡山県の取り組みとして、どのような活動を行うことがよいと思われますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|--------------------|
| 1. パンフレットなどの配布 | 2. パネル展の開催 |
| 3. 講演会などの開催 | 4. ミニ集会の開催 |
| 5. テレビ番組の制作・放送 | 6. 新聞・雑誌での広告記事の掲載 |
| 7. 療養所への訪問機会の提供 | 8. 療養所入所者との交流機会の提供 |
| 9. ラジオ番組の制作・放送 | 10. インターネットによる情報提供 |
| 11. 学校での知識普及の推進 | 12. 職場での知識普及の推進 |
| 13. 県や市町村の広報紙での記事の掲載 | 14. 啓発用ビデオ・DVDの活用 |
| 15. 療養所入所者の絵画、文芸、陶芸、写真などの作品展の開催 | |
| 16. 人権啓発・教育リーダーの養成 | 17. 人権情報コーナーを多数設置 |
| 18. その他 () | |

問 24. あなたはハンセン病に関することを、知りたいと思いますか。 (ひとつだけに○)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. もっとよく知りたいと思う | 3. 特に知りたいと思わない |
| 2. 機会があれば知りたいと思う | |

(問 24 で「1」「2」に○をした人)

問 26 へお進みください

問 25. あなたはハンセン病について、どのようなことを知りたいと思いますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1. ハンセン病という病気について | 2. 国や県の施策 <small>しきく</small> について |
| 3. 患者 <small>かんじゃ</small> や家族などがどのような扱い <small>あつか</small> を受けてきたかについて | |
| 4. ハンセン病の歴史について | 5. 今の療養所 <small>りょうよう</small> の生活について |
| 6. その他 () | |
| 7. わからない | |

問 26. あなたは、現在ハンセン病に関する正しい知識ちしきや情報じょうほうが普及ふきゅう (= 広く行きわたること) していると思いますか。 (ひとつだけに○)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 普及 <small>ふきゅう</small> していると思う | 2. 少しは普及 <small>ふきゅう</small> していると思う |
| 3. あまり普及 <small>ふきゅう</small> していないと思う | 4. まったく普及 <small>ふきゅう</small> していないと思う |
| 5. わからない | |

問 27. あなたは、療養所りょうよう入所者がもっと自由に様々な人に会ったり、買物や食事のために好きな所へ行くなど、社会との交流を深めることができるようにしたほうがよいと思いますか。 (ひとつだけに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. 少しはそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. まったくそう思わない |
| 5. わからない | |

問 28. あなたは、ハンセン病への^{へんけん}偏見や差別の解消のために何をしたらよいと思いますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. 国や県などの行政がもっと啓発 ^{けいはつ} 活動を行う | 2. 学校で正しい知識 ^{ちしき} を教える |
| 3. 療養 ^{りょうよう} 所入所者の方と交流する | 4. 一人ひとりがもっと関心を持つ |
| 5. その他 () | |
| 6. わからない | |

問 29. あなたは、療養^{りょうよう}所入所者が社会^{ふつき}復帰をするために、どうしたらよいと思いますか。
(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 国や県などの行政が手厚い支援 ^{しえん} を行う |
| 2. 差別・偏見 ^{へんけん} を取り除く ^{のぞ} |
| 3. 復帰 ^{ふつき} を支援 ^{しえん} する人を増やす |
| 4. 市町村やボランティアがむかえ入れるための活動をする |
| 5. その他 () |
| 6. わからない |

問 30. あなたは、ハンセン病問題の解消を図るために、何かしたいことはありますか。また今後どのようなことが必要だと思えますか。ご自由にお答えください。

(自由回答)

ご協力ありがとうございました。同封の封筒に入れて返送してください。

なお、ご回答者の住所、氏名等を記入する必要はありません。

ハンセン病問題について

ハンセン病患者やその家族は、様々な誤解のために、偏見や差別を受けてきました。

明治40年、近代国家を目指す政府は、家族に見捨てられるなどして神社・寺・路上などで生活するハンセン病患者を隔離する法律を制定し、全国に療養所が作られました。昭和6年の「らい予防法」では家で暮らしている患者も含めて、すべてのハンセン病患者を隔離して、療養所へ収容していきました。

戦前の軍国主義が強まる中で、国・県・市町村・住民が一体となって、自分たちの故郷からハンセン病患者を療養所へ送り込む「無癩県運動」を繰り広げ、ハンセン病の患者やその家族はきびしい差別を受けました。

多くの入所者は、療養所に入れられるときに、家族への差別をおそれて近所には亡くなったことにされたり、二度と会わない約束をさせられたりして、死んでもなお故郷へ迎えられることもなく、療養所内にある納骨堂に安置されています。

しかも、当時の療養所はまるで「強制収容所」のようで、自由に外出することは許されず、守らないと罰を受けました。また、職業の選択、学校での勉強はもちろん、結婚や子どもを産んで育てることも制限されました。そして、ハンセン病に対する医療はほとんど行われず、患者の多くはひどい生活環境と強制労働のため、病気はむしろ悪くなり、後遺症に苦しむことになりました。

昭和28年、既にすぐれた薬が開発され、ハンセン病はなおる病気となっていました。隔離政策を続ける「らい予防法」が入所者の猛反対を押し切って制定されました。この法律にも、なおった後でも療養所を退所する決まりはなく、人権尊重を柱とする新憲法のもとでも、依然として人権を侵害する内容が残されていました。

平成8年によく「らい予防法」は廃止されましたが、90年もの長い間続けられた隔離・収容政策は、入所者だけでなくその家族までも苦しめ続けてきたのです。そのため、入所者・退所者の方々から、国の強制隔離政策は憲法違反だとして、国に賠償を求める裁判が起こされ、平成13年5月に熊本地方裁判所はその訴えを認め、国もこの判決を受け入れました。

平成14年10月にハンセン病問題に関する検証会議が設置され、全国の療養所等におけるさまざまな差別の実態が明らかにされるとともに、再発防止のための提言がなされました。平成18年度には、検証会議で報告された、各療養所に残された胎児等を慰霊するための

いれい 慰霊祭が関係する 療養所^{りょうよう と}で執り行われています。

岡山県では、平成13年6月に石井知事が長島愛生園^{ながしまあいせいえん}と邑久光明園^{おくこうみょうえん}を訪問して謝罪^{しゃざい}の意を表明し、県議会でもハンセン病問題の解決に向けた決議^{けつぎ}が全会一致^{ぜんかいいっち}で決められました。平成13年7月には、「岡山県のハンセン病対策を振り返り正しい理解を進める委員会」が設置され、平成14年3月に意見書が提出されました。この意見書に書かれた提言をもとに、ハンセン病に関するたくさんの事業を行っています。

平成15年8月に、ハンセン病について学べる場として長島愛生園歴史館^{ながしまあいせいえんれきしかん}が開館され、研修や学習に生かされています。

平成17年10月には岡山県で開催された国民体育大会に合わせて、天皇皇后両陛下^{てんのうこうごりょうへいか}が、長島愛生園^{ながしまあいせいえん}と邑久光明園^{おくこうみょうえん}を初めて訪問されました。

平成19年2月には、岡山県内に残された資料を中心に、「長島は語る 岡山県ハンセン病関係資料集・前編」を刊行しました。この資料集は、県内の公立図書館などで読むことができます。

国・県・市町村で、ハンセン病に関する正しい理解を進めるための事業が行われており、夏祭りや研修、交流会、座談会^{りょうよう}などで療養所^{りょうよう}を訪問する人は年々増え、入所者との交流が進められています。その一方で、平成15年には、黒川温泉^{くろかわおんせん}（熊本県）のホテル^{くもと}で、療養所^{りょうよう}に入所されている方々の宿泊^{しゅくはく}が拒否^{きよひ}されるという事件が起こっています。

現在、全国にハンセン病療養施設^{りょうよう}として、13の国立療養所^{りょうよう}と2つの私立療養所^{りょうよう}があります。岡山県には、瀬戸内市^{せとうちし}に長島愛生園^{ながしまあいせいえん}と邑久光明園^{おくこうみょうえん}の2つの療養所^{りょうよう}があり、あわせて約620名の方々が生活しています。

療養所で生活している方々は、ハンセン病自体はなおっていますが、手足の障害や失明などの後遺症^{こういしょう}があり、平均年齢が約80歳^{こうれいか}と高齢化も進み、多くの方々が療養所^{りょうよう}を離れて生活することが難しい状況にあります。また、療養所^{りょうよう}で生活をしている方々がだんだんと減少していることから、今後、療養所^{りょうよう}をどのような施設とするのか（将来構想^{しょうらいこうそう}といいます。）が大きな問題となっています。

ハンセン病啓発ホームページ「みんなで描くひとつの道」もご覧ください。
(<http://www.hansen-okayama.jp/>)